

川越市市民満足度調査 報告書

令和6年2月

川越市

I	調査の概要	1
1	調査目的	3
2	調査内容	3
3	調査設計	3
4	回収結果	3
5	地区区分	4
6	報告書の見方	4
7	回答者の属性	6
II	施策の重要度と満足度	11
1	第四次川越市総合計画の施策体系	13
2	施策全体	14
3	属性別	18
4	地区別の「重要度」と「満足度」の評価分布	24
5	章別及び施策別	49
III	自由意見	169
1	川越市が優先して解決すべきこと	171
2	目指すべきまちの姿	180
IV	使用した調査票	187

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、第四次川越市総合計画の各施策について、「市民がどれだけ満足しているか（満足度）」、「どのようなことを重視しているのか（重要度）」等について調査し、第五次川越市総合計画の策定及び今後の市政運営の基礎資料として活用することを目的として実施したものである。

2 調査内容

以下の点についてアンケート調査を実施した。

(1) 総合計画の各施策に対する重要度と満足度

「第四次川越市総合計画」に基づき、川越市が取り組んでいる 52 の施策についての重要度と満足度の 5 段階評価

(2) 自由記述

- ① 次の 10 年に向けて、川越市が優先して解決すべきことや積極的に取り組んだほうがよいと思うことについて
- ② 令和 17 年度末（2036 年）の川越市が、どのようなまちになってほしいか、目指すべきまちの姿について

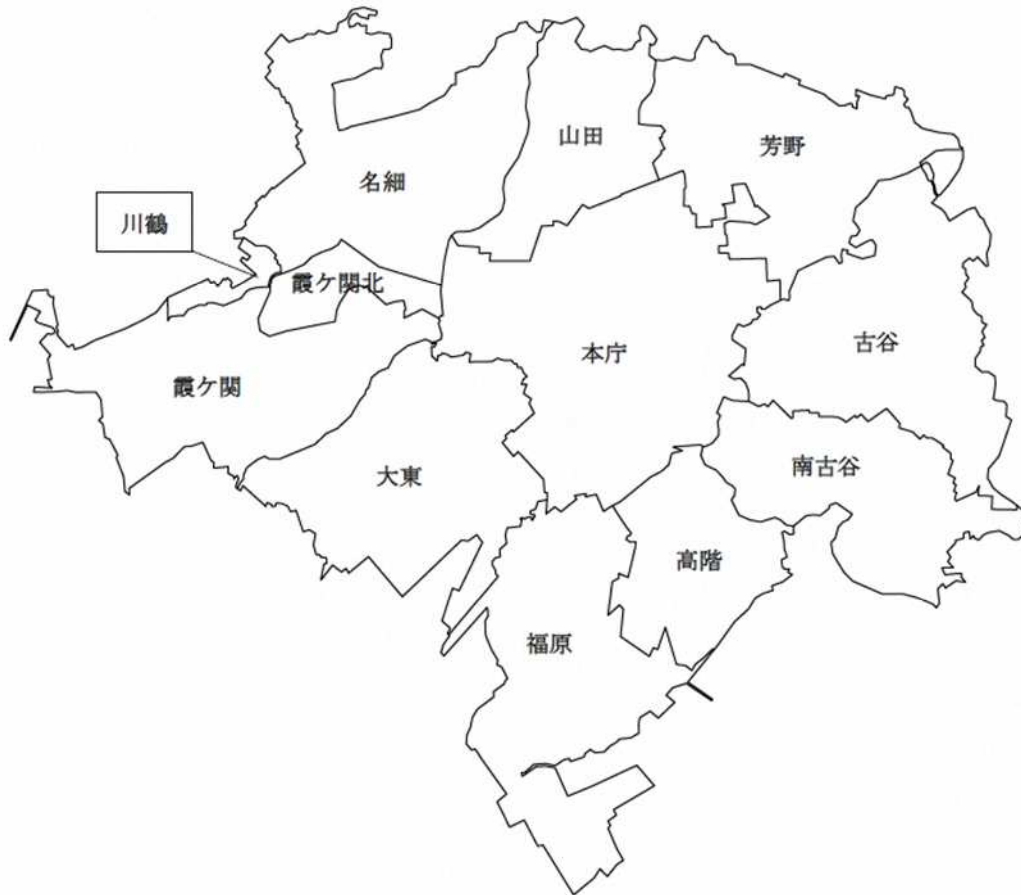
3 調査設計

- (1) 調査対象 川越市在住の満 18 歳以上の男女 3,000 人（外国籍市民含む）
（令和 5 年 8 月 1 日現在）
- (2) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送配布、郵送回収
- (4) 調査期間 令和 5 年 9 月 6 日（水）～10 月 6 日（金）

4 回収結果

- (1) 標本数 3,000 件
- (2) 有効回収数 1,218 件
- (3) 有効回収率 40.6%

5 地区区分



6 報告書の見方

- (1) 本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱う。
- (2) 設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（%）で示している。
- (3) アンケート調査結果における回答の比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第二位を四捨五入し算出している。そのため合計が100%にならない場合がある。
- (4) 複数回答については、回答者数を基数として百分率（%）で示している。したがって、合計値は100%を超えることがある。
- (5) 重要度・満足度の分布図については、下の計算式より算出した評価点を用いて作成している。評価点は、小数点以下第三位を四捨五入し算出しているため、点数が同じでも順位の異なるものがある。

重要度評価点 = (「重要である」 × 2点 + 「まあ重要である」 × 1点 + 「あまり重要でない」 × ▲1点 + 「重要でない」 × ▲2点) ÷ 回答者数

満足度評価点 = (「満足である」 × 2点 + 「やや満足である」 × 1点 + 「やや不満である」 × ▲1点 + 「不満である」 × ▲2点) ÷ 回答者数

※最高2.0点～最低-2.0点

(6) 標本誤差

今回の調査は、調査対象となる母集団（川越市在住の 18 歳以上の男女）から一部を無作為に抽出して行った「標本調査」であり、母集団に対する標本誤差が生じる。

標本誤差は、次の公式によって算出される（信頼度 95.4%）。

なお、公式中の信頼度係数「2」については、信頼度 95.0%となる「1.96」が用いられることもあるが、ここでは前回調査でも用いた「2」を使用した。

$$b = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b=標本誤差

N=母集団数（令和 5 年 8 月 1 日現在 18 歳以上人口 302,234 人）

n=比率算出の基数（有効回収票 1,218 票）

P=回答率

《標本誤差早見表》

回答の比率 (P) 基数 (n)	90% または 10%	80% または 20%	70% または 30%	60% または 40%	50%
1,218	±1.7%	±2.3%	±2.6%	±2.8%	±2.9%
1,000	±1.9%	±2.5%	±2.9%	±3.1%	±3.2%
400	±3.0%	±4.0%	±4.6%	±4.9%	±5.0%
200	±4.2%	±5.7%	±6.5%	±6.9%	±7.1%
100	±6.0%	±8.0%	±9.2%	±9.8%	±10.0%
50	±8.5%	±11.3%	±13.0%	±13.9%	±14.1%
10	±19.0%	±25.3%	±29.0%	±31.0%	±31.6%

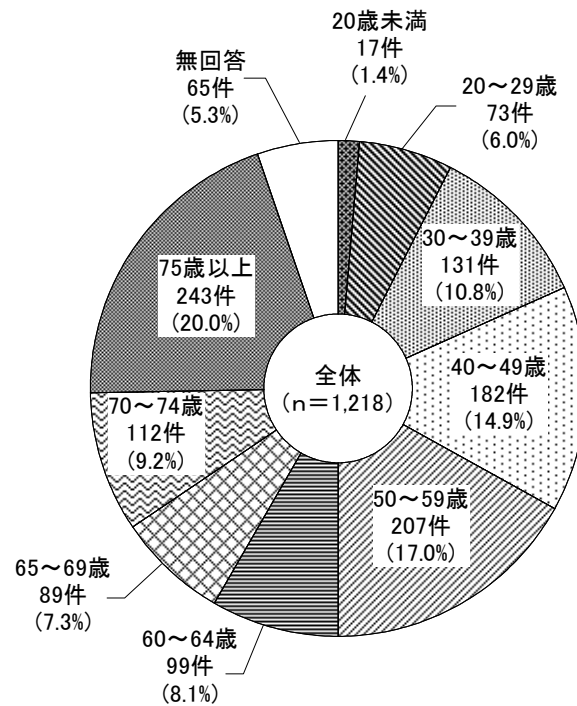
今回の実際の設問に当てはめてみると、「少子化対策の推進」に関する施策の重要度に関する設問に関して、回答者数 1,218 人のうち、52.1%の人が「重要である」と答えた。この場合の標本誤差は±2.9%となる。

したがって、この施策について「重要である」と考える 18 歳以上の市民の割合は、全体の 49.2%～55.0%の範囲にあると考えられる。

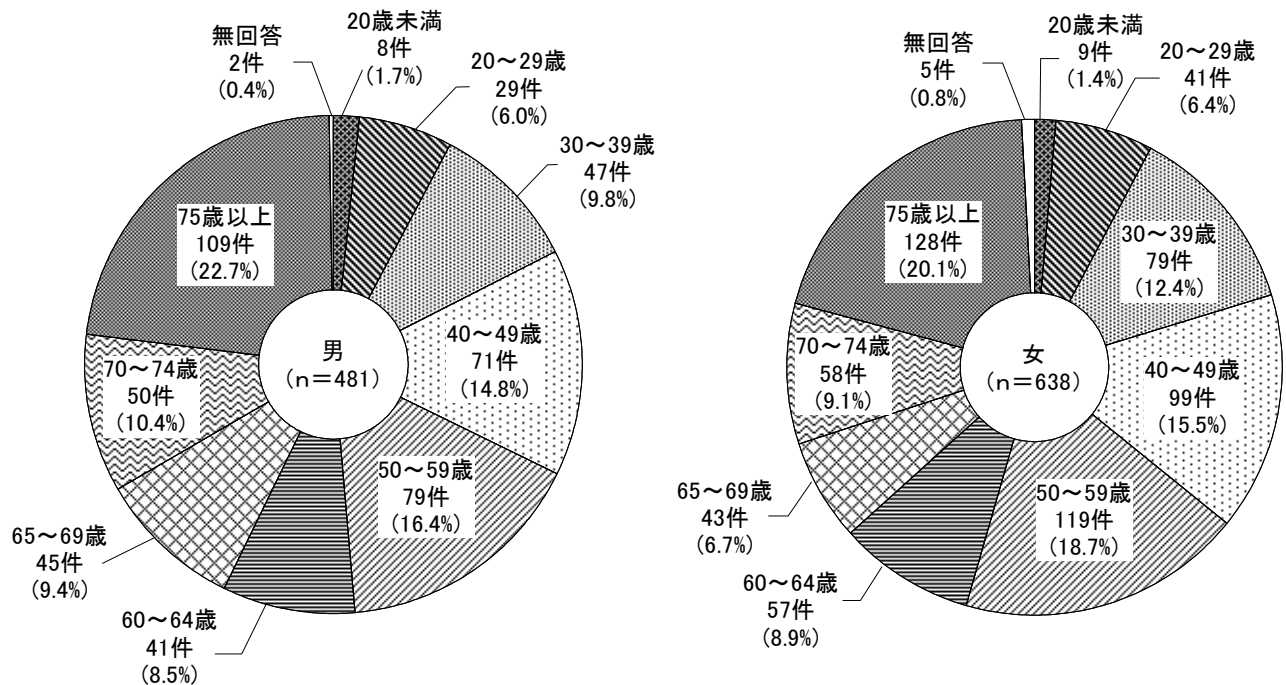
基数が少なくなると、標本誤差は大きくなるため、結果の分析にあたっては、注意を要する。

7 回答者の属性

(1) 年代の構成比

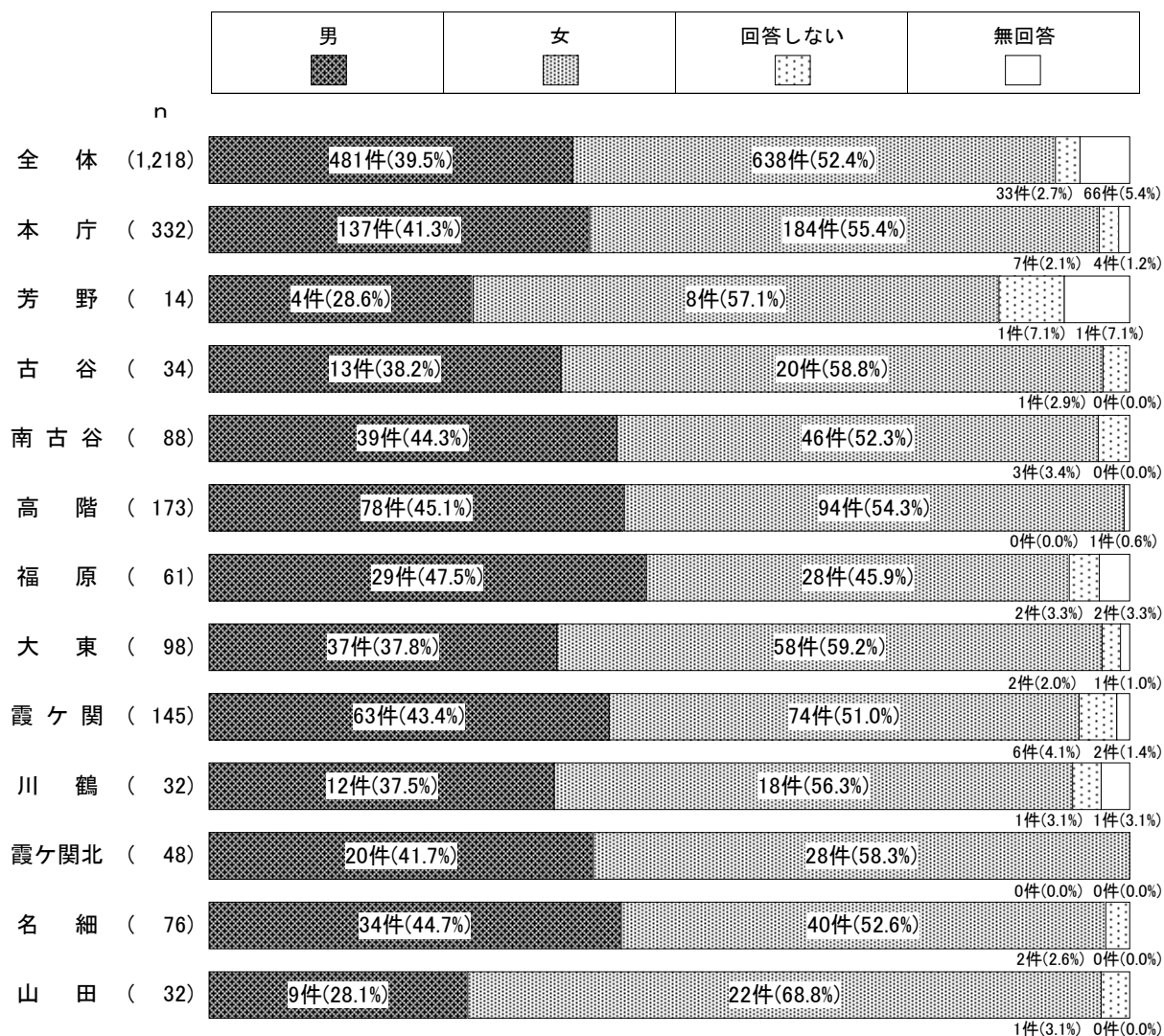


(2) 男女別に見た年代構成比



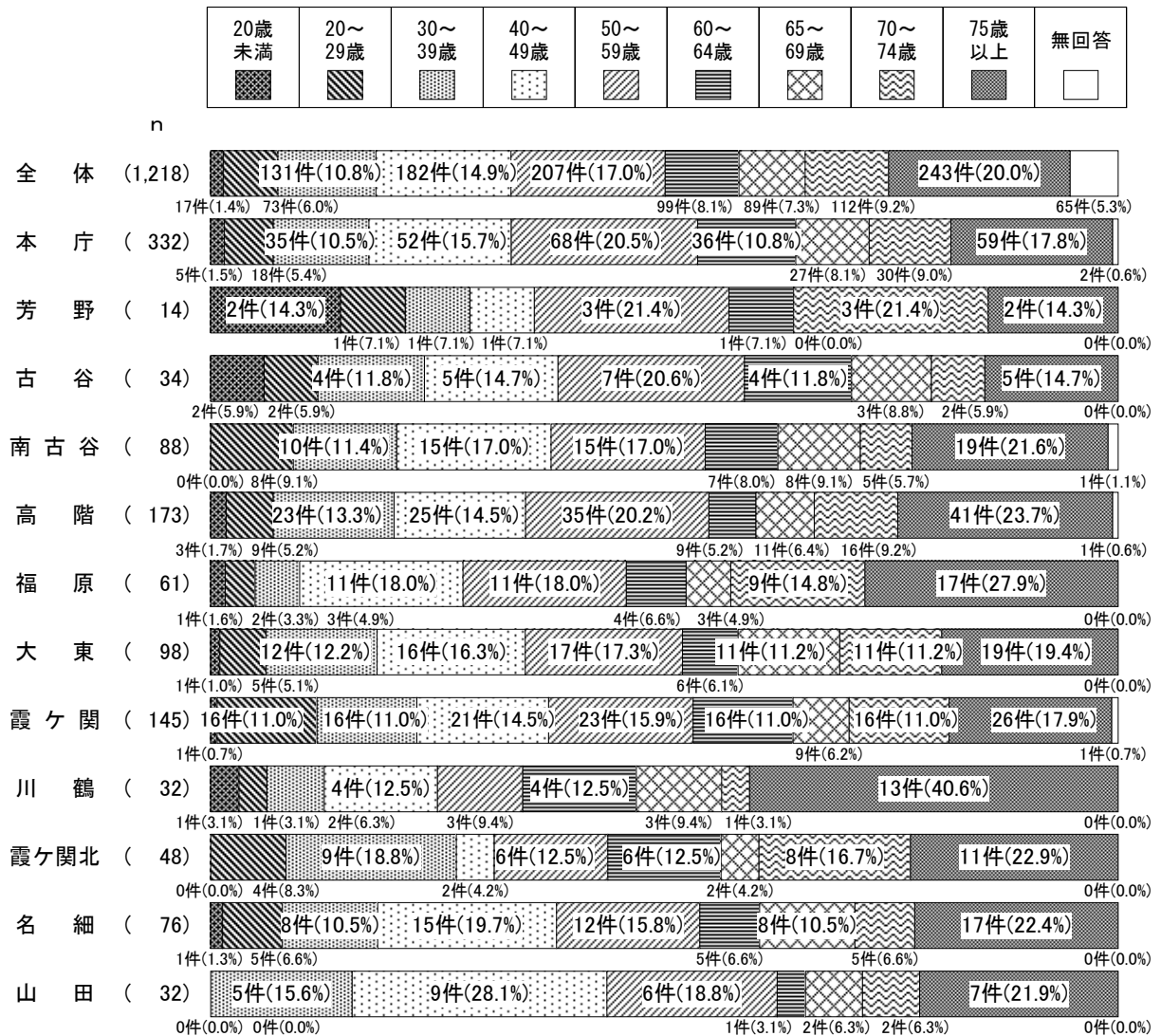
(注) 性別では66件の無回答（うち65件は年齢も無回答）と、33件の「回答しない」と答えた方がいるため、男女の合計と全体の合計は一致していない。

(3) 地区別に見た男女構成比



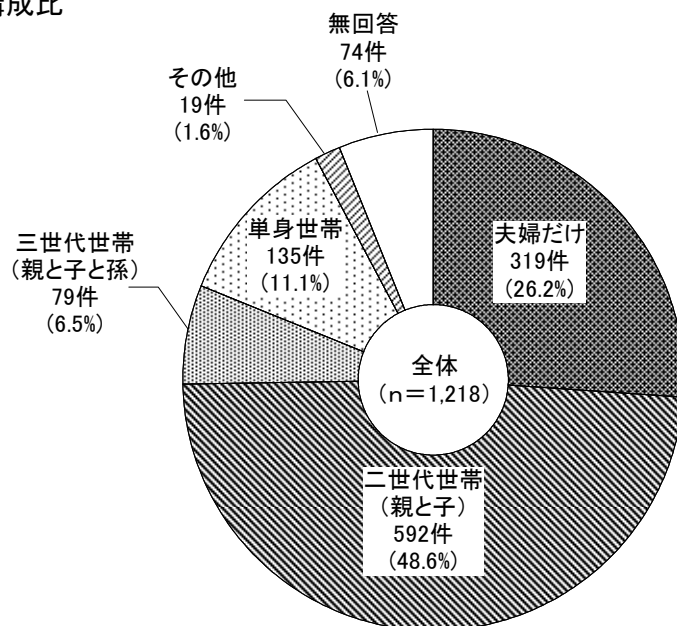
(注) 地区別では85件の無回答（うち54件は性別も無回答）があるため、地区の合計と全体の合計は一致していない。

(4) 地区別に見た年代構成比

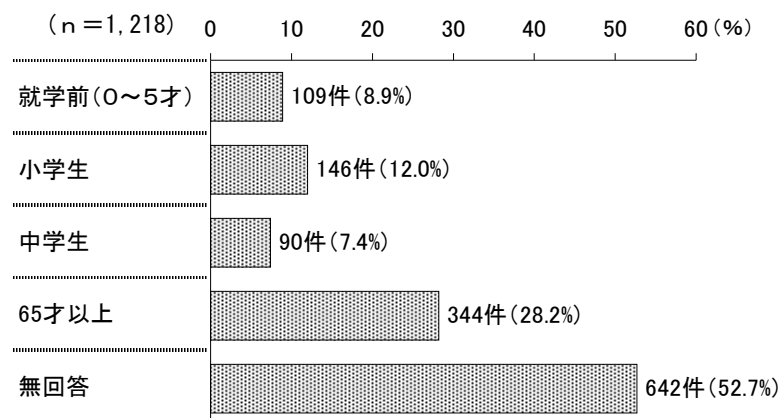


(注) 地区別では85件の無回答（うち54件は性別も無回答）があるため、地区の合計と全体の合計は一致していない。

(5) 家族構成比

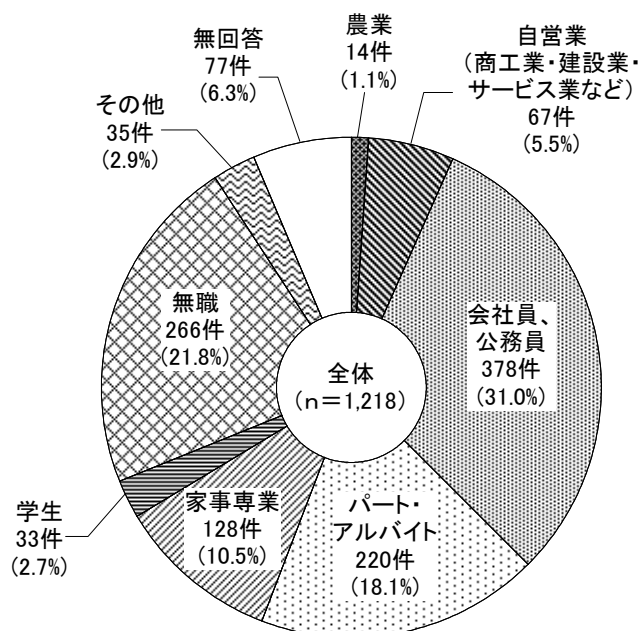


(6) 同居家族



(注) 同居家族が複数の場合もあるため、合計数とは一致しないが、nは1,218として割合を出している。

(7) 職業



Ⅱ 施策の重要度と満足度

問1では、川越市が「第四次川越市総合計画」(※)に基づき進めてきた52の施策(取り組み)について、どのくらい重要だと思うか(重要度)、また現在その取り組みの結果に満足しているか(満足度)を、施策ごとに5段階評価で調査を行った。

(※)「第四次川越市総合計画」とは

第四次川越市総合計画は、平成28年度以降の本市のまちづくりを進める指針となるもので、目指すべき都市像を描き、その実現に向けた目標や必要な方策を定めている。計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の三層で構成されており、今回の調査は、このうち基本計画に位置付けられた52の市の取り組み(施策)を対象としている。

II 施策の重要度と満足度

1 第四次川越市総合計画の施策体系

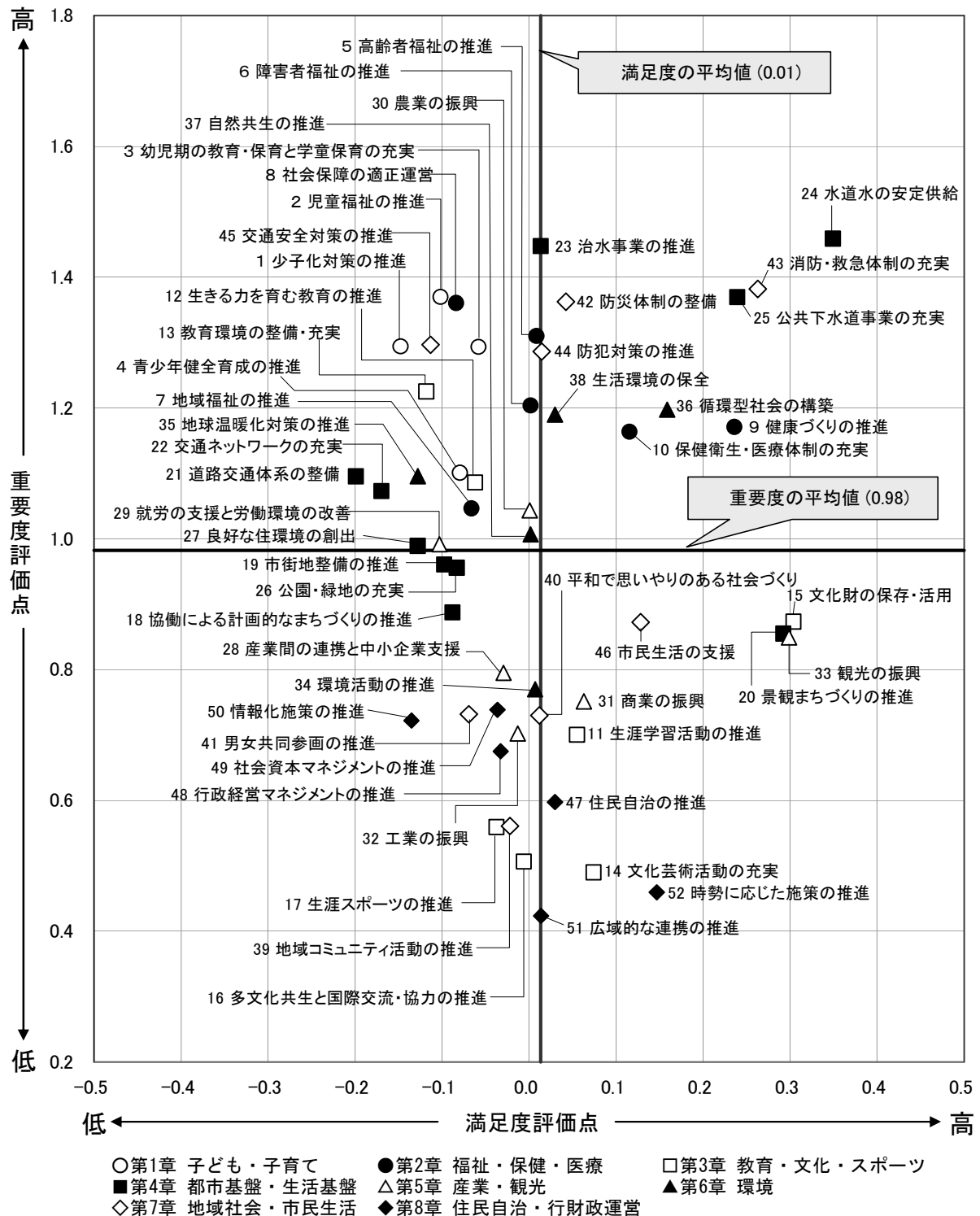
第四次川越市総合計画の施策体系は、8章・52施策となっている

章	分野	分野別の基本目標	施策名	施策No.
第1章	子ども・子育て	子どもが健やかに成長でき、子育ての楽しさを感じられるまち	少子化対策の推進	1
			児童福祉の推進	2
			幼児期の教育・保育と学童保育の充実	3
			青少年健全育成の推進	4
第2章	福祉・保健・医療	住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち	高齢者福祉の推進	5
			障害者福祉の推進	6
			地域福祉の推進	7
			社会保障の適正運営	8
			健康づくりの推進	9
			保健衛生・医療体制の充実	10
第3章	教育・文化・スポーツ	歴史と文化を感じながら学びあい、豊かな心を育むまち	生涯学習活動の推進	11
			生きる力を育む教育の推進	12
			教育環境の整備・充実	13
			文化芸術活動の充実	14
			文化財の保存・活用	15
			多文化共生と国際交流・協力の推進	16
			生涯スポーツの推進	17
第4章	都市基盤・生活基盤	安全で快適な基盤を備え、歴史や自然と調和した魅力あるまち	協働による計画的なまちづくりの推進	18
			市街地整備の推進	19
			景観まちづくりの推進	20
			道路交通体系の整備	21
			交通ネットワークの充実	22
			治水事業の推進	23
			水道水の安定供給	24
			公共下水道事業の充実	25
			公園・緑地の充実	26
			良好な住環境の創出	27
第5章	産業・観光	地域資源をいかした、にぎわいと活力にあふれるまち	産業間の連携と中小企業支援	28
			就労の支援と労働環境の改善	29
			農業の振興	30
			商業の振興	31
			工業の振興	32
			観光の振興	33
第6章	環境	地球環境にやさしい、豊かな自然とともに生きるまち	環境活動の推進	34
			地球温暖化対策の推進	35
			循環型社会の構築	36
			自然共生の推進	37
			生活環境の保全	38
第7章	地域社会・市民生活	地域で支え合う、安全で安心なまち	地域コミュニティ活動の推進	39
			平和で思いやりのある社会づくり	40
			男女共同参画の推進	41
			防災体制の整備	42
			消防・救急体制の充実	43
			防犯対策の推進	44
			交通安全対策の推進	45
			市民生活の支援	46
第8章	住民自治・行財政運営	つながりによるまちづくりと持続可能な行財政運営の推進	住民自治の推進	47
			行政経営マネジメントの推進	48
			社会資本マネジメントの推進	49
			情報化施策の推進	50
			広域的な連携の推進	51
			時勢に応じた施策の推進	52

2 施策全体

第1章4施策、第2章6施策、第3章7施策、第4章10施策、第5章6施策、第6章5施策、第7章8施策、第8章6施策の全52施策をあげ、市民にとっての「重要度」と施策の取り組みに対する「満足度」についてたずねた。

【「施策の重要度」と「現在の満足度」の評価分布図】



【「施策の重要度」・「現在の満足度」(全体)】

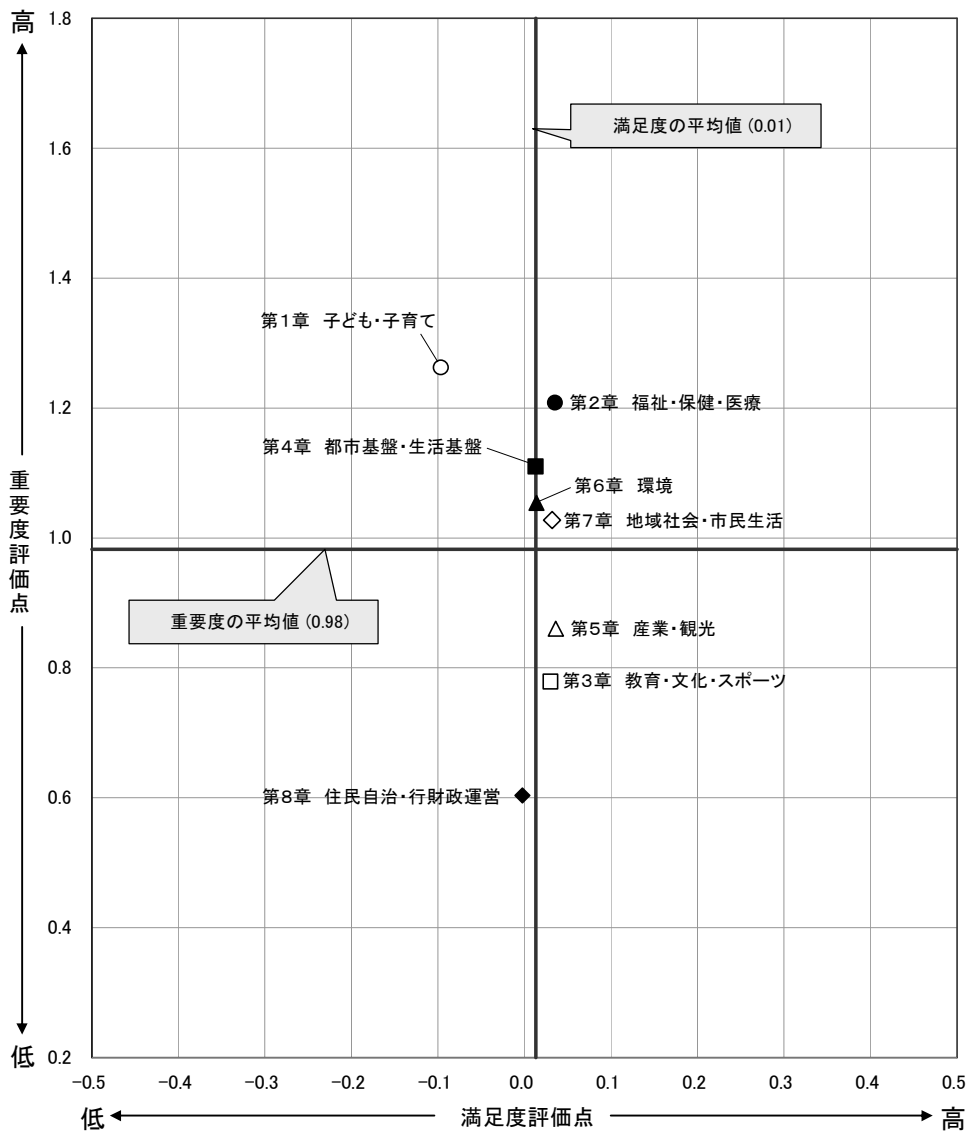
(左の数字は順位)

上位 下位

施策		評価点			
		重要度		満足度	
第1章	1 少子化対策の推進		1.29	3	-0.15
	2 児童福祉の推進	4	1.37		-0.10
	3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実		1.29		-0.06
	4 青少年健全育成の推進		1.10		-0.08
第2章	5 高齢者福祉の推進		1.31		0.01
	6 障害者福祉の推進		1.20		0.00
	7 地域福祉の推進		1.05		-0.07
	8 社会保障の適正運営		1.36		-0.08
	9 健康づくりの推進		1.17		0.24
	10 保健衛生・医療体制の充実		1.16		0.12
第3章	11 生涯学習活動の推進		0.70		0.06
	12 生きる力を育む教育の推進		1.09		-0.06
	13 教育環境の整備・充実		1.23		-0.12
	14 文化芸術活動の充実	3	0.49		0.07
	15 文化財の保存・活用		0.87	2	0.30
	16 多文化共生と国際交流・協力の推進	4	0.51		-0.01
	17 生涯スポーツの推進	5	0.56		-0.04
第4章	18 協働による計画的なまちづくりの推進		0.89		-0.09
	19 市街地整備の推進		0.96		-0.10
	20 景観まちづくりの推進		0.85	4	0.29
	21 道路交通体系の整備		1.10	1	-0.20
	22 交通ネットワークの充実		1.07	2	-0.17
	23 治水事業の推進	2	1.45		0.01
	24 水道水の安定供給	1	1.46	1	0.35
	25 公共下水道事業の充実	5	1.37		0.24
	26 公園・緑地の充実		0.96		-0.08
27 良好な住環境の創出		0.99	5	-0.13	
第5章	28 産業間の連携と中小企業支援		0.79		-0.03
	29 就労の支援と労働環境の改善		0.99		-0.10
	30 農業の振興		1.04		0.00
	31 商業の振興		0.75		0.06
	32 工業の振興		0.70		-0.01
	33 観光の振興		0.85	3	0.30
第6章	34 環境活動の推進		0.77		0.01
	35 地球温暖化対策の推進		1.10		-0.13
	36 循環型社会の構築		1.20		0.16
	37 自然共生の推進		1.01		0.00
	38 生活環境の保全		1.19		0.03
第7章	39 地域コミュニティ活動の推進		0.56		-0.02
	40 平和で思いやりのある社会づくり		0.73		0.01
	41 男女共同参画の推進		0.73		-0.07
	42 防災体制の整備		1.36		0.04
	43 消防・救急体制の充実	3	1.38	5	0.26
	44 防犯対策の推進		1.29		0.01
	45 交通安全対策の推進		1.30		-0.11
	46 市民生活の支援		0.87		0.13
第8章	47 住民自治の推進		0.60		0.03
	48 行政経営マネジメントの推進		0.68		-0.03
	49 社会資本マネジメントの推進		0.74		-0.04
	50 情報化施策の推進		0.72	4	-0.13
	51 広域的な連携の推進	1	0.42		0.01
	52 時勢に応じた施策の推進	2	0.46		0.15
全体 平均			0.98		0.01

・全体でみると、重要度、満足度ともに「24 水道水の安定供給」が最も高くなっている。

【章別「施策の重要度」と「現在の満足度」の平均評価点の分布図】



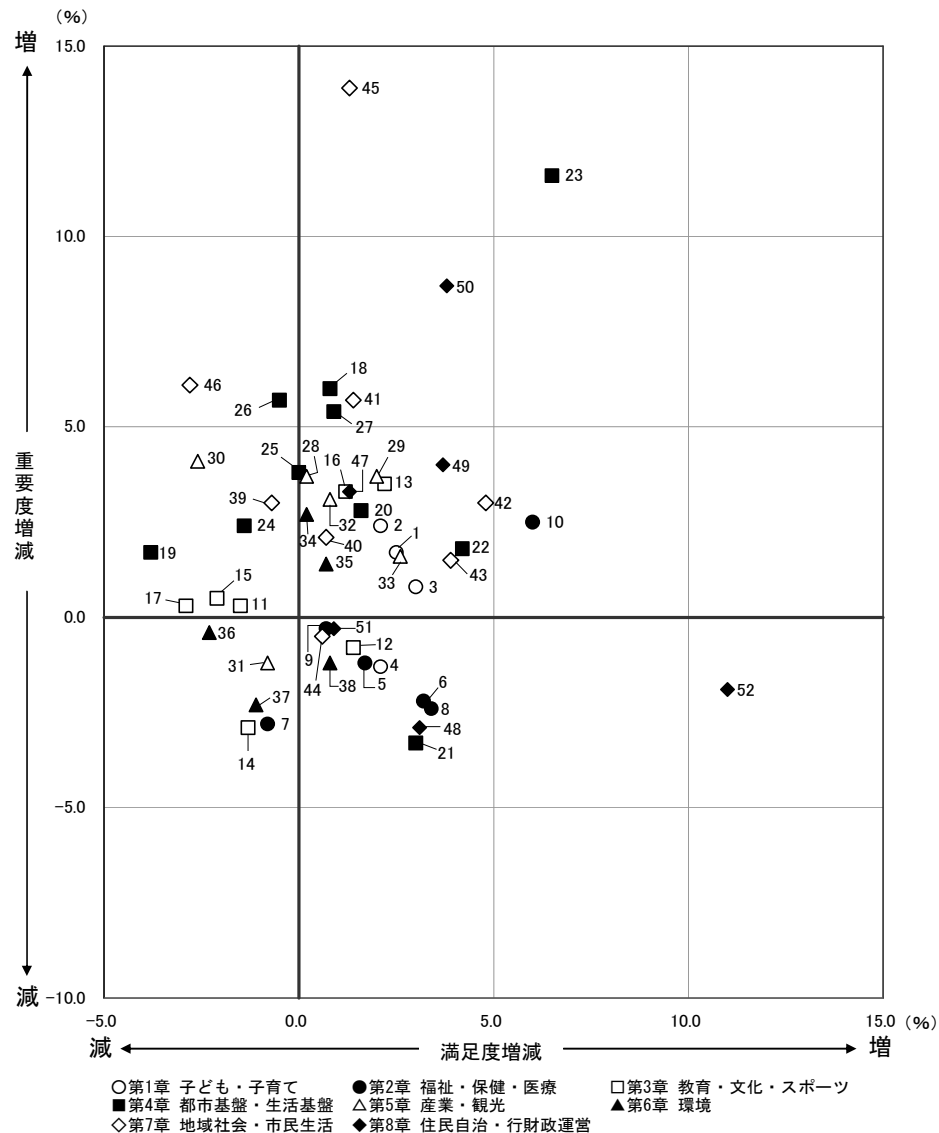
施策	評価点	
	重要度	満足度
第1章 子ども・子育て	1.26	-0.10
第2章 福祉・保健・医療	1.21	0.04
第3章 教育・文化・スポーツ	0.78	0.03
第4章 都市基盤・生活基盤	1.11	0.01
第5章 産業・観光	0.86	0.04
第6章 環境	1.05	0.01
第7章 地域社会・市民生活	1.03	0.03
第8章 住民自治・行財政運営	0.60	0.00

- ・重要度については「第1章 子ども・子育て」が評価点1.26と最も高く、「第8章 住民自治・行財政運営」が評価点0.60と最も低くなっている。
- ・満足度については、「第5章 産業・観光」が評価点0.04と最も高く、「第1章 子ども・子育て」が評価点-0.10と最も低くなっている。

【「施策の重要度」と「現在の満足度」の前回調査との増減比較】

それぞれの施策に対し、重要と感じている人及び満足と感じている人の割合について、前回調査（平成30年）の結果と比較を行った。

重要度については、回答に占める「重要である」と「まあ重要である」の合計（割合）を、満足度については、回答に占める「満足である」と「やや満足である」の合計（割合）を用いて、前回調査からの増減を表したものである。



- ・重要度については、増加が35施策、減少が17施策と増加した施策が多く、満足度については、増加が37施策、減少が14施策、増減なしが1施策となっており、増加した施策が多くなっている。
- ・重要度の増減が大きかったのは、増加では「45 交通安全対策の推進」(+13.9%)、減少では「21 道路交通体系の整備」(-3.3%)となっている。
- ・満足度の増減が大きかったのは、増加では「52 時勢に応じた施策の推進」(+11.0%)、減少では「19 市街地整備の推進」(-3.8%)となっている。

3 属性別

【性別（重要度）】

（左の数字は順位）

上位

下位

施策		評価点			
		男		女	
第1章	1 少子化対策の推進	4	1.32		1.29
	2 児童福祉の推進	3	1.35		1.40
	3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実		1.29		1.31
	4 青少年健全育成の推進		1.02		1.19
第2章	5 高齢者福祉の推進		1.21		1.40
	6 障害者福祉の推進		1.10		1.29
	7 地域福祉の推進		0.96		1.14
	8 社会保障の適正運営		1.27	5	1.45
	9 健康づくりの推進		1.07		1.27
	10 保健衛生・医療体制の充実		1.11		1.20
第3章	11 生涯学習活動の推進		0.61		0.79
	12 生きる力を育む教育の推進		0.97		1.19
	13 教育環境の整備・充実		1.14		1.30
	14 文化芸術活動の充実	1	0.38	3	0.59
	15 文化財の保存・活用		0.84		0.92
	16 多文化共生と国際交流・協力の推進	4	0.41	4	0.61
	17 生涯スポーツの推進		0.52	5	0.61
第4章	18 協働による計画的なまちづくりの推進		0.87		0.92
	19 市街地整備の推進		0.96		0.98
	20 景観まちづくりの推進		0.86		0.87
	21 道路交通体系の整備		1.04		1.15
	22 交通ネットワークの充実		0.97		1.14
	23 治水事業の推進	2	1.37	2	1.52
	24 水道水の安定供給	1	1.39	1	1.52
	25 公共下水道事業の充実	5	1.32		1.42
	26 公園・緑地の充実		0.84		1.07
	27 良好な住環境の創出		0.92		1.06
第5章	28 産業間の連携と中小企業支援		0.74		0.86
	29 就労の支援と労働環境の改善		0.90		1.09
	30 農業の振興		0.98		1.12
	31 商業の振興		0.69		0.83
	32 工業の振興		0.69		0.74
	33 観光の振興		0.88		0.87
第6章	34 環境活動の推進		0.69		0.85
	35 地球温暖化対策の推進		0.97		1.21
	36 循環型社会の構築		1.09		1.30
	37 自然共生の推進		0.94		1.08
	38 生活環境の保全		1.11		1.28
第7章	39 地域コミュニティ活動の推進	5	0.49		0.63
	40 平和で思いやりのある社会づくり		0.61		0.84
	41 男女共同参画の推進		0.63		0.85
	42 防災体制の整備		1.24	4	1.47
	43 消防・救急体制の充実		1.27	3	1.48
	44 防犯対策の推進		1.20		1.37
	45 交通安全対策の推進		1.18		1.39
	46 市民生活の支援		0.79		0.94
	47 住民自治の推進		0.54		0.65
第8章	48 行政経営マネジメントの推進		0.63		0.72
	49 社会資本マネジメントの推進		0.71		0.77
	50 情報化施策の推進		0.73		0.74
	51 広域的な連携の推進	2	0.38	1	0.45
	52 時勢に応じた施策の推進	3	0.40	2	0.55

・性別でみると、男女ともに「24 水道水の安定供給」が最も高く、男性では「14 文化芸術活動の充実」、女性では「51 広域的な連携の推進」がそれぞれ最も低くなっている。

【性別（満足度）】

（左の数字は順位）

上位

下位

施策		評価点			
		男	女		
第1章	1 少子化対策の推進	2	-0.18	-0.09	
	2 児童福祉の推進		-0.11	-0.08	
	3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実		-0.06	-0.03	
	4 青少年健全育成の推進		-0.09	-0.08	
第2章	5 高齢者福祉の推進		0.03	0.02	
	6 障害者福祉の推進		0.02	0.00	
	7 地域福祉の推進		-0.07	-0.05	
	8 社会保障の適正運営		-0.05	-0.09	
	9 健康づくりの推進		0.21	0.29	
	10 保健衛生・医療体制の充実		0.10	0.14	
第3章	11 生涯学習活動の推進		0.03	0.08	
	12 生きる力を育む教育の推進		-0.07	-0.03	
	13 教育環境の整備・充実		-0.06	3	-0.13
	14 文化芸術活動の充実		0.04		0.09
	15 文化財の保存・活用	2	0.29	3	0.34
	16 多文化共生と国際交流・協力の推進		-0.05		0.04
	17 生涯スポーツの推進		-0.04		-0.02
第4章	18 協働による計画的なまちづくりの推進		-0.11		-0.04
	19 市街地整備の推進	4	-0.16		-0.04
	20 景観まちづくりの推進		0.22	2	0.37
	21 道路交通体系の整備	1	-0.25	2	-0.15
	22 交通ネットワークの充実	5	-0.16	1	-0.17
	23 治水事業の推進		0.04		0.04
	24 水道水の安定供給	1	0.34	1	0.38
	25 公共下水道事業の充実	5	0.23		0.26
	26 公園・緑地の充実		-0.03	4	-0.11
	27 良好な住環境の創出		-0.16	5	-0.10
第5章	28 産業間の連携と中小企業支援		-0.07		0.01
	29 就労の支援と労働環境の改善		-0.14		-0.06
	30 農業の振興		-0.04		0.04
	31 商業の振興		0.02		0.10
	32 工業の振興		-0.06		0.03
	33 観光の振興	3	0.28	4	0.33
第6章	34 環境活動の推進		-0.02		0.04
	35 地球温暖化対策の推進		-0.15		-0.09
	36 循環型社会の構築		0.13		0.20
	37 自然共生の推進		-0.06		0.06
	38 生活環境の保全		0.03		0.06
第7章	39 地域コミュニティ活動の推進		-0.02		-0.01
	40 平和で思いやりのある社会づくり		-0.01		0.04
	41 男女共同参画の推進		-0.05		-0.08
	42 防災体制の整備		0.02		0.08
	43 消防・救急体制の充実	4	0.28	5	0.29
	44 防犯対策の推進		-0.02		0.07
	45 交通安全対策の推進		-0.14		-0.09
	46 市民生活の支援		0.09		0.16
第8章	47 住民自治の推進		0.00		0.05
	48 行政経営マネジメントの推進		-0.05		-0.01
	49 社会資本マネジメントの推進		-0.08		0.00
	50 情報化施策の推進	3	-0.17		-0.09
	51 広域的な連携の推進		0.00		0.03
	52 時勢に応じた施策の推進		0.10		0.19

- ・性別でみると、男女ともに「24 水道水の安定供給」が最も高く、男性では「21 道路交通体系の整備」、女性では「22 交通ネットワークの充実」がそれぞれ最も低くなっている。

【年代別（重要度）】

(左の数字は順位)

■ 上位 ■ 下位

施策		評価点																	
		20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上									
第1章	1 少子化対策の推進	3	1.24	3	1.34	3	1.55	3	1.36	5	1.27	3	1.38	5	1.19	3	1.26	3	1.15
	2 児童福祉の推進		1.18	3	1.52	1	1.62	3	1.42		1.35		1.43		1.26		1.32		1.19
	3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実		1.12		1.44	2	1.62	4	1.39		1.19		1.43		1.16		1.21		1.13
	4 青少年健全育成の推進		0.65		1.16		1.30		1.14		1.00		1.15		1.08		1.16		1.07
第2章	5 高齢者福祉の推進		0.71		1.05		1.13		1.23	3	1.42	2	1.54	4	1.36	4	1.34		1.36
	6 障害者福祉の推進		0.71		1.22		1.17		1.14		1.32		1.37		1.18		1.22		1.12
	7 地域福祉の推進		0.41		1.03		0.89		1.01		1.10		1.21		1.09		1.13		1.09
	8 社会保障の適正運営		1.06		1.36		1.28		1.30	1	1.47	4	1.47	3	1.45	3	1.37		1.32
	9 健康づくりの推進		1.00		1.25		1.21		1.21		1.21		1.18		1.09		1.23		1.07
	10 保健衛生・医療体制の充実		1.06		1.34		1.08		1.12		1.21		1.22		1.03		1.24		1.11
第3章	11 生涯学習活動の推進		0.76		1.07		0.80		0.62		0.69		0.65		0.65		0.70	5	0.65
	12 生きる力を育む教育の推進		1.00		1.40		1.18		1.13		1.06		1.05		1.05		0.98		1.04
	13 教育環境の整備・充実		1.12	4	1.48		1.36		1.28		1.19		1.34		1.11		1.17		1.12
	14 文化芸術活動の充実		0.53	5	0.64		0.50	2	0.29	3	0.48	4	0.50	5	0.55	3	0.58	1	0.53
	15 文化財の保存・活用		0.71		0.92		0.88		0.73		0.93		0.86		0.93		0.93		0.91
	16 多文化共生と国際交流・協力の推進	3	0.18	2	0.49	3	0.33	5	0.41	4	0.49	5	0.59		0.67	1	0.52	3	0.63
	17 生涯スポーツの推進		0.59		0.73		0.47		0.44	4	0.49	1	0.44		0.66		0.68		0.67
第4章	18 協働による計画的なまちづくりの推進		0.76		0.85		0.90		0.86		0.90		0.96		0.87		0.84		0.91
	19 市街地整備の推進		0.82		0.92		0.91		0.87		1.00		1.01		0.93		0.97		1.07
	20 景観まちづくりの推進		0.71		0.97		0.91		0.83		0.82		0.97		0.84		0.91		0.83
	21 道路交通体系の整備		0.82		1.26		1.06		1.04		1.06		1.21		1.10		1.05		1.15
	22 交通ネットワークの充実		0.94		1.25		1.00		1.08		1.12		1.22		0.95		0.97		1.03
	23 治水事業の推進		1.12		1.32	4	1.38	2	1.46	2	1.43	1	1.60	1	1.50	2	1.45	3	1.49
	24 水道水の安定供給	2	1.29	1	1.56	4	1.38	1	1.47	4	1.42	3	1.51	2	1.48	1	1.46	1	1.52
	25 公共下水道事業の充実	3	1.24	2	1.52		1.29		1.34		1.35	4	1.47	5	1.29	5	1.33	4	1.43
	26 公園・緑地の充実		0.88		1.07		1.14		0.94		0.85		0.92		0.86		0.96		1.00
	27 良好な住環境の創出		1.12		1.03		0.98		1.01		0.93		1.03		0.94		0.98		1.03
第5章	28 産業間の連携と中小企業支援		0.59		0.82		0.74		0.73		0.85		0.83		0.70		0.78		0.87
	29 就労の支援と労働環境の改善		0.76		1.08		0.95		1.03		1.04		1.02		0.88		0.94		1.00
	30 農業の振興		0.71		1.05		0.94		1.00		1.02		1.24		0.94		1.10		1.13
	31 商業の振興		0.82		0.93		0.74		0.78		0.80		0.73		0.62		0.70		0.77
	32 工業の振興		0.47		0.75		0.59		0.64		0.71		0.68		0.65		0.74		0.84
	33 観光の振興		0.76		1.23		0.84		0.83		0.84		0.87		0.80		0.75		0.90
第6章	34 環境活動の推進		0.53		0.81		0.64		0.61		0.75		0.87		0.77		0.91		0.91
	35 地球温暖化対策の推進		0.82		0.96		0.89		0.97		1.11		1.30		1.11		1.25		1.21
	36 循環型社会の構築		1.00		1.19		1.08		1.06		1.20		1.37		1.20		1.23		1.32
	37 自然共生の推進		0.71		1.14		0.99		0.99		0.98		1.11		0.94		1.04		1.02
	38 生活環境の保全		0.76		1.27		1.21		1.12		1.16		1.37		1.11		1.21		1.24
第7章	39 地域コミュニティ活動の推進	5	0.24	4	0.55	2	0.31	4	0.35		0.56	5	0.59		0.61		0.70		0.80
	40 平和で思いやりのある社会づくり		0.41		0.86		0.48		0.60		0.79		0.77		0.62		0.88		0.86
	41 男女共同参画の推進		0.47		1.11		0.77		0.69		0.67		0.81		0.66	5	0.65		0.77
	42 防災体制の整備	1	1.35		1.38		1.36		1.32	5	1.39		1.41		1.22	5	1.33	5	1.42
	43 消防・救急体制の充実	3	1.24		1.40		1.30		1.38		1.39		1.40		1.28		1.32	2	1.50
	44 防犯対策の推進		0.65		1.42		1.23		1.35		1.27		1.33		1.27		1.29		1.29
	45 交通安全対策の推進		1.06	5	1.47		1.30	5	1.39		1.20		1.22		1.26		1.26		1.35
	46 市民生活の支援	3	0.18		0.89		0.71		0.76		0.91		0.92		0.88		0.96		1.03
第8章	47 住民自治の推進		0.29		0.74	5	0.47		0.41		0.62		0.65	4	0.52		0.71		0.75
	48 行政経営マネジメントの推進		0.35		0.82		0.56		0.54		0.67		0.70		0.61		0.86		0.72
	49 社会資本マネジメントの推進		0.35		0.74		0.63		0.62		0.77		0.83		0.63		0.90		0.82
	50 情報化施策の推進		0.82		0.97		0.75		0.78		0.73		0.84	3	0.51		0.68	4	0.64
	51 広域的な連携の推進	1	0.12	3	0.51	1	0.27	1	0.21	1	0.41	3	0.47	1	0.36	4	0.60	2	0.59
	52 時勢に応じた施策の推進	1	0.12	1	0.47	4	0.40	3	0.30	2	0.45	2	0.46	2	0.45	2	0.57		0.67

- ・年代別でみると、「23 治水事業の推進」と「24 水道水の安定供給」は、多くの年代で重要度が高くなっている。
- ・「16 多文化共生と国際交流・協力の推進」、「51 広域的な連携の推進」、「52 時勢に応じた施策の推進」は、多くの年代で重要度が低くなっている。

【年代別（満足度）】

(左の数字は順位)

■ 上位 ■ 下位

施策		評価点									
		20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	
第1章	1 少子化対策の推進	0.24	-0.11	2 -0.31	1 -0.28	3 -0.16	-0.22	-0.15	-0.11	0.07	
	2 児童福祉の推進	0.18	-0.10	3 -0.27	4 -0.19	-0.11	-0.20	-0.15	-0.04	0.09	
	3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実	4 0.53	0.00	-0.22	-0.06	-0.05	-0.19	-0.10	-0.08	0.11	
	4 青少年健全育成の推進	0.06	0.08	-0.15	-0.11	5 -0.15	5 -0.28	-0.15	0.05	0.04	
第2章	5 高齢者福祉の推進	0.24	0.06	0.10	0.03	-0.01	-0.22	3 -0.25	0.00	0.18	
	6 障害者福祉の推進	0.12	-0.01	0.06	0.04	0.05	-0.20	4 -0.24	0.05	0.09	
	7 地域福祉の推進	0.29	0.06	0.07	-0.08	-0.10	-0.23	-0.23	1 -0.20	0.04	
	8 社会保障の適正運営	4 -0.18	0.03	-0.09	-0.15	-0.06	-0.18	1 -0.35	-0.05	0.06	
	9 健康づくりの推進	0.29	0.21	0.13	0.24	0.15	1 0.20	2 0.19	2 0.28	3 0.45	
	10 保健衛生・医療体制の充実	0.06	0.18	0.10	0.14	0.06	0.00	0.02	0.13	0.24	
第3章	11 生涯学習活動の推進	0.18	0.07	0.01	0.07	-0.04	0.00	0.00	0.06	0.21	
	12 生きる力を育む教育の推進	-0.12	0.01	-0.09	-0.17	-0.11	-0.10	-0.14	-0.08	0.18	
	13 教育環境の整備・充実	2 -0.24	4 -0.17	5 -0.24	2 -0.26	-0.09	4 -0.29	-0.10	0.03	0.11	
	14 文化芸術活動の充実	0.00	0.11	0.01	0.19	0.02	-0.09	0.11	-0.03	0.16	
	15 文化財の保存・活用	1 0.76	3 0.47	3 0.28	1 0.44	4 0.25	5 0.08	0.13	5 0.24	4 0.42	
	16 多文化共生と国際交流・協力の推進	0.12	0.00	-0.02	-0.07	-0.05	-0.01	-0.02	-0.03	0.09	
	17 生涯スポーツの推進	0.12	0.12	-0.09	-0.07	-0.09	-0.03	-0.14	-0.08	0.09	
第4章	18 協働による計画的なまちづくりの推進	0.06	0.18	-0.09	-0.08	-0.06	3 -0.36	-0.21	-0.11	5 0.03	
	19 市街地整備の推進	1 -0.47	0.00	-0.16	-0.16	-0.09	-0.27	5 -0.23	-0.01	0.08	
	20 景観まちづくりの推進	0.41	1 0.54	2 0.35	3 0.38	1 0.36	0.05	0.07	0.20	0.31	
	21 道路交通体系の整備	0.12	1 -0.25	-0.17	-0.16	1 -0.18	1 -0.46	2 -0.28	-0.14	1 -0.13	
	22 交通ネットワークの充実	0.12	3 -0.19	-0.11	-0.04	2 -0.18	2 -0.46	-0.17	-0.17	2 -0.13	
	23 治水事業の推進	0.12	0.10	-0.06	-0.07	0.02	-0.21	-0.05	0.06	0.29	
	24 水道水の安定供給	0.35	2 0.49	4 0.26	2 0.39	2 0.30	4 0.10	1 0.20	1 0.36	2 0.55	
	25 公共下水道事業の充実	0.47	4 0.38	5 0.22	5 0.29	5 0.23	-0.03	0.05	3 0.26	0.36	
	26 公園・緑地の充実	0.00	-0.11	-0.23	-0.08	-0.09	-0.15	-0.16	5 -0.18	0.13	
	27 良好な住環境の創出	2 -0.24	0.13	-0.11	-0.14	-0.12	-0.26	-0.21	-0.17	3 -0.08	
第5章	28 産業間の連携と中小企業支援	0.12	0.04	-0.02	-0.01	-0.06	-0.13	-0.06	-0.08	0.04	
	29 就労の支援と労働環境の改善	-0.06	-0.03	-0.12	-0.11	-0.14	-0.24	-0.17	2 -0.19	0.05	
	30 農業の振興	0.24	0.17	0.03	0.05	-0.08	-0.09	-0.15	-0.10	0.11	
	31 商業の振興	0.18	0.13	0.16	0.08	0.01	-0.10	-0.06	0.02	0.16	
	32 工業の振興	0.12	0.01	-0.04	0.03	-0.03	-0.10	-0.09	-0.03	0.08	
	33 観光の振興	2 0.65	5 0.32	1 0.39	4 0.35	3 0.27	3 0.12	5 0.15	0.23	0.39	
第6章	34 環境活動の推進	0.18	-0.01	0.00	0.01	0.00	-0.08	-0.06	-0.07	0.11	
	35 地球温暖化対策の推進	-0.06	-0.07	-0.19	-0.10	3 -0.16	-0.18	-0.17	4 -0.18	4 0.00	
	36 循環型社会の構築	0.24	0.08	0.09	0.13	0.08	0.05	0.06	0.21	5 0.41	
	37 自然共生の推進	0.18	0.01	0.02	0.07	-0.02	-0.02	-0.07	-0.06	0.04	
	38 生活環境の保全	0.06	0.05	-0.03	0.01	0.03	-0.10	0.01	0.09	0.14	
	第7章	39 地域コミュニティ活動の推進	0.18	0.00	0.01	-0.10	-0.07	-0.10	-0.08	-0.08	0.12
40 平和で思いやりのある社会づくり		0.29	-0.07	0.08	0.02	-0.04	-0.02	-0.09	-0.10	0.14	
41 男女共同参画の推進		0.00	-0.10	-0.13	-0.09	-0.06	-0.13	-0.11	-0.14	0.06	
42 防災体制の整備		4 0.53	0.05	-0.02	0.08	-0.02	-0.19	-0.02	0.06	0.21	
43 消防・救急体制の充実		0.35	0.30	0.17	0.22	0.18	2 0.15	4 0.16	4 0.25	1 0.56	
44 防犯対策の推進		0.35	-0.01	-0.13	0.05	0.00	-0.18	-0.09	0.02	0.23	
45 交通安全対策の推進		0.18	2 -0.23	1 -0.36	3 -0.22	-0.13	-0.25	-0.15	-0.04	0.18	
46 市民生活の支援		0.24	0.07	0.08	0.01	0.17	0.06	0.02	0.16	0.29	
第8章	47 住民自治の推進	0.12	0.01	-0.04	0.03	-0.03	-0.08	-0.01	-0.03	0.21	
	48 行政経営マネジメントの推進	0.06	-0.03	-0.10	-0.10	-0.03	-0.13	-0.06	-0.03	0.08	
	49 社会資本マネジメントの推進	0.18	0.04	-0.02	-0.05	-0.10	-0.07	-0.05	-0.10	0.04	
	50 情報化施策の推進	4 -0.18	5 -0.14	4 -0.25	5 -0.19	-0.12	-0.23	-0.14	3 -0.18	0.04	
	51 広域的な連携の推進	0.12	0.03	-0.06	-0.02	0.02	-0.08	-0.05	-0.04	0.16	
	52 時勢に応じた施策の推進	2 0.65	0.11	0.08	0.18	0.15	0.04	3 0.19	0.07	0.23	

- ・年代別でみると、「15 文化財の保存・活用」、「24 水道水の安定供給」、「33 観光の振興」は、多くの年代で満足度が高くなっている。
- ・「13 教育環境の整備・充実」、「21 道路交通体系の整備」、「50 情報化施策の推進」は、多くの年代で満足度が低くなっている。

【地区別（重要度）】

(左の数字は順位)
 上位 下位

施策		評価点																							
		本庁	芳野	古谷	南古谷	高階	福原	大東	霞ヶ関	川鶴	霞ヶ関北	名細	山田												
第1章	1 少子化対策の推進	1.32	3	1.38	1.18	1.23	1.28	1.16	1.33	1.26	3	1.45	2	1.57	1.31	1.22									
	2 児童福祉の推進	1.38	1.31	1.39	5	1.31	2	1.38	1.22	1.48	5	1.34	4	1.42	4	1.55	1.29	1.19							
	3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実	1.33	1.15	1.30	1.19	1.30	1.09	1.34	1.28	1.35	2	1.57	1.24	1.16											
	4 青少年健全育成の推進	1.09	1.08	1.27	1.12	1.09	0.81	1.14	1.17	1.03	1.32	1.13	1.13												
第2章	5 高齢者福祉の推進	1.33	1	1.43	1.24	1.23	1.29	1.18	1.40	1.25	5	1.38	1.48	1.32	1.32										
	6 障害者福祉の推進	1.26	1.21	1.09	1.16	1.18	1.07	1.29	1.17	1.19	1.31	1.09	1.19												
	7 地域福祉の推進	1.10	0.86	1.12	1.01	1.05	0.87	1.08	1.06	0.94	1.23	0.95	1.03												
	8 社会保障の適正運営	3	1.40	4	1.36	5	1.45	4	1.34	1.32	1.20	1.40	3	1.41	1.28	1.33	5	1.38							
	9 健康づくりの推進	1.15	1.00	1.29	1.01	1.17	0.98	1.32	1.33	0.84	1.21	1.17	1.16												
	10 保健衛生・医療体制の充実	1.18	1.29	1.18	1.02	1.15	1.15	1.25	1.21	0.91	1.15	1.18	1.09												
第3章	11 生涯学習活動の推進	0.75	0.64	0.56	0.73	0.71	4	0.46	0.69	0.73	0.48	0.72	0.71	0.81											
	12 生きる力を育む教育の推進	1.15	1.08	1.10	1.00	1.05	0.78	1.21	1.17	1.03	1.09	1.14	1.03												
	13 教育環境の整備・充実	1.23	1.07	1.34	1.14	1.29	1.00	1.39	1.24	1.13	1.17	1.30	1.26												
	14 文化芸術活動の充実	4	0.55	3	0.50	4	0.47	3	0.43	0.59	1	0.37	4	0.60	3	0.46	1	0.38							
	15 文化財の保存・活用	1.00	0.79	0.85	0.87	0.86	0.87	0.95	0.78	0.56	0.65	0.84	1.03												
	16 多文化共生と国際交流・協力の推進	2	0.48	0.71	0.55	4	0.46	5	0.57	0.56	5	0.65	2	0.44	4	0.42	1	0.35	0.60	0.59					
	17 生涯スポーツの推進	3	0.53	0.71	0.73	0.52	0.60	2	0.41	0.74	0.61	3	0.26	0.52	0.63	4	0.48								
第4章	18 協働による計画的なまちづくりの推進	0.94	0.71	1.09	0.94	0.93	0.75	0.96	0.89	0.61	0.85	0.80	0.62												
	19 市街地整備の推進	0.97	1.07	1.33	1.24	1.24	0.93	0.95	0.73	0.50	1.00	0.72	0.87												
	20 景観まちづくりの推進	1.04	0.79	0.91	0.58	0.92	0.88	0.88	0.75	0.57	0.89	0.87	0.63												
	21 道路交通体系の整備	1.15	0.86	4	1.48	0.94	1.11	1.13	1.23	1.02	0.90	1.04	1.09	1.20											
	22 交通ネットワークの充実	1.07	1.14	1.21	1.00	1.03	1.02	1.21	1.08	0.97	1.17	0.97	1.13												
	23 治水事業の推進	2	1.42	4	1.36	1	1.68	1	1.55	1	1.45	1	1.39	1	1.59	2	1.41	1.25	1.38	1	1.51	2	1.48		
	24 水道水の安定供給	1	1.46	1.29	2	1.62	2	1.46	3	1.37	3	1.38	2	1.57	1	1.49	1	1.53	1	1.60	2	1.41	1	1.52	
	25 公共下水道事業の充実	1.37	1.07	3	1.59	1.27	1.32	1.31	5	1.48	4	1.37	2	1.47	5	1.49	1.33	3	1.41						
	26 公園・緑地の充実	1.01	0.86	1.06	0.86	1.04	0.79	0.98	0.92	0.90	1.13	0.84	0.83												
	27 良好な住環境の創出	1.02	0.86	1.09	0.82	0.97	0.93	0.99	1.04	1.00	1.09	1.00	0.90												
第5章	28 産業界の連携と中小企業支援	0.85	0.86	1.00	0.63	0.80	0.85	0.95	0.71	0.73	0.79	0.75	0.65												
	29 就労の支援と労働環境の改善	0.98	0.79	0.91	0.98	1.04	0.90	1.15	1.03	0.88	0.88	1.04	0.94												
	30 農業の振興	1.06	1.07	1.18	0.95	1.10	1.02	1.10	1.05	0.87	1.08	0.97	1.10												
	31 商業の振興	0.85	4	0.57	0.79	0.69	0.84	0.70	0.82	0.69	0.55	0.90	0.65	0.60											
	32 工業の振興	0.73	0.64	0.75	0.71	0.72	0.82	0.84	0.65	0.68	0.52	0.64	0.62												
	33 観光の振興	0.96	4	0.57	0.76	0.76	0.92	0.85	1.01	0.83	0.68	0.88	0.72	0.69											
第6章	34 環境活動の推進	0.83	0.86	0.79	0.68	0.73	0.85	0.87	0.69	0.67	0.96	0.73	0.55												
	35 地球温暖化対策の推進	1.10	1.15	1.29	1.11	1.04	1.13	1.10	1.09	0.97	1.26	1.19	0.94												
	36 循環型社会の構築	1.21	1.07	1.24	1.17	1.16	1.13	1.29	1.24	1.25	1.26	1.23	1.06												
	37 自然共生の推進	1.02	1.07	0.97	0.92	1.04	0.95	1.08	1.06	0.97	1.13	0.95	0.81												
38 生活環境の保全	1.22	1.29	1.32	1.07	1.20	1.15	1.37	1.21	0.84	1.26	1.12	1.13													
第7章	39 地域コミュニティ活動の推進	0.61	1	0.43	0.58	0.55	3	0.53	5	0.48	3	0.59	5	0.56	0.55	5	0.51	0.61	3	0.42					
	40 平和で思いやりのある社会づくり	0.77	0.86	0.64	0.67	0.68	0.77	0.89	0.76	0.67	0.60	0.70	4	0.48											
	41 男女共同参画の推進	0.75	0.64	5	0.53	0.63	0.82	0.72	0.87	0.69	0.71	0.74	0.81	0.61											
	42 防災体制の整備	5	1.39	1	1.43	1.41	1.31	5	1.36	1	1.39	4	1.49	1.25	1.26	1.32	2	1.41	1.29						
	43 消防・救急体制の充実	4	1.40	4	1.36	1.44	3	1.37	3	1.37	4	1.36	3	1.54	1.33	1.32	1.28	4	1.37	4	1.41				
	44 防犯対策の推進	1.32	0.93	1.24	1.22	1.28	5	1.35	1.45	1.27	1.10	1.29	5	1.36	1.13										
	45 交通安全対策の推進	1.29	1.29	1.41	1.20	5	1.36	1.25	1.44	1.26	1.16	1.21	1.34	1.32											
	46 市民生活の支援	0.88	0.79	1.00	0.73	0.81	0.92	0.99	0.92	0.87	0.96	0.87	0.87												
第8章	47 住民自治の推進	0.67	0.64	2	0.39	5	0.51	4	0.55	0.57	0.67	0.62	0.62	0.58	0.63	0.52									
	48 行政経営マネジメントの推進	0.81	4	0.57	0.67	5	0.51	0.63	0.70	0.70	0.66	0.52	0.52	4	0.53	0.66									
	49 社会資本マネジメントの推進	0.84	0.71	1.03	5	0.51	0.72	0.82	0.75	0.72	0.83	0.64	0.61	0.69											
	50 情報化施策の推進	0.87	4	0.57	0.97	0.53	0.71	0.77	0.75	0.61	0.59	0.81	5	0.55	0.73										
	51 広域的な連携の推進	1	0.45	1	0.43	1	0.33	1	0.29	1	0.42	3	0.43	1	0.44	4	0.46	5	0.48	3	0.46	1	0.41	2	0.39
	52 時勢に応じた施策の推進	5	0.57	0.77	2	0.39	2	0.37	2	0.43	0.52	2	0.58	1	0.43	1	0.13	4	0.49	1	0.41	0.50			

- ・地区別で見ると、「23 治水事業の推進」と「24 水道水の安定供給」は、多くの地区で重要度が高くなっている。
- ・「14 文化芸術活動の充実」、「51 広域的な連携の推進」、「52 時勢に応じた施策の推進」は、多くの地区で重要度が低くなっている。

【地区別（満足度）】

(左の数字は順位)
 上位 下位

施策		評価点																						
		本庁	芳野	古谷	南古谷	高階	福原	大東	震ヶ関	川鶴	震ヶ関北	名細	山田											
第1章	1 少子化対策の推進	3	-0.13	1	0.77	-0.15	-0.06	-0.16	1	-0.21	-0.05	2	-0.28	-0.16	1	-0.28	-0.20	0.03						
	2 児童福祉の推進		-0.08		0.46	-0.06	-0.02	-0.10		-0.07		0.02	5	-0.27	3	-0.29	3	-0.24	-0.23	5	0.27			
	3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実		-0.03	2	0.69	0.09	-0.01	-0.01		-0.09		0.07	3	-0.27		0.03	-0.02		-0.16		0.10			
	4 青少年健全育成の推進		-0.10		0.31	-0.21	0.01	-0.04		0.05	-0.01	-0.18	3	-0.29		-0.07	4	-0.27			0.03			
第2章	5 高齢者福祉の推進		0.05		0.38	-0.09	-0.06	0.06		0.07	0.08	-0.07	1	-0.35		0.04		-0.13	5	0.27				
	6 障害者福祉の推進		0.04		0.23	0.00	-0.08	0.01		-0.03	0.14	-0.08	5	-0.20		0.13		-0.17	3	0.30				
	7 地域福祉の推進		-0.07		0.14	-0.03	-0.16	-0.04		0.00	0.05	-0.13		-0.19		-0.02	4	-0.27		0.13				
	8 社会保障の適正運営		-0.09		0.50	-0.27	-0.10	-0.01		-0.10	-0.05	-0.10	2	-0.32		-0.04	3	-0.28		0.10				
	9 健康づくりの推進		0.26		0.50	0.09	0.09	3	0.28		0.30	4	0.33	5	0.26	2	0.26		0.13		0.17	0.26		
	10 保健衛生・医療体制の充実		0.13	4	0.57	5	0.15	0.08		0.08	0.20	0.28		0.06		-0.16		0.11		0.04		0.13		
第3章	11 生涯学習活動の推進		0.05	4	0.57	0.00	-0.14	0.14		0.22	0.07	0.04		0.00	0.07		-0.04		0.07					
	12 生きる力を育む教育の推進		-0.06		0.15	-0.06	-0.14	-0.08		0.02	0.01	-0.06		-0.03	0.07		-0.11		0.07					
	13 教育環境の整備・充実		-0.09		0.23	-0.22	-0.17	4	-0.22		0.10	-0.01		-0.15	0.03	5	-0.11		-0.18	0.00				
	14 文化芸術活動の充実		0.08		0.46	0.12	-0.03	0.00		0.25	0.14	0.04		-0.06		0.09		0.05		0.03				
	15 文化財の保存・活用	2	0.38		0.46	2	0.24	3	0.23	0.26	1	0.52	0.32	0.22	0.03		0.13	1	0.36	3	0.30			
	16 多文化共生と国際交流・協力の推進		0.02		0.46	0.03	-0.09	-0.04		0.11	0.03	-0.08		-0.06	4	-0.15		-0.03		-0.03				
	17 生涯スポーツの推進		-0.02		0.15	0.12	-0.09	-0.06		0.07	4	-0.10		-0.07		-0.13		0.13		-0.12	0.10			
第4章	18 協働による計画的なまちづくりの推進		0.00	1	-0.15	3	-0.42	-0.08		0.02	-0.14		0.02		-0.07		-0.17		-0.10	0.02	-0.08	0.04		
	19 市街地整備の推進		0.04	2	-0.07	1	-0.64	3	-0.29	-0.19	0.10	-0.03		-0.16	-0.13		-0.02		-0.07		0.00			
	20 景観まちづくりの推進	3	0.34		0.54	3	0.18	0.16	4	0.27	2	0.48	2	0.37	4	0.27		0.07	2	0.41	3	0.29	0.17	
	21 道路交通体系の整備	5	-0.10		0.08	3	-0.42	4	-0.25	1	-0.32	2	-0.20	2	-0.17		-0.24		-0.03	5	-0.11	-0.22	2	-0.24
	22 交通ネットワークの充実		0.05		0.14	2	-0.45	1	-0.33	2	-0.30	5	-0.11	1	-0.18	1	-0.29	5	-0.20		-0.04	1	-0.30	0.03
	23 治水事業の推進		0.08		0.50		-0.24	-0.06		-0.03	0.17	0.15		0.04	0.03		0.09		-0.13	1	-0.33			
	24 水道水の安定供給	1	0.41		0.50	1	0.29	1	0.25	1	0.29	3	0.43	1	0.48	1	0.35	2	0.26	3	0.30	0.21	0.20	
	25 公共下水道事業の充実	4	0.33		0.36	0.03	0.00	5	0.26	5	0.34	0.26		0.23	0.23	5	0.22		0.09		-0.04			
	26 公園・緑地の充実		-0.07		0.36	-0.26	2	-0.29	3	-0.24		-0.10		0.09	0.02	0.13		0.15		-0.16		-0.03		
	27 良好な住環境の創出		-0.09		0.36	0.00	-0.14	-0.18	4	-0.15	3	-0.11		-0.23	0.03		-0.09		-0.18		-0.03			
第5章	28 産業間の連携と中小企業支援		0.00		0.31	-0.12	-0.02	-0.02		-0.04	0.05	-0.14		0.00	-0.04		-0.01	4	-0.14					
	29 就労の支援と労働環境の改善		-0.10		0.29	-0.15	5	-0.23	-0.06	-0.11	-0.07	-0.14		-0.10	0.00		-0.21		0.03					
	30 農業の振興		0.04	2	0.21	5	-0.36	-0.06	0.10	0.09	-0.04	-0.11		0.03	0.11		0.00	3	-0.23					
	31 商業の振興		0.18	3	0.62	0.00	0.01	0.07	0.02	0.10	-0.16	-0.03		0.00	0.01		0.07							
	32 工業の振興		0.01		0.31	-0.16	-0.15	-0.01	0.05	0.01	0.03	0.03		-0.02		-0.08		0.07						
	33 観光の振興		0.29		0.54	0.12	2	0.23	2	0.28	4	0.35	3	0.34	2	0.34	2	0.26	1	0.47	5	0.25	2	0.40
	34 環境活動の推進		-0.01		0.38	-0.03	-0.07	0.01	0.12		0.08	-0.08		0.00	0.00		-0.01		0.03					
第6章	35 地球温暖化対策の推進		-0.09		0.23	-0.12	-0.15	-0.13		0.10	-0.08	4	-0.27	-0.03	2	-0.26		-0.16	5	-0.10				
	36 循環型社会の構築		0.21	4	0.57	-0.15	-0.02	0.07	0.25	5	0.32		0.08	1	0.31		0.11	2	0.31		0.13			
	37 自然共生の推進		0.04		0.50	-0.21	-0.14	0.03	0.00	0.10	-0.12		0.00	-0.09		0.05		0.13						
	38 生活環境の保全		0.05	4	0.57	-0.06	-0.08	0.05	0.15	0.03	-0.03		0.13	0.02		-0.01		0.13						
第7章	39 地域コミュニティ活動の推進		-0.05		0.29	-0.24	-0.13	0.04	0.05	0.05	-0.05		0.13	-0.09		-0.11		0.10						
	40 平和で思いやりのある社会づくり		0.01		0.31	-0.09	-0.05	0.04	0.02	0.10	-0.04		0.07	-0.04		0.03		0.03						
	41 男女共同参画の推進	2	-0.14		0.15	-0.21	-0.04	-0.08		0.13	4	-0.10		-0.06	0.07		-0.02		-0.13	0.17				
	42 防災体制の整備		0.12		0.15	-0.24	-0.02	0.01	0.15	0.06	-0.06		0.10	0.17		0.00		0.00						
	43 消防・救急体制の充実	5	0.31		0.36	0.03	5	0.19	0.25	0.25	0.29	3	0.31	5	0.23	4	0.24	4	0.26	1	0.43			
	44 防犯対策の推進		0.03	5	0.07	-0.15	-0.08	0.04	0.17	0.15	-0.09		-0.10		0.13		-0.03		0.10					
	45 交通安全対策の推進	1	-0.15		0.21	-0.24	-0.21	-0.16		0.03	0.07	-0.15		-0.17		-0.09		-0.13		-0.10				
	46 市民生活の支援		0.15		0.38	-0.03	4	0.21	0.04	0.27	0.16	0.08		0.13		0.11		0.05		0.23				
第8章	47 住民自治の推進		0.03		0.08	-0.09	-0.02	0.09	0.12	0.13	-0.06		0.07	-0.02		-0.07		0.00						
	48 行政経営マネジメントの推進		-0.03	3	0.00	-0.15	-0.08	-0.04	0.00	0.06	-0.08		-0.10	0.00		-0.07		0.07						
	49 社会資本マネジメントの推進		-0.08		0.15	0.00	-0.06	-0.07	0.07	-0.02	-0.01		-0.03	0.00		-0.07		0.07						
	50 情報化施策の推進	4	-0.12	3	0.00	-0.30	-0.16	5	-0.20	3	-0.15		-0.03	-0.16	0.00		-0.02	2	-0.28		0.10			
	51 広域的な連携の推進		0.03		0.23	-0.09	0.00	0.01	0.05	0.05	0.02		0.07	-0.02		-0.13		0.07						
	52 時勢に応じた施策の推進		0.18		0.42	3	0.18	0.14	0.15	0.20	0.16		0.06	0.00		0.11		0.09		0.21				

- ・地区別でみると、「20 景観まちづくりの推進」、「24 水道水の安定供給」、「33 観光の振興」は、多くの地区で満足度が高くなっている。
- ・「21 道路交通体系の整備」と「22 交通ネットワークの充実」は、多くの地区で満足度が低くなっている。

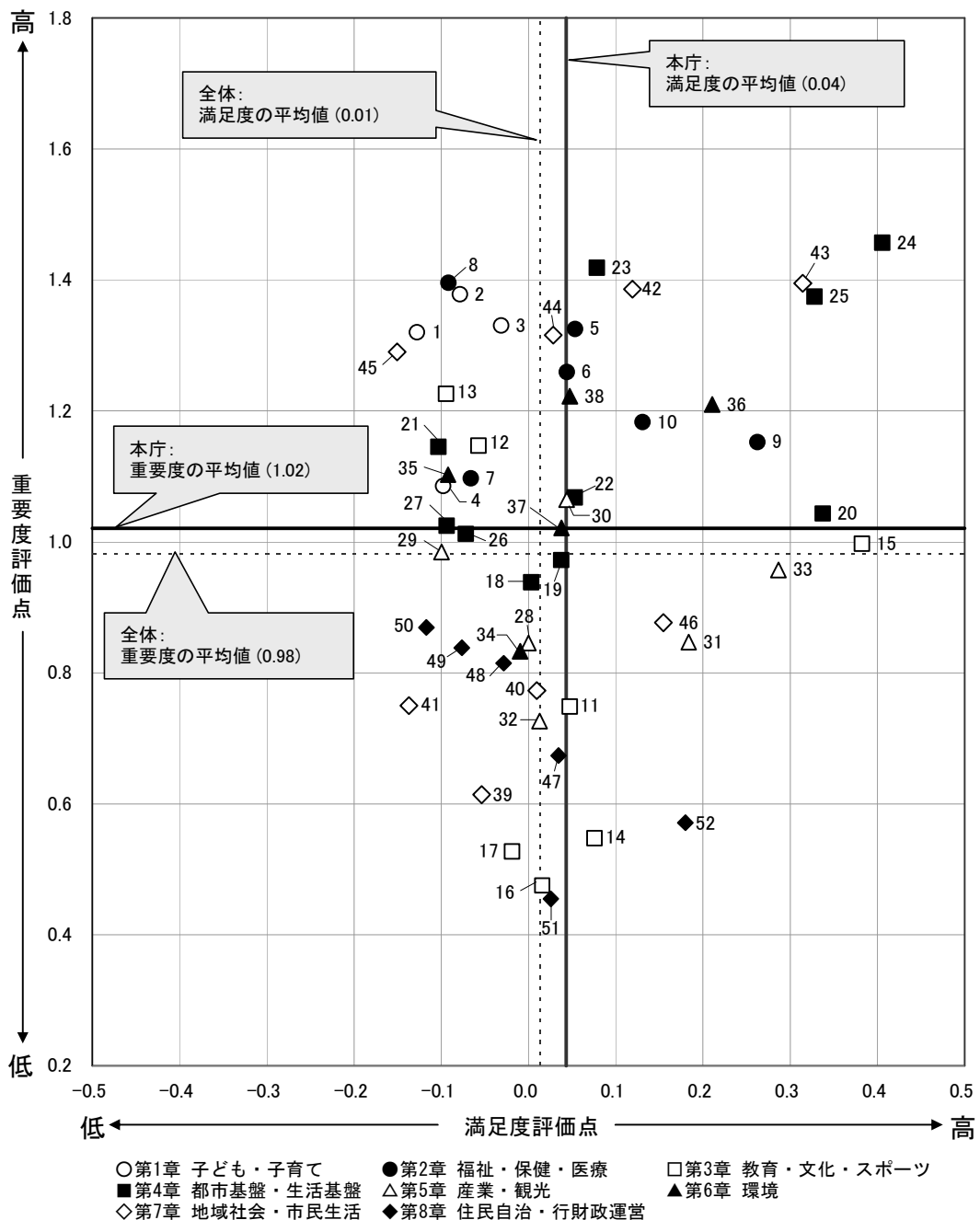
4 地区別の「重要度」と「満足度」の評価分布

【本庁地区】

本庁地区では、重要度の平均値は 1.02、満足度の平均値は 0.04 と、それぞれ全体の平均値(0.98、0.01)を上回っている。

個別の施策をみると、重要度については、「24 水道水の安定供給」、「23 治水事業の推進」、「8 社会保障の適正運営」が高く、「51 広域的な連携の推進」、「16 多文化共生と国際交流・協力の推進」、「17 生涯スポーツの推進」が低くなっている。

また、満足度については、「24 水道水の安定供給」、「15 文化財の保存・活用」、「20 景観まちづくりの推進」が高く、「45 交通安全対策の推進」、「41 男女共同参画の推進」、「1 少子化対策の推進」が低くなっている。



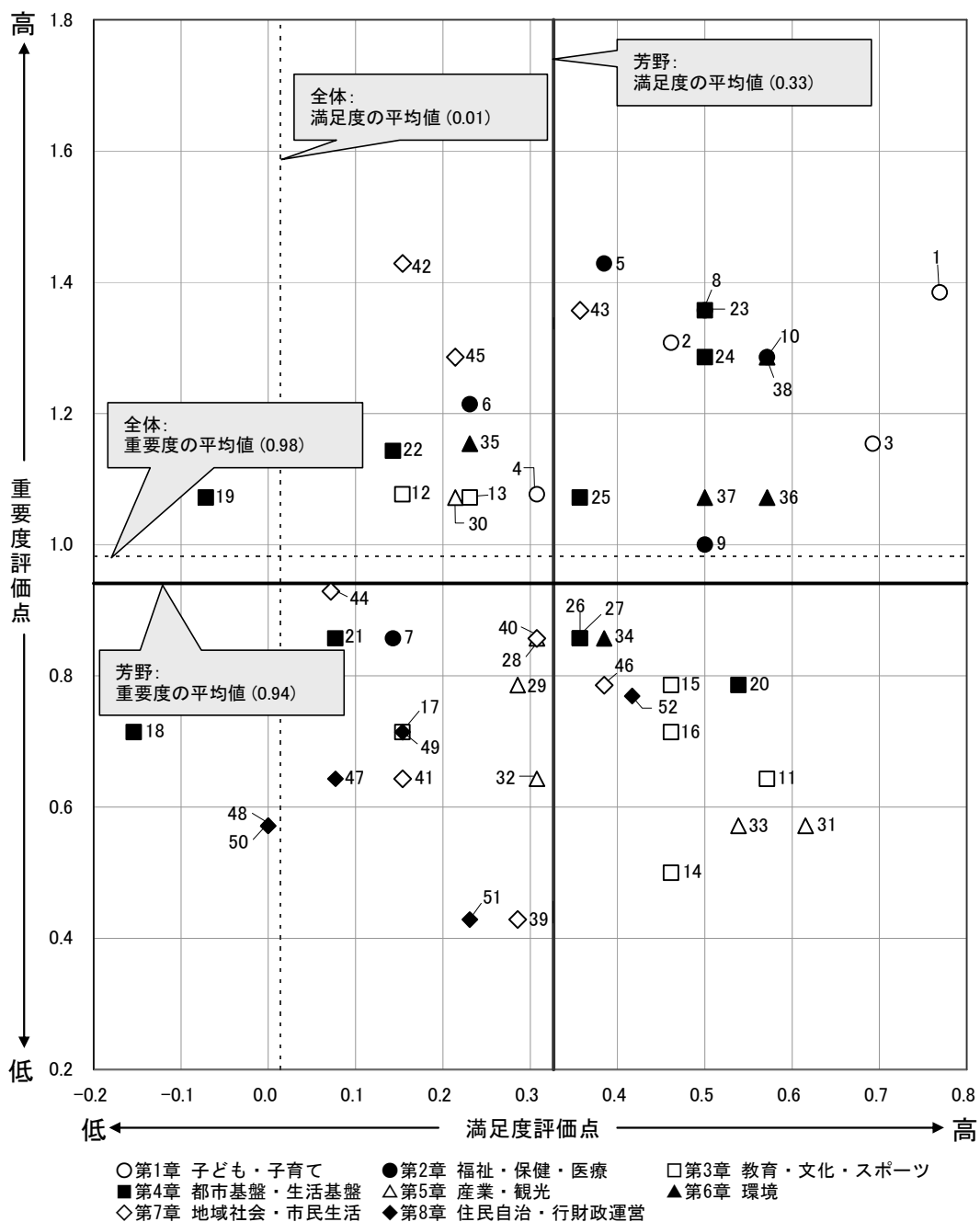
重要度高・満足度低	重要度高・満足度高
1 少子化対策の推進	5 高齢者福祉の推進
2 児童福祉の推進	6 障害者福祉の推進
3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実	9 健康づくりの推進
4 青少年健全育成の推進	10 保健衛生・医療体制の充実
7 地域福祉の推進	20 景観まちづくりの推進
8 社会保障の適正運営	22 交通ネットワークの充実
12 生きる力を育む教育の推進	23 治水事業の推進
13 教育環境の整備・充実	24 水道水の安定供給
21 道路交通体系の整備	25 公共下水道事業の充実
27 良好な住環境の創出	30 農業の振興
35 地球温暖化対策の推進	36 循環型社会の構築
37 自然共生の推進	38 生活環境の保全
44 防犯対策の推進	42 防災体制の整備
45 交通安全対策の推進	43 消防・救急体制の充実
重要度低・満足度低	重要度低・満足度高
16 多文化共生と国際交流・協力の推進	11 生涯学習活動の推進
17 生涯スポーツの推進	14 文化芸術活動の充実
18 協働による計画的なまちづくりの推進	15 文化財の保存・活用
19 市街地整備の推進	31 商業の振興
26 公園・緑地の充実	33 観光の振興
28 産業間の連携と中小企業支援	46 市民生活の支援
29 就労の支援と労働環境の改善	52 時勢に応じた施策の推進
32 工業の振興	
34 環境活動の推進	
39 地域コミュニティ活動の推進	
40 平和で思いやりのある社会づくり	
41 男女共同参画の推進	
47 住民自治の推進	
48 行政経営マネジメントの推進	
49 社会資本マネジメントの推進	
50 情報化施策の推進	
51 広域的な連携の推進	

【芳野地区】

芳野地区では、重要度の平均値は 0.94 と全体の平均値 (0.98) を下回っているのに対し、満足度の平均値は 0.33 と全体の平均値 (0.01) を大きく上回っている。

個別の施策をみると、重要度については、「5 高齢者福祉の推進」、「42 防災体制の整備」、「1 少子化対策の推進」が高く、「51 広域的な連携の推進」、「39 地域コミュニティ活動の推進」、「14 文化芸術活動の充実」が低くなっている。

また、満足度については、「1 少子化対策の推進」、「3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実」、「31 商業の振興」が高く、「18 協働による計画的なまちづくりの推進」と「19 市街地整備の推進」が低くなっている。



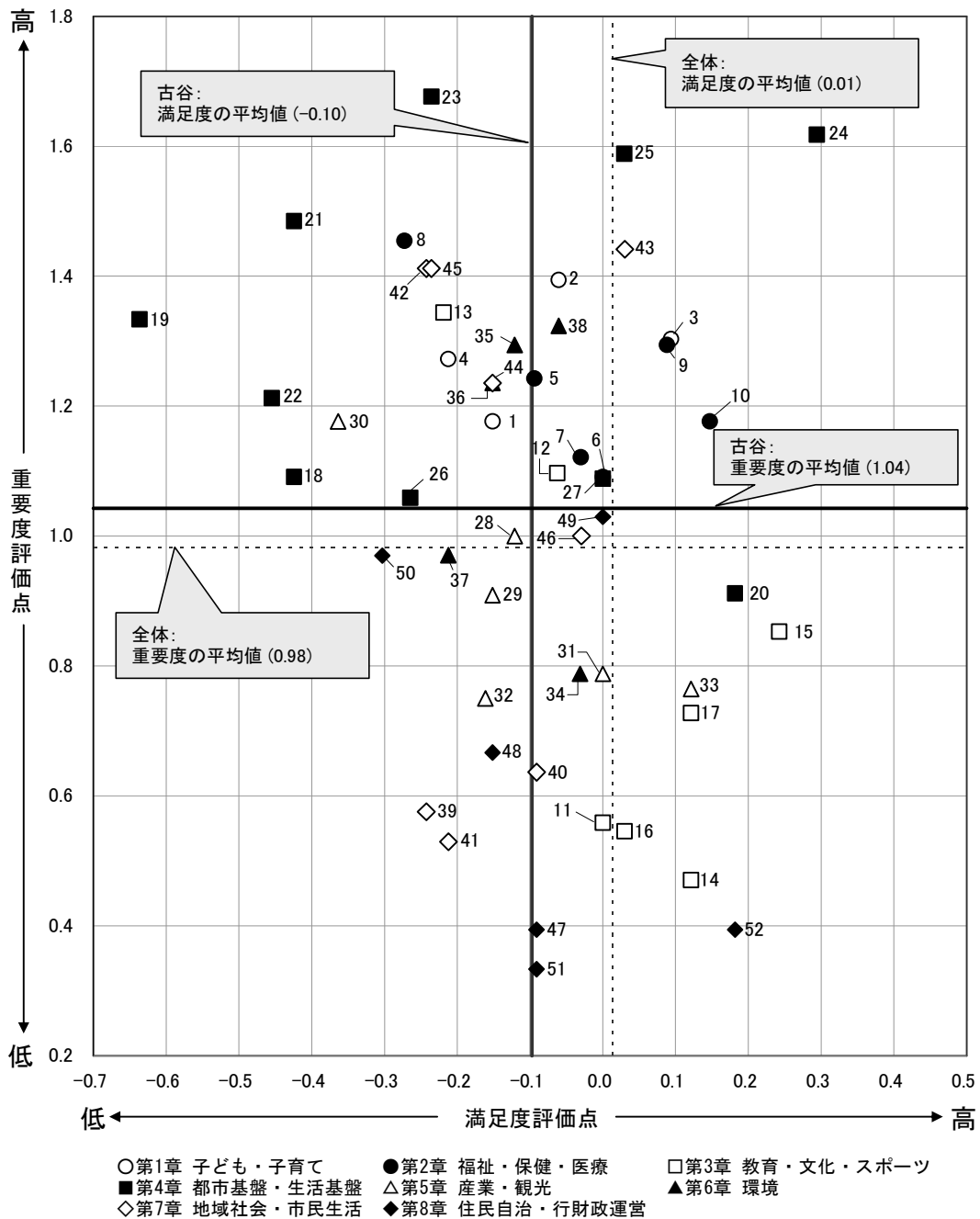
重要度高・満足度低	重要度高・満足度高
4 青少年健全育成の推進	1 少子化対策の推進
6 障害者福祉の推進	2 児童福祉の推進
12 生きる力を育む教育の推進	3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実
13 教育環境の整備・充実	5 高齢者福祉の推進
19 市街地整備の推進	8 社会保障の適正運営
22 交通ネットワークの充実	9 健康づくりの推進
30 農業の振興	10 保健衛生・医療体制の充実
35 地球温暖化対策の推進	23 治水事業の推進
42 防災体制の整備	24 水道水の安定供給
45 交通安全対策の推進	25 公共下水道事業の充実
	36 循環型社会の構築
	37 自然共生の推進
	38 生活環境の保全
	43 消防・救急体制の充実
重要度低・満足度低	重要度低・満足度高
7 地域福祉の推進	11 生涯学習活動の推進
17 生涯スポーツの推進	14 文化芸術活動の充実
18 協働による計画的なまちづくりの推進	15 文化財の保存・活用
21 道路交通体系の整備	16 多文化共生と国際交流・協力の推進
28 産業間の連携と中小企業支援	20 景観まちづくりの推進
29 就労の支援と労働環境の改善	26 公園・緑地の充実
32 工業の振興	27 良好な住環境の創出
39 地域コミュニティ活動の推進	31 商業の振興
40 平和で思いやりのある社会づくり	33 観光の振興
41 男女共同参画の推進	34 環境活動の推進
44 防犯対策の推進	46 市民生活の支援
47 住民自治の推進	52 時勢に応じた施策の推進
48 行政経営マネジメントの推進	
49 社会資本マネジメントの推進	
50 情報化施策の推進	
51 広域的な連携の推進	

【古谷地区】

古谷地区では、重要度の平均値は 1.04 と全体の平均値 (0.98) を上回っているのに対し、満足度の平均値は-0.10 と全体の平均値 (0.01) を下回っている。

個別の施策をみると、重要度については、「23 治水事業の推進」、「24 水道水の安定供給」、「25 公共下水道事業の充実」が高く、「51 広域的な連携の推進」、「52 時勢に応じた施策の推進」、「47 住民自治の推進」が低くなっている。

また、満足度については、「24 水道水の安定供給」と「15 文化財の保存・活用」が高く、「19 市街地整備の推進」と「22 交通ネットワークの充実」が低くなっている。



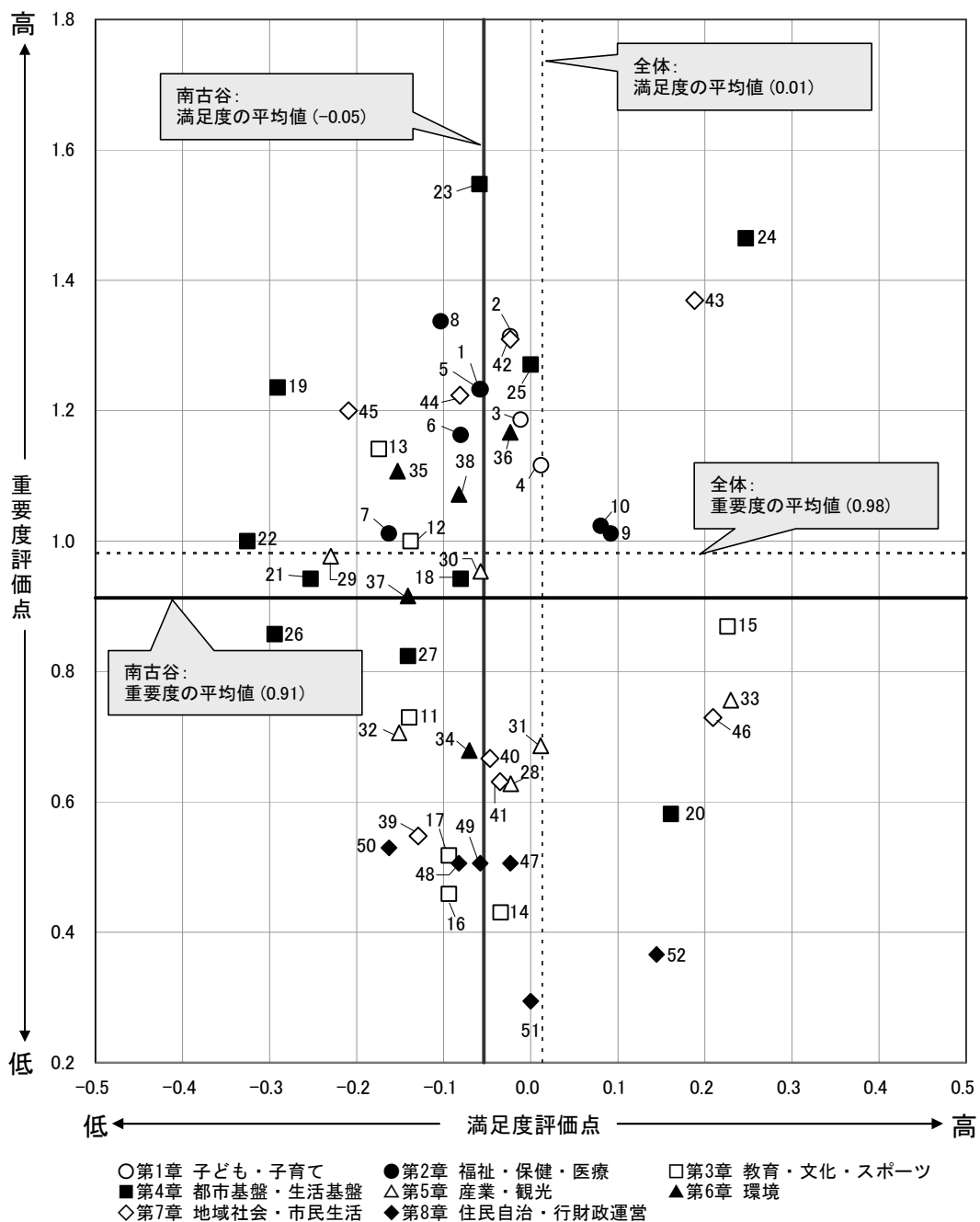
重要度高・満足度低	重要度高・満足度高
1 少子化対策の推進	2 児童福祉の推進
4 青少年健全育成の推進	3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実
8 社会保障の適正運営	5 高齢者福祉の推進
13 教育環境の整備・充実	6 障害者福祉の推進
18 協働による計画的なまちづくりの推進	7 地域福祉の推進
19 市街地整備の推進	9 健康づくりの推進
21 道路交通体系の整備	10 保健衛生・医療体制の充実
22 交通ネットワークの充実	12 生きる力を育む教育の推進
23 治水事業の推進	24 水道水の安定供給
26 公園・緑地の充実	25 公共下水道事業の充実
30 農業の振興	27 良好な住環境の創出
35 地球温暖化対策の推進	38 生活環境の保全
36 循環型社会の構築	43 消防・救急体制の充実
42 防災体制の整備	
44 防犯対策の推進	
45 交通安全対策の推進	
重要度低・満足度低	重要度低・満足度高
28 産業間の連携と中小企業支援	11 生涯学習活動の推進
29 就労の支援と労働環境の改善	14 文化芸術活動の充実
32 工業の振興	15 文化財の保存・活用
37 自然共生の推進	16 多文化共生と国際交流・協力の推進
39 地域コミュニティ活動の推進	17 生涯スポーツの推進
41 男女共同参画の推進	20 景観まちづくりの推進
48 行政経営マネジメントの推進	31 商業の振興
50 情報化施策の推進	33 観光の振興
	34 環境活動の推進
	40 平和で思いやりのある社会づくり
	46 市民生活の支援
	47 住民自治の推進
	49 社会資本マネジメントの推進
	51 広域的な連携の推進
	52 時勢に応じた施策の推進

【南古谷地区】

南古谷地区では、重要度の平均値は 0.91、満足度の平均値は-0.05 と、それぞれ全体の平均値 (0.98、0.01) を下回っている。

個別の施策をみると、重要度については、「23 治水事業の推進」、「24 水道水の安定供給」、「43 消防・救急体制の充実」が高く、「51 広域的な連携の推進」、「52 時勢に応じた施策の推進」、「14 文化芸術活動の充実」が低くなっている。

また、満足度については、「24 水道水の安定供給」、「33 観光の振興」、「15 文化財の保存・活用」が高く、「22 交通ネットワークの充実」、「26 公園・緑地の充実」、「19 市街地整備の推進」が低くなっている。



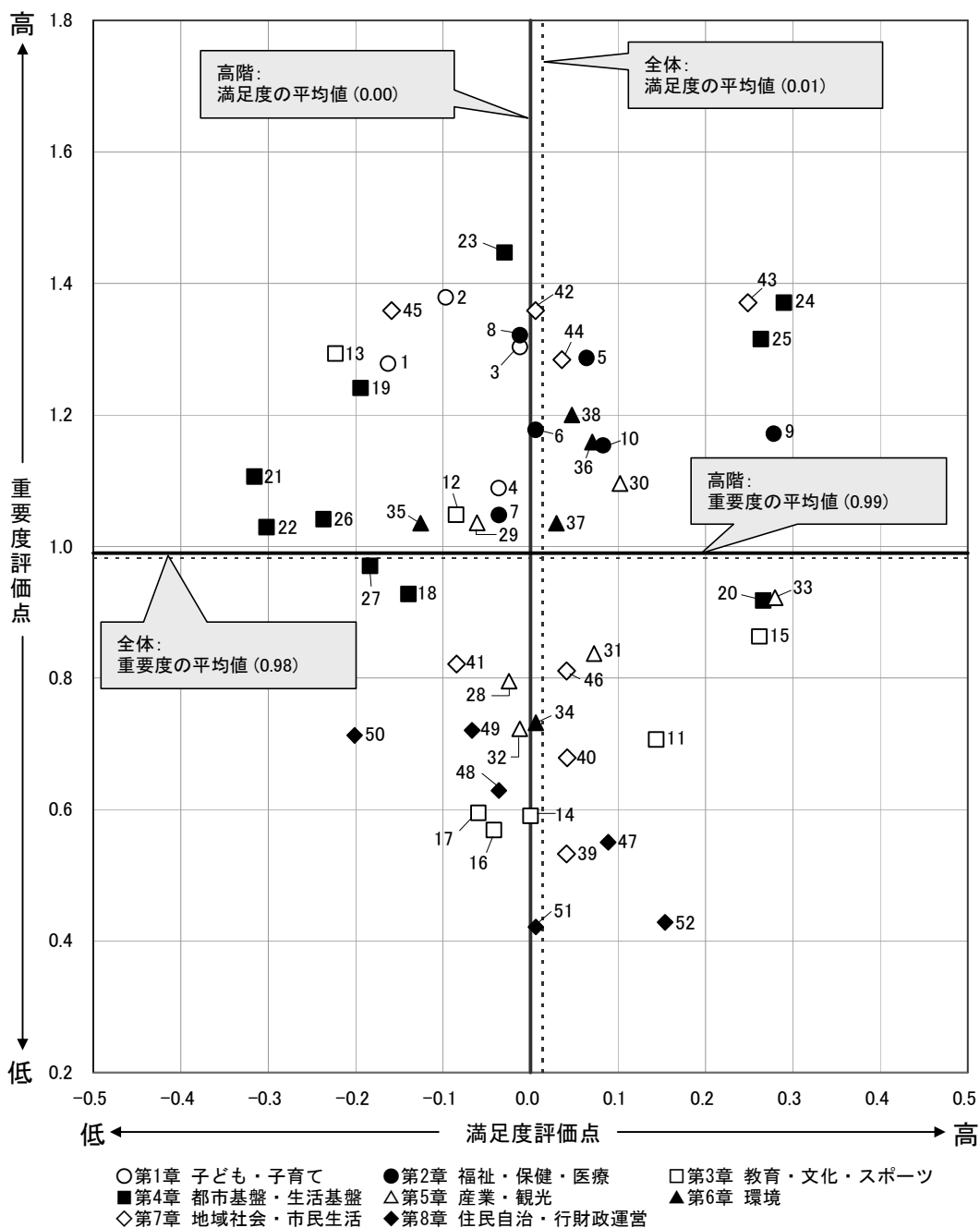
重要度高・満足度低	重要度高・満足度高
1 少子化対策の推進	2 児童福祉の推進
5 高齢者福祉の推進	3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実
6 障害者福祉の推進	4 青少年健全育成の推進
7 地域福祉の推進	9 健康づくりの推進
8 社会保障の適正運営	10 保健衛生・医療体制の充実
12 生きる力を育む教育の推進	24 水道水の安定供給
13 教育環境の整備・充実	25 公共下水道事業の充実
18 協働による計画的なまちづくりの推進	36 循環型社会の構築
19 市街地整備の推進	42 防災体制の整備
21 道路交通体系の整備	43 消防・救急体制の充実
22 交通ネットワークの充実	
23 治水事業の推進	
29 就労の支援と労働環境の改善	
30 農業の振興	
35 地球温暖化対策の推進	
37 自然共生の推進	
38 生活環境の保全	
44 防犯対策の推進	
45 交通安全対策の推進	
重要度低・満足度低	重要度低・満足度高
11 生涯学習活動の推進	14 文化芸術活動の充実
16 多文化共生と国際交流・協力の推進	15 文化財の保存・活用
17 生涯スポーツの推進	20 景観まちづくりの推進
26 公園・緑地の充実	28 産業間の連携と中小企業支援
27 良好な住環境の創出	31 商業の振興
32 工業の振興	33 観光の振興
34 環境活動の推進	40 平和で思いやりのある社会づくり
39 地域コミュニティ活動の推進	41 男女共同参画の推進
48 行政経営マネジメントの推進	46 市民生活の支援
49 社会資本マネジメントの推進	47 住民自治の推進
50 情報化施策の推進	51 広域的な連携の推進
	52 時勢に応じた施策の推進

【高階地区】

高階地区では、重要度の平均値は 0.99 と全体の平均値 (0.98) を上回っているのに対し、満足度の平均値は 0.00 と全体の平均値 (0.01) を下回っている。

個別の施策をみると、重要度については、「23 治水事業の推進」と「2 児童福祉の推進」が高く、「51 広域的な連携の推進」、「52 時勢に応じた施策の推進」、「39 地域コミュニティ活動の推進」が低くなっている。

また、満足度については、「24 水道水の安定供給」、「33 観光の振興」、「9 健康づくりの推進」が高く、「21 道路交通体系の整備」、「22 交通ネットワークの充実」、「26 公園・緑地の充実」が低くなっている。



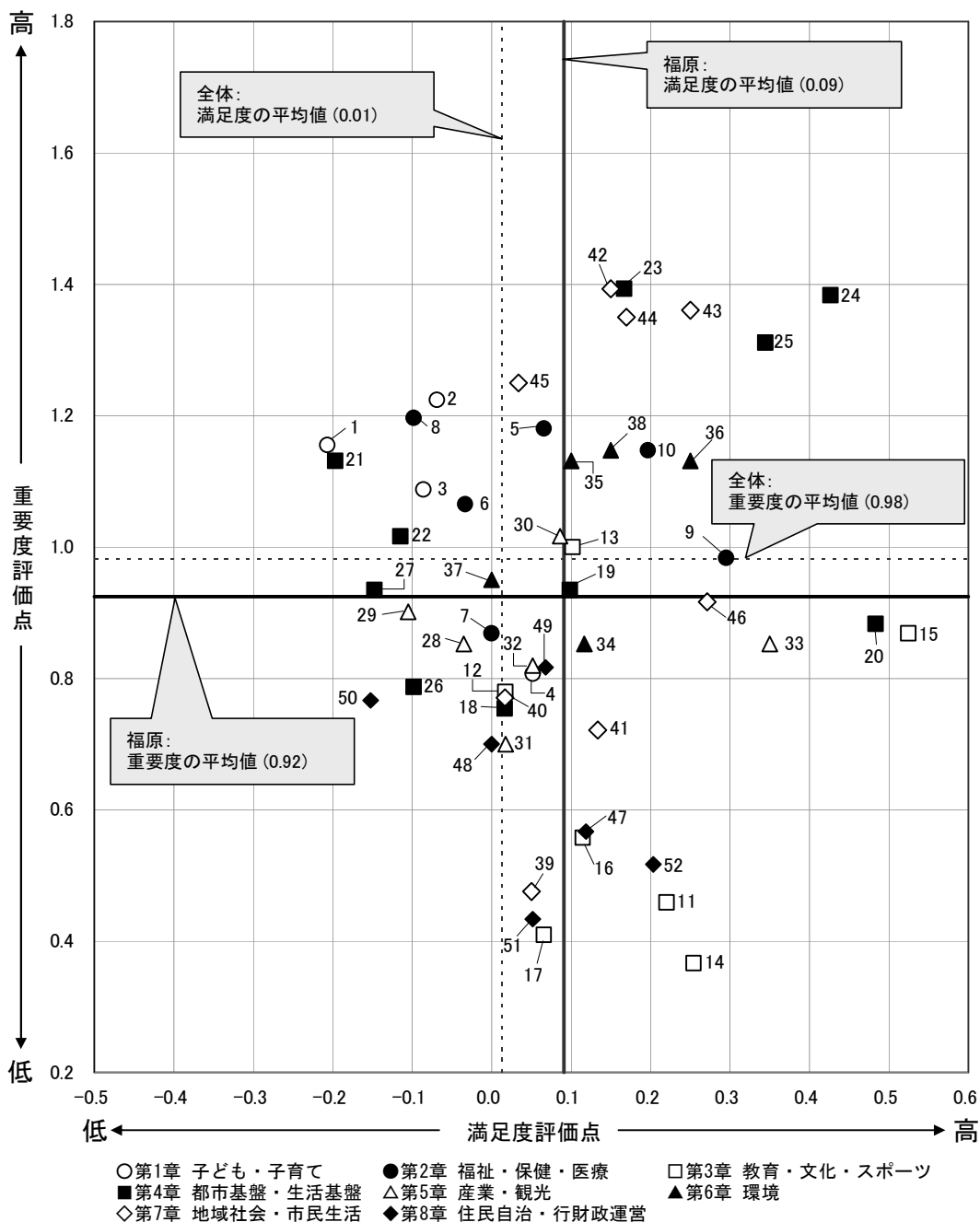
重要度高・満足度低	重要度高・満足度高
1 少子化対策の推進	5 高齢者福祉の推進
2 児童福祉の推進	6 障害者福祉の推進
3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実	9 健康づくりの推進
4 青少年健全育成の推進	10 保健衛生・医療体制の充実
7 地域福祉の推進	24 水道水の安定供給
8 社会保障の適正運営	25 公共下水道事業の充実
12 生きる力を育む教育の推進	30 農業の振興
13 教育環境の整備・充実	36 循環型社会の構築
19 市街地整備の推進	37 自然共生の推進
21 道路交通体系の整備	38 生活環境の保全
22 交通ネットワークの充実	42 防災体制の整備
23 治水事業の推進	43 消防・救急体制の充実
26 公園・緑地の充実	44 防犯対策の推進
29 就労の支援と労働環境の改善	
35 地球温暖化対策の推進	
45 交通安全対策の推進	
重要度低・満足度低	重要度低・満足度高
16 多文化共生と国際交流・協力の推進	11 生涯学習活動の推進
17 生涯スポーツの推進	14 文化芸術活動の充実
18 協働による計画的なまちづくりの推進	15 文化財の保存・活用
27 良好な住環境の創出	20 景観まちづくりの推進
28 産業間の連携と中小企業支援	31 商業の振興
32 工業の振興	33 観光の振興
41 男女共同参画の推進	34 環境活動の推進
48 行政経営マネジメントの推進	39 地域コミュニティ活動の推進
49 社会資本マネジメントの推進	40 平和で思いやりのある社会づくり
50 情報化施策の推進	46 市民生活の支援
	47 住民自治の推進
	51 広域的な連携の推進
	52 時勢に応じた施策の推進

【福原地区】

福原地区では、重要度の平均値は 0.92 と全体の平均値 (0.98) を下回っているのに対し、満足度の平均値は 0.09 と全体の平均値 (0.01) を上回っている。

個別の施策をみると、重要度については、「23 治水事業の推進」、「42 防災体制の整備」、「24 水道水の安定供給」が高く、「14 文化芸術活動の充実」、「17 生涯スポーツの推進」、「51 広域的な連携の推進」が低くなっている。

また、満足度については、「15 文化財の保存・活用」、「20 景観まちづくりの推進」、「24 水道水の安定供給」が高く、「1 少子化対策の推進」、「21 道路交通体系の整備」、「50 情報化施策の推進」が低くなっている。



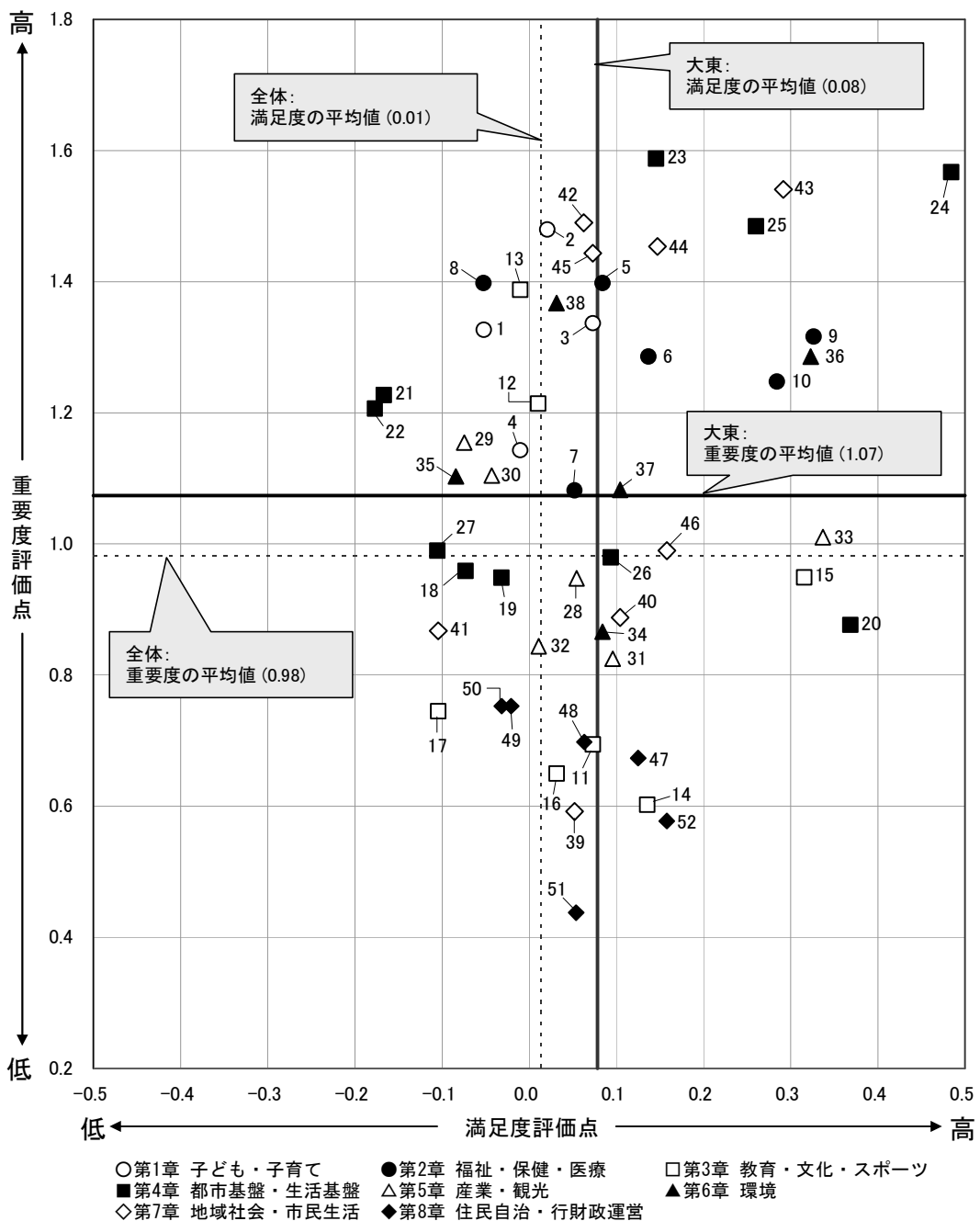
重要度高・満足度低	重要度高・満足度高
1 少子化対策の推進	9 健康づくりの推進
2 児童福祉の推進	10 保健衛生・医療体制の充実
3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実	13 教育環境の整備・充実
5 高齢者福祉の推進	19 市街地整備の推進
6 障害者福祉の推進	23 治水事業の推進
8 社会保障の適正運営	24 水道水の安定供給
21 道路交通体系の整備	25 公共下水道事業の充実
22 交通ネットワークの充実	35 地球温暖化対策の推進
27 良好な住環境の創出	36 循環型社会の構築
30 農業の振興	38 生活環境の保全
37 自然共生の推進	42 防災体制の整備
45 交通安全対策の推進	43 消防・救急体制の充実
	44 防犯対策の推進
重要度低・満足度低	重要度低・満足度高
4 青少年健全育成の推進	11 生涯学習活動の推進
7 地域福祉の推進	14 文化芸術活動の充実
12 生きる力を育む教育の推進	15 文化財の保存・活用
17 生涯スポーツの推進	16 多文化共生と国際交流・協力の推進
18 協働による計画的なまちづくりの推進	20 景観まちづくりの推進
26 公園・緑地の充実	33 観光の振興
28 産業間の連携と中小企業支援	34 環境活動の推進
29 就労の支援と労働環境の改善	41 男女共同参画の推進
31 商業の振興	46 市民生活の支援
32 工業の振興	47 住民自治の推進
39 地域コミュニティ活動の推進	52 時勢に応じた施策の推進
40 平和で思いやりのある社会づくり	
48 行政経営マネジメントの推進	
49 社会資本マネジメントの推進	
50 情報化施策の推進	
51 広域的な連携の推進	

【大東地区】

大東地区では、重要度の平均値は 1.07、満足度の平均値は 0.08 と、それぞれ全体の平均値(0.98、0.01)を上回っている。

個別の施策をみると、重要度については、「23 治水事業の推進」、「24 水道水の安定供給」、「43 消防・救急体制の充実」が高く、「51 広域的な連携の推進」、「52 時勢に応じた施策の推進」、「39 地域コミュニティ活動の推進」が低くなっている。

また、満足度については、「24 水道水の安定供給」、「20 景観まちづくりの推進」、「33 観光の振興」が高く、「22 交通ネットワークの充実」、「21 道路交通体系の整備」、「27 良好な住環境の創出」が低くなっている。



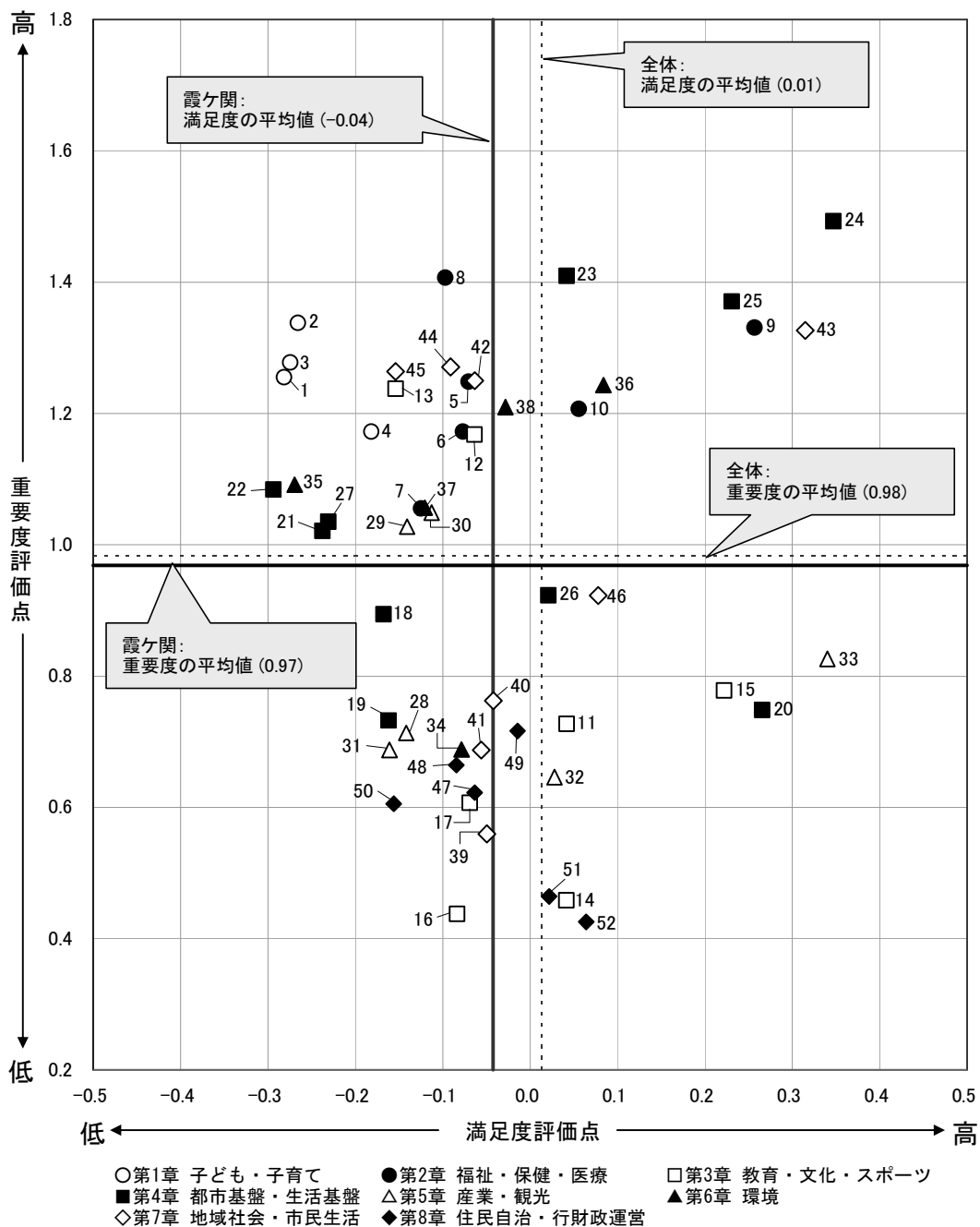
重要度高・満足度低	重要度高・満足度高
1 少子化対策の推進	5 高齢者福祉の推進
2 児童福祉の推進	6 障害者福祉の推進
3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実	9 健康づくりの推進
4 青少年健全育成の推進	10 保健衛生・医療体制の充実
7 地域福祉の推進	23 治水事業の推進
8 社会保障の適正運営	24 水道水の安定供給
12 生きる力を育む教育の推進	25 公共下水道事業の充実
13 教育環境の整備・充実	36 循環型社会の構築
21 道路交通体系の整備	37 自然共生の推進
22 交通ネットワークの充実	43 消防・救急体制の充実
29 就労の支援と労働環境の改善	44 防犯対策の推進
30 農業の振興	
35 地球温暖化対策の推進	
38 生活環境の保全	
42 防災体制の整備	
45 交通安全対策の推進	
重要度低・満足度低	重要度低・満足度高
11 生涯学習活動の推進	14 文化芸術活動の充実
16 多文化共生と国際交流・協力の推進	15 文化財の保存・活用
17 生涯スポーツの推進	20 景観まちづくりの推進
18 協働による計画的なまちづくりの推進	26 公園・緑地の充実
19 市街地整備の推進	31 商業の振興
27 良好な住環境の創出	33 観光の振興
28 産業間の連携と中小企業支援	34 環境活動の推進
32 工業の振興	40 平和で思いやりのある社会づくり
39 地域コミュニティ活動の推進	46 市民生活の支援
41 男女共同参画の推進	47 住民自治の推進
48 行政経営マネジメントの推進	52 時勢に応じた施策の推進
49 社会資本マネジメントの推進	
50 情報化施策の推進	
51 広域的な連携の推進	

【霞ヶ関地区】

霞ヶ関地区では、重要度の平均値は 0.97、満足度の平均値は-0.04 と、それぞれ全体の平均値 (0.98、0.01) を下回っている。

個別の施策をみると、重要度については、「24 水道水の安定供給」、「23 治水事業の推進」、「8 社会保障の適正運営」が高く、「52 時勢に応じた施策の推進」、「16 多文化共生と国際交流・協力の推進」、「14 文化芸術活動の充実」が低くなっている。

また、満足度については、「24 水道水の安定供給」、「33 観光の振興」、「43 消防・救急体制の充実」が高く、「22 交通ネットワークの充実」、「1 少子化対策の推進」、「3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実」が低くなっている。



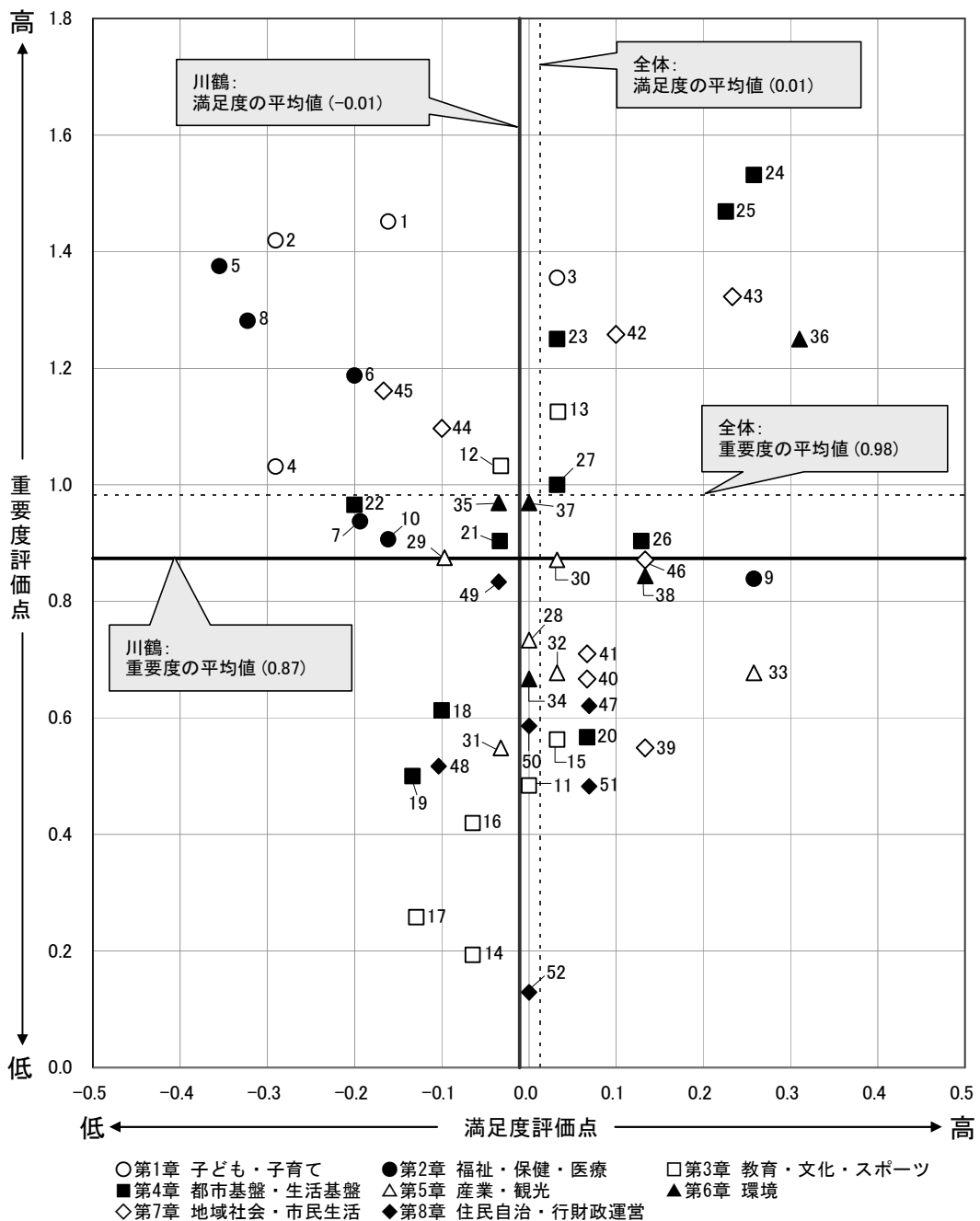
重要度高・満足度低	重要度高・満足度高
1 少子化対策の推進	9 健康づくりの推進
2 児童福祉の推進	10 保健衛生・医療体制の充実
3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実	23 治水事業の推進
4 青少年健全育成の推進	24 水道水の安定供給
5 高齢者福祉の推進	25 公共下水道事業の充実
6 障害者福祉の推進	36 循環型社会の構築
7 地域福祉の推進	38 生活環境の保全
8 社会保障の適正運営	43 消防・救急体制の充実
12 生きる力を育む教育の推進	
13 教育環境の整備・充実	
21 道路交通体系の整備	
22 交通ネットワークの充実	
27 良好な住環境の創出	
29 就労の支援と労働環境の改善	
30 農業の振興	
35 地球温暖化対策の推進	
37 自然共生の推進	
42 防災体制の整備	
44 防犯対策の推進	
45 交通安全対策の推進	
重要度低・満足度低	重要度低・満足度高
16 多文化共生と国際交流・協力の推進	11 生涯学習活動の推進
17 生涯スポーツの推進	14 文化芸術活動の充実
18 協働による計画的なまちづくりの推進	15 文化財の保存・活用
19 市街地整備の推進	20 景観まちづくりの推進
28 産業間の連携と中小企業支援	26 公園・緑地の充実
31 商業の振興	32 工業の振興
34 環境活動の推進	33 観光の振興
39 地域コミュニティ活動の推進	40 平和で思いやりのある社会づくり
41 男女共同参画の推進	46 市民生活の支援
47 住民自治の推進	49 社会資本マネジメントの推進
48 行政経営マネジメントの推進	51 広域的な連携の推進
50 情報化施策の推進	52 時勢に応じた施策の推進

【川鶴地区】

川鶴地区では、重要度の平均値は0.87、満足度の平均値は-0.01と、それぞれ全体の平均値(0.98、0.01)を下回っている。

個別の施策をみると、重要度については、「24 水道水の安定供給」、「25 公共下水道事業の充実」、「1 少子化対策の推進」が高く、「52 時勢に応じた施策の推進」、「14 文化芸術活動の充実」、「17 生涯スポーツの推進」が低くなっている。

また、満足度については、「36 循環型社会の構築」、「9 健康づくりの推進」、「24 水道水の安定供給」、「33 観光の振興」が高く、「5 高齢者福祉の推進」と「8 社会保障の適正運営」が低くなっている。



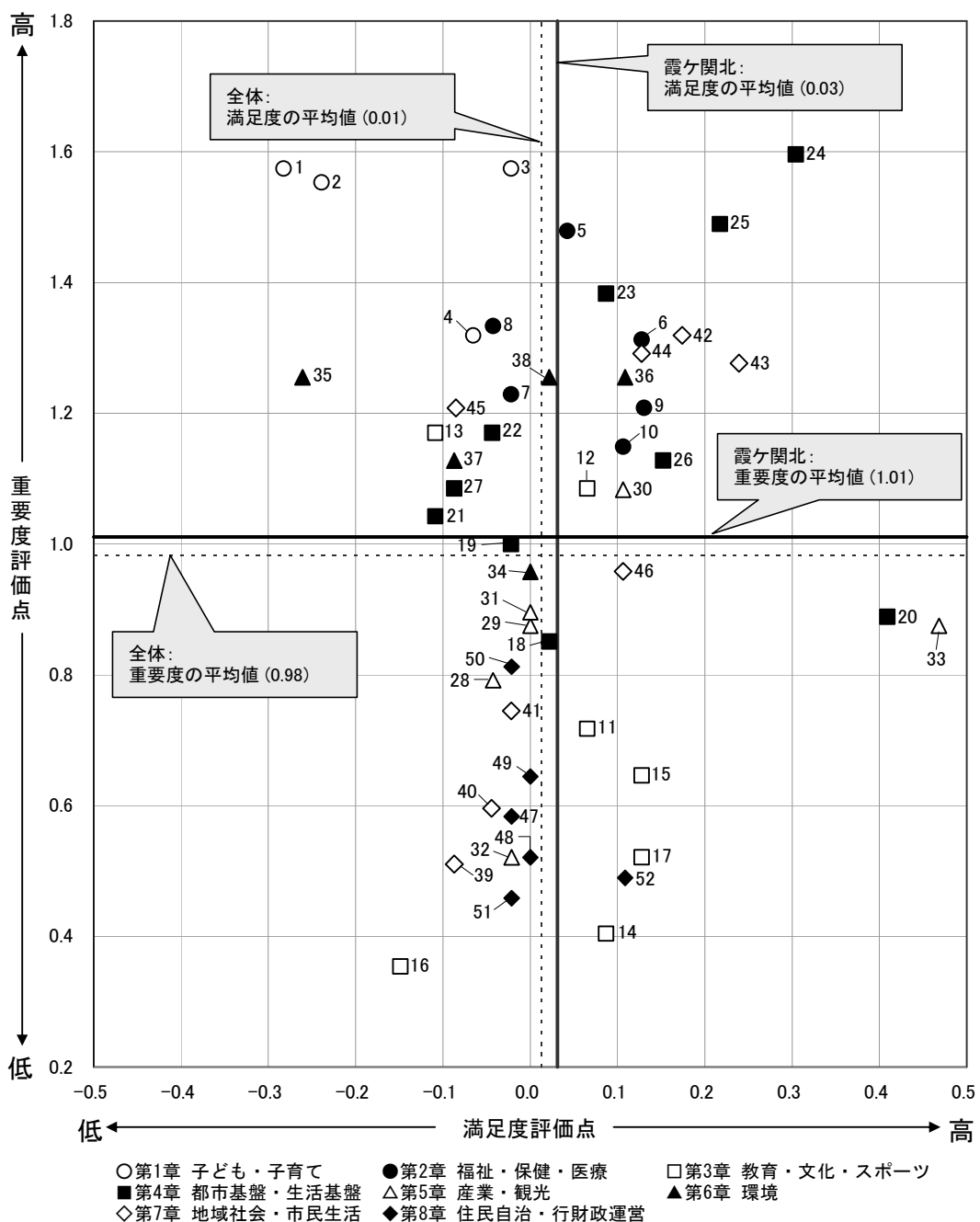
重要度高・満足度低	重要度高・満足度高
1 少子化対策の推進	3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実
2 児童福祉の推進	13 教育環境の整備・充実
4 青少年健全育成の推進	23 治水事業の推進
5 高齢者福祉の推進	24 水道水の安定供給
6 障害者福祉の推進	25 公共下水道事業の充実
7 地域福祉の推進	26 公園・緑地の充実
8 社会保障の適正運営	27 良好な住環境の創出
10 保健衛生・医療体制の充実	36 循環型社会の構築
12 生きる力を育む教育の推進	37 自然共生の推進
21 道路交通体系の整備	42 防災体制の整備
22 交通ネットワークの充実	43 消防・救急体制の充実
29 就労の支援と労働環境の改善	
35 地球温暖化対策の推進	
44 防犯対策の推進	
45 交通安全対策の推進	
重要度低・満足度低	重要度低・満足度高
14 文化芸術活動の充実	9 健康づくりの推進
16 多文化共生と国際交流・協力の推進	11 生涯学習活動の推進
17 生涯スポーツの推進	15 文化財の保存・活用
18 協働による計画的なまちづくりの推進	20 景観まちづくりの推進
19 市街地整備の推進	28 産業間の連携と中小企業支援
31 商業の振興	30 農業の振興
48 行政経営マネジメントの推進	32 工業の振興
49 社会資本マネジメントの推進	33 観光の振興
	34 環境活動の推進
	38 生活環境の保全
	39 地域コミュニティ活動の推進
	40 平和で思いやりのある社会づくり
	41 男女共同参画の推進
	46 市民生活の支援
	47 住民自治の推進
	50 情報化施策の推進
	51 広域的な連携の推進
	52 時勢に応じた施策の推進

【霞ヶ関北地区】

霞ヶ関北地区では、重要度の平均値は 1.01、満足度の平均値は 0.03 と、それぞれ全体の平均値 (0.98、0.01) を上回っている。

個別の施策をみると、重要度については、「24 水道水の安定供給」、「1 少子化対策の推進」、「3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実」が高く、「16 多文化共生と国際交流・協力の推進」、「14 文化芸術活動の充実」、「51 広域的な連携の推進」が低くなっている。

また、満足度については、「33 観光の振興」、「20 景観まちづくりの推進」、「24 水道水の安定供給」が高く、「1 少子化対策の推進」、「35 地球温暖化対策の推進」、「2 児童福祉の推進」が低くなっている。



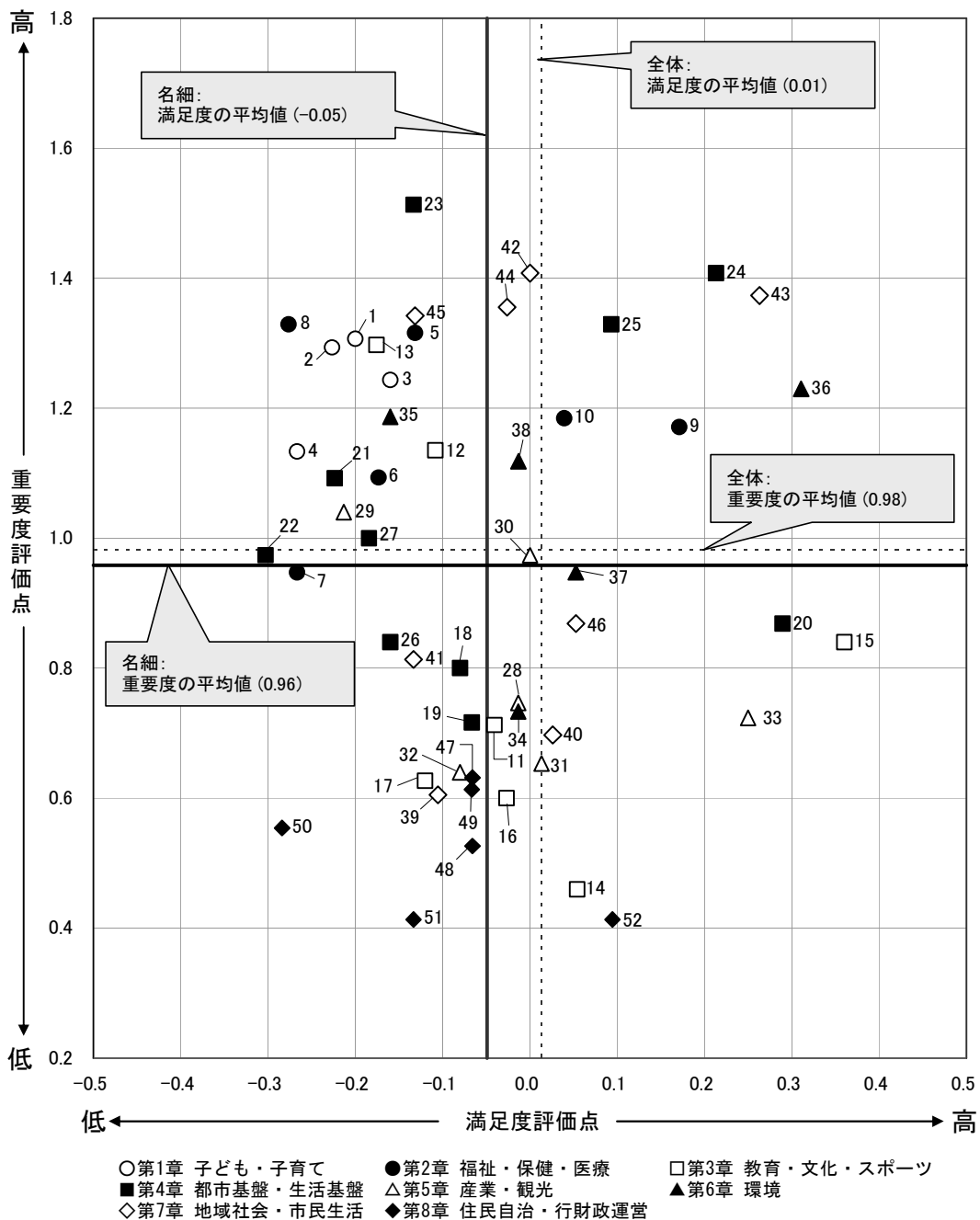
重要度高・満足度低	重要度高・満足度高
1 少子化対策の推進	5 高齢者福祉の推進
2 児童福祉の推進	6 障害者福祉の推進
3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実	9 健康づくりの推進
4 青少年健全育成の推進	10 保健衛生・医療体制の充実
7 地域福祉の推進	12 生きる力を育む教育の推進
8 社会保障の適正運営	23 治水事業の推進
13 教育環境の整備・充実	24 水道水の安定供給
21 道路交通体系の整備	25 公共下水道事業の充実
22 交通ネットワークの充実	26 公園・緑地の充実
27 良好な住環境の創出	30 農業の振興
35 地球温暖化対策の推進	36 循環型社会の構築
37 自然共生の推進	42 防災体制の整備
38 生活環境の保全	43 消防・救急体制の充実
45 交通安全対策の推進	44 防犯対策の推進
重要度低・満足度低	重要度低・満足度高
16 多文化共生と国際交流・協力の推進	11 生涯学習活動の推進
18 協働による計画的なまちづくりの推進	14 文化芸術活動の充実
19 市街地整備の推進	15 文化財の保存・活用
28 産業間の連携と中小企業支援	17 生涯スポーツの推進
29 就労の支援と労働環境の改善	20 景観まちづくりの推進
31 商業の振興	33 観光の振興
32 工業の振興	46 市民生活の支援
34 環境活動の推進	52 時勢に応じた施策の推進
39 地域コミュニティ活動の推進	
40 平和で思いやりのある社会づくり	
41 男女共同参画の推進	
47 住民自治の推進	
48 行政経営マネジメントの推進	
49 社会資本マネジメントの推進	
50 情報化施策の推進	
51 広域的な連携の推進	

【名細地区】

名細地区では、重要度の平均値は0.96、満足度の平均値は-0.05と、それぞれ全体の平均値(0.98、0.01)を下回っている。

個別の施策をみると、重要度については、「23 治水事業の推進」、「24 水道水の安定供給」、「42 防災体制の整備」が高く、「52 時勢に応じた施策の推進」、「51 広域的な連携の推進」、「14 文化芸術活動の充実」が低くなっている。

また、満足度については、「15 文化財の保存・活用」、「36 循環型社会の構築」、「20 景観まちづくりの推進」が高く、「22 交通ネットワークの充実」、「50 情報化施策の推進」、「8 社会保障の適正運営」が低くなっている。



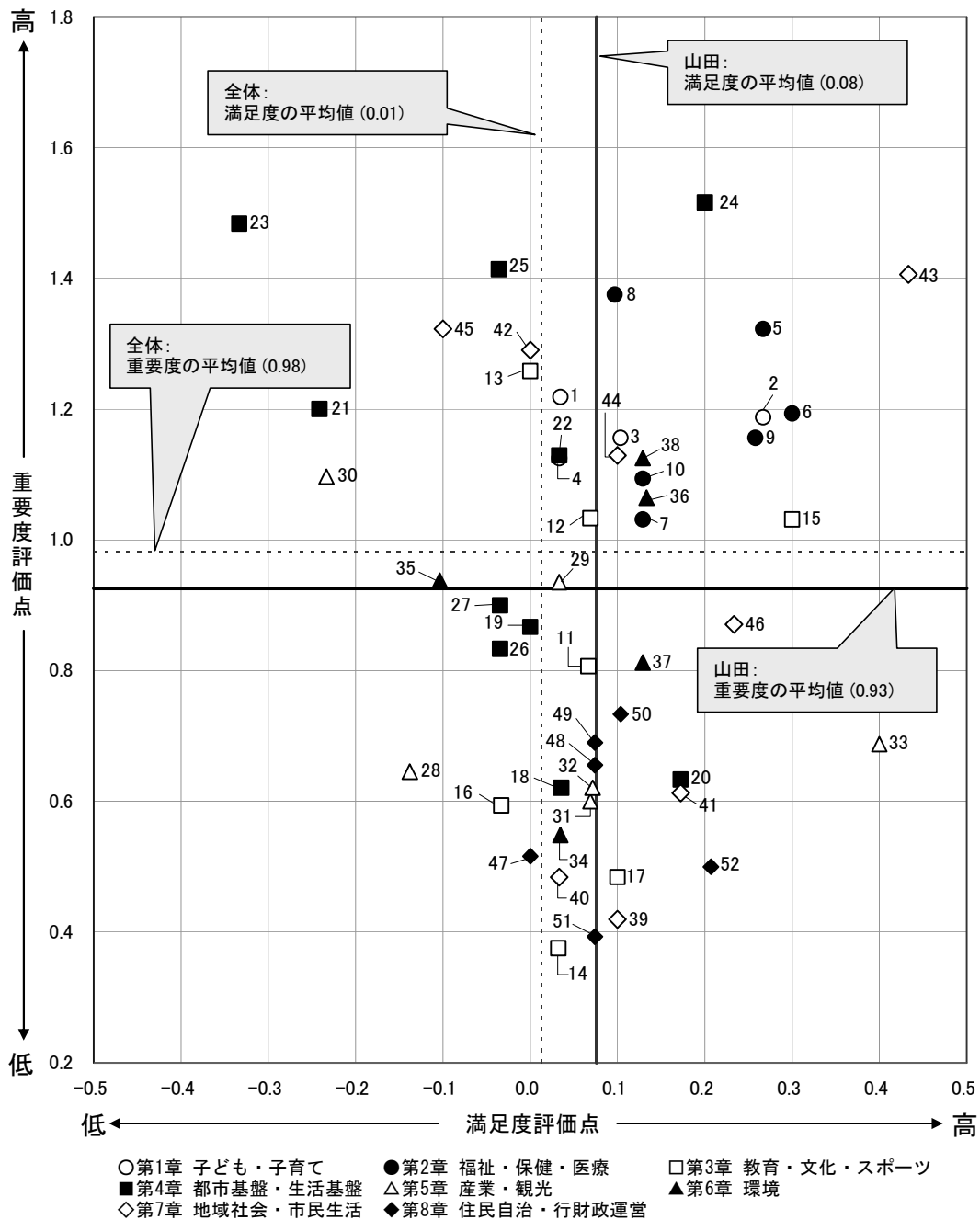
重要度高・満足度低	重要度高・満足度高
1 少子化対策の推進	9 健康づくりの推進
2 児童福祉の推進	10 保健衛生・医療体制の充実
3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実	24 水道水の安定供給
4 青少年健全育成の推進	25 公共下水道事業の充実
5 高齢者福祉の推進	30 農業の振興
6 障害者福祉の推進	36 循環型社会の構築
8 社会保障の適正運営	38 生活環境の保全
12 生きる力を育む教育の推進	42 防災体制の整備
13 教育環境の整備・充実	43 消防・救急体制の充実
21 道路交通体系の整備	44 防犯対策の推進
22 交通ネットワークの充実	
23 治水事業の推進	
27 良好な住環境の創出	
29 就労の支援と労働環境の改善	
35 地球温暖化対策の推進	
45 交通安全対策の推進	
重要度低・満足度低	重要度低・満足度高
7 地域福祉の推進	11 生涯学習活動の推進
17 生涯スポーツの推進	14 文化芸術活動の充実
18 協働による計画的なまちづくりの推進	15 文化財の保存・活用
19 市街地整備の推進	16 多文化共生と国際交流・協力の推進
26 公園・緑地の充実	20 景観まちづくりの推進
32 工業の振興	28 産業間の連携と中小企業支援
39 地域コミュニティ活動の推進	31 商業の振興
41 男女共同参画の推進	33 観光の振興
47 住民自治の推進	34 環境活動の推進
48 行政経営マネジメントの推進	37 自然共生の推進
49 社会資本マネジメントの推進	40 平和で思いやりのある社会づくり
50 情報化施策の推進	46 市民生活の支援
51 広域的な連携の推進	52 時勢に応じた施策の推進

【山田地区】

山田地区では、重要度の平均値は 0.93 と全体の平均値 (0.98) を下回っているのに対し、満足度の平均値は 0.08 と全体の平均値 (0.01) を上回っている。

個別の施策をみると、重要度については、「24 水道水の安定供給」、「23 治水事業の推進」、「25 公共下水道事業の充実」が高く、「14 文化芸術活動の充実」、「51 広域的な連携の推進」、「39 地域コミュニティ活動の推進」が低くなっている。

また、満足度については、「43 消防・救急体制の充実」と「33 観光の振興」が高く、「23 治水事業の推進」、「21 道路交通体系の整備」、「30 農業の振興」が低くなっている。



重要度高・満足度低	重要度高・満足度高
1 少子化対策の推進	2 児童福祉の推進
4 青少年健全育成の推進	3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実
12 生きる力を育む教育の推進	5 高齢者福祉の推進
13 教育環境の整備・充実	6 障害者福祉の推進
21 道路交通体系の整備	7 地域福祉の推進
22 交通ネットワークの充実	8 社会保障の適正運営
23 治水事業の推進	9 健康づくりの推進
25 公共下水道事業の充実	10 保健衛生・医療体制の充実
29 就労の支援と労働環境の改善	15 文化財の保存・活用
30 農業の振興	24 水道水の安定供給
35 地球温暖化対策の推進	36 循環型社会の構築
42 防災体制の整備	38 生活環境の保全
45 交通安全対策の推進	43 消防・救急体制の充実
	44 防犯対策の推進
重要度低・満足度低	重要度低・満足度高
11 生涯学習活動の推進	17 生涯スポーツの推進
14 文化芸術活動の充実	20 景観まちづくりの推進
16 多文化共生と国際交流・協力の推進	33 観光の振興
18 協働による計画的なまちづくりの推進	37 自然共生の推進
19 市街地整備の推進	39 地域コミュニティ活動の推進
26 公園・緑地の充実	41 男女共同参画の推進
27 良好な住環境の創出	46 市民生活の支援
28 産業間の連携と中小企業支援	50 情報化施策の推進
31 商業の振興	52 時勢に応じた施策の推進
32 工業の振興	
34 環境活動の推進	
40 平和で思いやりのある社会づくり	
47 住民自治の推進	
48 行政経営マネジメントの推進	
49 社会資本マネジメントの推進	
51 広域的な連携の推進	

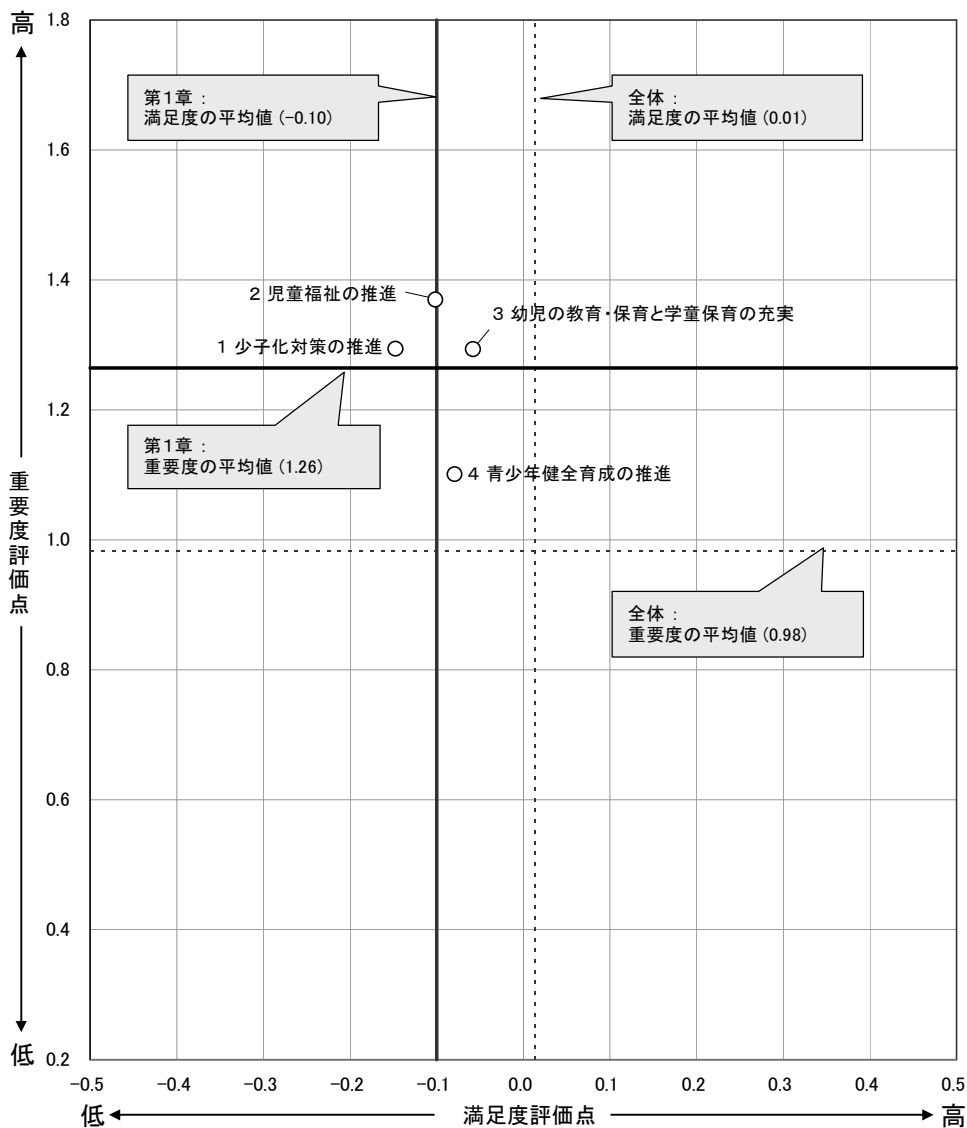
5 章別及び施策別

【第1章】子どもが健やかに成長でき、子育ての楽しさを感じられるまち

～子ども・子育て～

子ども・子育ての分野については、すべての施策において、重要度が全体の平均値（0.98）を上回っているのに対し、満足度は全体の平均値（0.01）を下回っている。

「1 少子化対策の推進」、「2 児童福祉の推進」、「3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実」の重要度は高く、市民の関心が強い分野となっている。

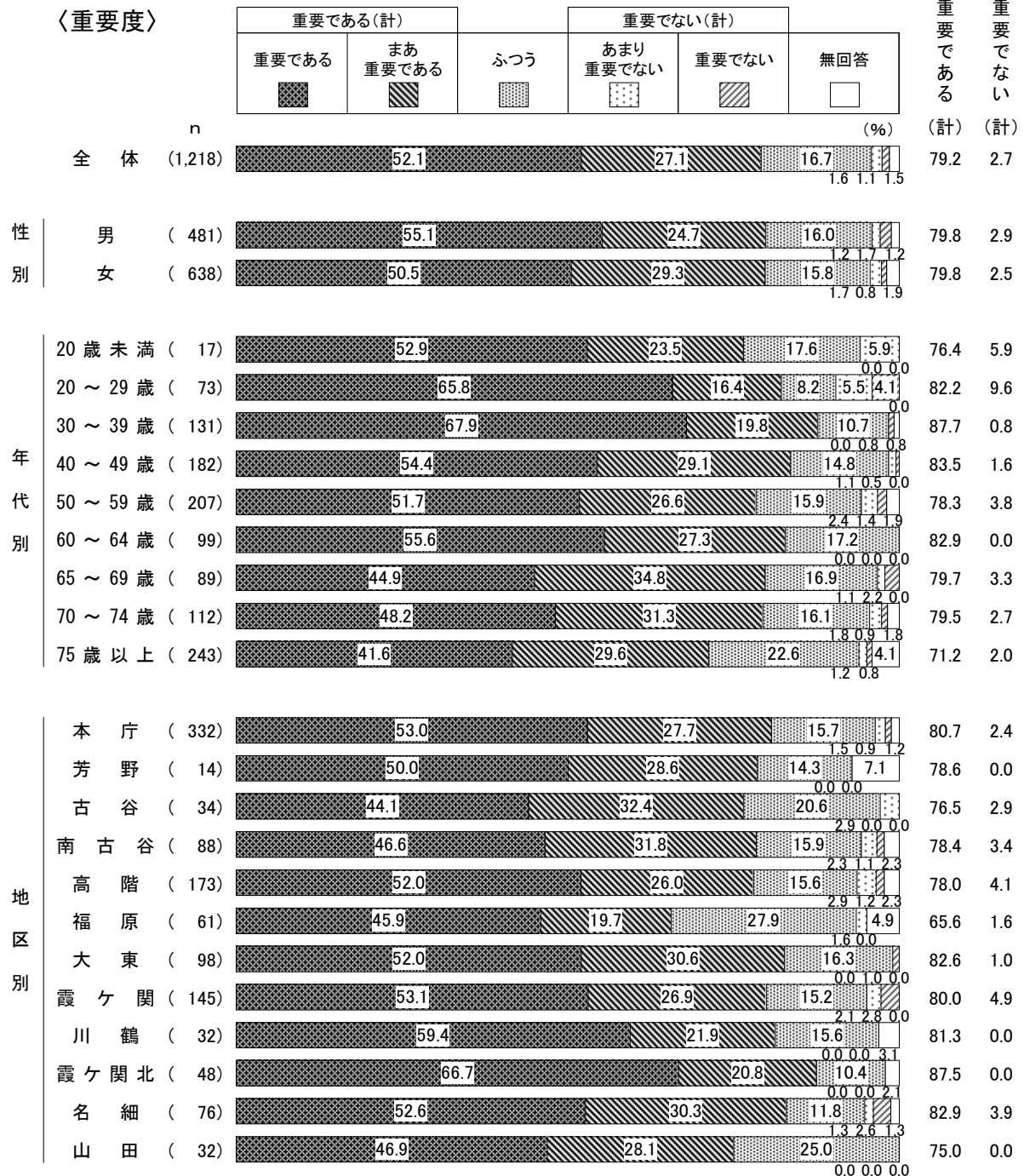


施策	重要度 評価点	満足度 評価点
1 少子化対策の推進	1.29	-0.15
2 児童福祉の推進	1.37	-0.10
3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実	1.29	-0.06
4 青少年健全育成の推進	1.10	-0.08
第1章 平均	1.26	-0.10

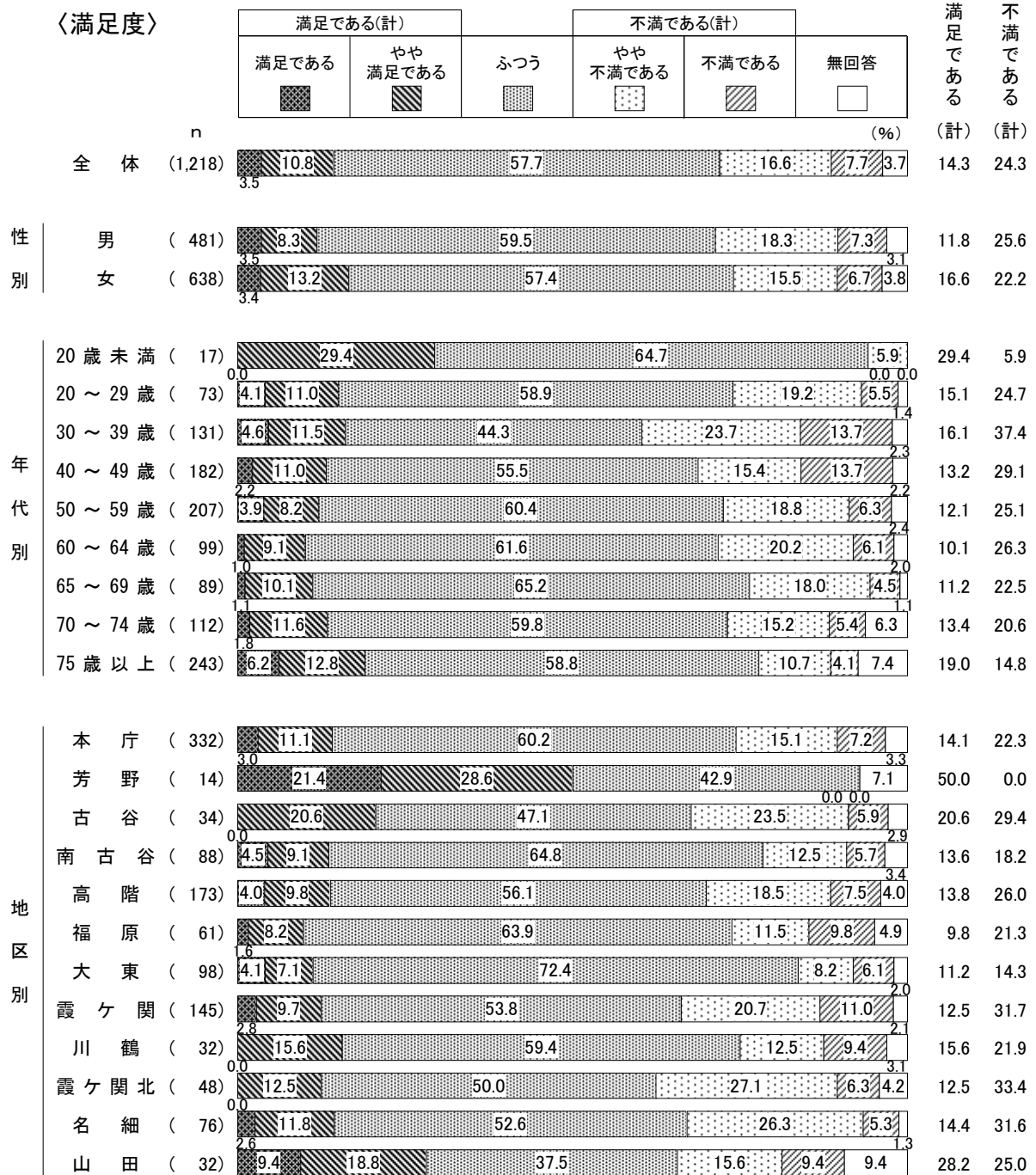
1. 少子化対策の推進

【施策の内容】

少子化の傾向に歯止めをかけられるよう、結婚に対する取組支援、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談や支援などに取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、79.2%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は79.8%、女性は79.8%と同じとなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、14.3%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は11.8%、女性は16.6%と女性の方が高くなっている。

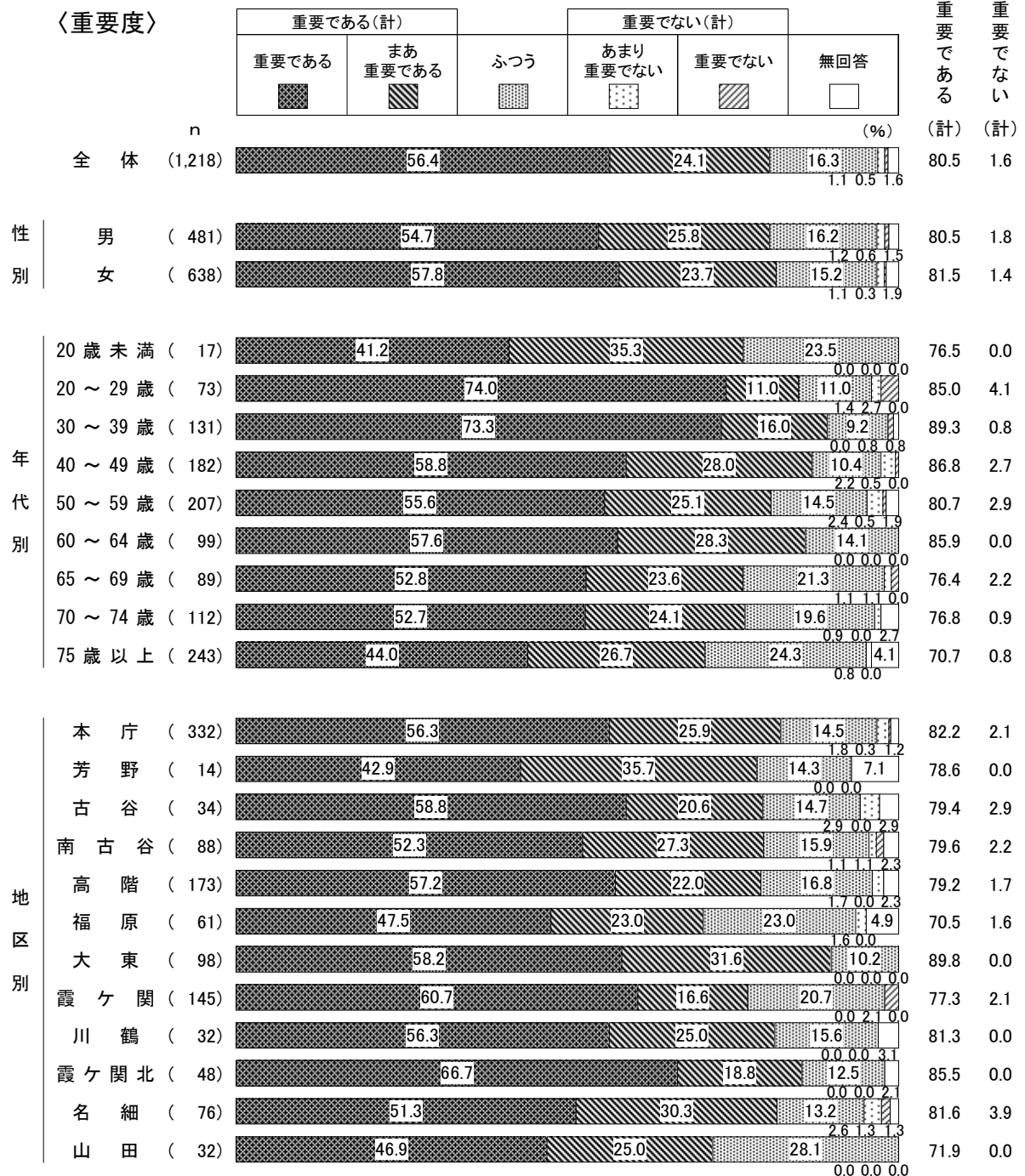
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	77.5%	79.2%	1.7%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	11.8%	14.3%	2.5%

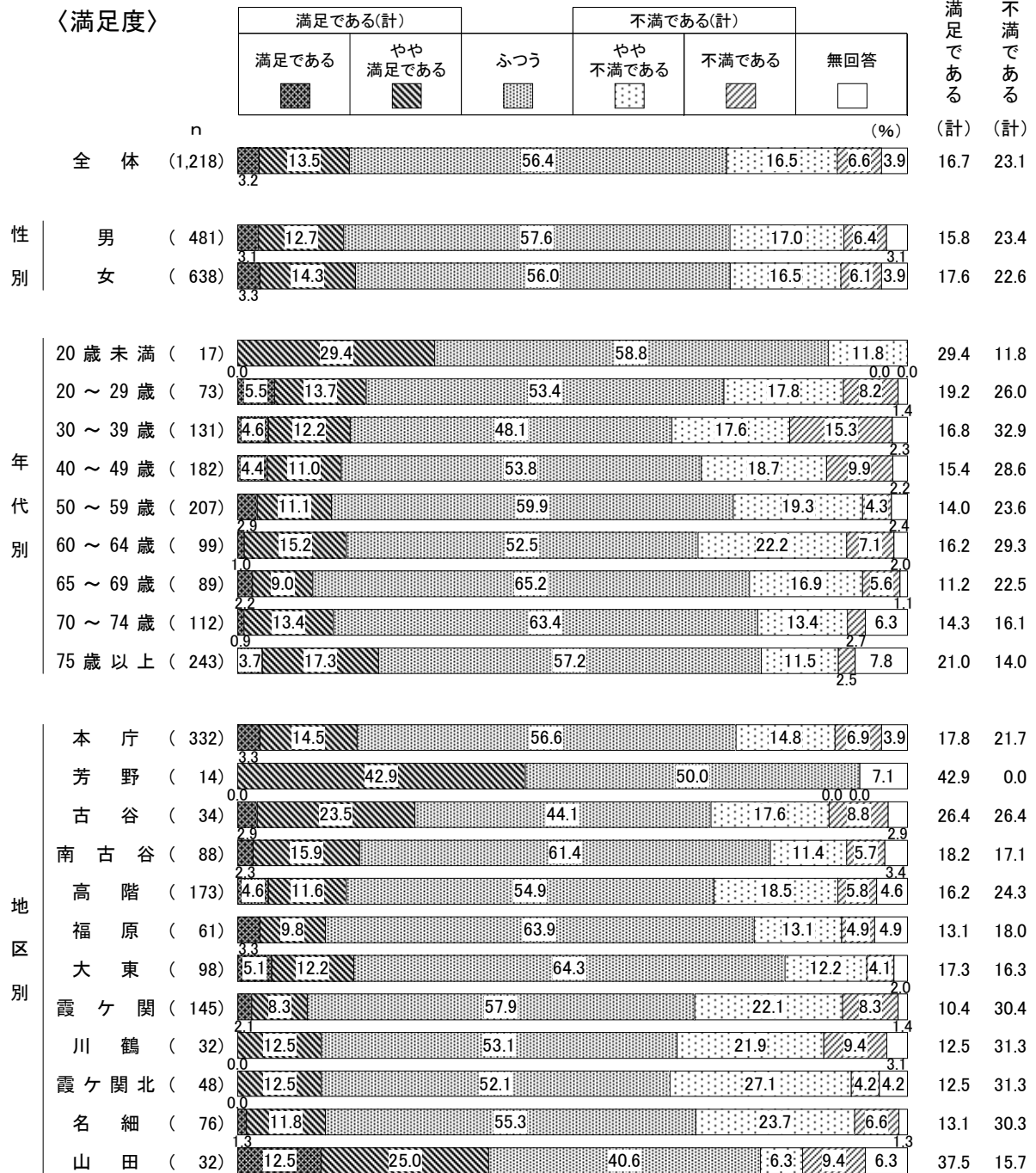
2. 児童福祉の推進

【施策の内容】

子どもが地域で健やかに成長できるよう、地域や社会全体で子育てを支える環境の整備に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、80.5%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は80.5%、女性は81.5%と女性の方がやや高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、16.7%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は15.8%、女性は17.6%と女性の方がやや高くなっている。

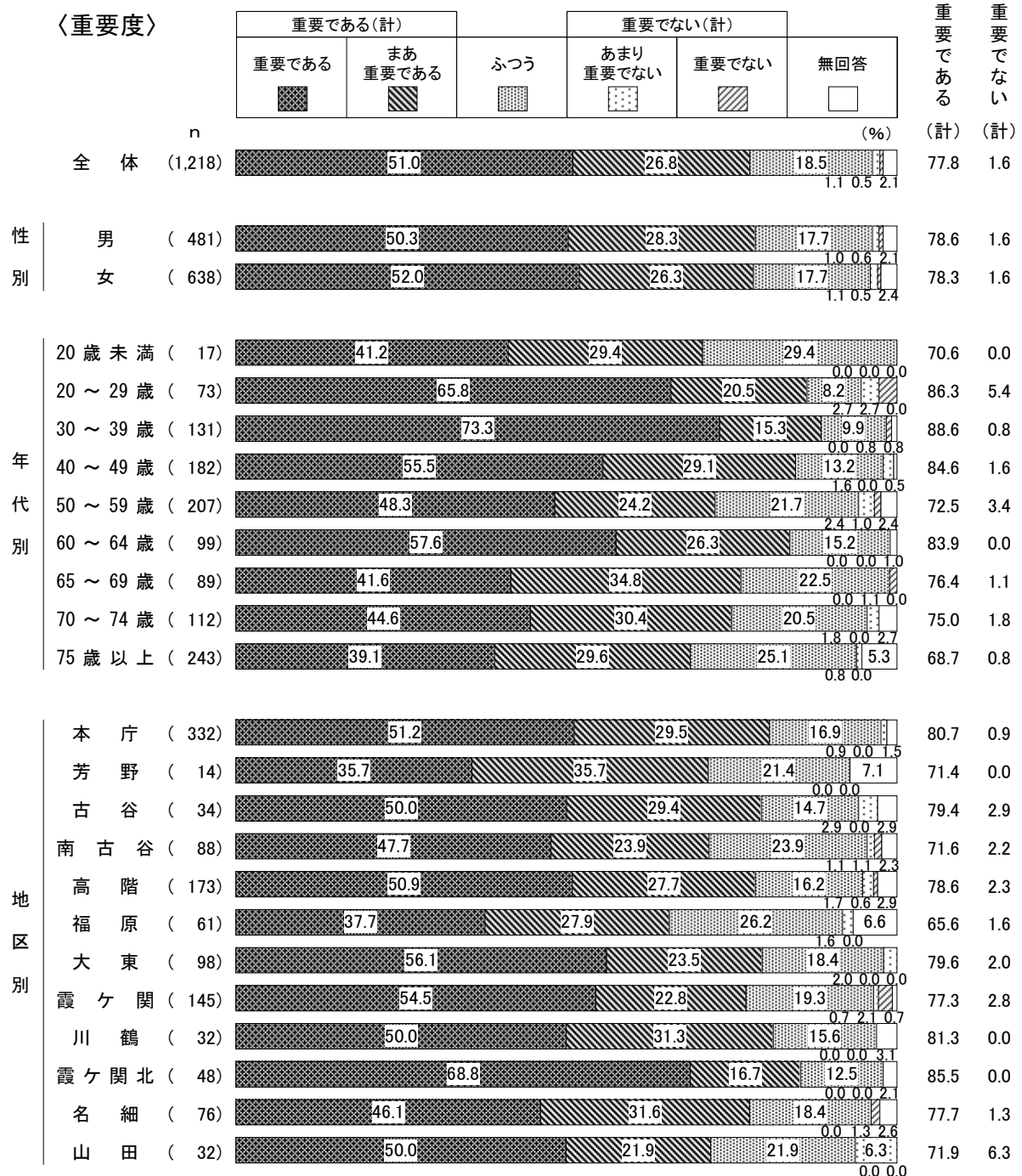
〈前回調査結果との比較 (全体)〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	78.1%	80.5%	2.4%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	14.6%	16.7%	2.1%

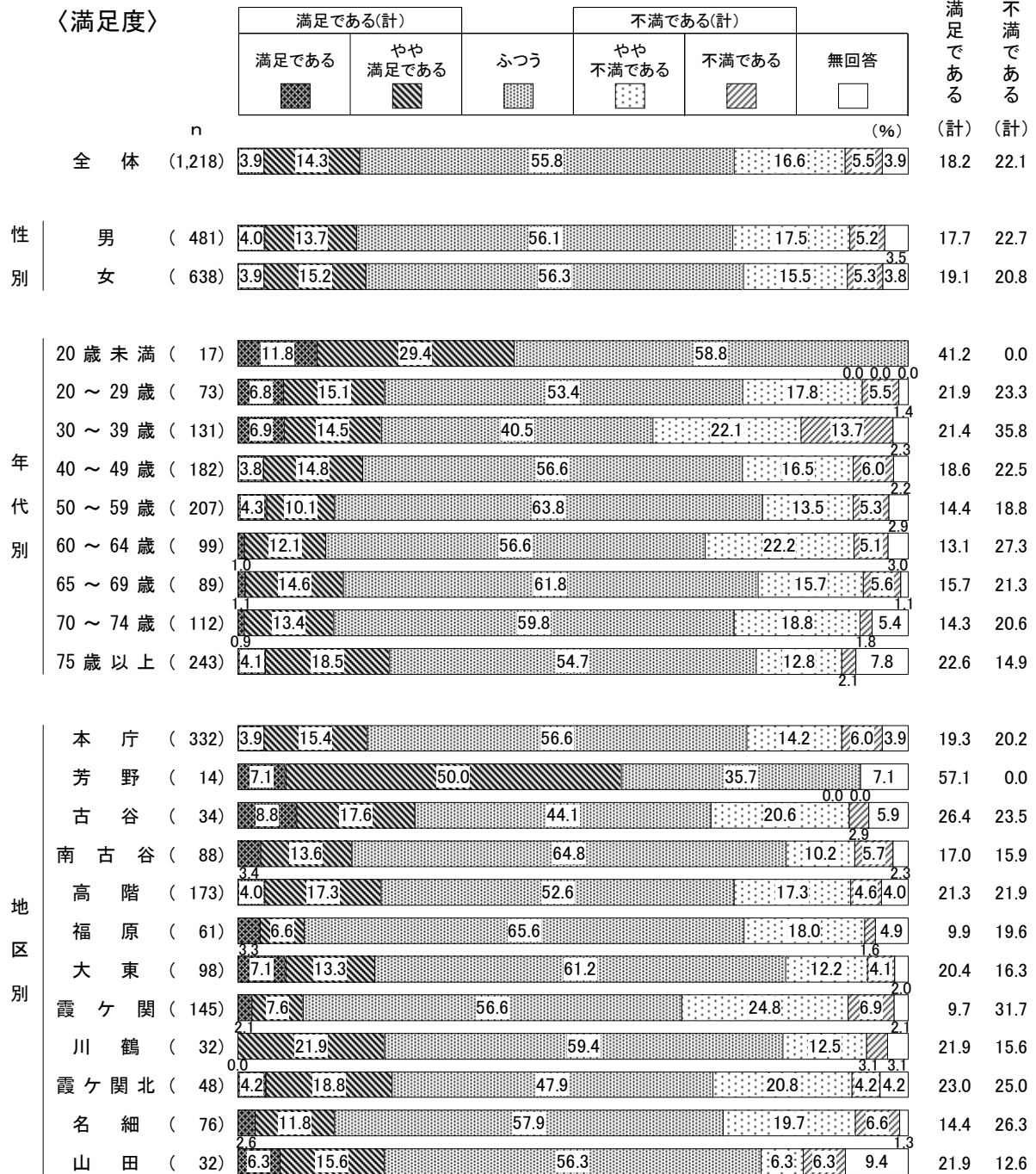
3. 幼児期の教育・保育と学童保育の充実

【施策の内容】

仕事をする親を支援するとともに、幼児教育・保育の充実、学童保育室等の充実など安心して子育てができる環境整備に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、77.8%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は78.6%、女性は78.3%とほぼ同じとなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、18.2%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は17.7%、女性は19.1%と女性の方がやや高くなっている。

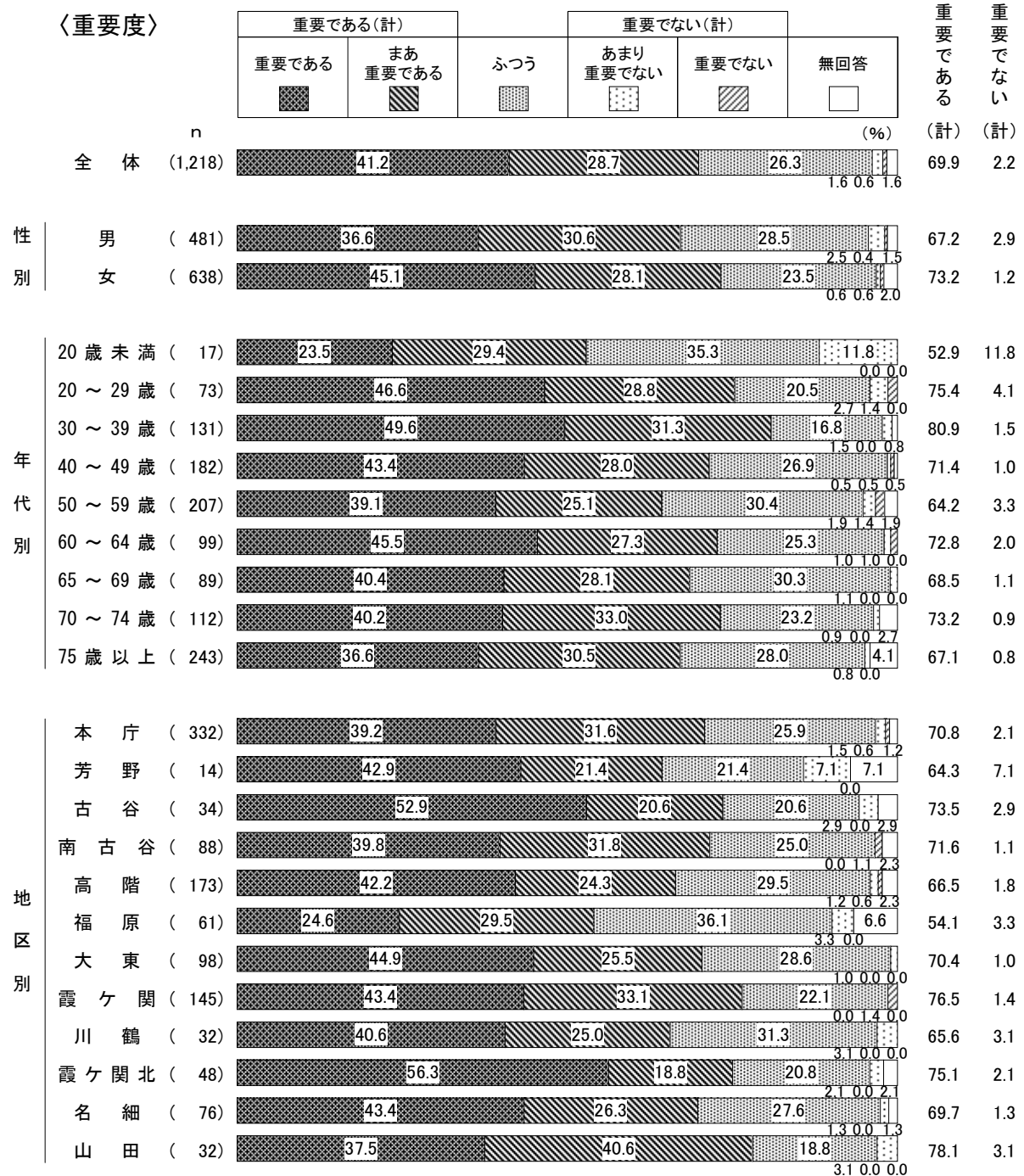
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	77.0%	77.8%	0.8%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	15.2%	18.2%	3.0%

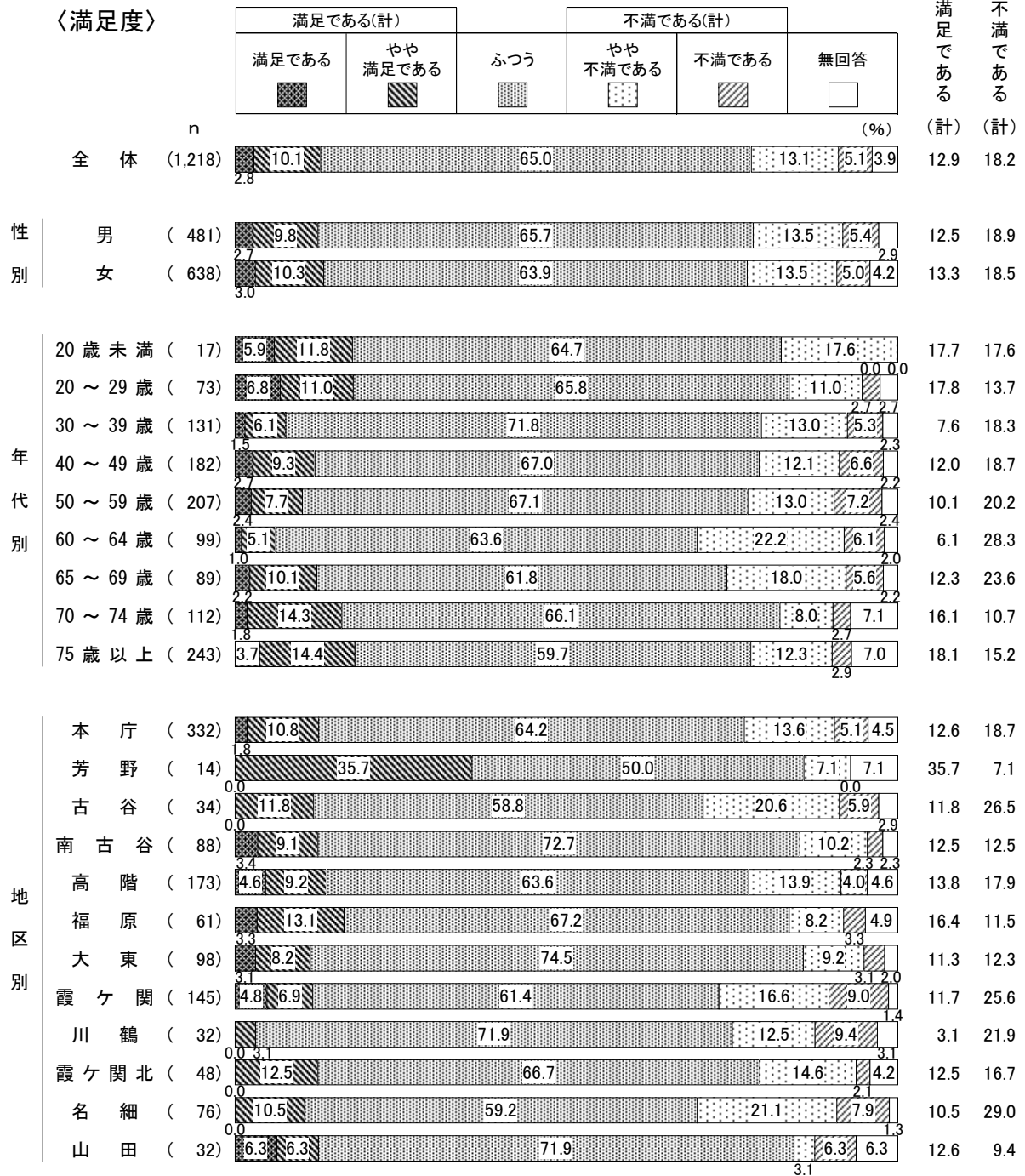
4. 青少年健全育成の推進

【施策の内容】

社会性を身に付けた自立した青少年を育てられるよう、家庭、地域、学校、警察などの関係機関が連携し、青少年の健全育成に地域ぐるみで取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、69.9%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は67.2%、女性は73.2%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、12.9%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は12.5%、女性は13.3%とほぼ同じとなっている。

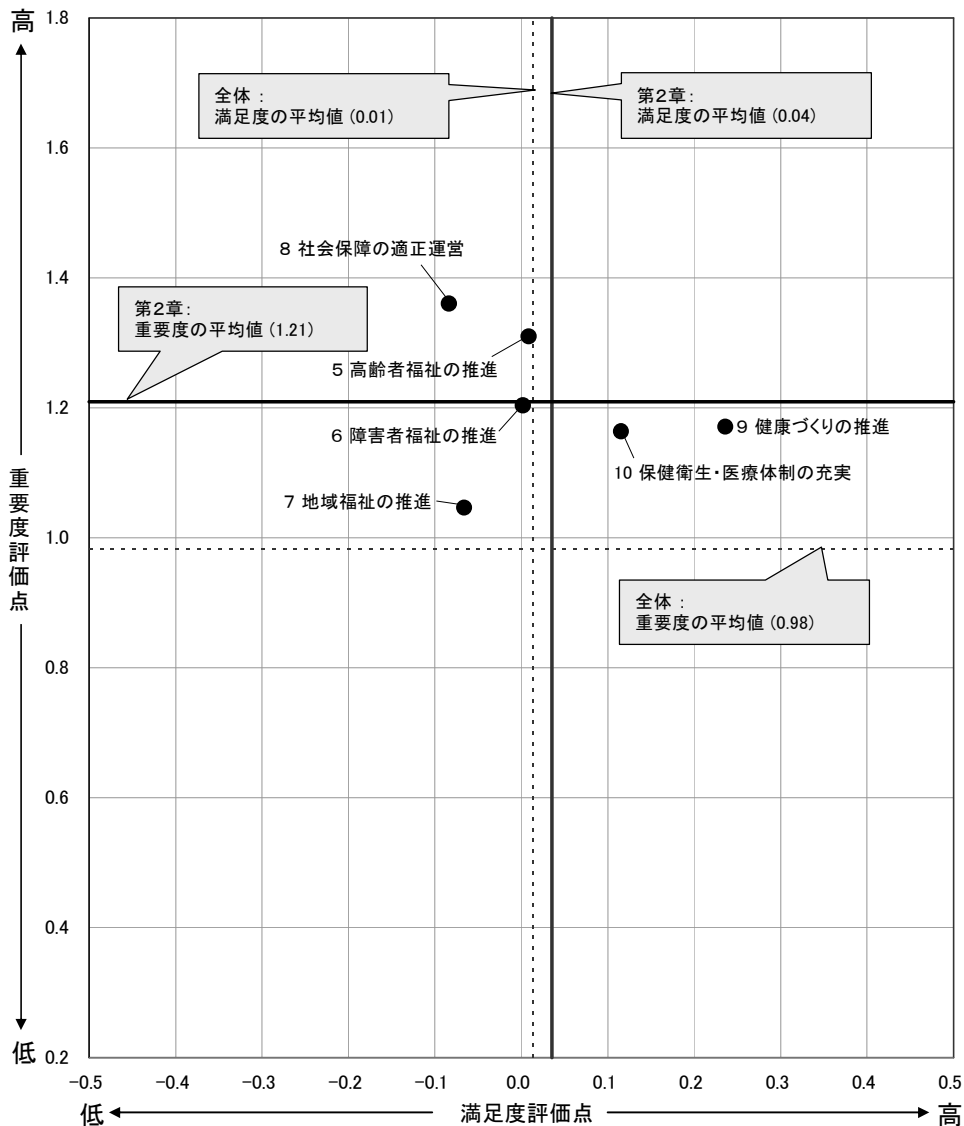
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	71.2%	69.9%	-1.3%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	10.8%	12.9%	2.1%

【第2章】住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち
～福祉・保健・医療～

福祉・保健・医療の分野については、すべての施策において、重要度が全体の平均値（0.98）を上回っており、市民の関心が強い分野となっている。

とりわけ、「8 社会保障の適正運営」については、本分野において市民が最も重要と考えていながらも、満足度は最も低い施策となっている。

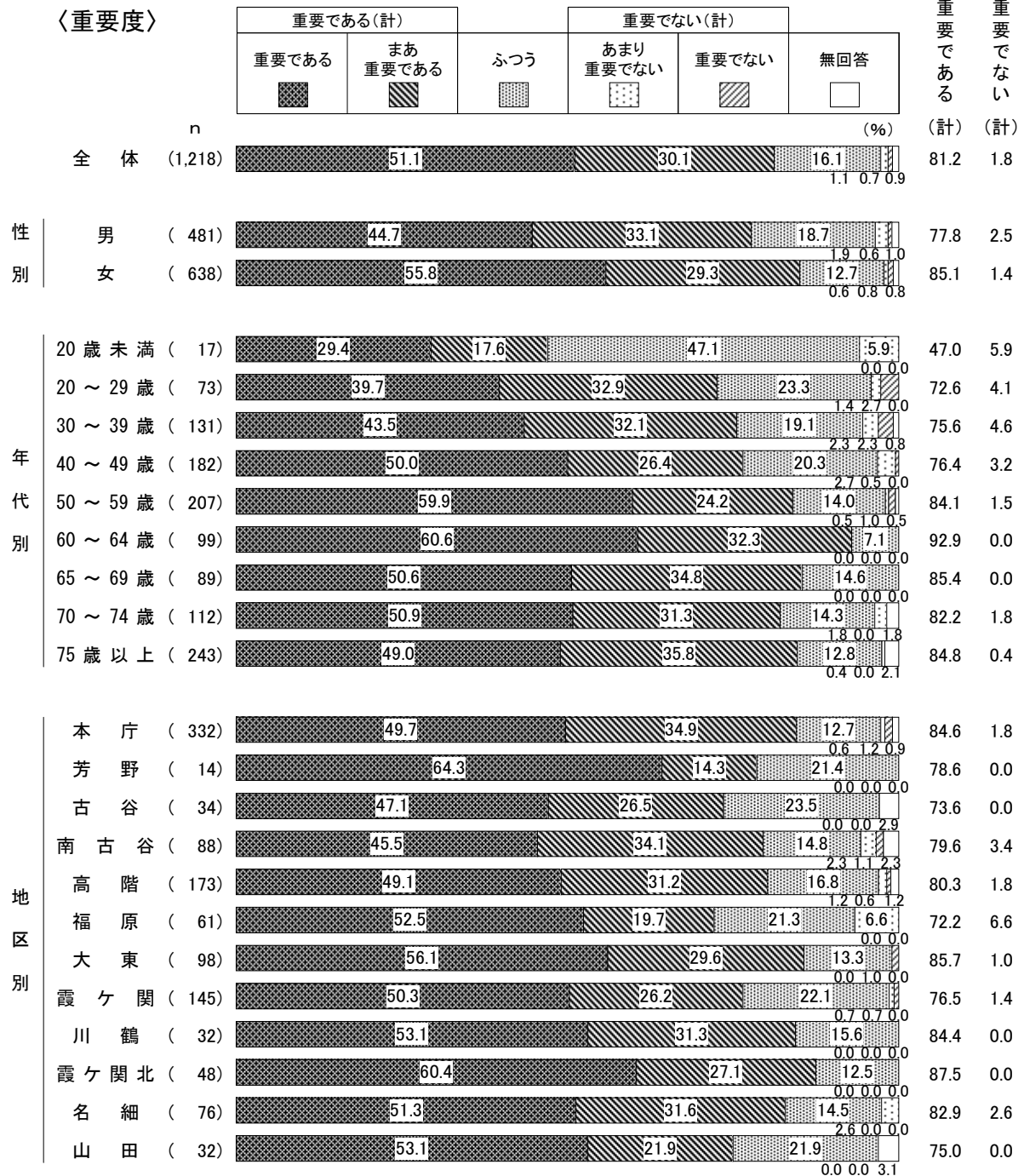


施策	重要度 評価点	満足度 評価点
5 高齢者福祉の推進	1.31	0.01
6 障害者福祉の推進	1.20	0.00
7 地域福祉の推進	1.05	-0.07
8 社会保障の適正運営	1.36	-0.08
9 健康づくりの推進	1.17	0.24
10 保健衛生・医療体制の充実	1.16	0.12
第2章 平均	1.21	0.04

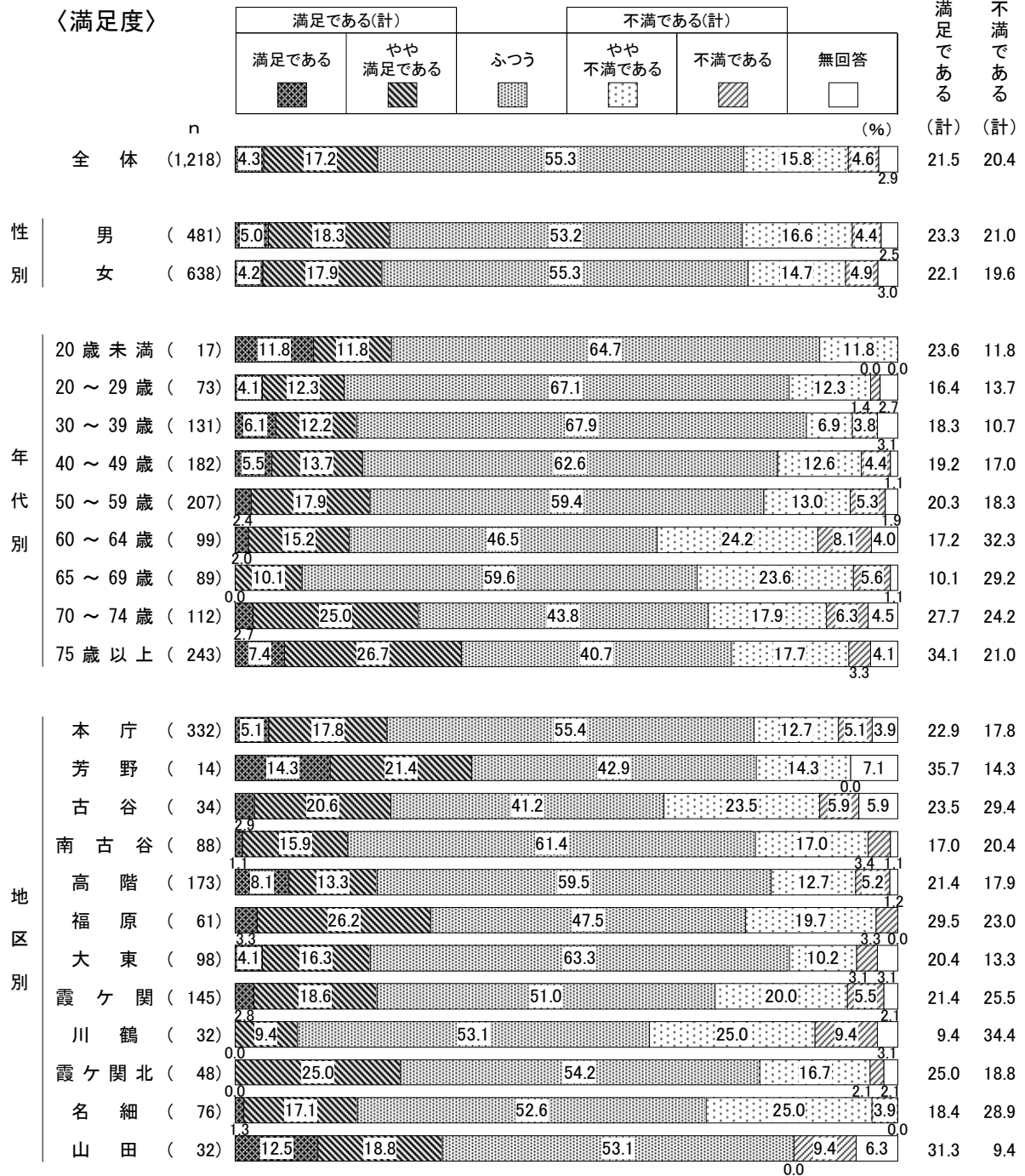
5. 高齢者福祉の推進

【施策の内容】

高齢者が生きがいを感じながら、住み慣れた地域で健康で安心して暮らせるまちの実現に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、81.2%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は77.8%、女性は85.1%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、21.5%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は23.3%、女性は22.1%と男性の方がやや高くなっている。

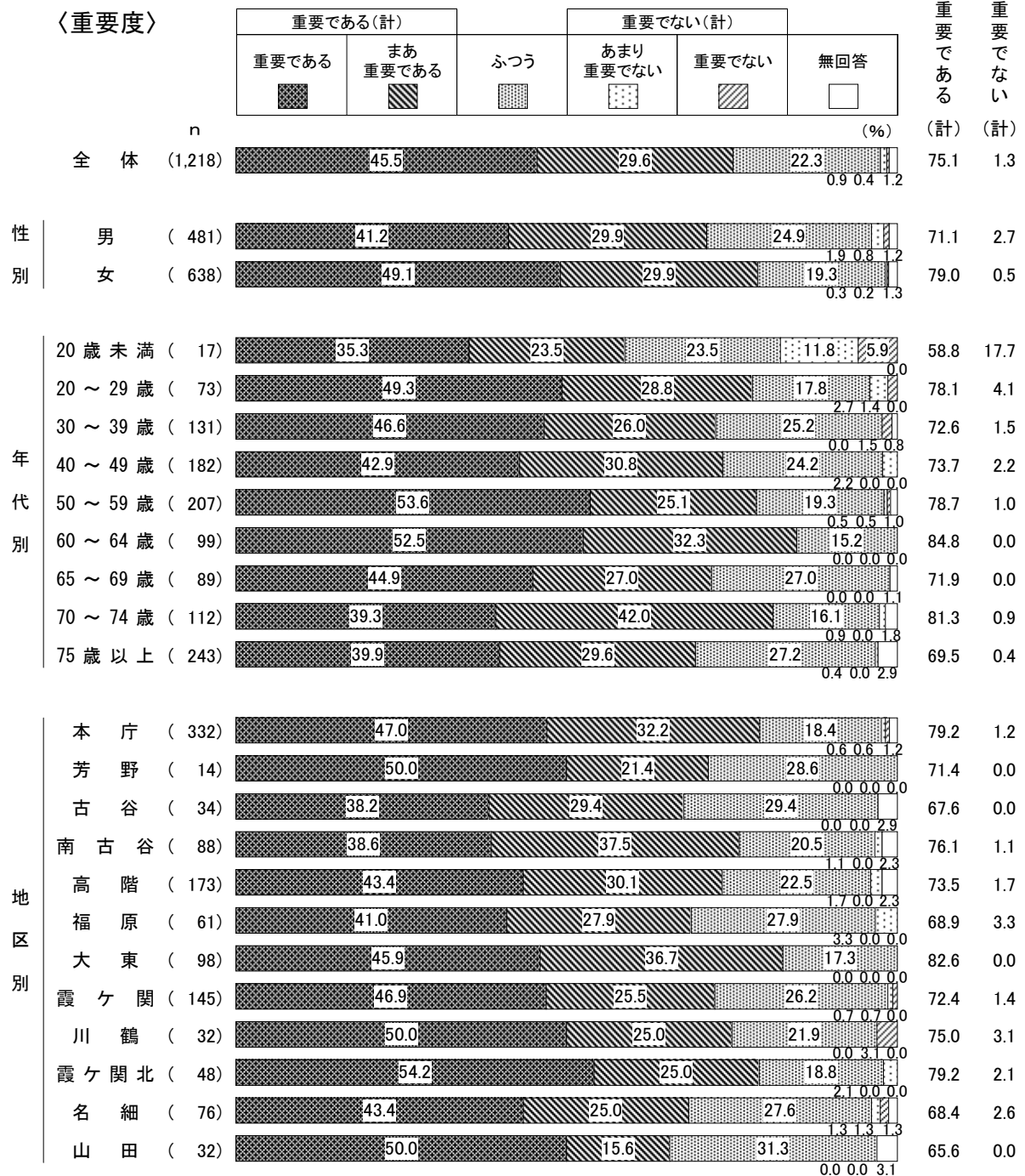
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	82.4%	81.2%	-1.2%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	19.8%	21.5%	1.7%

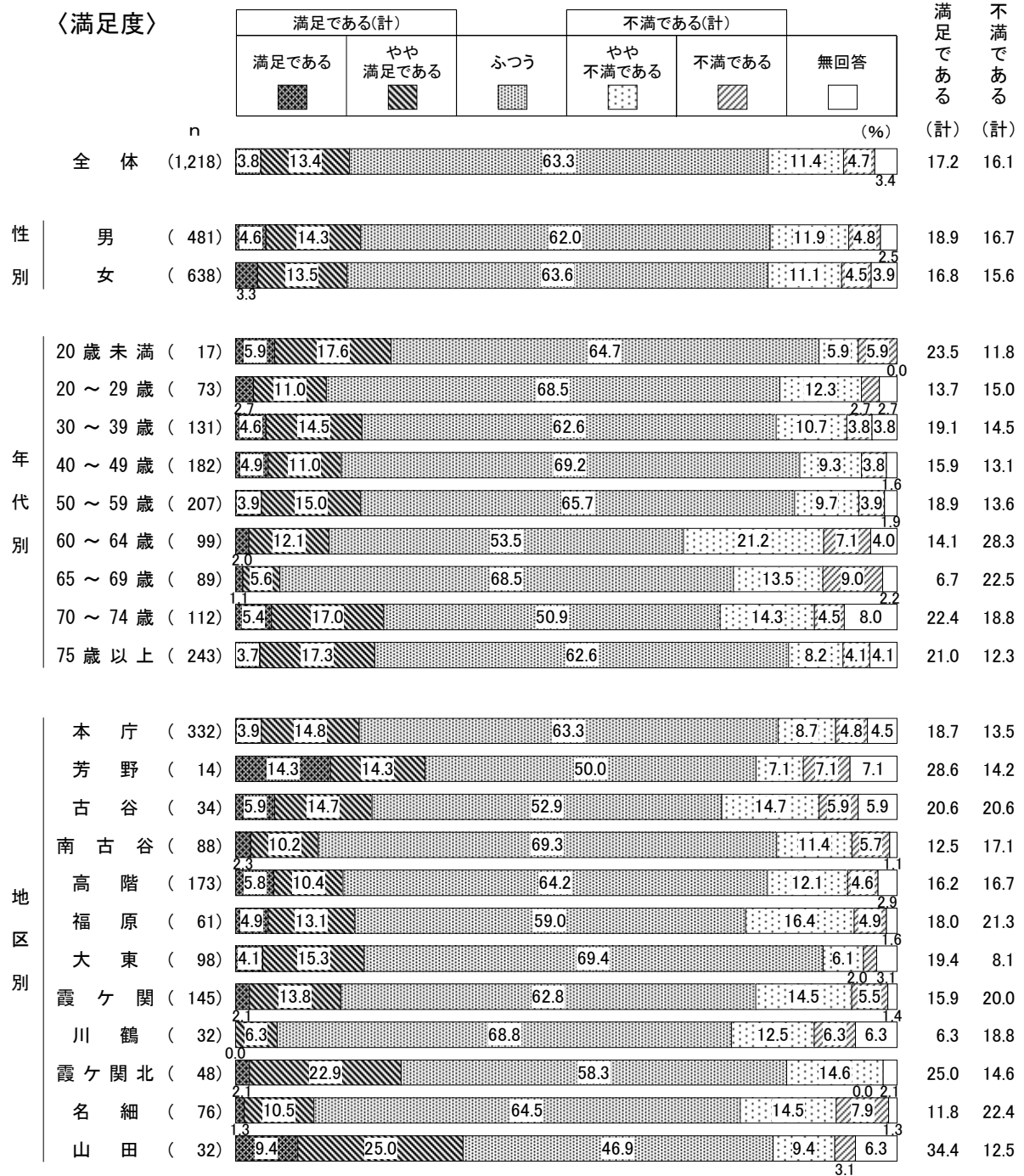
6. 障害者福祉の推進

【施策の内容】

自立と共生の考えのもと、障害のある方が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、総合的な福祉サービスの充実や社会参加の支援等に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、75.1%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は71.1%、女性は79.0%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、17.2%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は18.9%、女性は16.8%と男性の方がやや高くなっている。

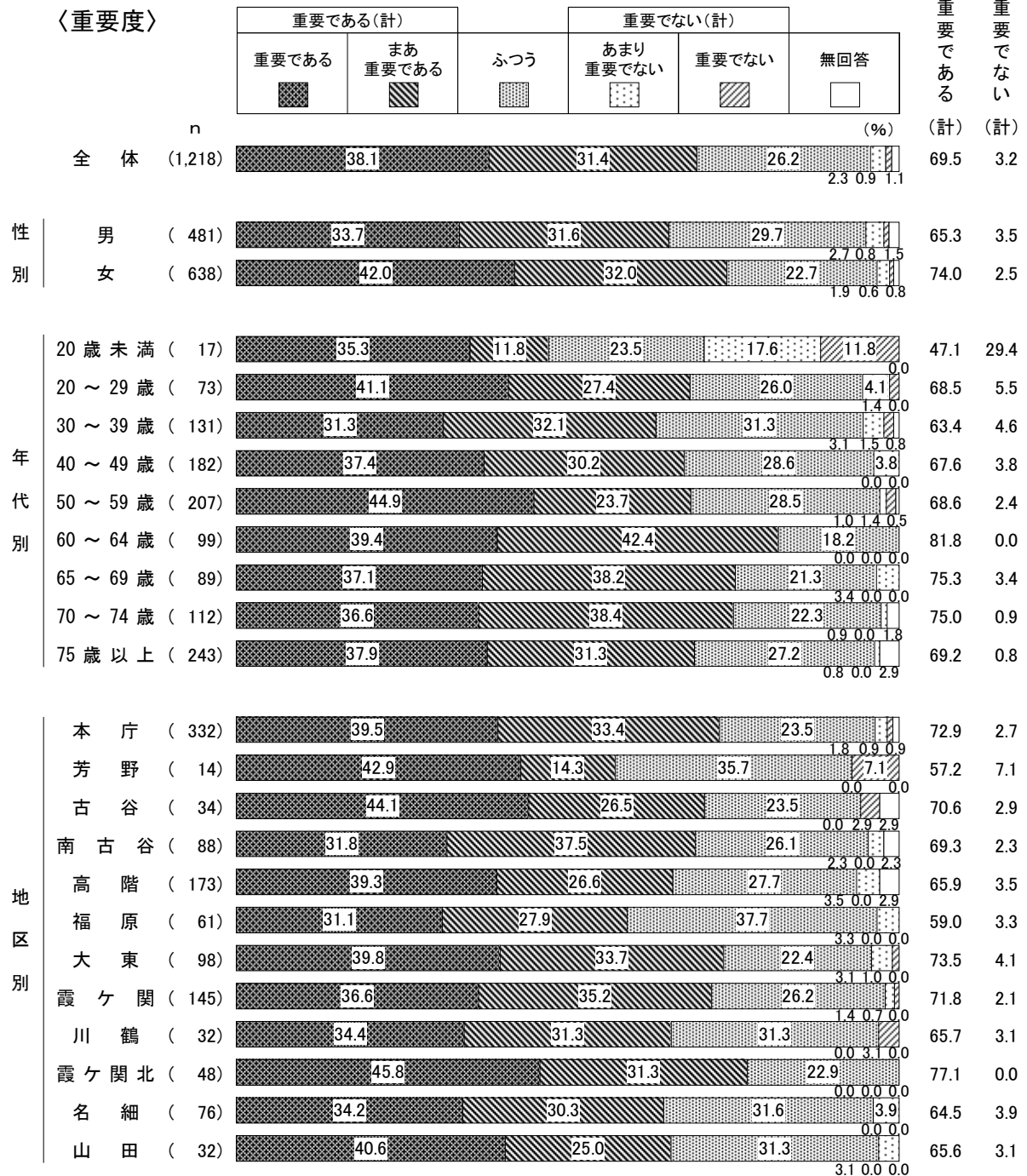
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	77.3%	75.1%	-2.2%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	14.0%	17.2%	3.2%

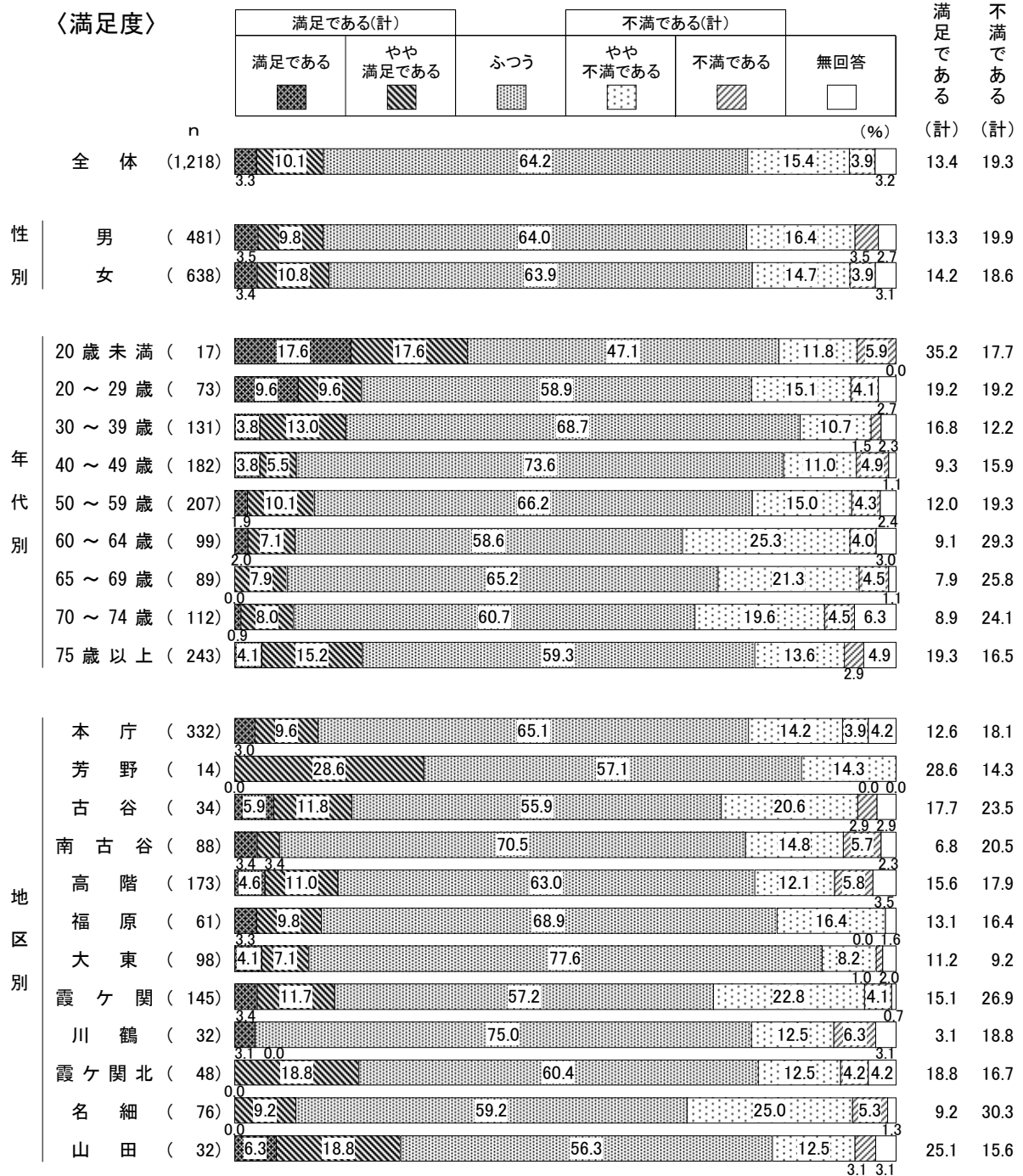
7. 地域福祉の推進

【施策の内容】

誰もが社会から孤立することなく、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるよう、市民や地域の組織等と協力して、支え合い・助け合いの地域社会の構築に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、69.5%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は65.3%、女性は74.0%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、13.4%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は13.3%、女性は14.2%とほぼ同じとなっている。

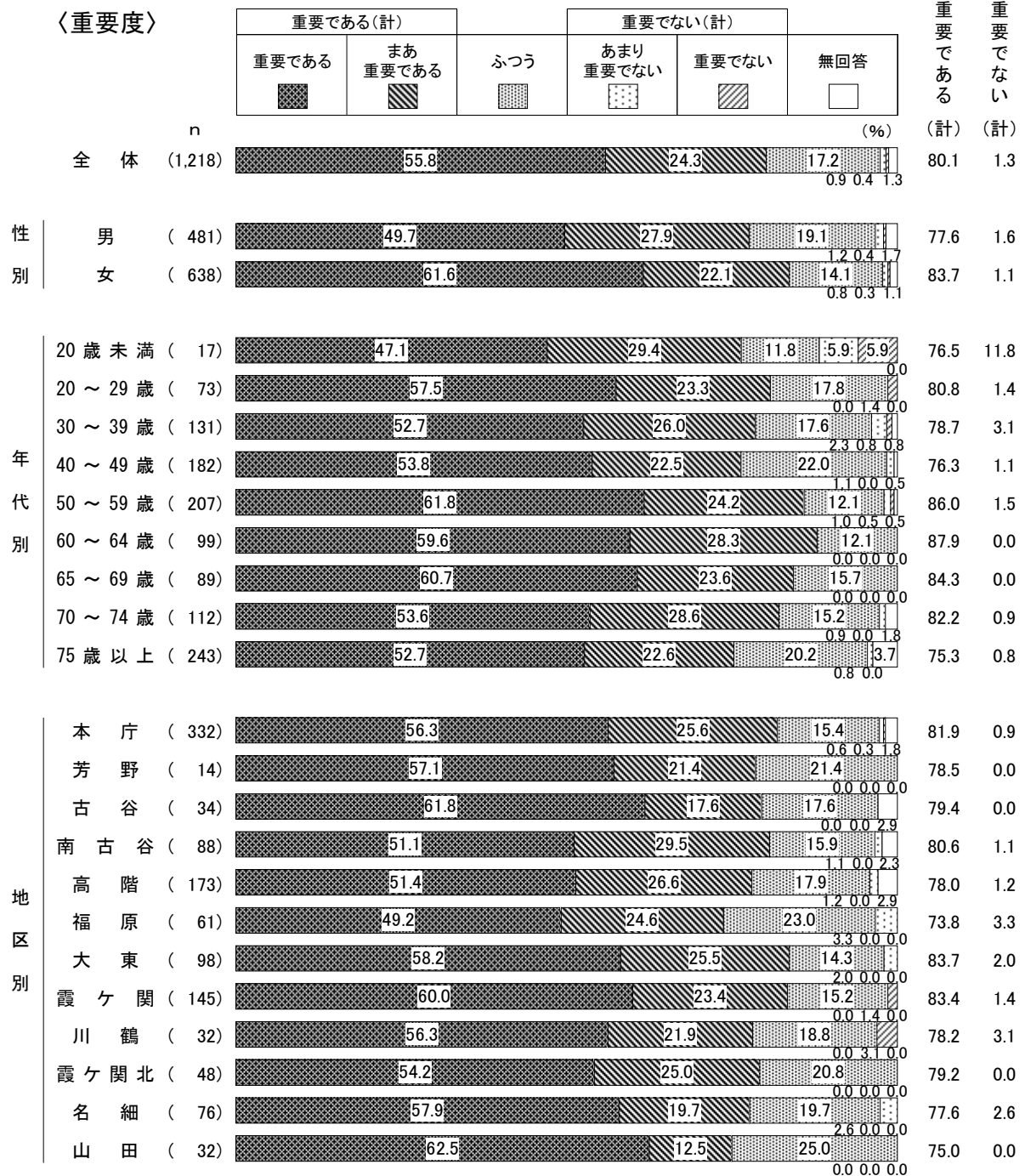
〈前回調査結果との比較 (全体)〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	72.3%	69.5%	-2.8%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	14.2%	13.4%	-0.8%

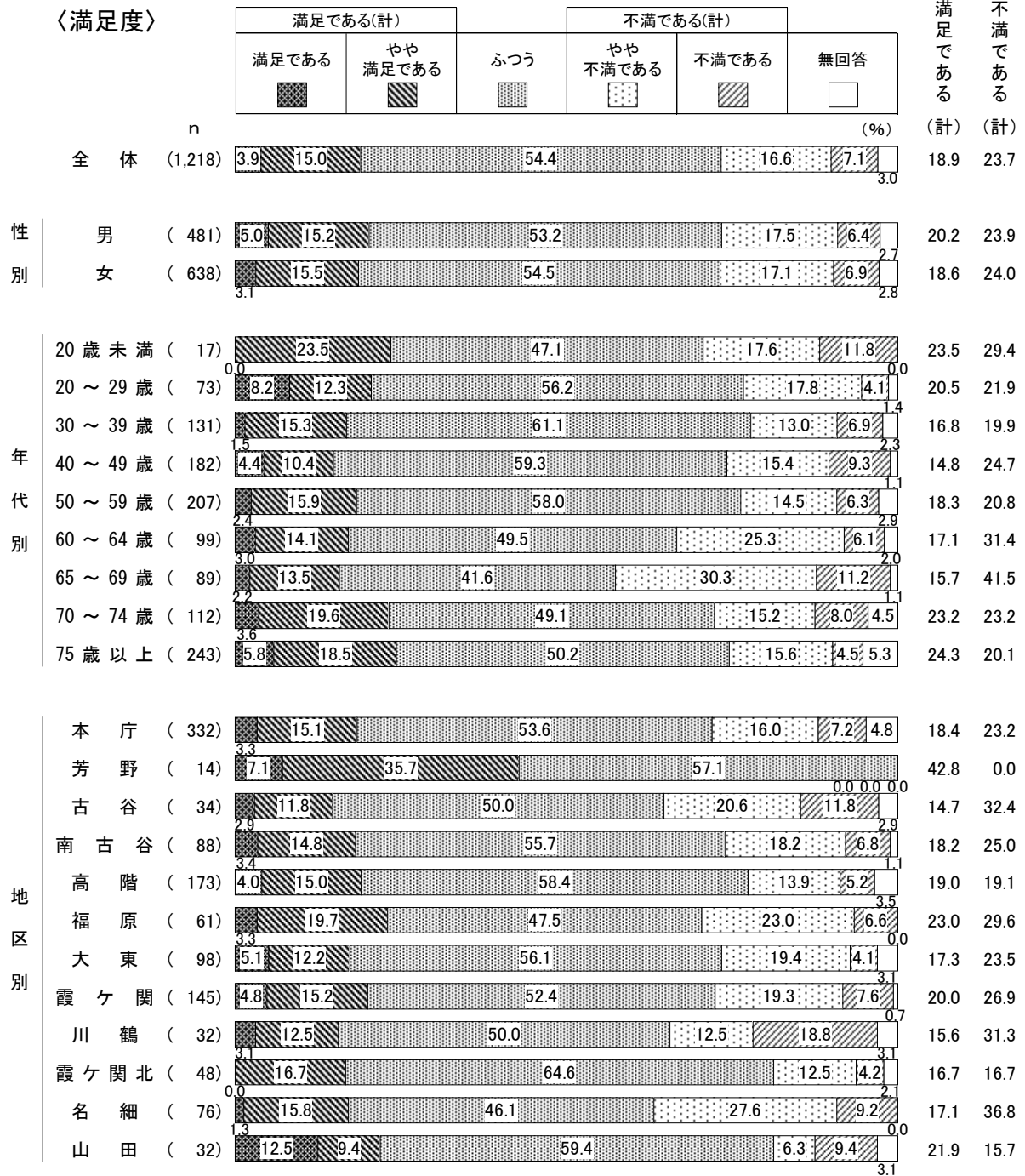
8. 社会保障の適正運営

【施策の内容】

すべての市民が安定的に社会保障制度を利用できるよう、適正かつ効果的な制度の運営に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、80.1%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は77.6%、女性は83.7%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、18.9%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は20.2%、女性は18.6%と男性の方がやや高くなっている。

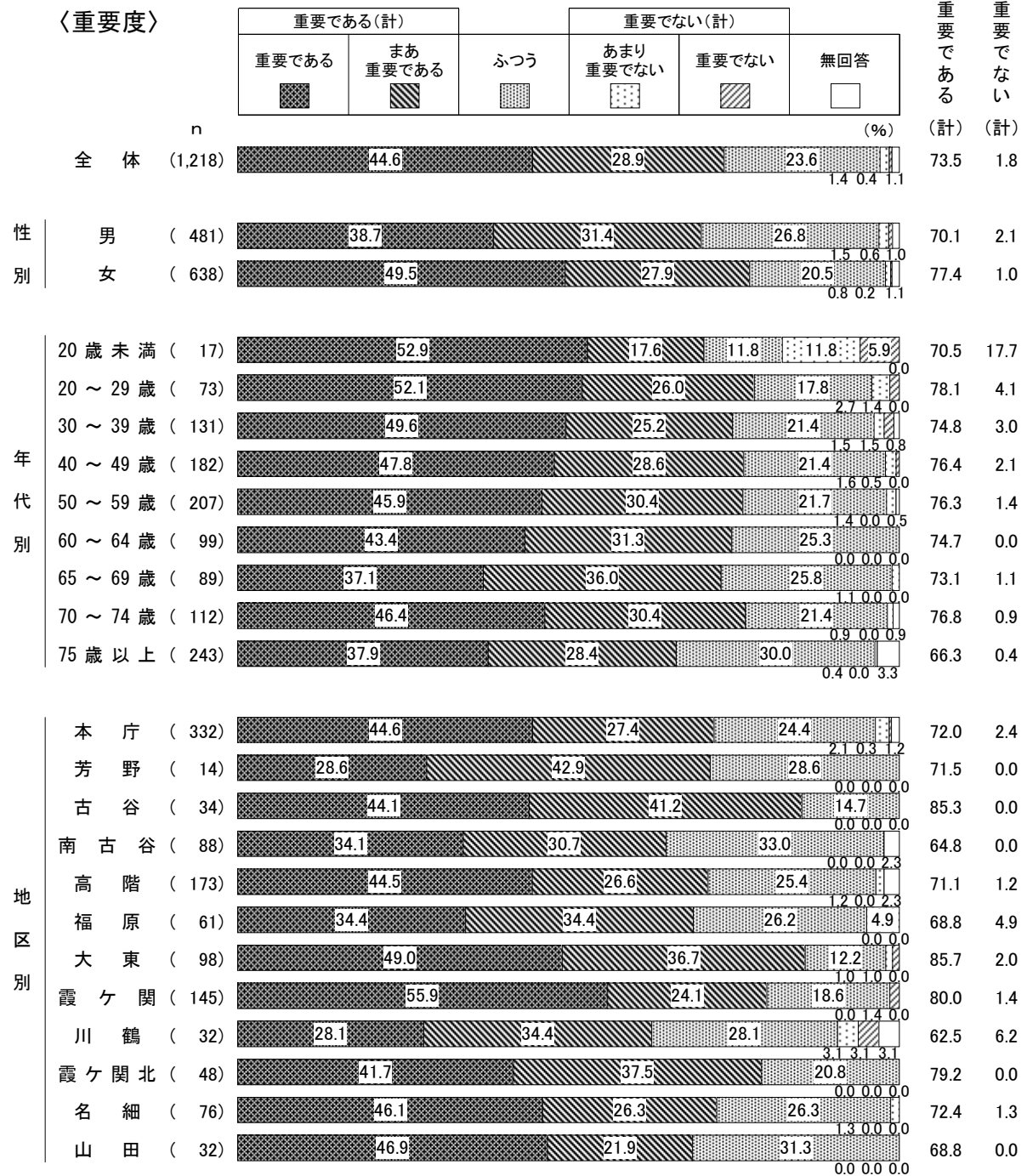
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	82.5%	80.1%	-2.4%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	15.5%	18.9%	3.4%

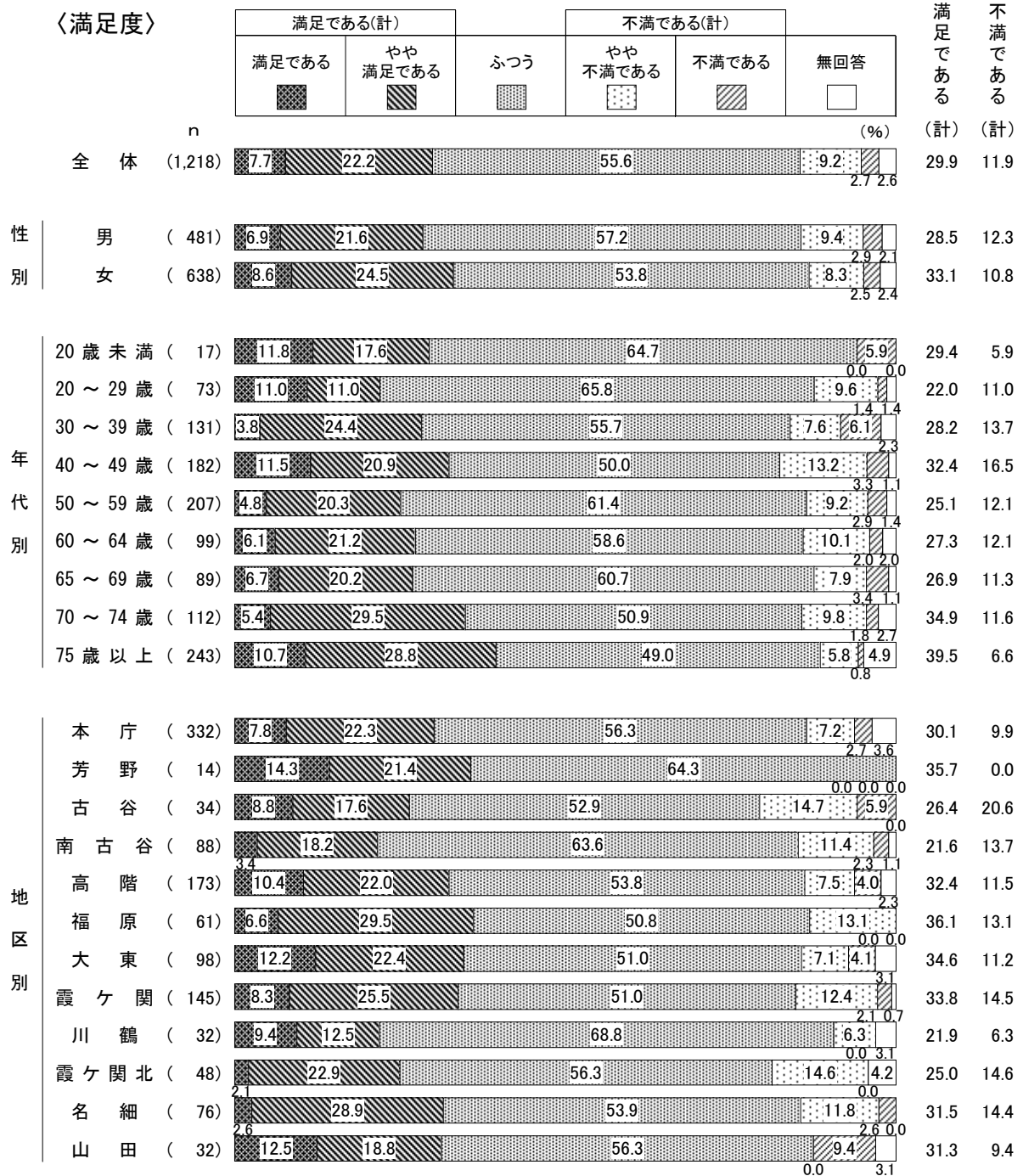
9. 健康づくりの推進

【施策の内容】

子どもから高齢者まで、生涯を通じた健康の保持・増進が図られるよう、保健サービスの充実、健康づくりの支援に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、73.5%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は70.1%、女性は77.4%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、29.9%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は28.5%、女性は33.1%と女性の方が高くなっている。

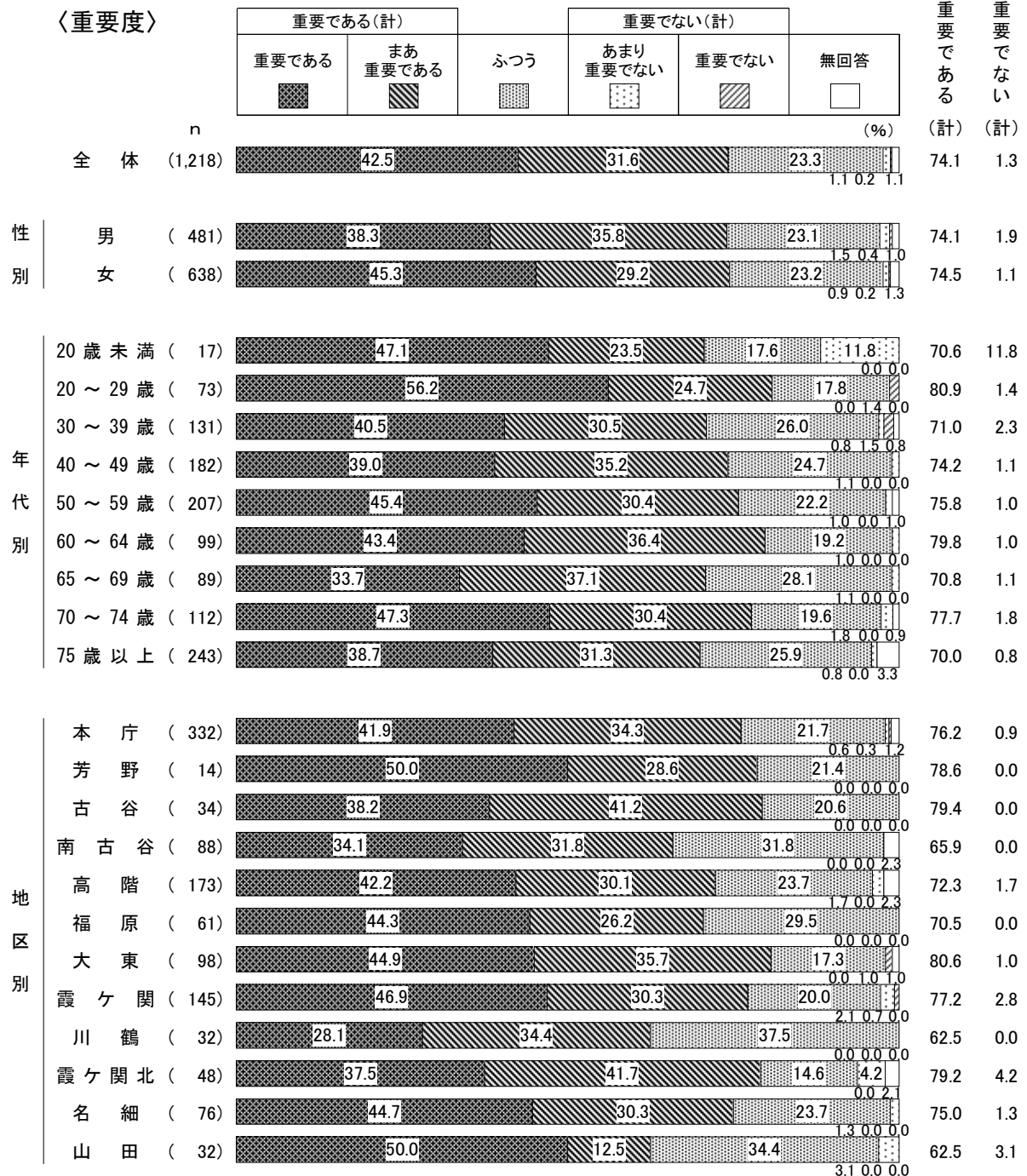
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	73.8%	73.5%	-0.3%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	29.2%	29.9%	0.7%

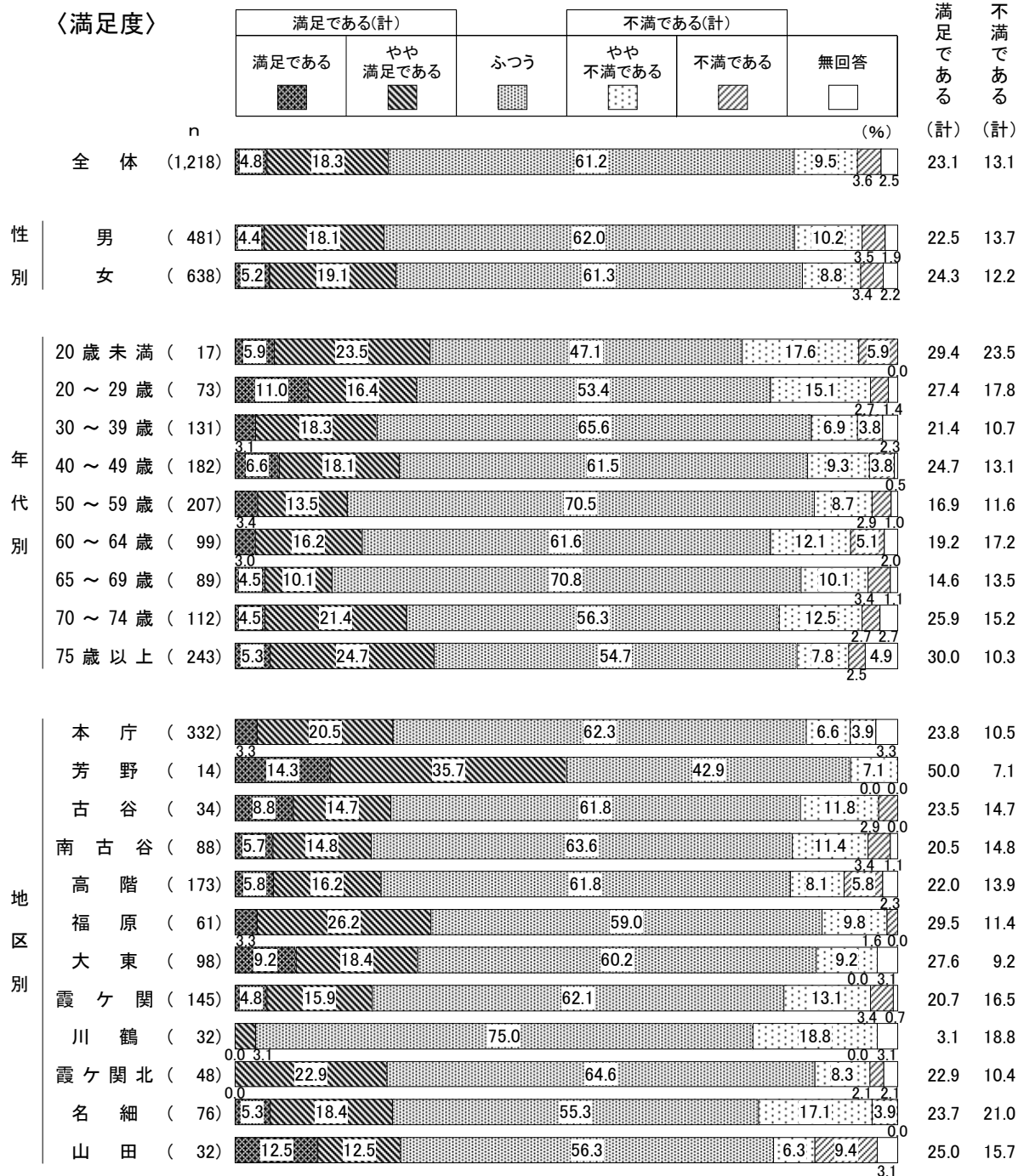
10. 保健衛生・医療体制の充実

【施策の内容】

市民の健康や食の安全・安心が確保されるとともに、適切な医療提供体制の確保が図られるよう、保健衛生・医療体制の充実に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、74.1%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は74.1%、女性は74.5%とほぼ同じとなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、23.1%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は22.5%、女性は24.3%と女性の方がやや高くなっている。

〈前回調査結果との比較（全体）〉

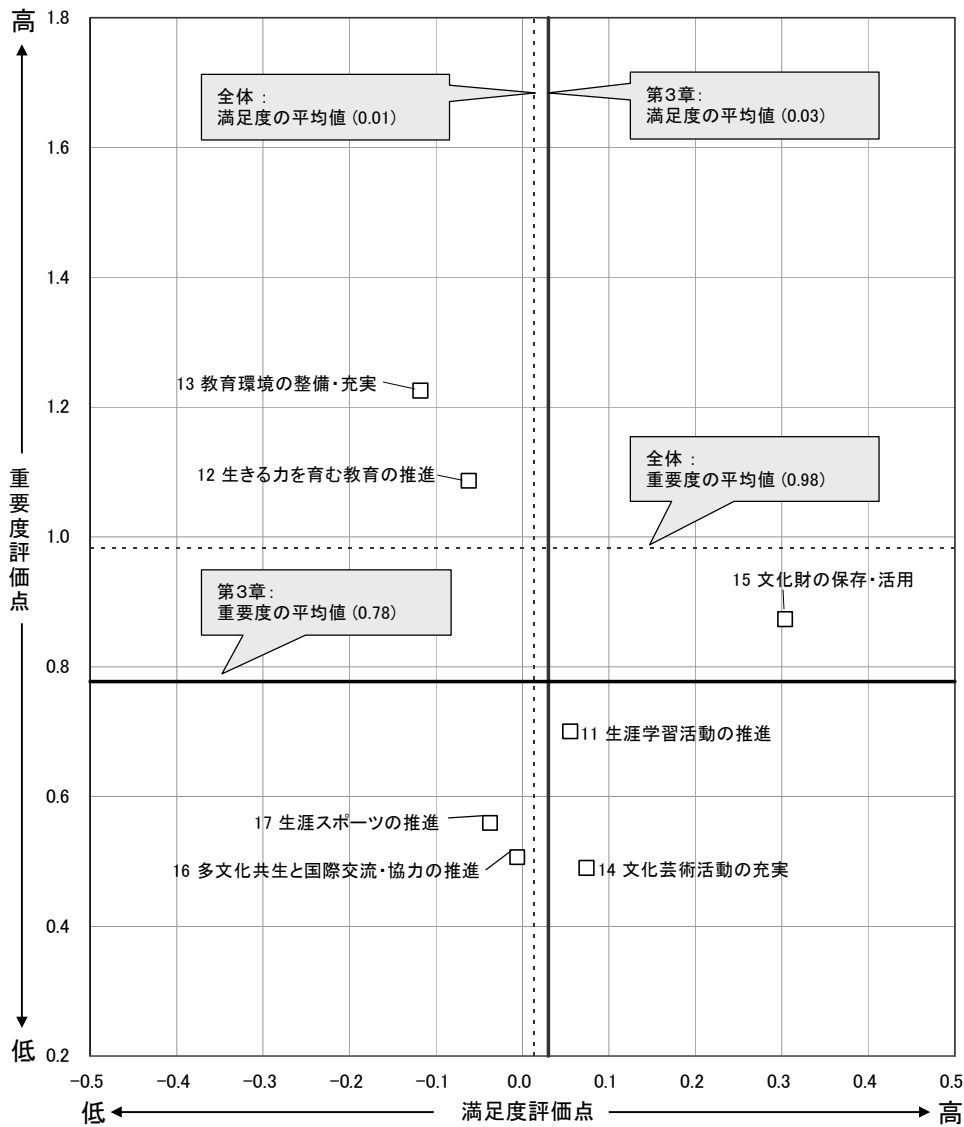
	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	71.6%	74.1%	2.5%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	17.1%	23.1%	6.0%

【第3章】歴史と文化を感じながら学びあい、豊かな心を育むまち

～教育・文化・スポーツ～

教育・文化・スポーツの分野については、重要度が全体の平均値（0.98）を下回っている施策が多くなっている。

「13 教育環境の整備・充実」「12 生きる力を育む教育の推進」は重要度が高く、市民の関心が強いのに対し、満足度は分野の平均を下回っている。

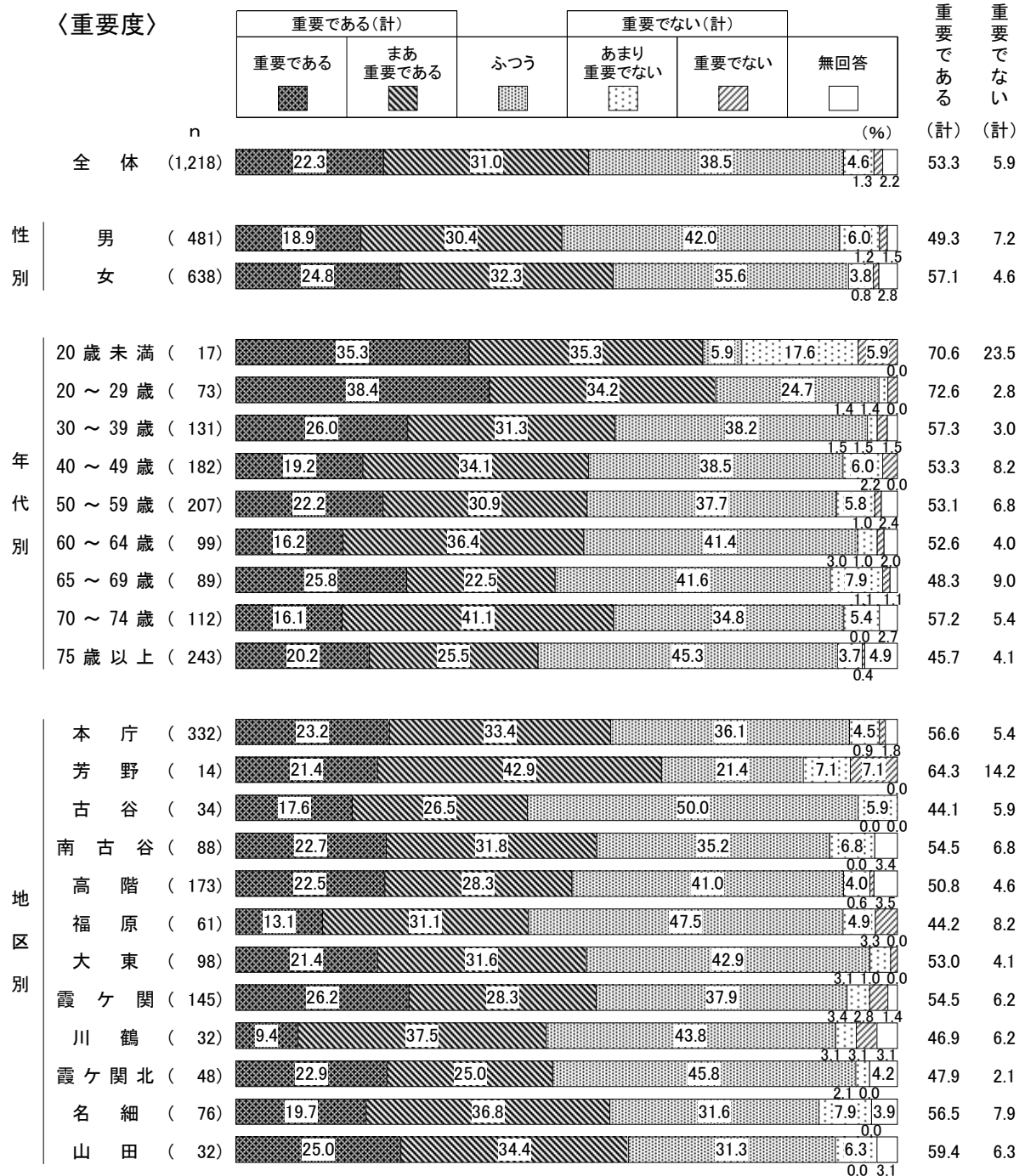


施策	重要度 評価点	満足度 評価点
11 生涯学習活動の推進	0.70	0.06
12 生きる力を育む教育の推進	1.09	-0.06
13 教育環境の整備・充実	1.23	-0.12
14 文化芸術活動の充実	0.49	0.07
15 文化財の保存・活用	0.87	0.30
16 多文化共生と国際交流・協力の推進	0.51	-0.01
17 生涯スポーツの推進	0.56	-0.04
第3章 平均	0.78	0.03

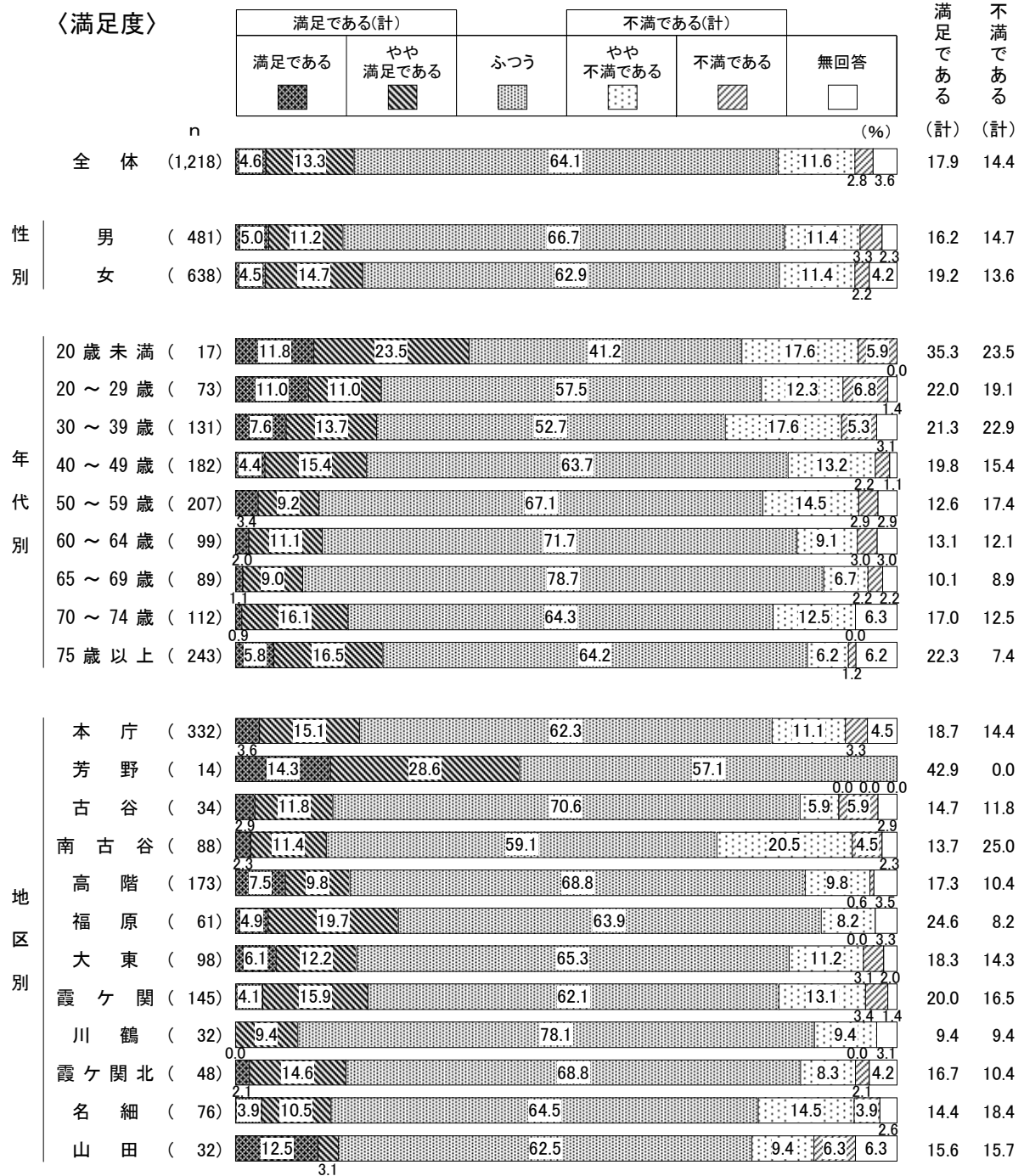
11. 生涯学習活動の推進

【施策の内容】

市民一人ひとりが生涯を通じて学習することができ、その成果を生かすことができる社会となるよう、学習環境の整備や多様な学習機会の充実に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、53.3%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は49.3%、女性は57.1%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、17.9%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は16.2%、女性は19.2%と女性の方が高くなっている。

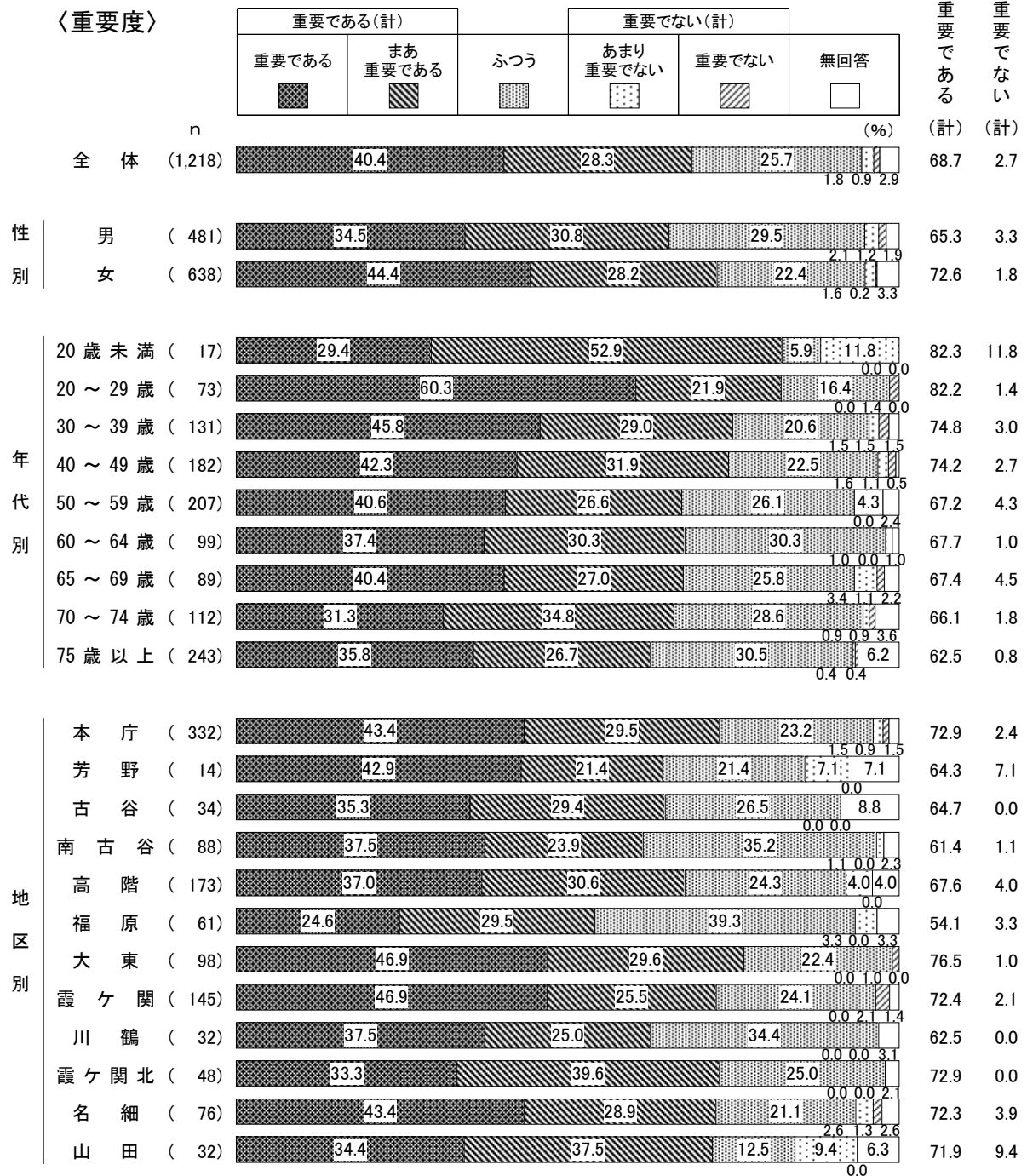
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	53.0%	53.3%	0.3%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	19.4%	17.9%	-1.5%

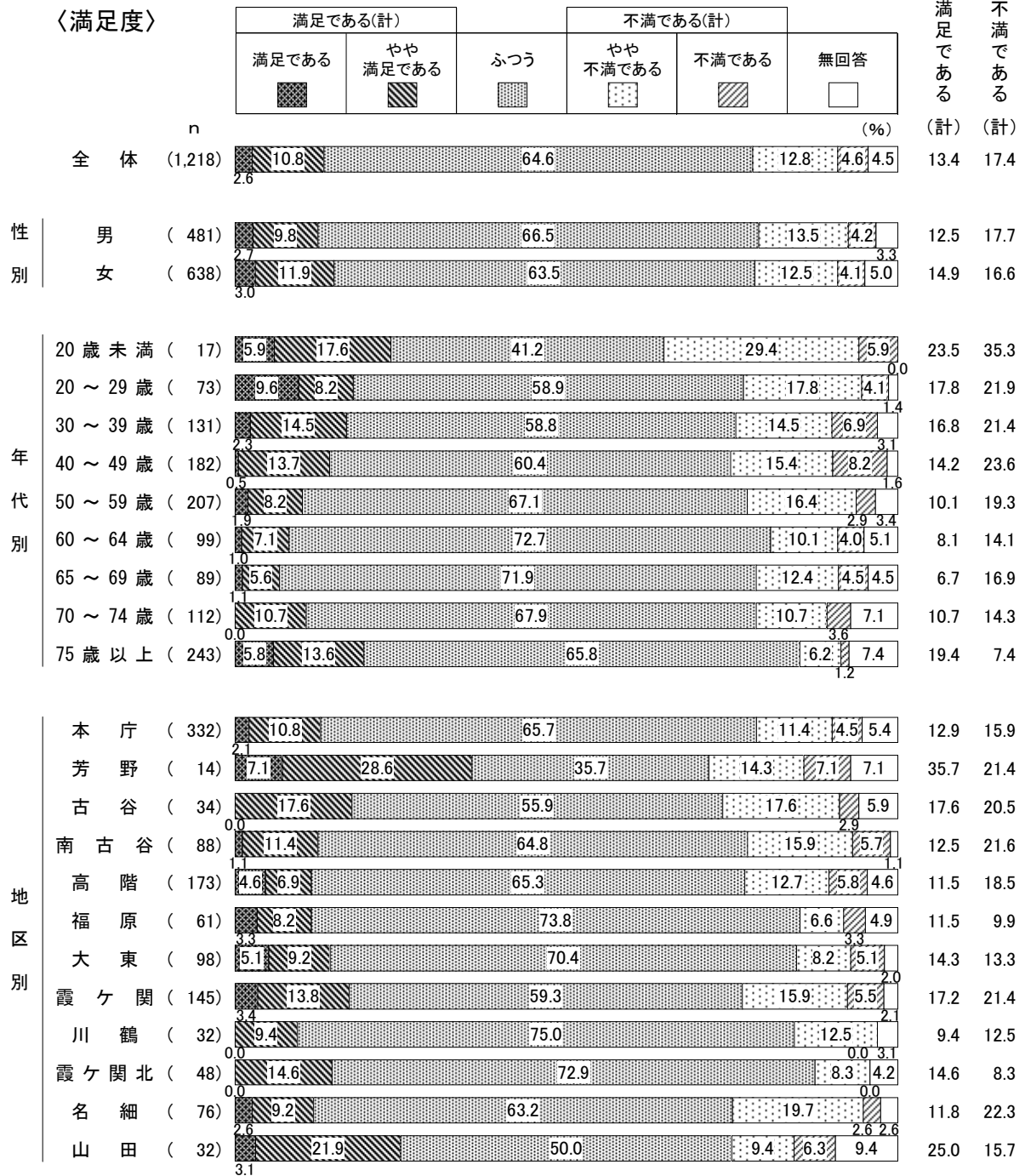
12. 生きる力を育む教育の推進

【施策の内容】

児童生徒の知・徳・体のバランスの取れた生きる力を育む、充実した教育に向けて取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、68.7%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は65.3%、女性は72.6%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、13.4%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は12.5%、女性は14.9%と女性の方がやや高くなっている。

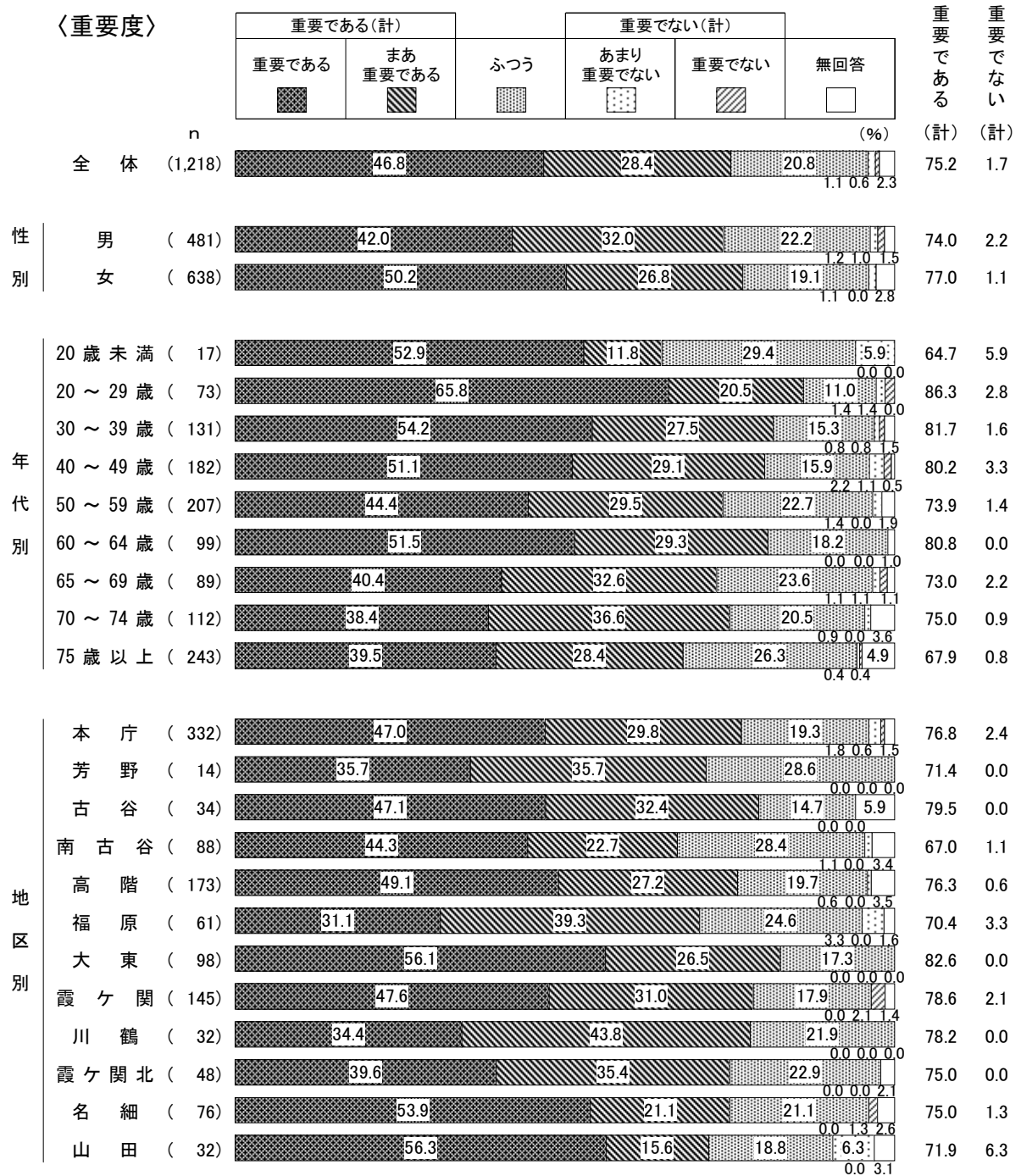
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	69.5%	68.7%	-0.8%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	12.0%	13.4%	1.4%

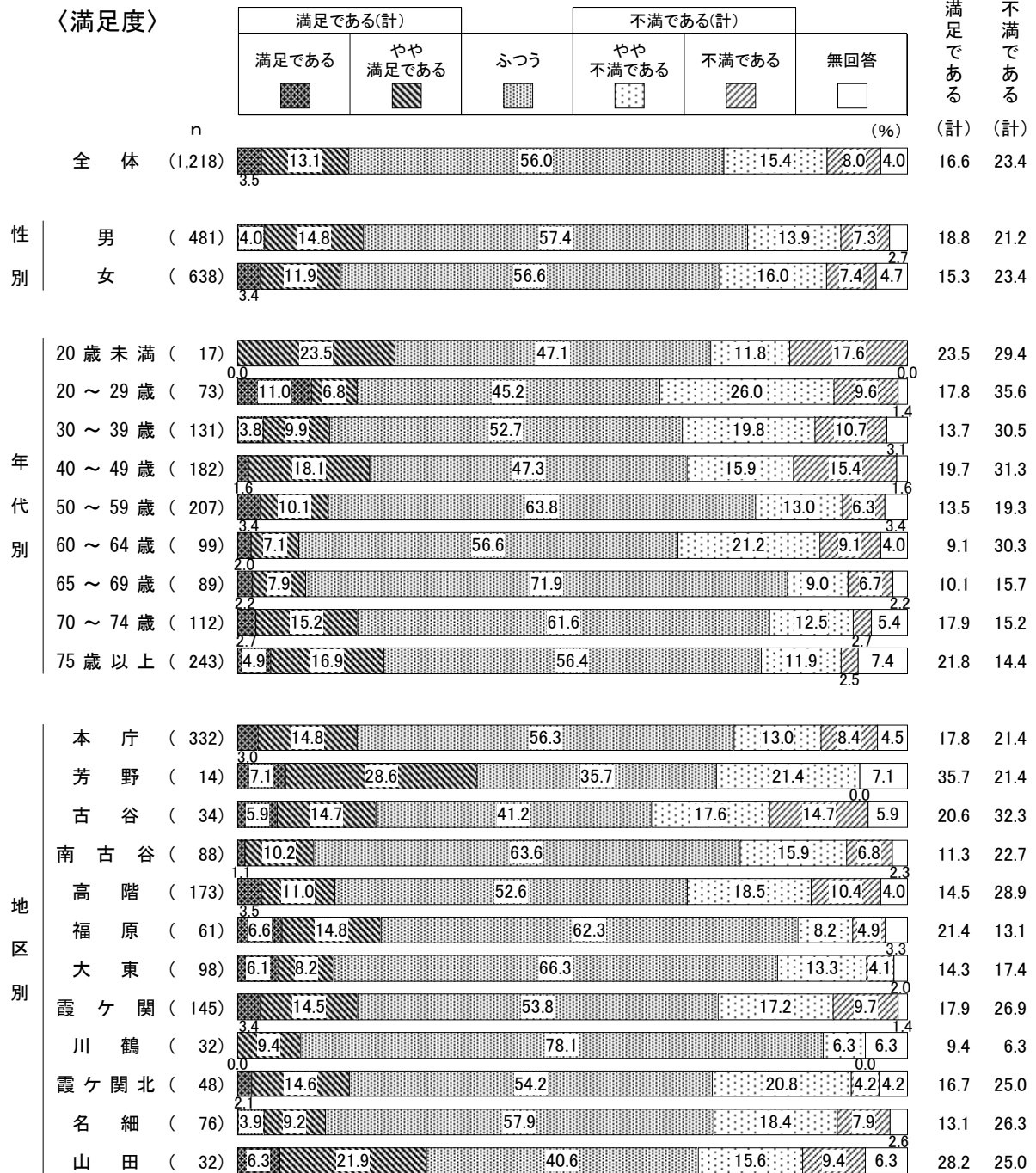
13. 教育環境の整備・充実

【施策の内容】

安全・安心で豊かな教育環境づくりに取り組んでいます。



- ・全体でみると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、75.2%となっている。
- ・性別でみると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は74.0%、女性は77.0%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、16.6%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は18.8%、女性は15.3%と男性の方が高くなっている。

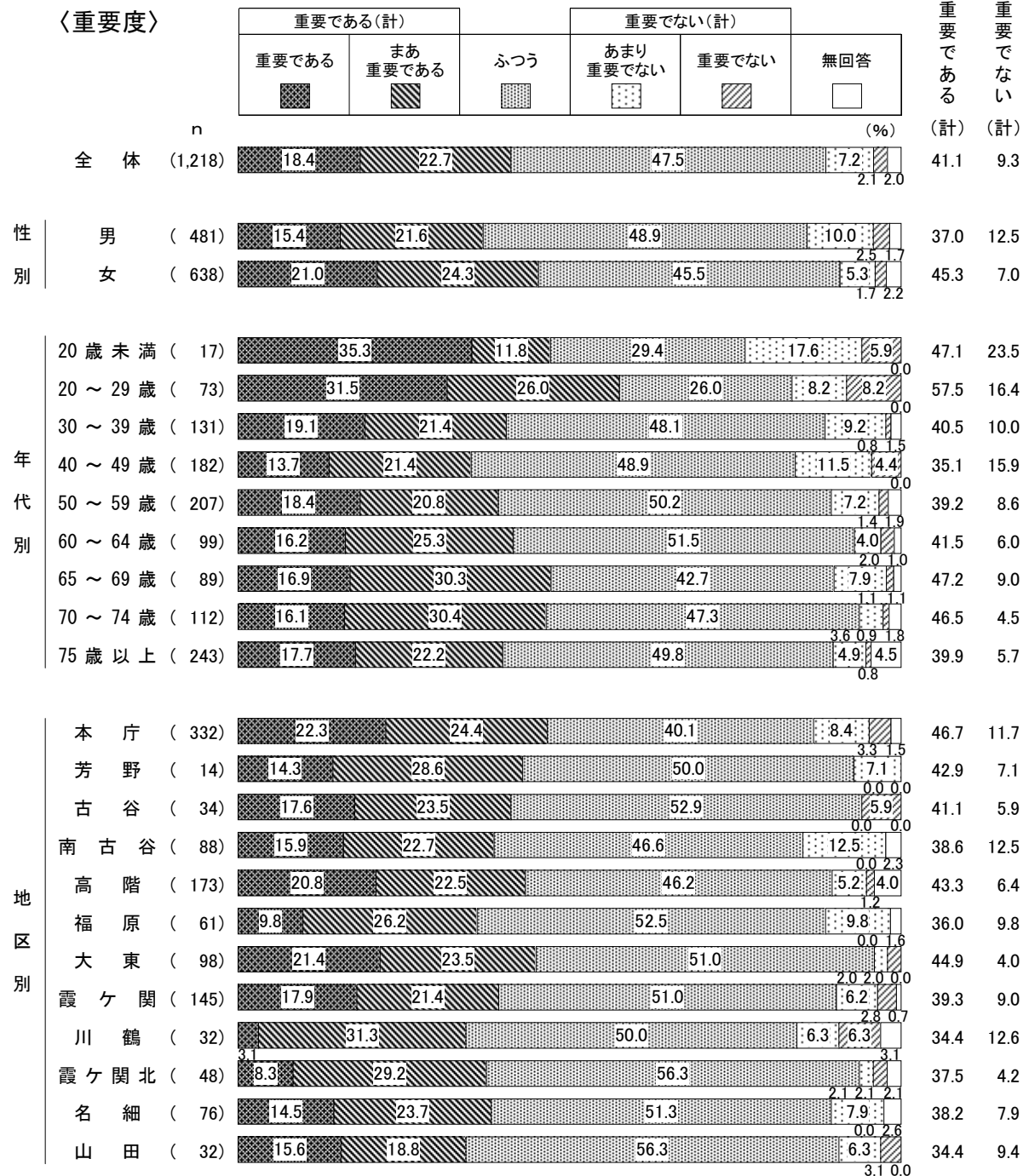
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	71.7%	75.2%	3.5%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	14.4%	16.6%	2.2%

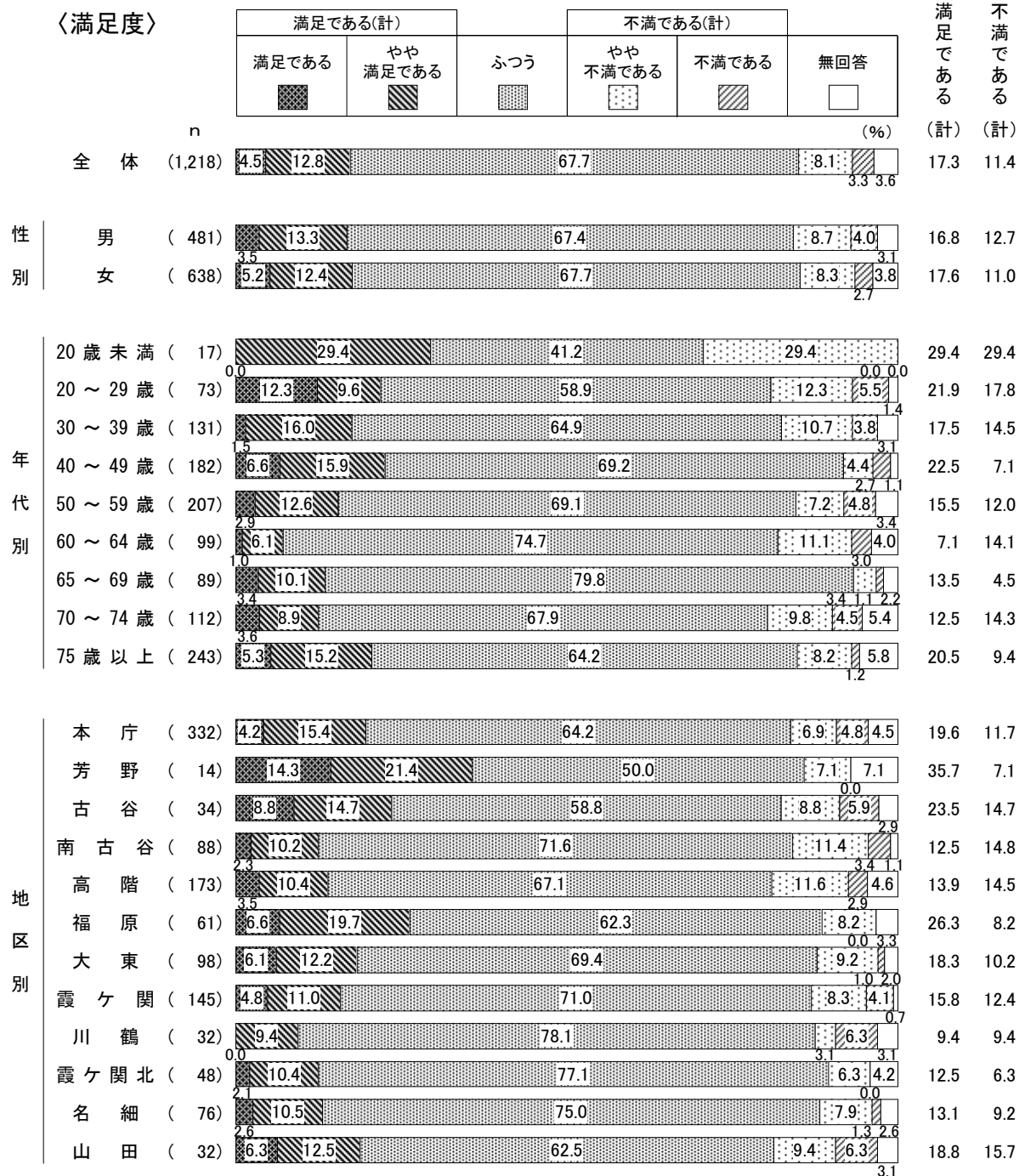
14. 文化芸術活動の充実

【施策の内容】

心豊かな生活を実現するとともに、まちに魅力と活力が創出されるよう、市民の文化芸術活動の支援や文化芸術に触れる機会づくりに取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、41.1%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は37.0%、女性は45.3%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、17.3%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は16.8%、女性は17.6%とほぼ同じとなっている。

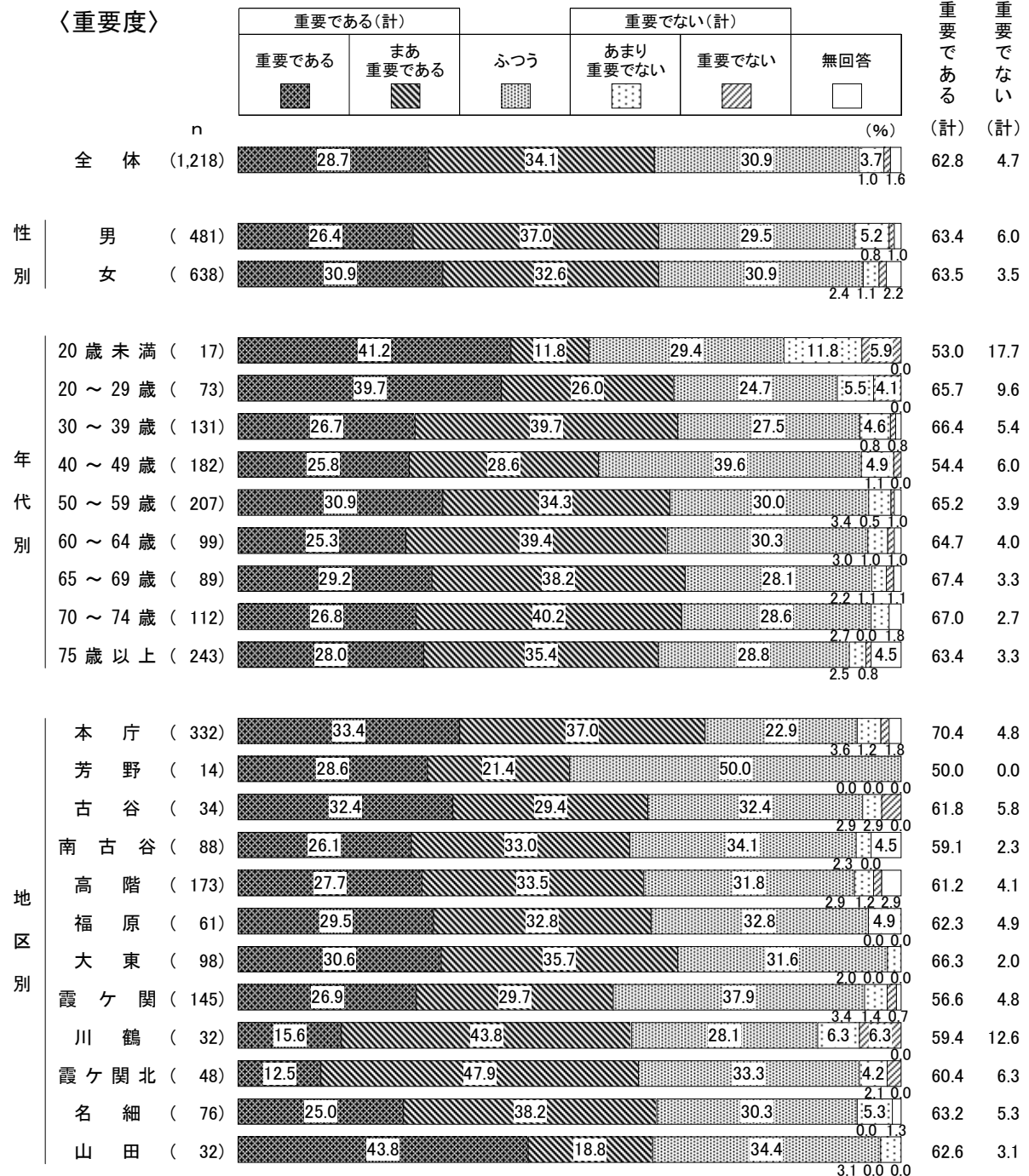
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	44.0%	41.1%	-2.9%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	18.6%	17.3%	-1.3%

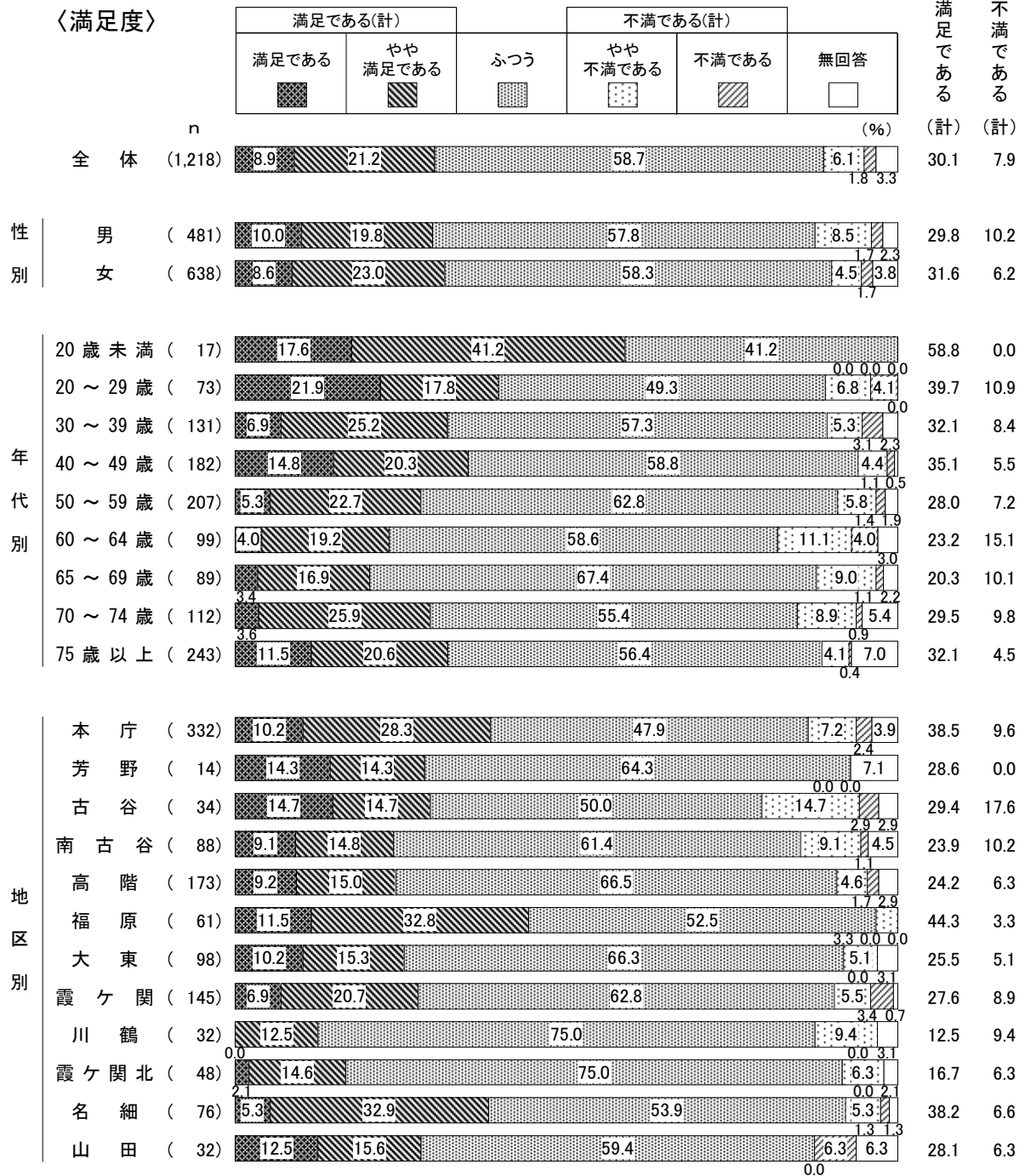
15. 文化財の保存・活用

【施策の内容】

歴史・文化・伝統等の理解を深めるとともにまちの魅力が生まれるよう、文化財の保護及び文化財の価値を活かした活用に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、62.8%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は63.4%、女性は63.5%とほぼ同じとなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、30.1%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は29.8%、女性は31.6%と女性の方がやや高くなっている。

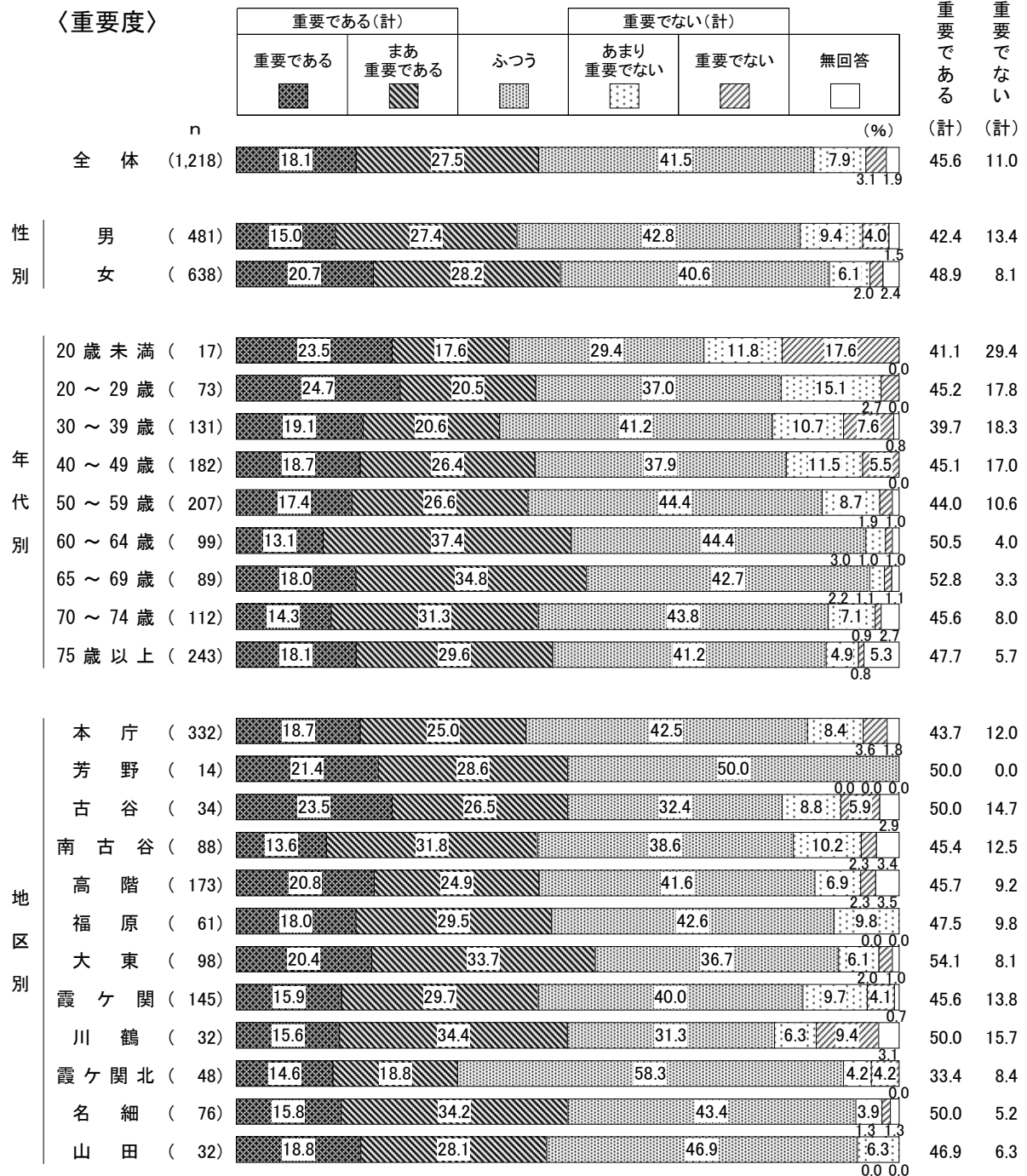
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	62.3%	62.8%	0.5%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	32.2%	30.1%	-2.1%

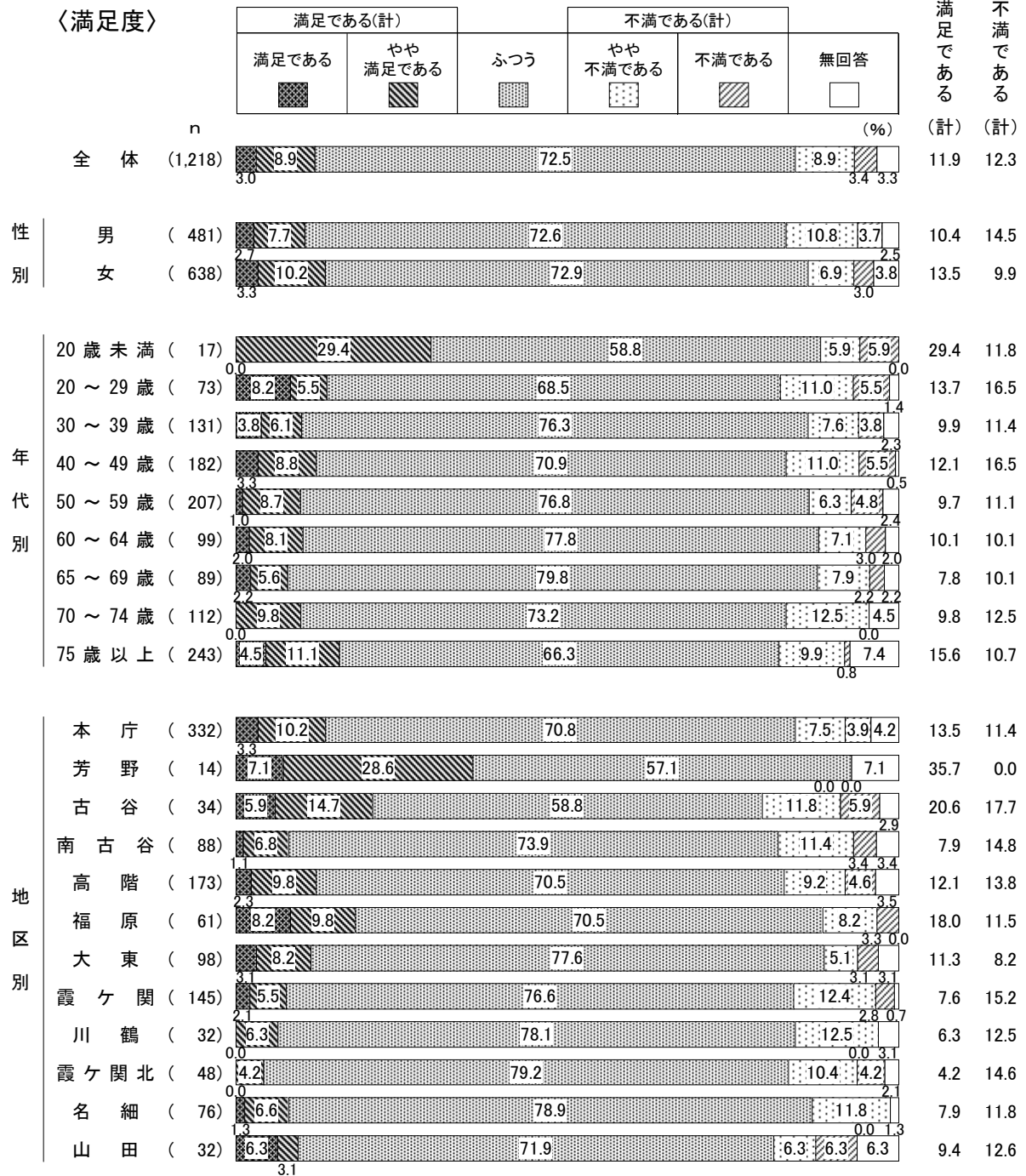
16. 多文化共生と国際交流・協力の推進

【施策の内容】

誰もが異なる文化を理解し、相互に尊重し助け合いながら共に生活することができるよう、多くの市民に国際交流・協力の機会を提供することに取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、45.6%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は42.4%、女性は48.9%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、11.9%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は10.4%、女性は13.5%と女性の方が高くなっている。

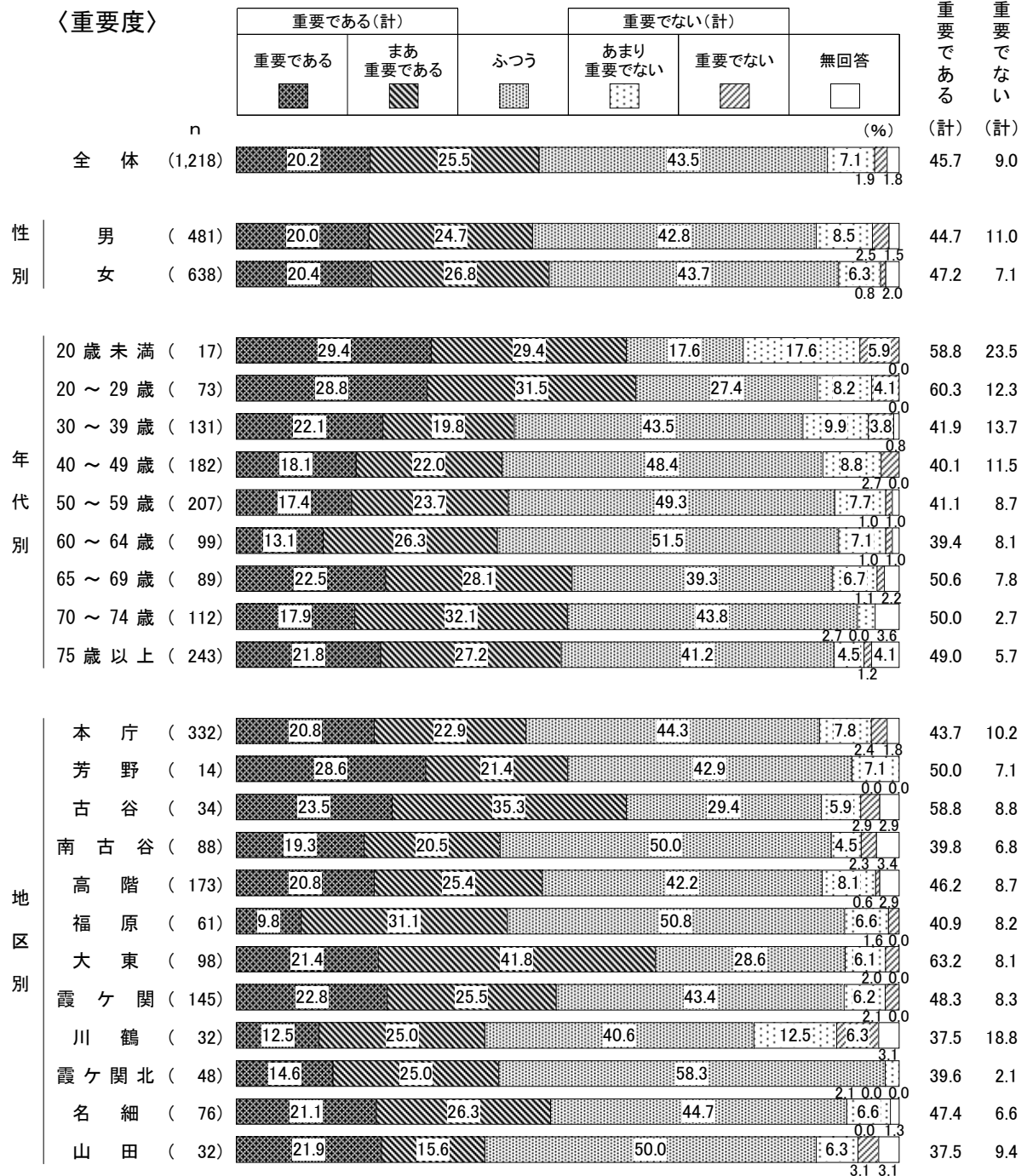
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	42.3%	45.6%	3.3%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	10.7%	11.9%	1.2%

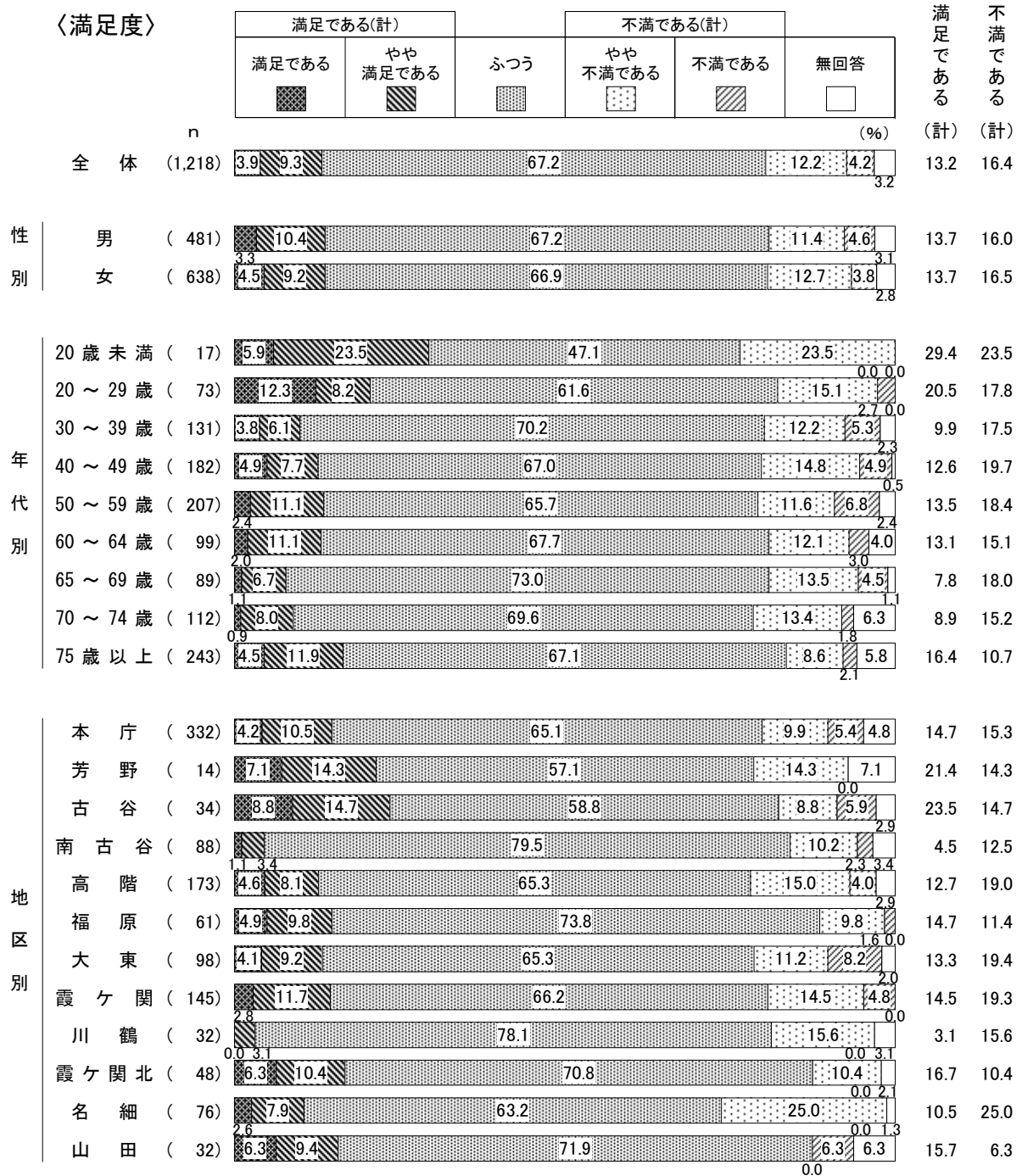
17. 生涯スポーツの推進

【施策の内容】

生涯にわたり心身ともに健康で豊かな生活を実現できるよう、スポーツ大会の充実と地域のだれもが日常的にスポーツに親しむことができる環境整備に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、45.7%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は44.7%、女性は47.2%と女性の方がやや高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、13.2%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は13.7%、女性は13.7%と同じとなっている。

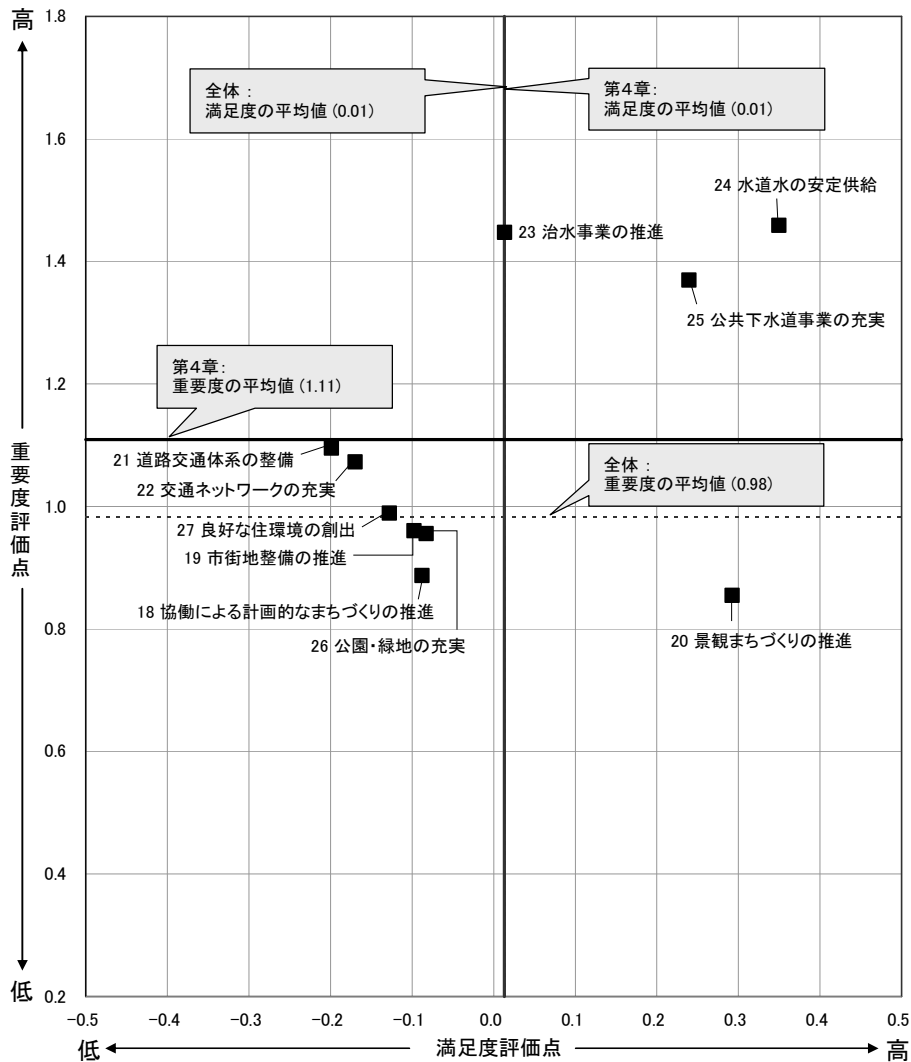
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	45.4%	45.7%	0.3%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	16.1%	13.2%	-2.9%

【第4章】安全で快適な基盤を備え、歴史や自然と調和した魅力あるまち
～都市基盤・生活基盤～

都市基盤・生活基盤の分野については、上下水道に関する施策の重要度が全体の平均値(0.98)を上回っている一方、まちづくりや住環境、道路・交通等に関する施策は、これを下回っている。

満足度は、上下水道に関する施策で高くなっている一方、道路・交通等に関する施策については、市民が比較的重要と考えつつも満足度は低い施策となっている。

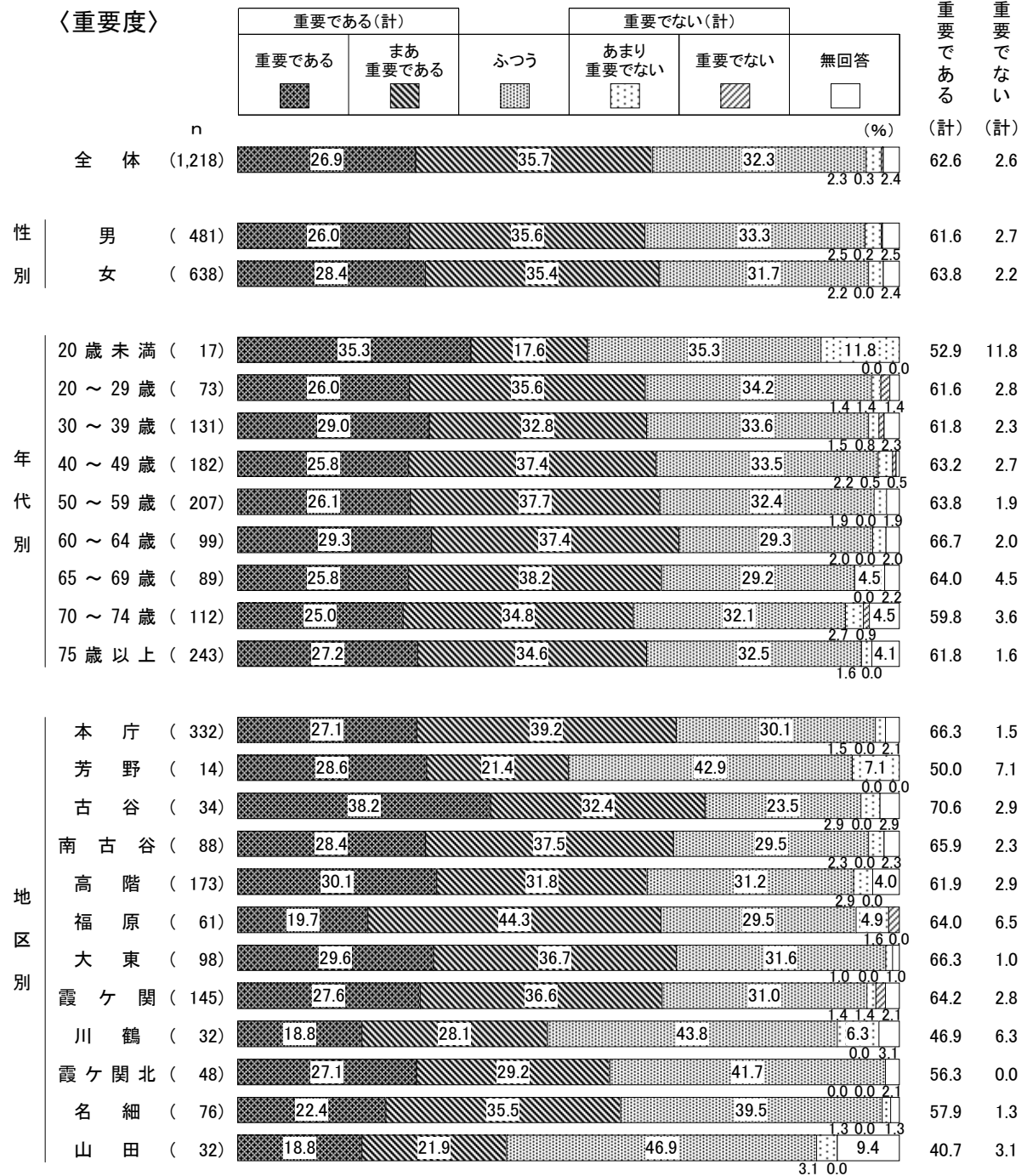


施策	重要度評価点	満足度評価点
18 協働による計画的なまちづくりの推進	0.89	-0.09
19 市街地整備の推進	0.96	-0.10
20 景観まちづくりの推進	0.85	0.29
21 道路交通体系の整備	1.10	-0.20
22 交通ネットワークの充実	1.07	-0.17
23 治水事業の推進	1.45	0.01
24 水道水の安定供給	1.46	0.35
25 公共下水道事業の充実	1.37	0.24
26 公園・緑地の充実	0.96	-0.08
27 良好な住環境の創出	0.99	-0.13
第4章 平均	1.11	0.01

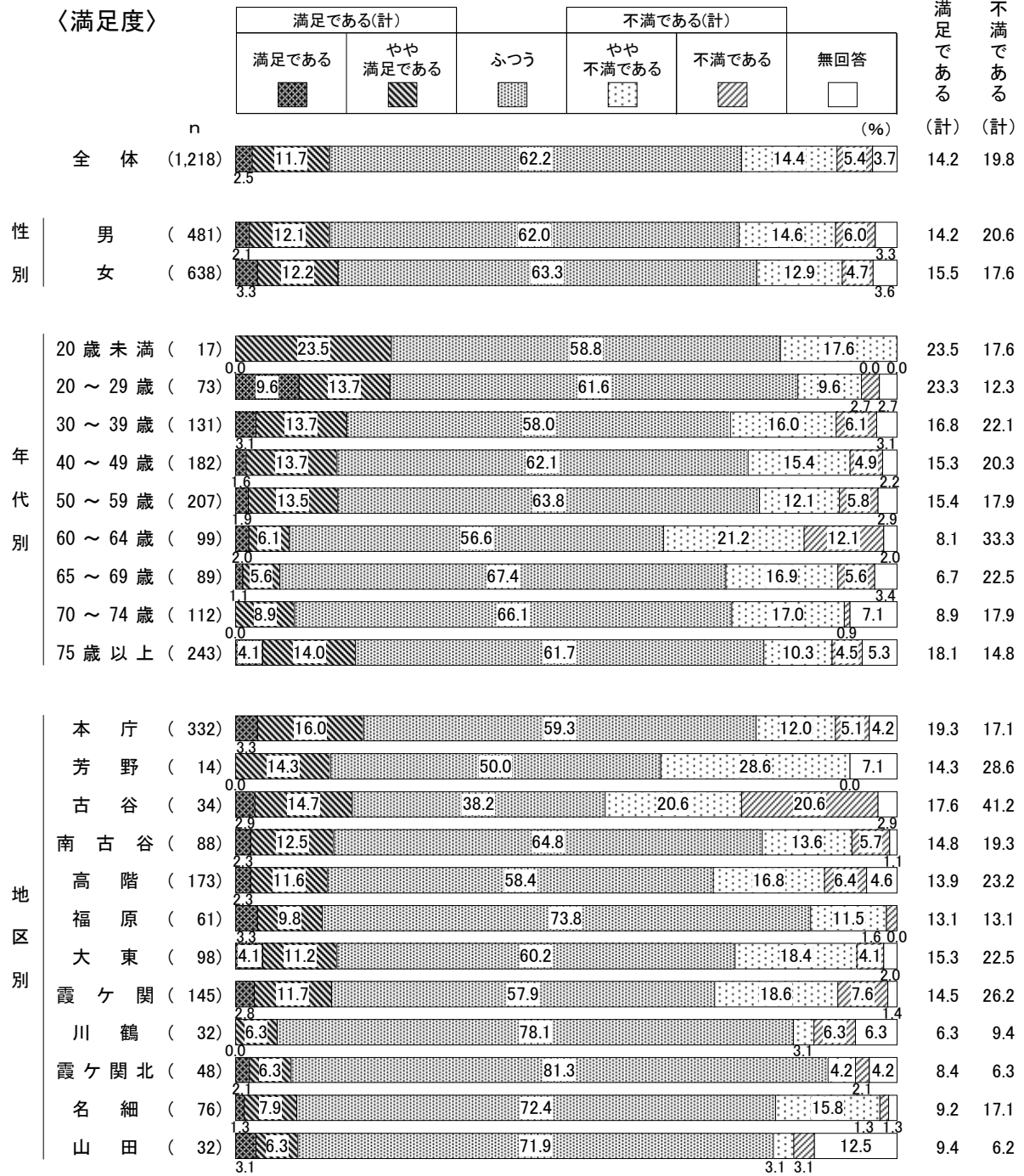
18. 協働による計画的なまちづくりの推進

【施策の内容】

計画的な土地利用のもと、持続可能な都市構造の構築を目指し、市民、民間団体、事業者等との協働により、魅力と活力のあるまちづくりに取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、62.6%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は61.6%、女性は63.8%と女性の方がやや高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、14.2%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は14.2%、女性は15.5%と女性の方がやや高くなっている。

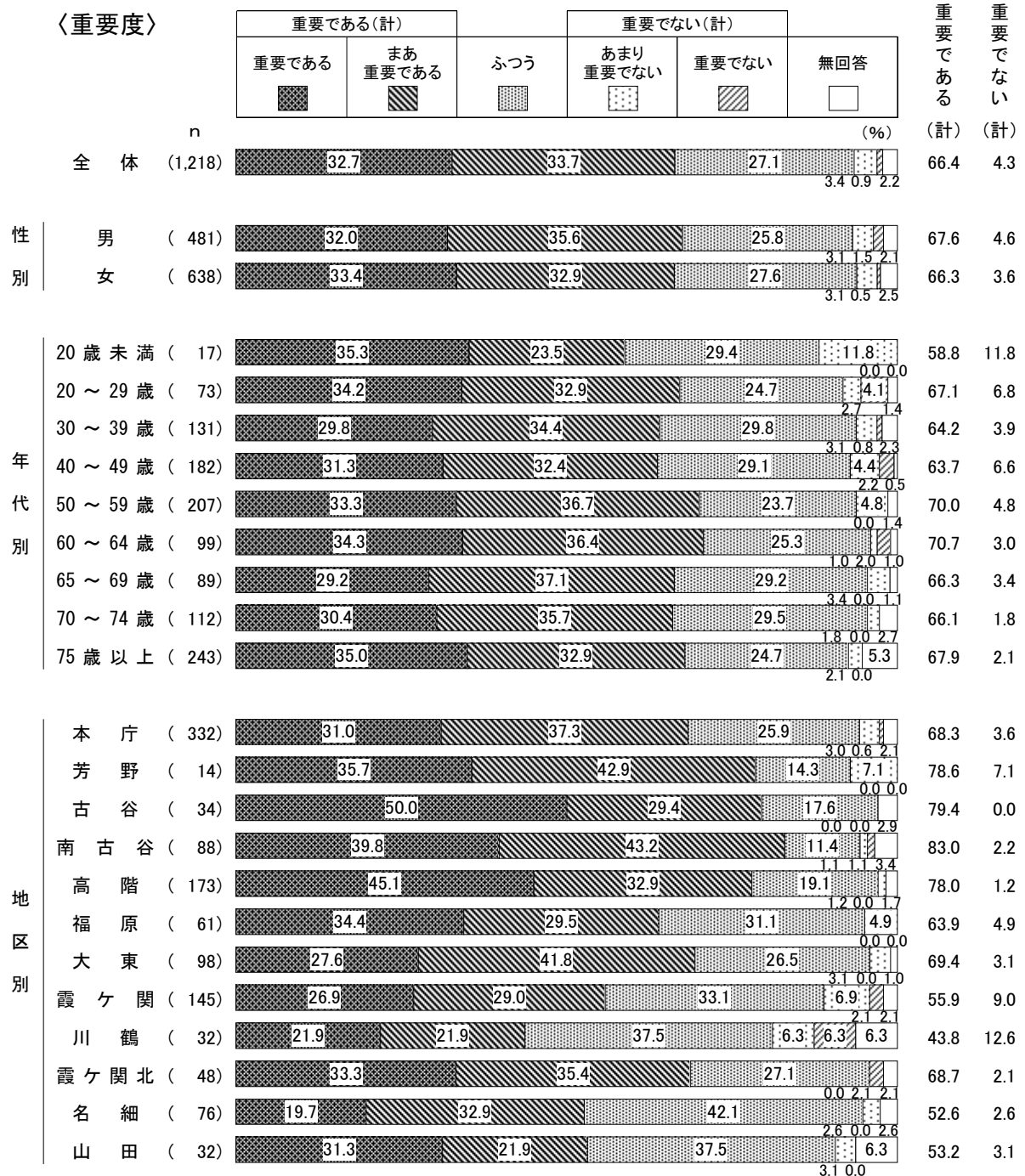
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	56.6%	62.6%	6.0%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	13.4%	14.2%	0.8%

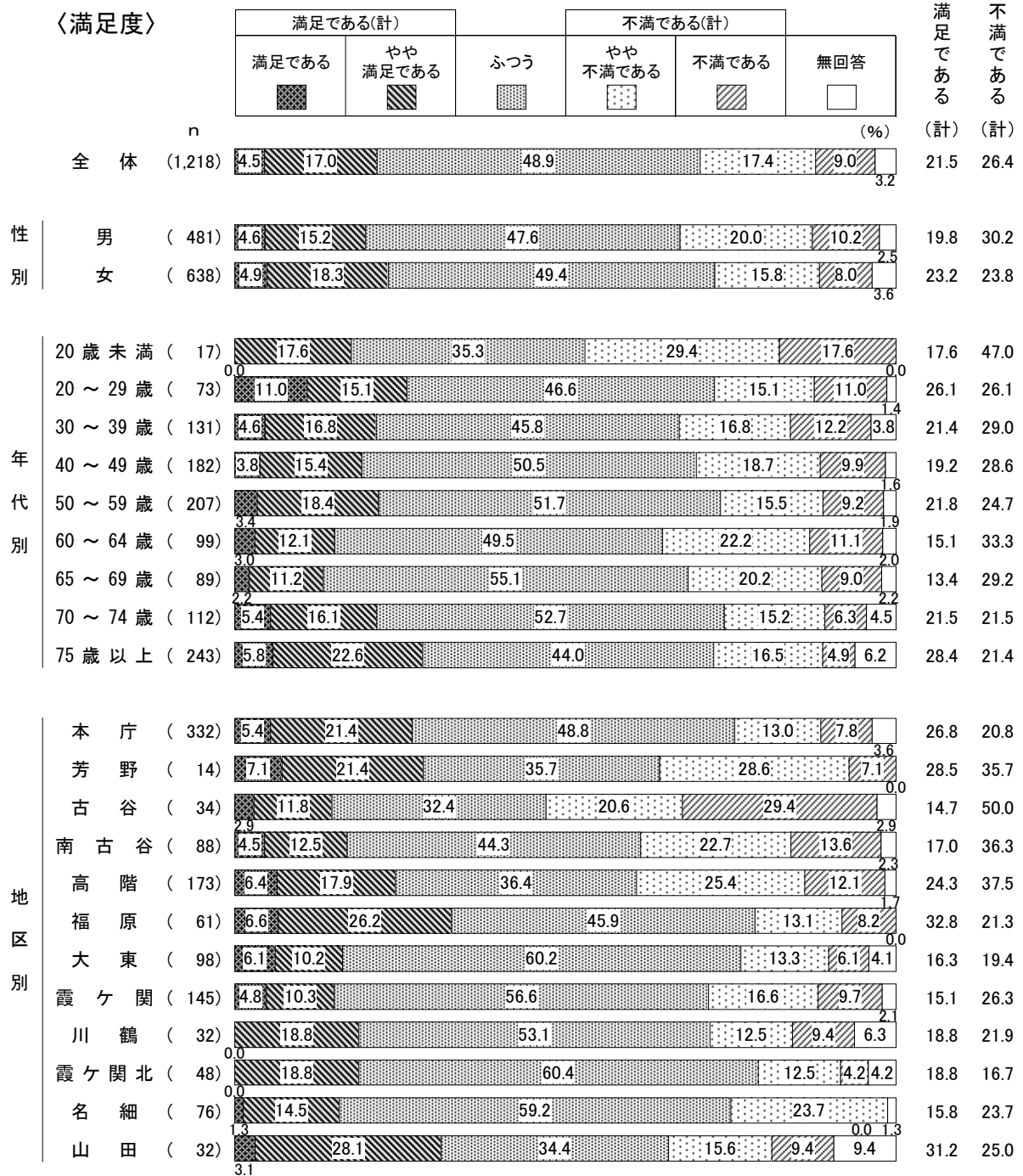
19. 市街地整備の推進

【施策の内容】

中心市街地に位置する三駅周辺の整備を推進し、都市機能や都市基盤の充実を図るとともに、各鉄道駅周辺は、地域の特性に合った生活拠点の整備に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、66.4%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は67.6%、女性は66.3%と男性の方がやや高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、21.5%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は19.8%、女性は23.2%と女性の方が高くなっている。

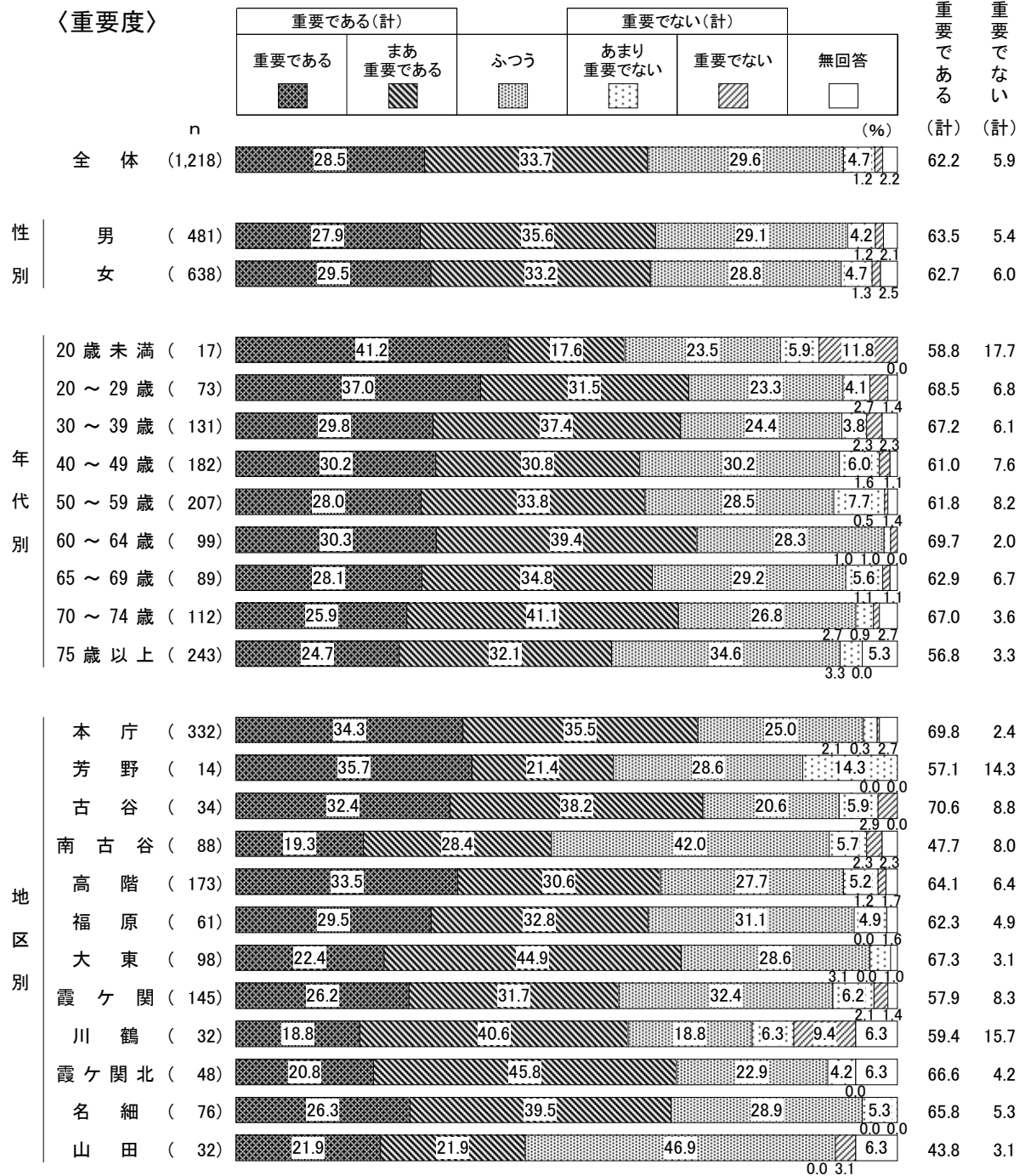
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	64.7%	66.4%	1.7%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	25.3%	21.5%	-3.8%

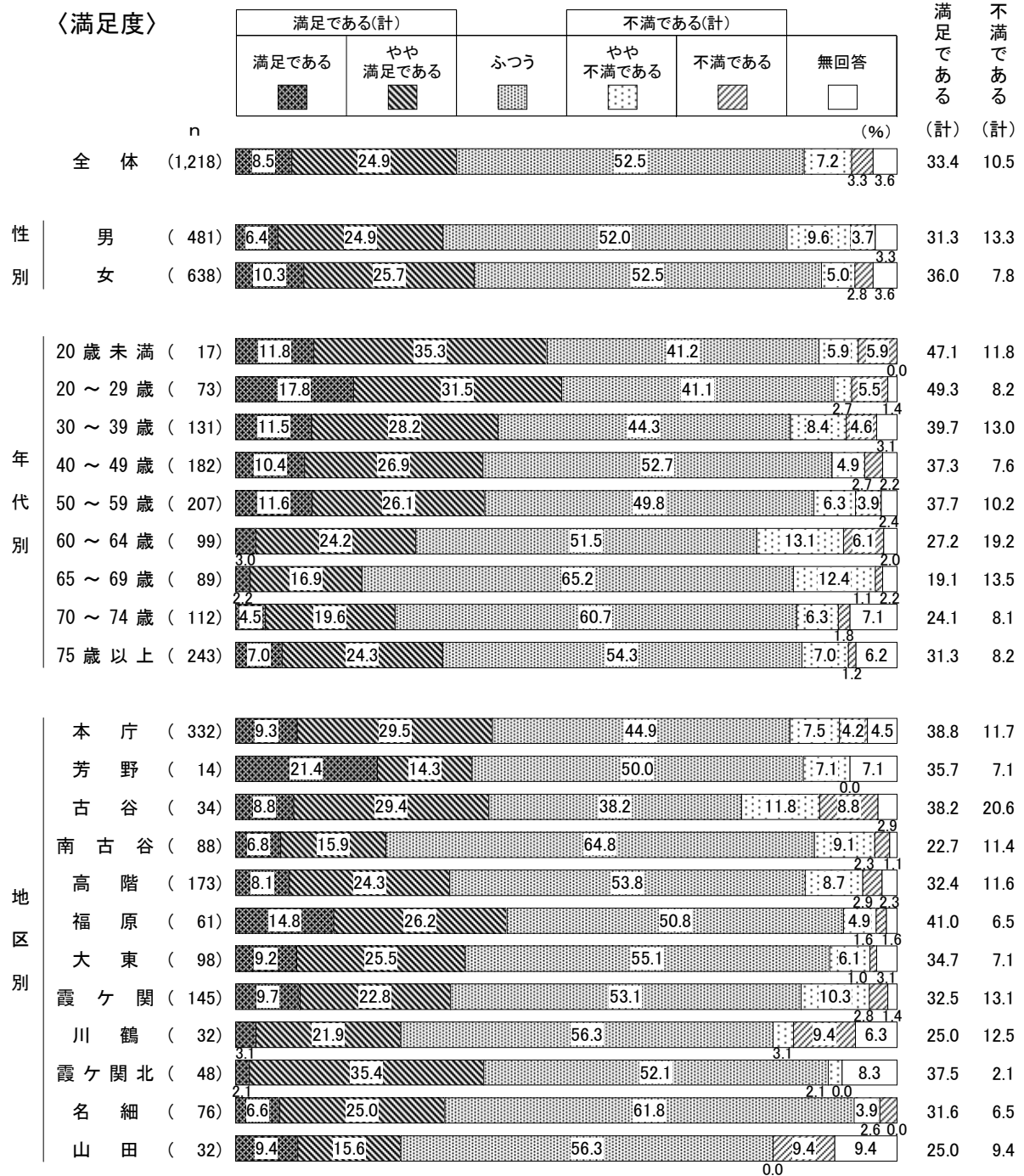
20. 景観まちづくりの推進

【施策の内容】

川越の歴史、文化を生かした良好な都市景観の保全及び創造と、魅力あふれる快適な都市の実現に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、62.2%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は63.5%、女性は62.7%とほぼ同じとなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、33.4%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は31.3%、女性は36.0%と女性の方が高くなっている。

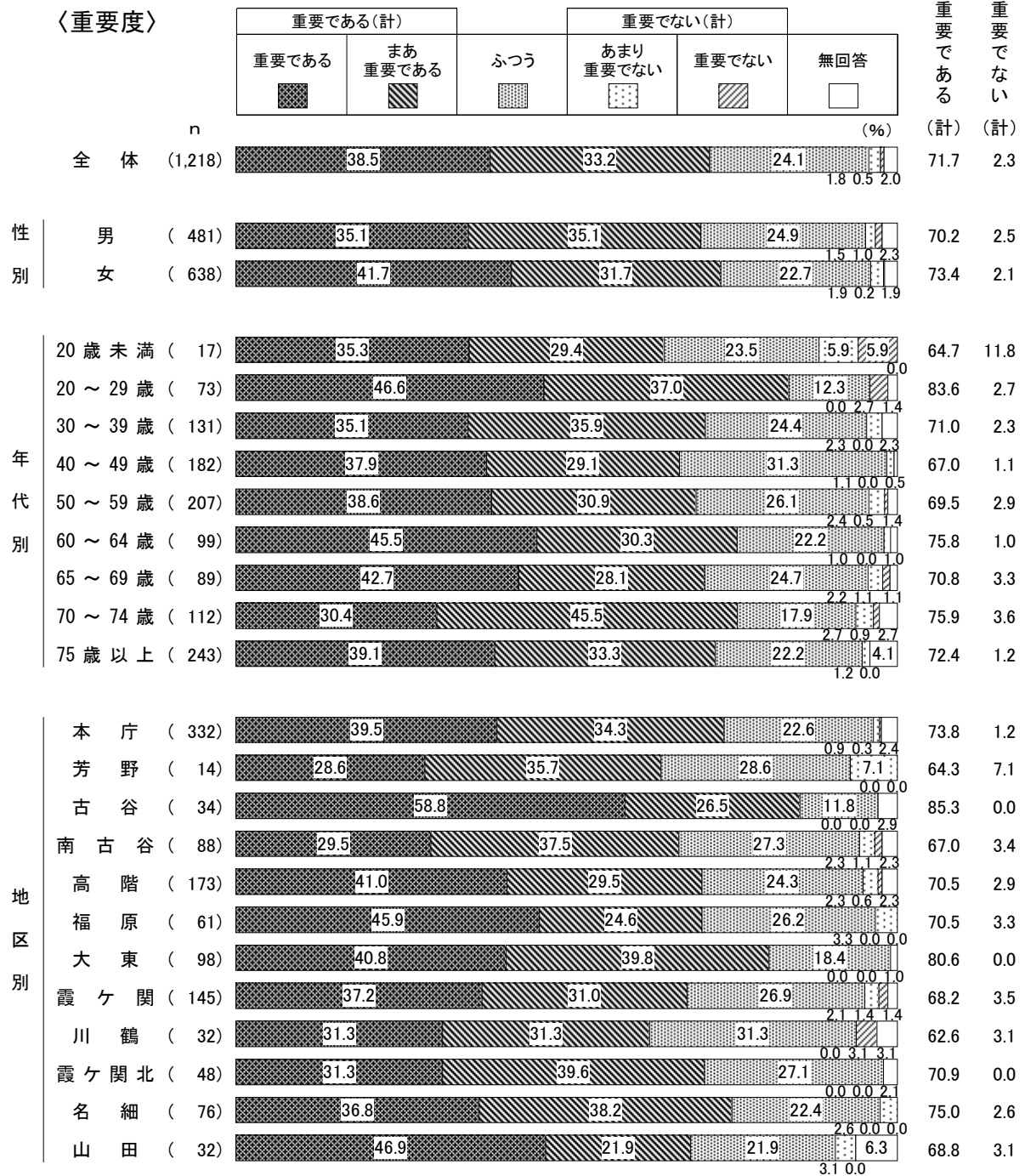
〈前回調査結果との比較 (全体)〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	59.4%	62.2%	2.8%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	31.8%	33.4%	1.6%

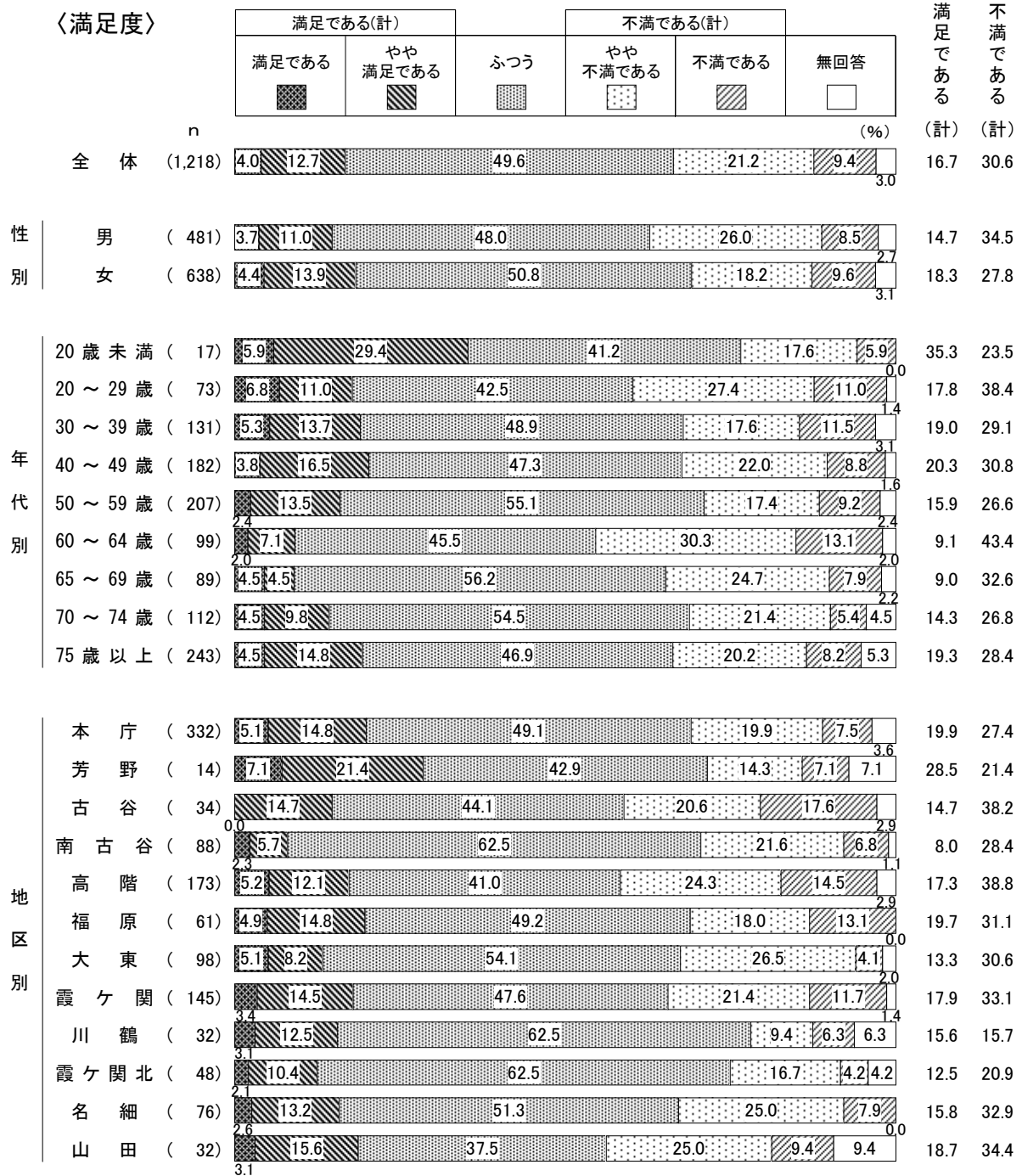
21. 道路交通体系の整備

【施策の内容】

計画的な道路整備により、道路ネットワークの拡充を図るとともに、歩行者や車両の円滑な移動と安全で快適な道路環境の維持に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、71.7%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は70.2%、女性は73.4%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、16.7%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は14.7%、女性は18.3%と女性の方が高くなっている。

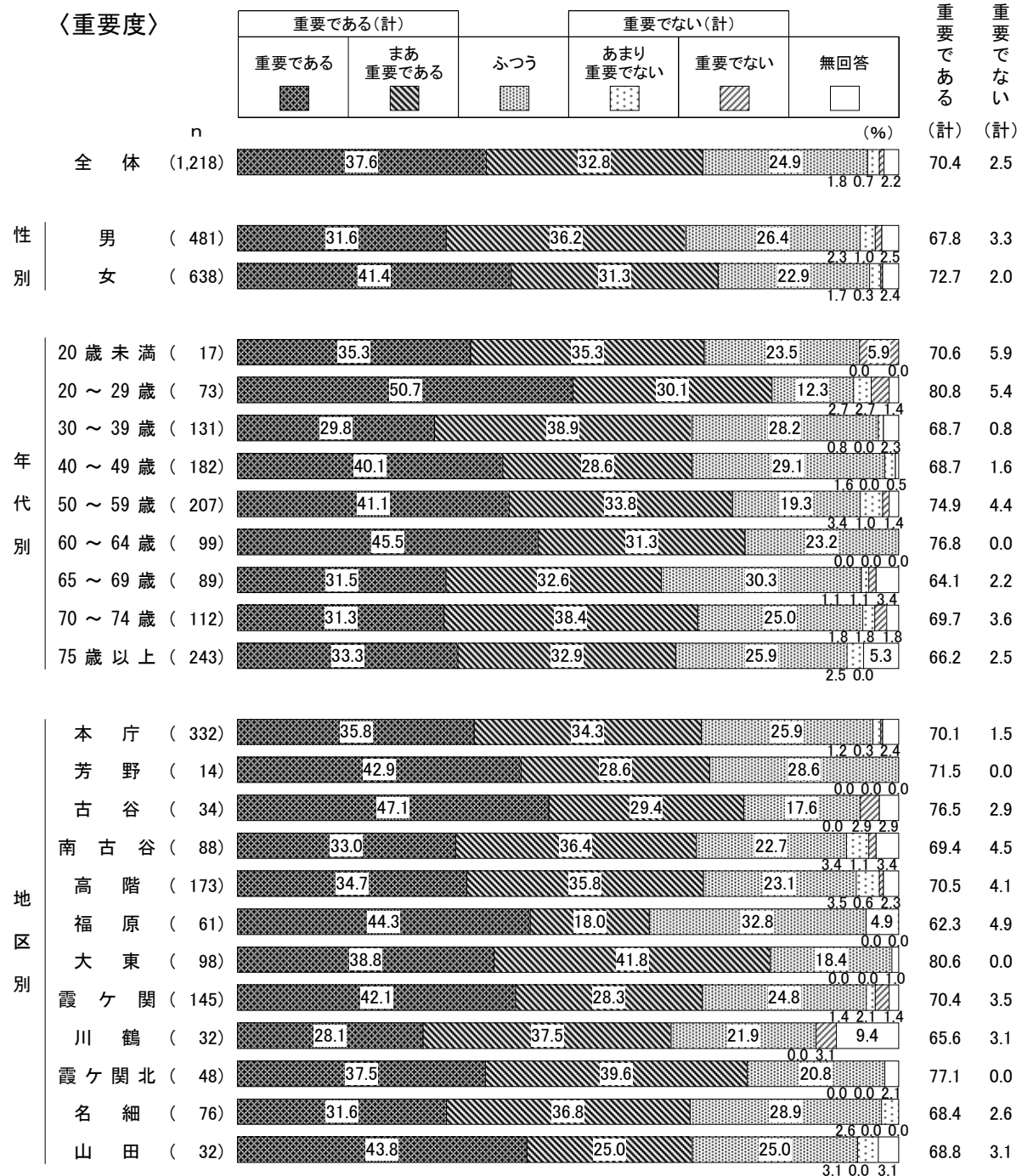
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	75.0%	71.7%	-3.3%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	13.7%	16.7%	3.0%

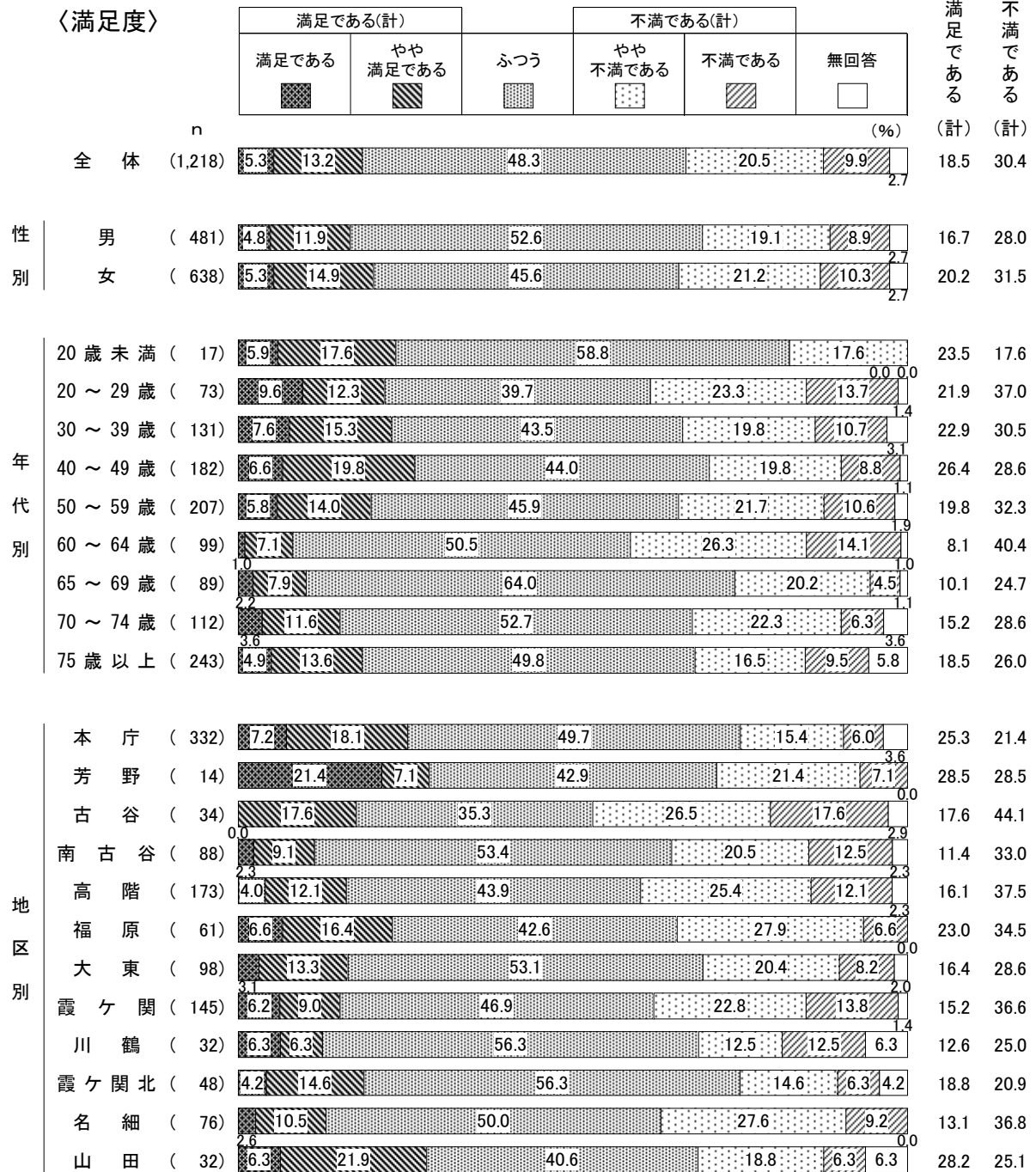
22. 交通ネットワークの充実

【施策の内容】

道路や鉄道、バス等の円滑な交通ネットワークの充実を図るとともに、市民や来街者の利便性の向上に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、70.4%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は67.8%、女性は72.7%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、18.5%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は16.7%、女性は20.2%と女性の方が高くなっている。

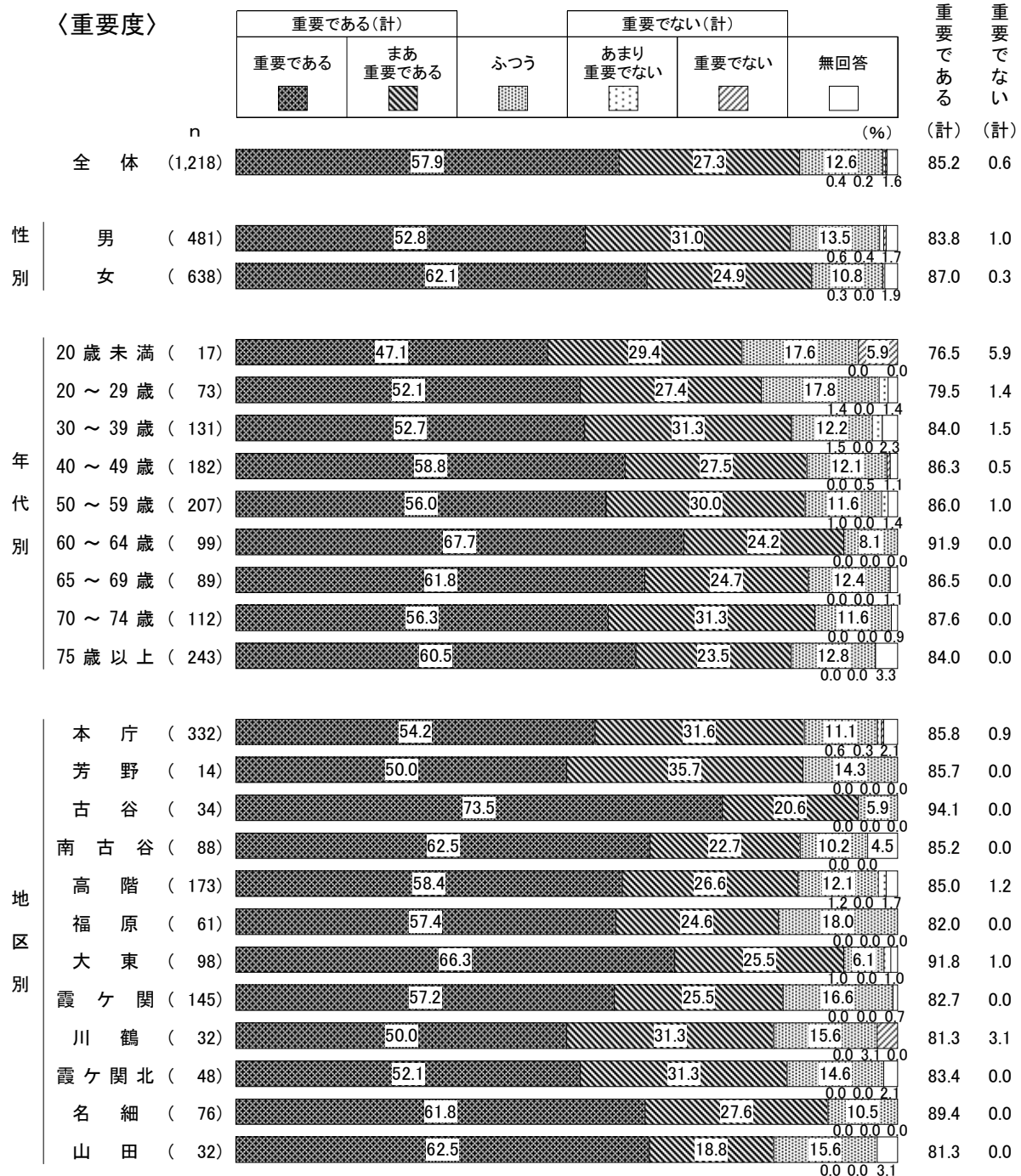
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	68.6%	70.4%	1.8%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	14.3%	18.5%	4.2%

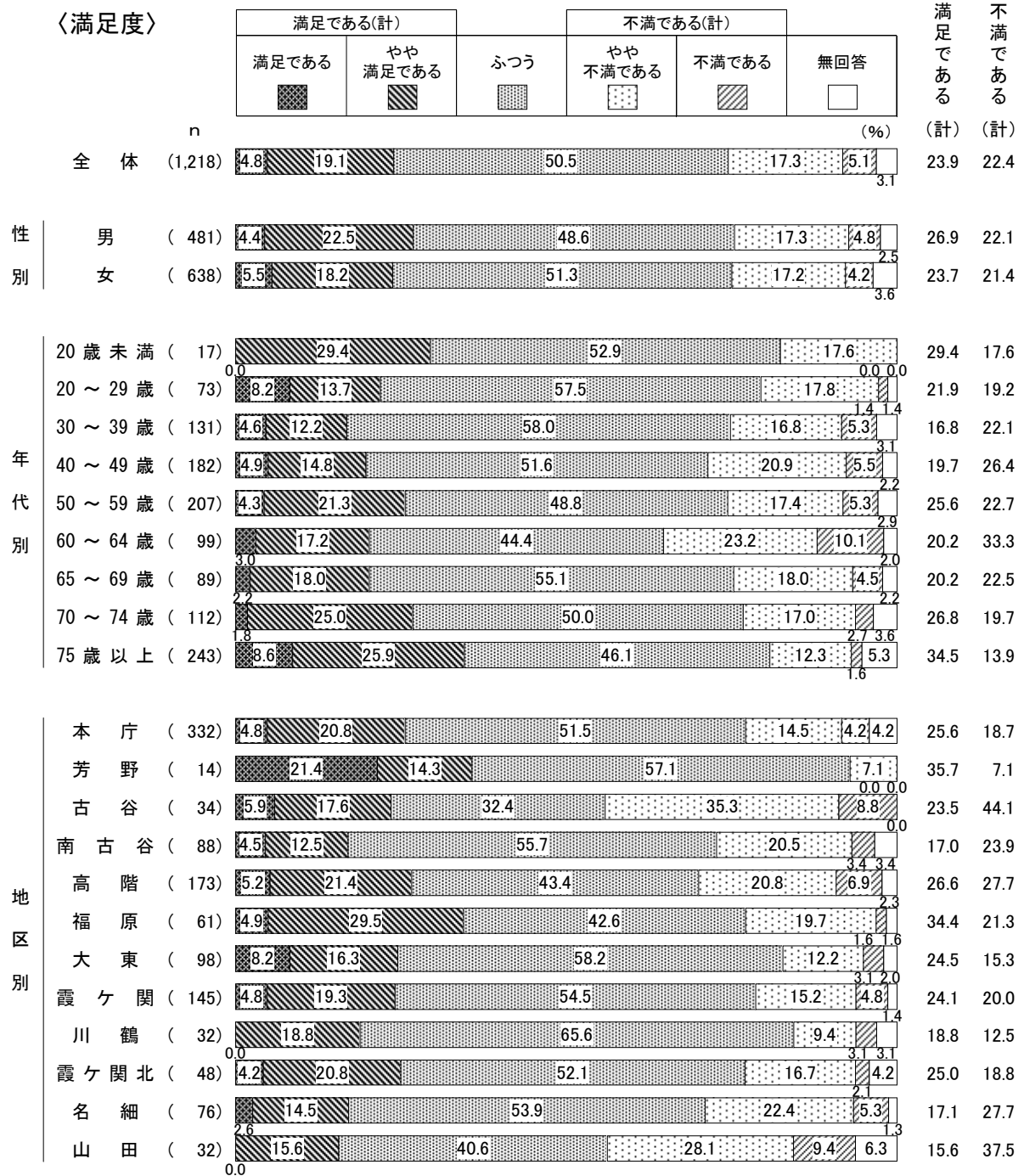
23. 治水事業の推進

【施策の内容】

大雨等による浸水及び内水の被害軽減と生活環境の向上を図るため、河川整備及び雨水貯留施設等の整備に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、85.2%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は83.8%、女性は87.0%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、23.9%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は26.9%、女性は23.7%と男性の方が高くなっている。

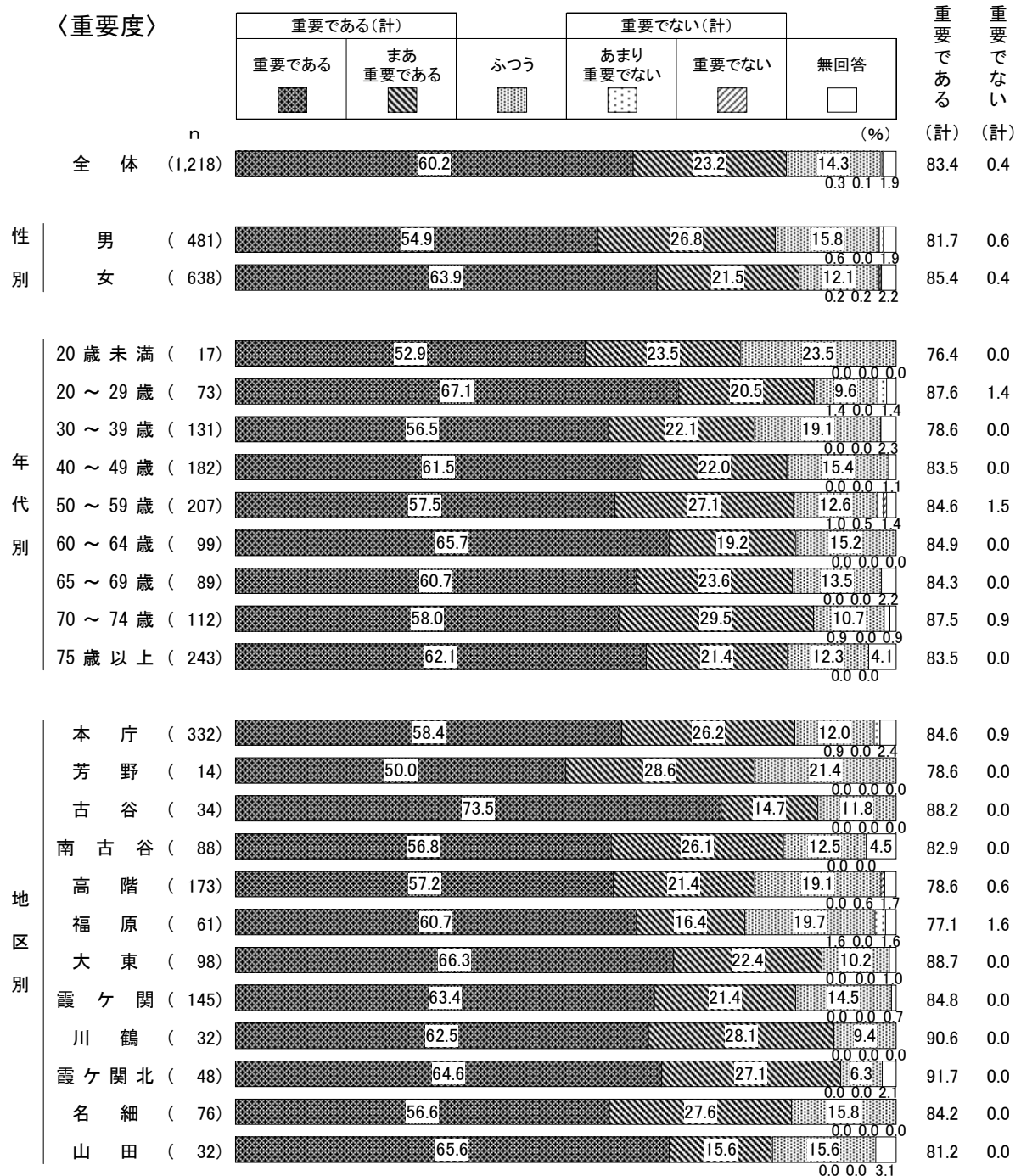
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	73.6%	85.2%	11.6%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	17.4%	23.9%	6.5%

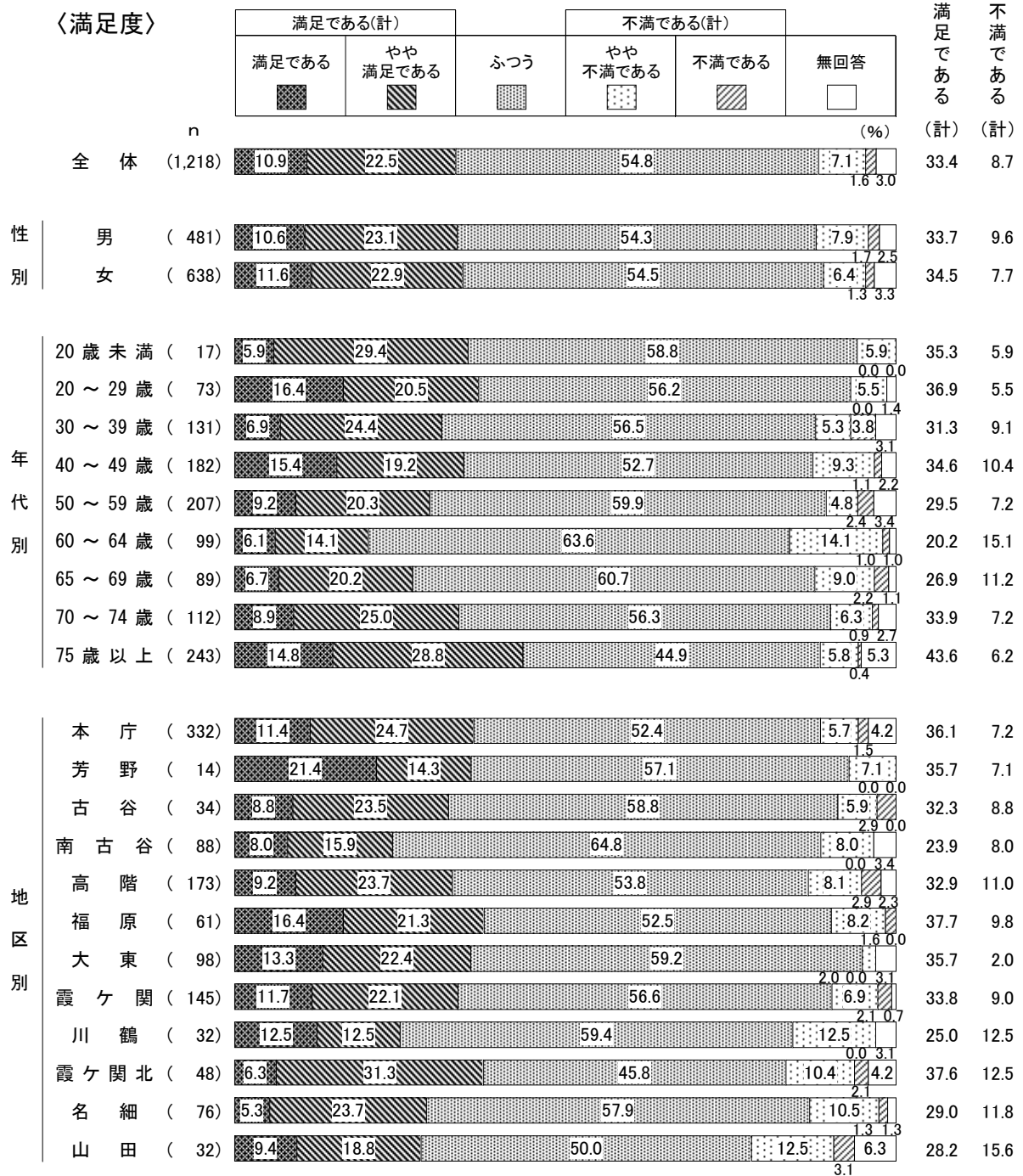
24. 水道水の安定供給

【施策の内容】

安全な水道水を安定的に供給するため、水道施設の改修と耐震化に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、83.4%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は81.7%、女性は85.4%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、33.4%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は33.7%、女性は34.5%とほぼ同じとなっている。

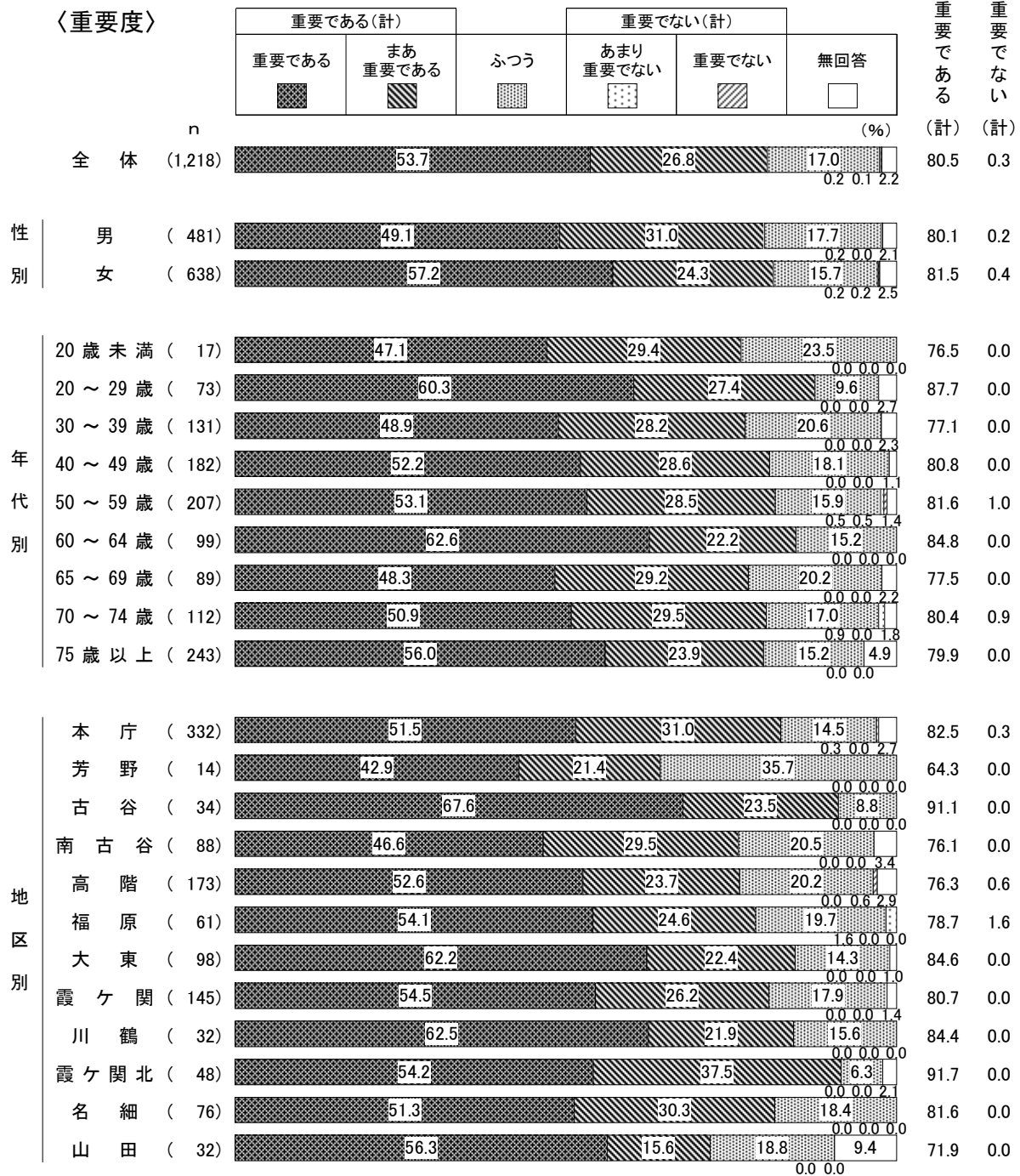
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	81.0%	83.4%	2.4%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	34.8%	33.4%	-1.4%

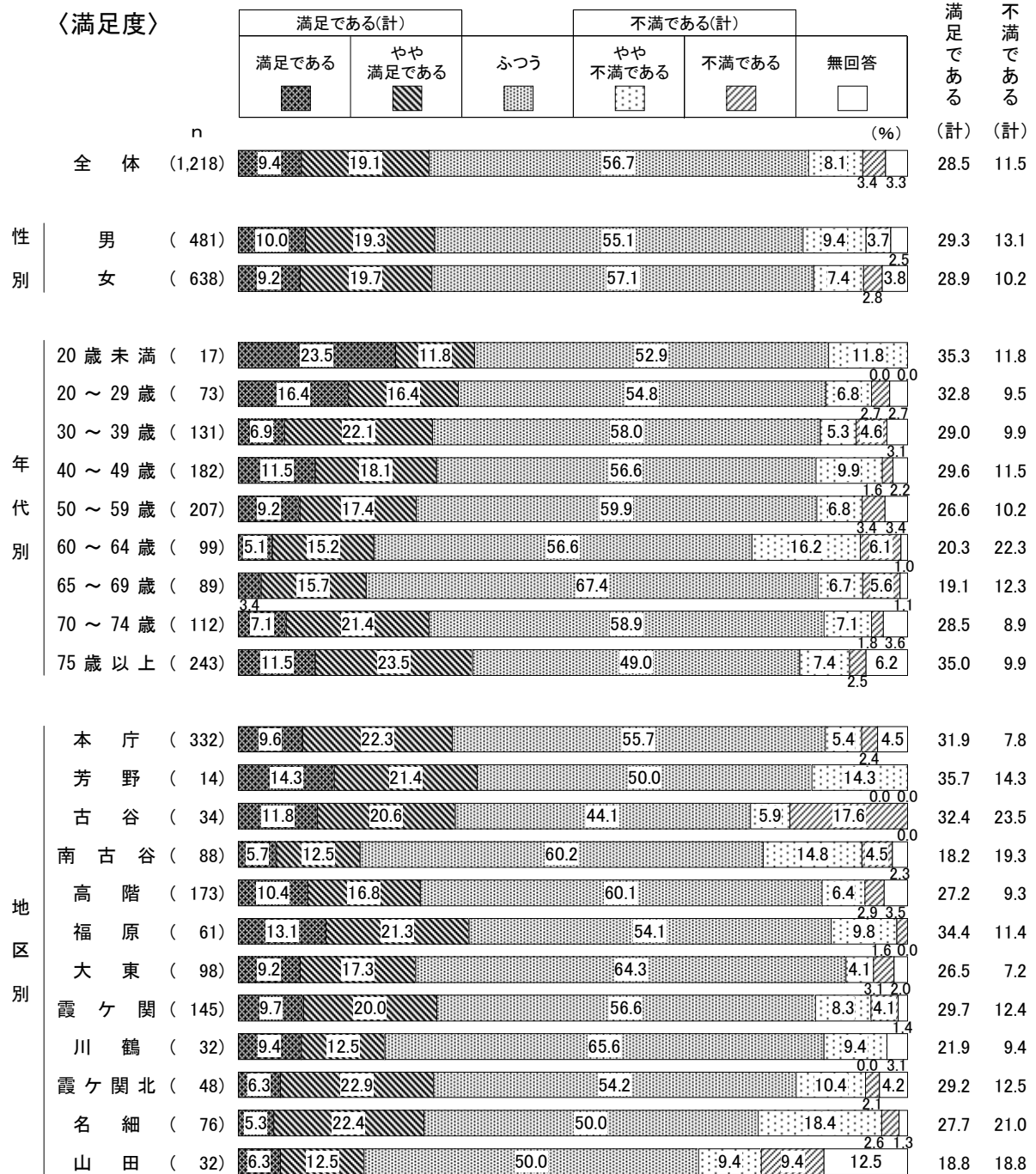
25. 公共下水道事業の充実

【施策の内容】

安定的な公共下水道サービスを提供するため、下水道施設の長寿命化や耐震化に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、80.5%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は80.1%、女性は81.5%と女性の方がやや高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、28.5%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は29.3%、女性は28.9%とほぼ同じとなっている。

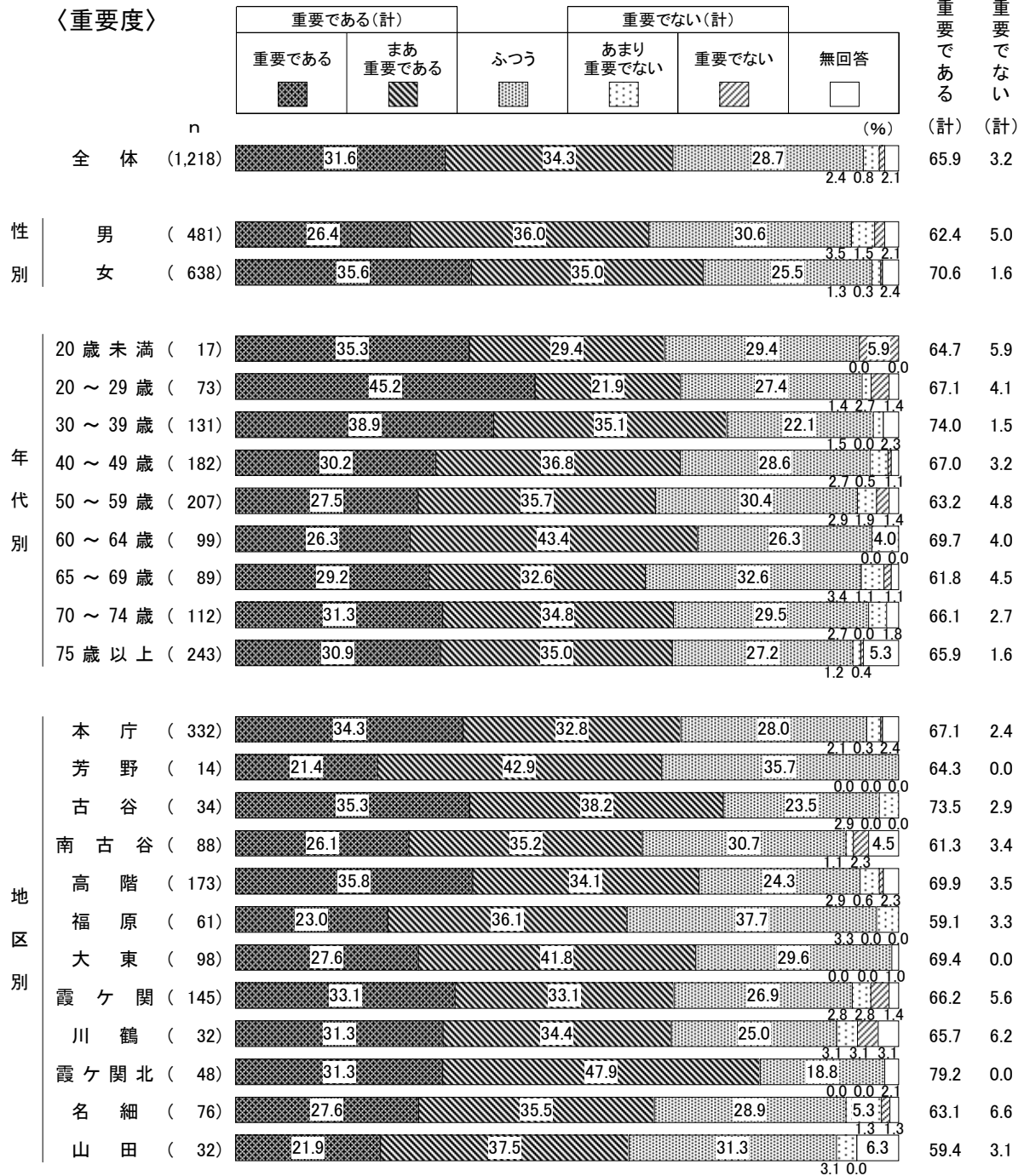
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	76.7%	80.5%	3.8%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	28.5%	28.5%	0.0%

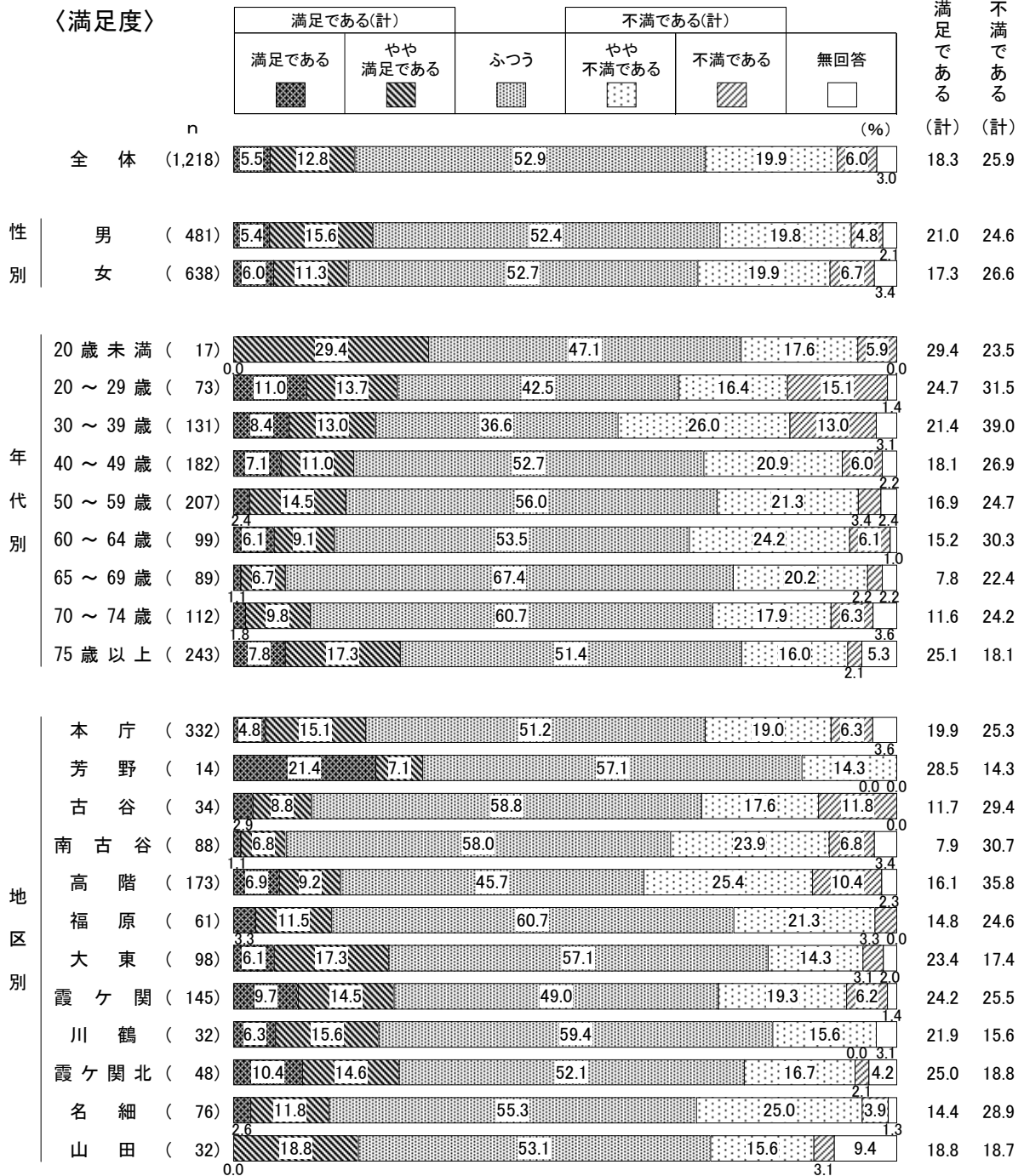
26. 公園・緑地の充実

【施策の内容】

市民の憩いの環境やレクリエーションの場として、また、災害時の防災空間として活用できるように、多様なニーズに対応した魅力ある公園の整備に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、65.9%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は62.4%、女性は70.6%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、18.3%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は21.0%、女性は17.3%と男性の方が高くなっている。

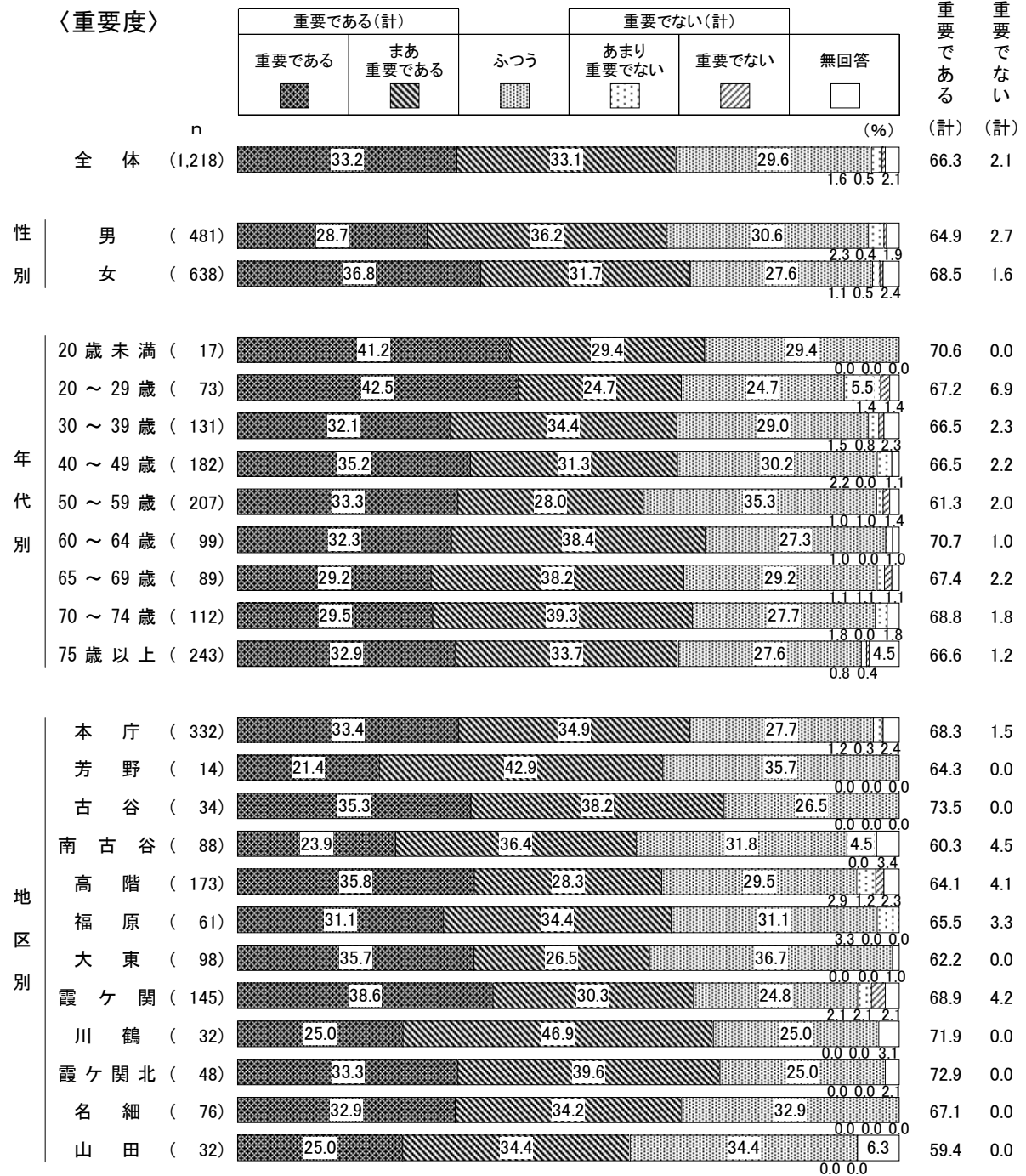
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	60.2%	65.9%	5.7%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	18.8%	18.3%	-0.5%

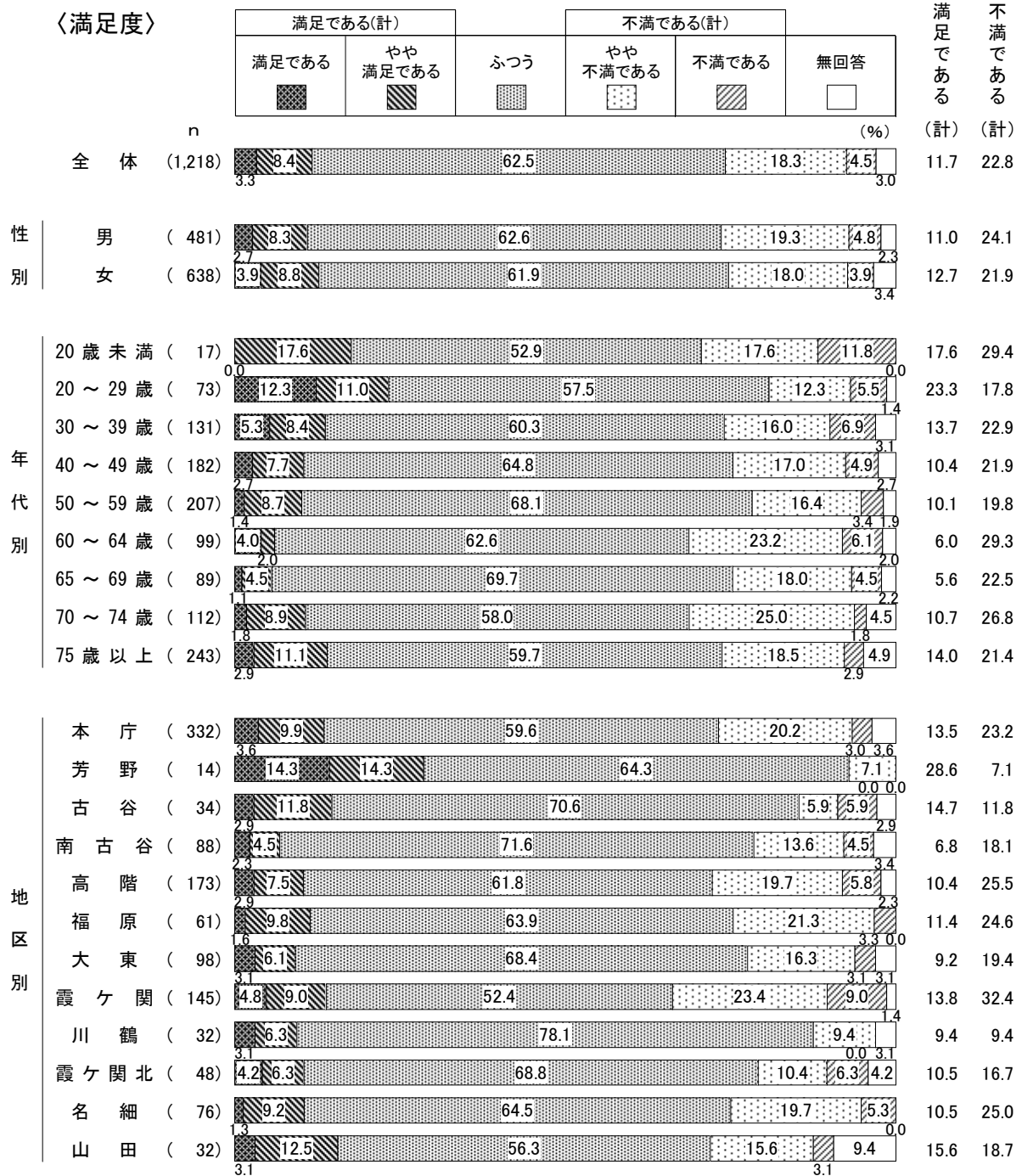
27. 良好な住環境の創出

【施策の内容】

住みよい住環境を創出し安心して暮らせるまちとなるよう、住宅の安全性の向上や空き家対策に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、66.3%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は64.9%、女性は68.5%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、11.7%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は11.0%、女性は12.7%と女性の方がやや高くなっている。

〈前回調査結果との比較（全体）〉

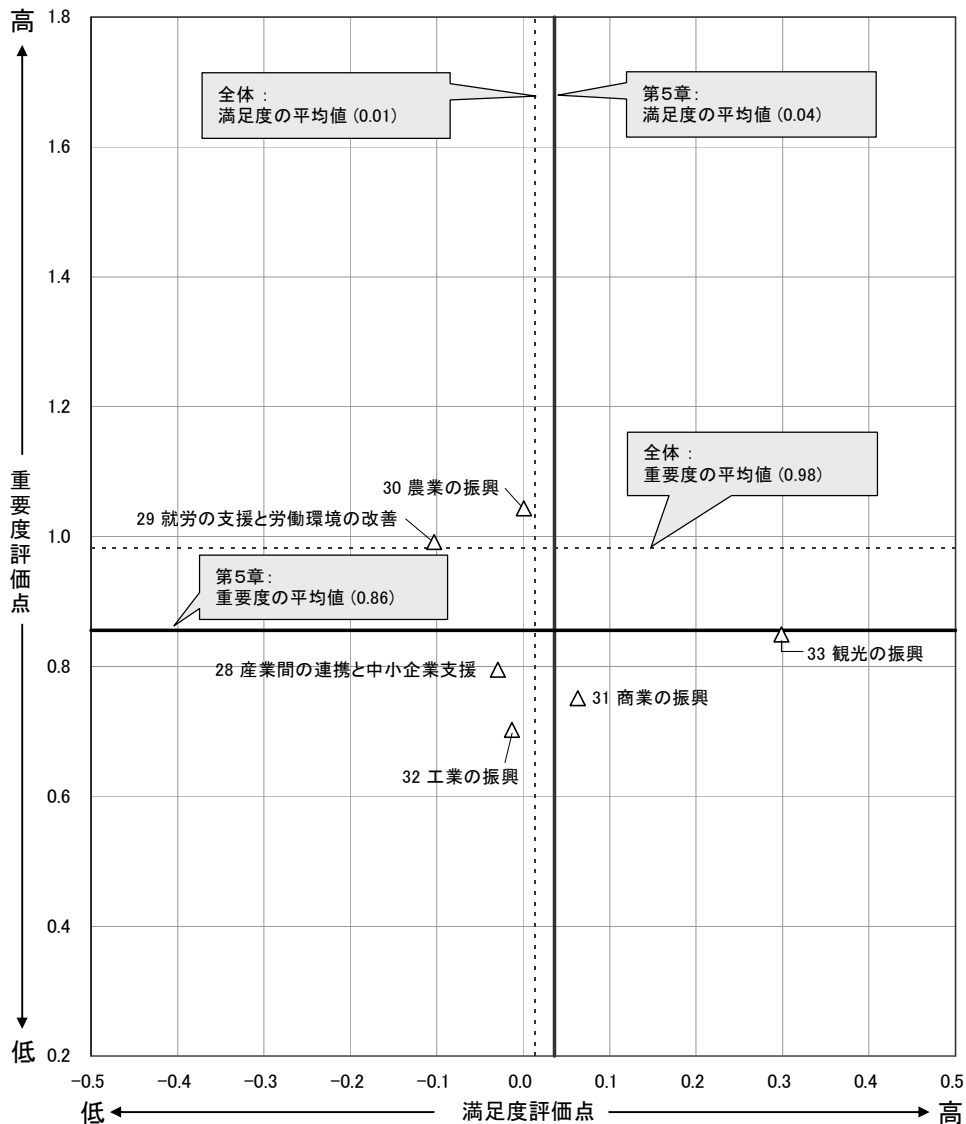
	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	60.9%	66.3%	5.4%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	10.8%	11.7%	0.9%

【第5章】地域資源をいかした、にぎわいと活力にあふれるまち

～産業・観光～

産業・観光の分野については、重要度が全体の平均値（0.98）を下回っている施策が多くなっている。

満足度は、「33 観光の振興」が全体の平均値（0.01）を大きく上回っている一方、「29 就労の支援と労働環境の改善」が分野で最も低くなっている。

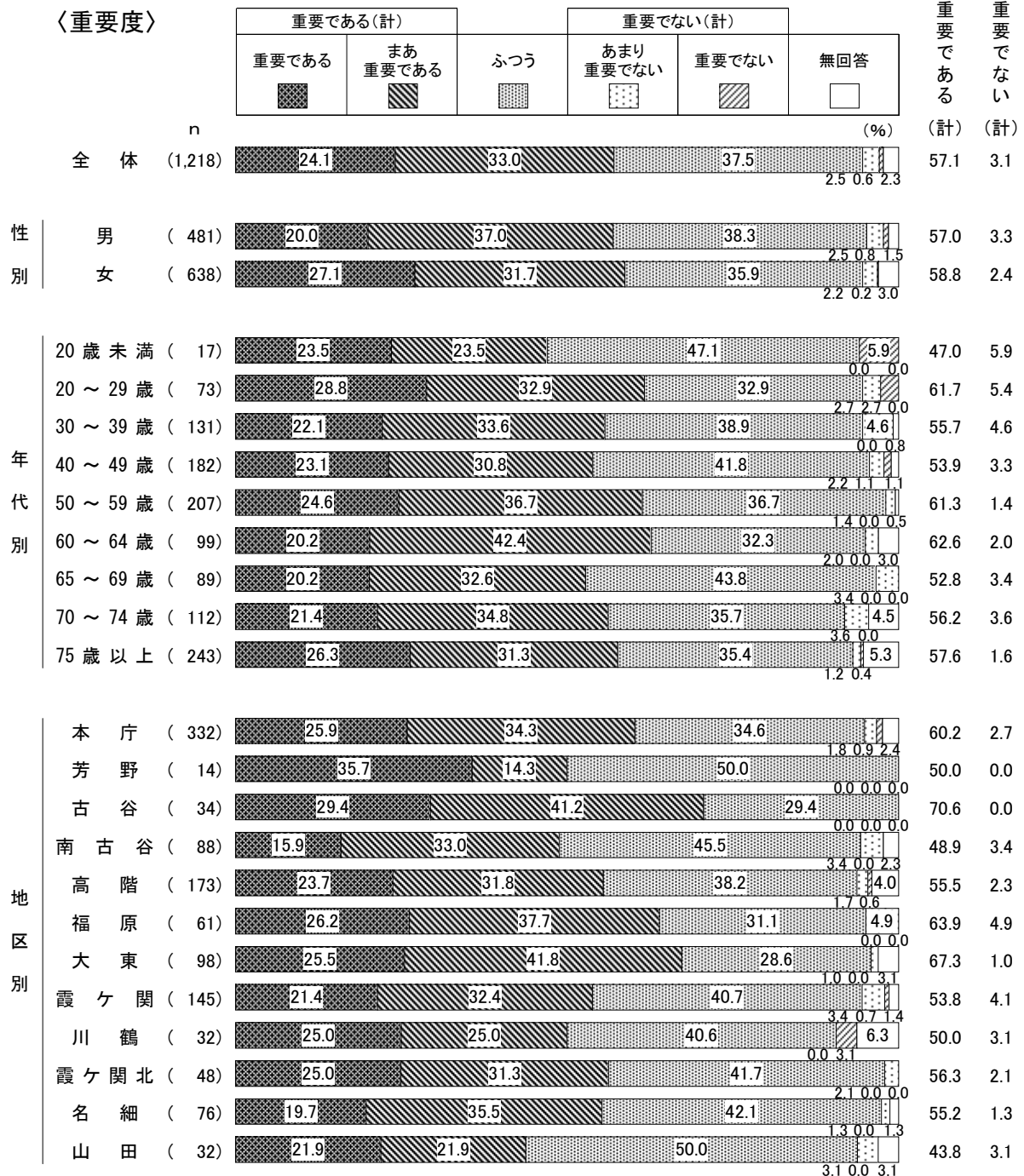


施策	重要度 評価点	満足度 評価点
28 産業間の連携と中小企業支援	0.79	-0.03
29 就労の支援と労働環境の改善	0.99	-0.10
30 農業の振興	1.04	0.00
31 商業の振興	0.75	0.06
32 工業の振興	0.70	-0.01
33 観光の振興	0.85	0.30
第5章 平均	0.86	0.04

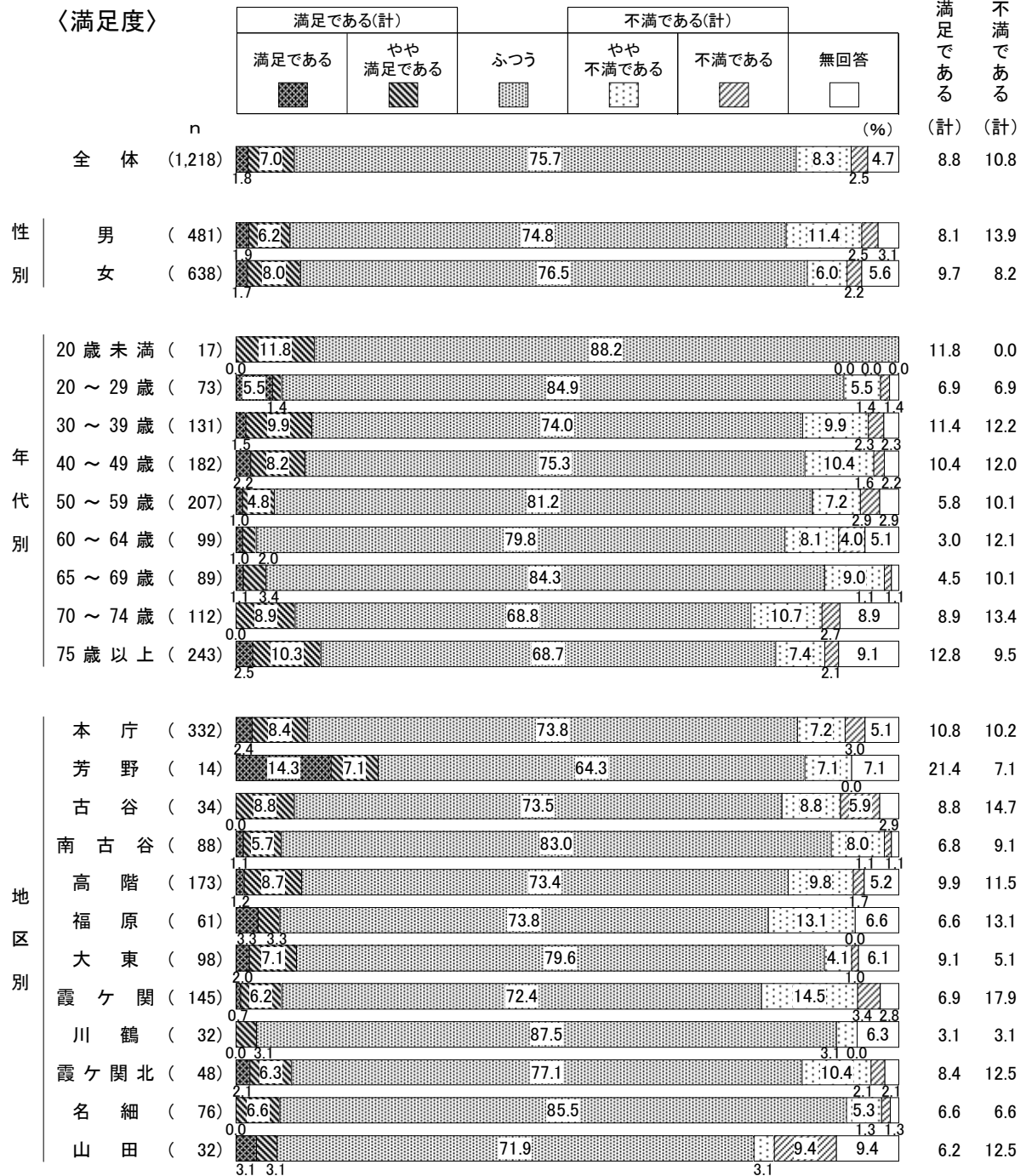
28. 産業間の連携と中小企業支援

【施策の内容】

農業・商業・工業・観光産業の発展のため、産業間の連携や中小企業への支援に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、57.1%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は57.0%、女性は58.8%と女性の方がやや高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、8.8%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は8.1%、女性は9.7%と女性の方がやや高くなっている。

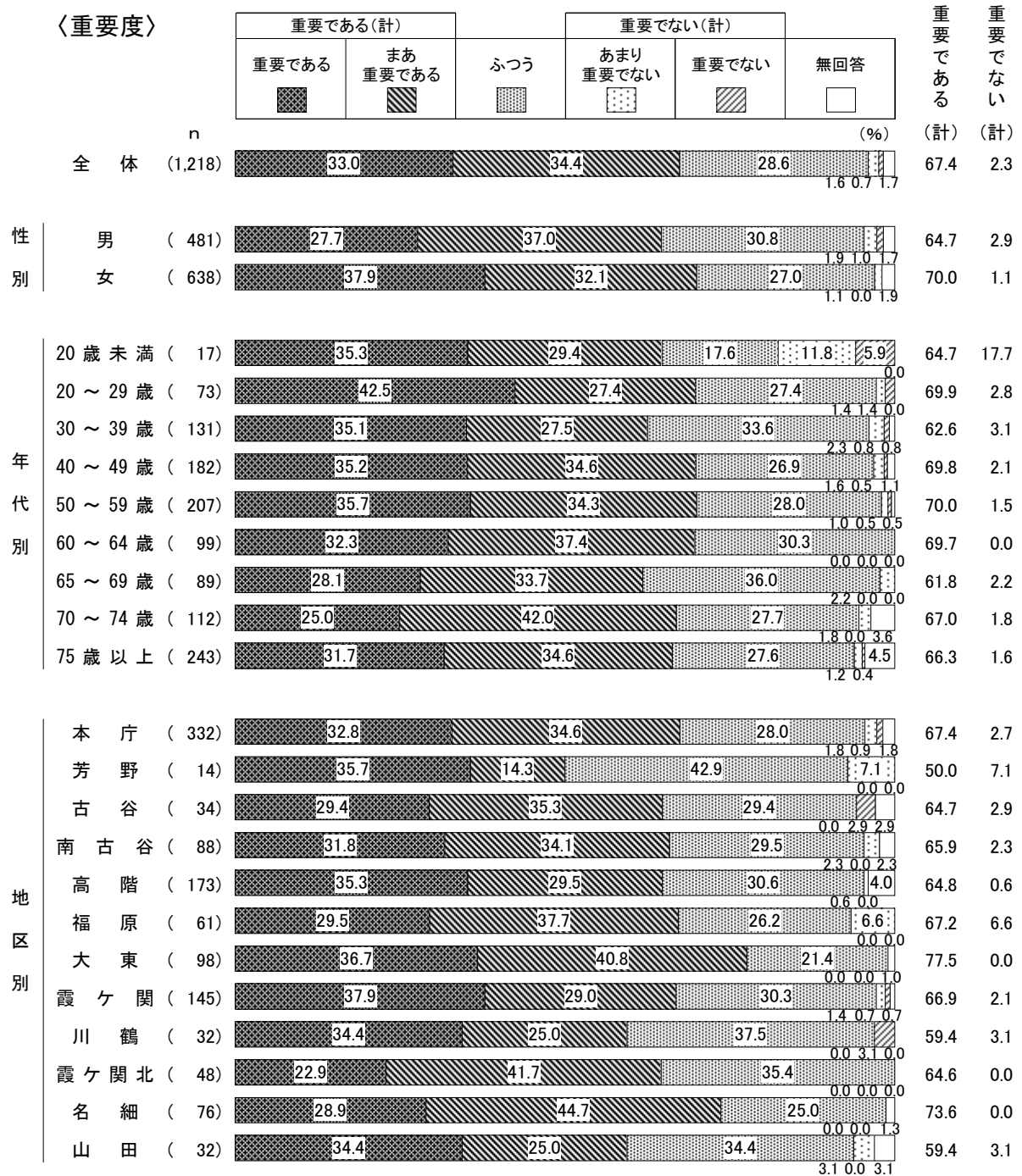
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	53.4%	57.1%	3.7%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	8.6%	8.8%	0.2%

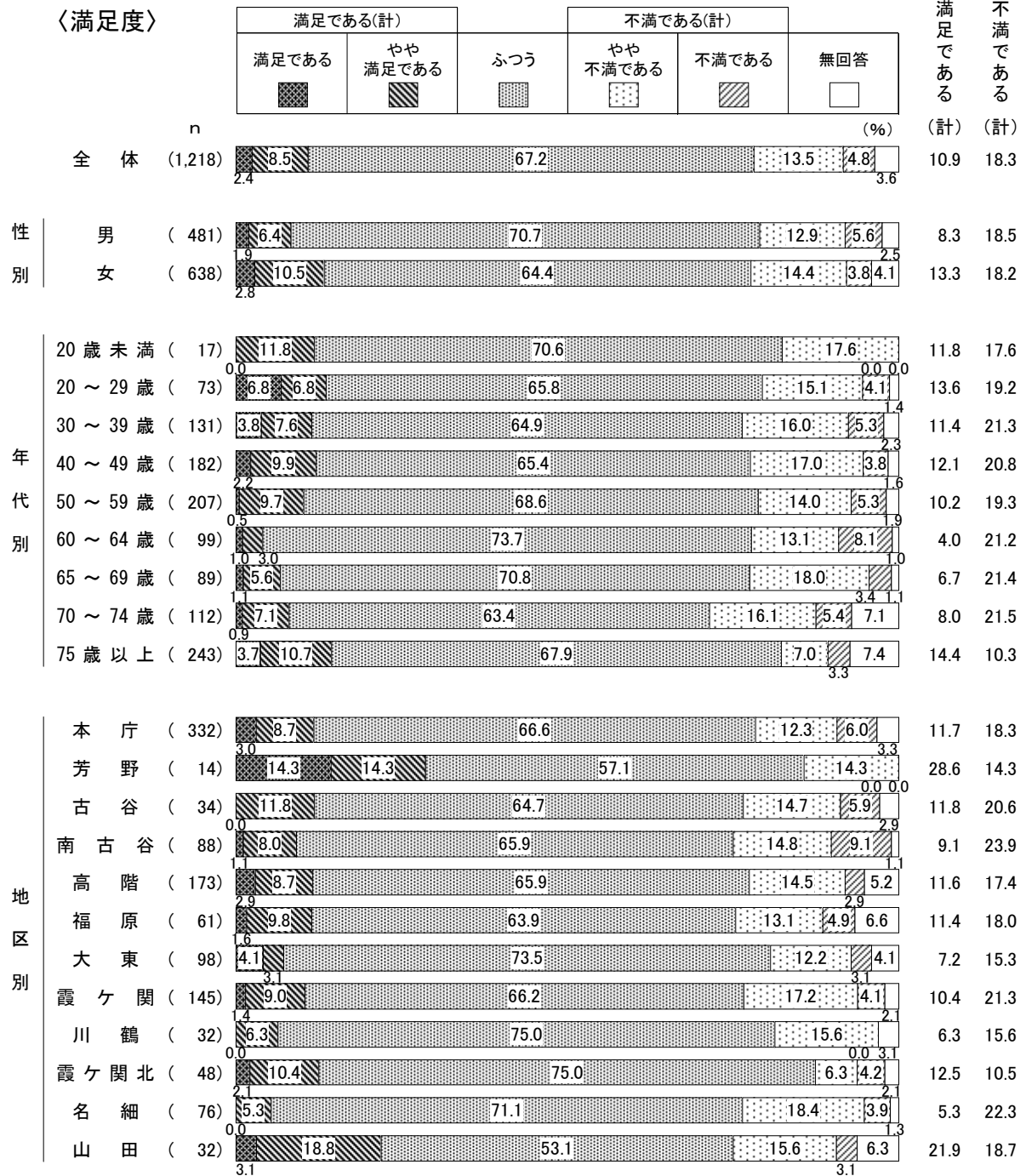
29. 就労の支援と労働環境の改善

【施策の内容】

様々な求職者に対応した就労支援や安心して働ける労働環境の改善に取り組んでいます。



- ・全体でみると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、67.4%となっている。
- ・性別でみると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は64.7%、女性は70.0%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、10.9%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は8.3%、女性は13.3%と女性の方が高くなっている。

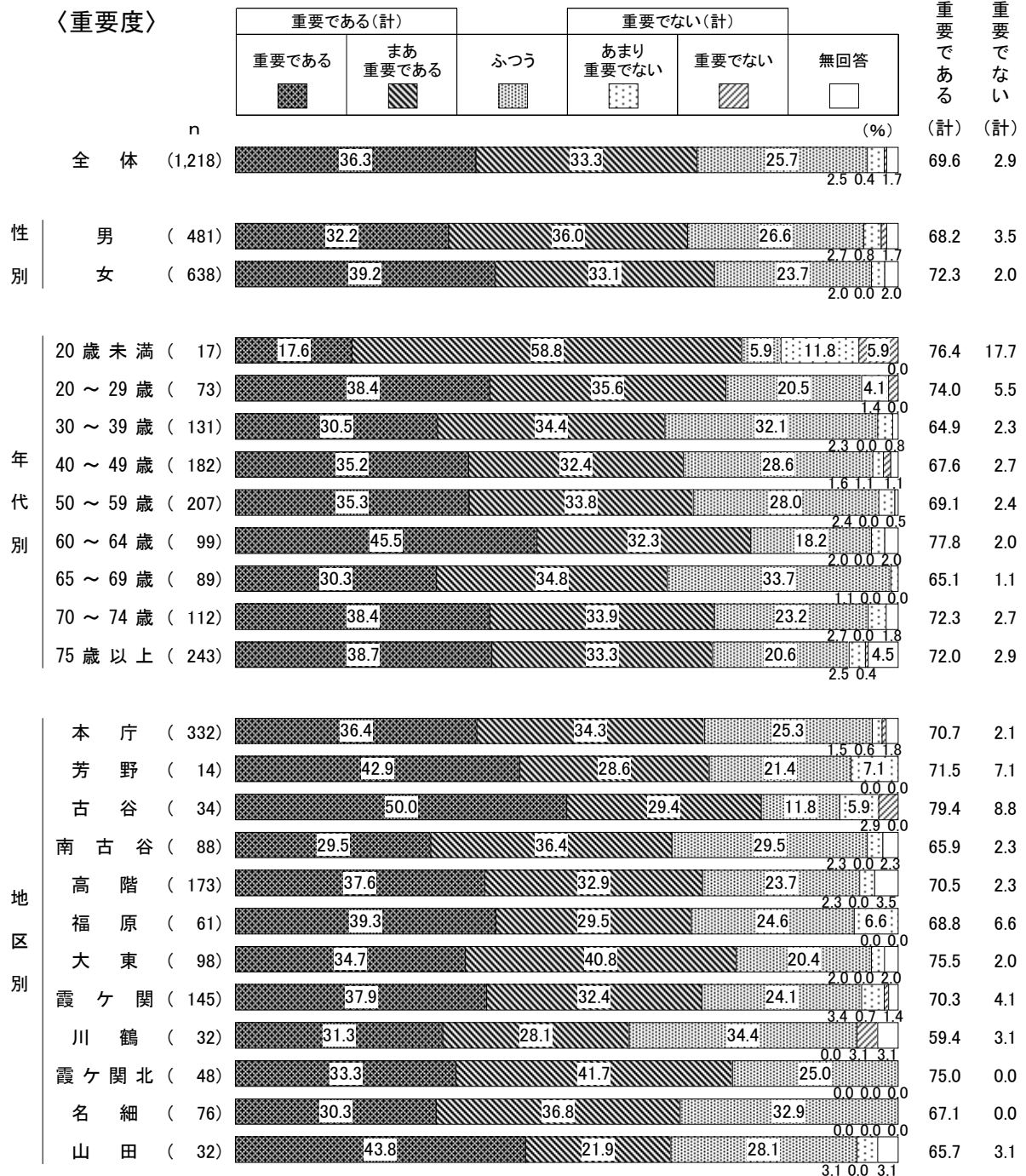
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	63.7%	67.4%	3.7%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	8.9%	10.9%	2.0%

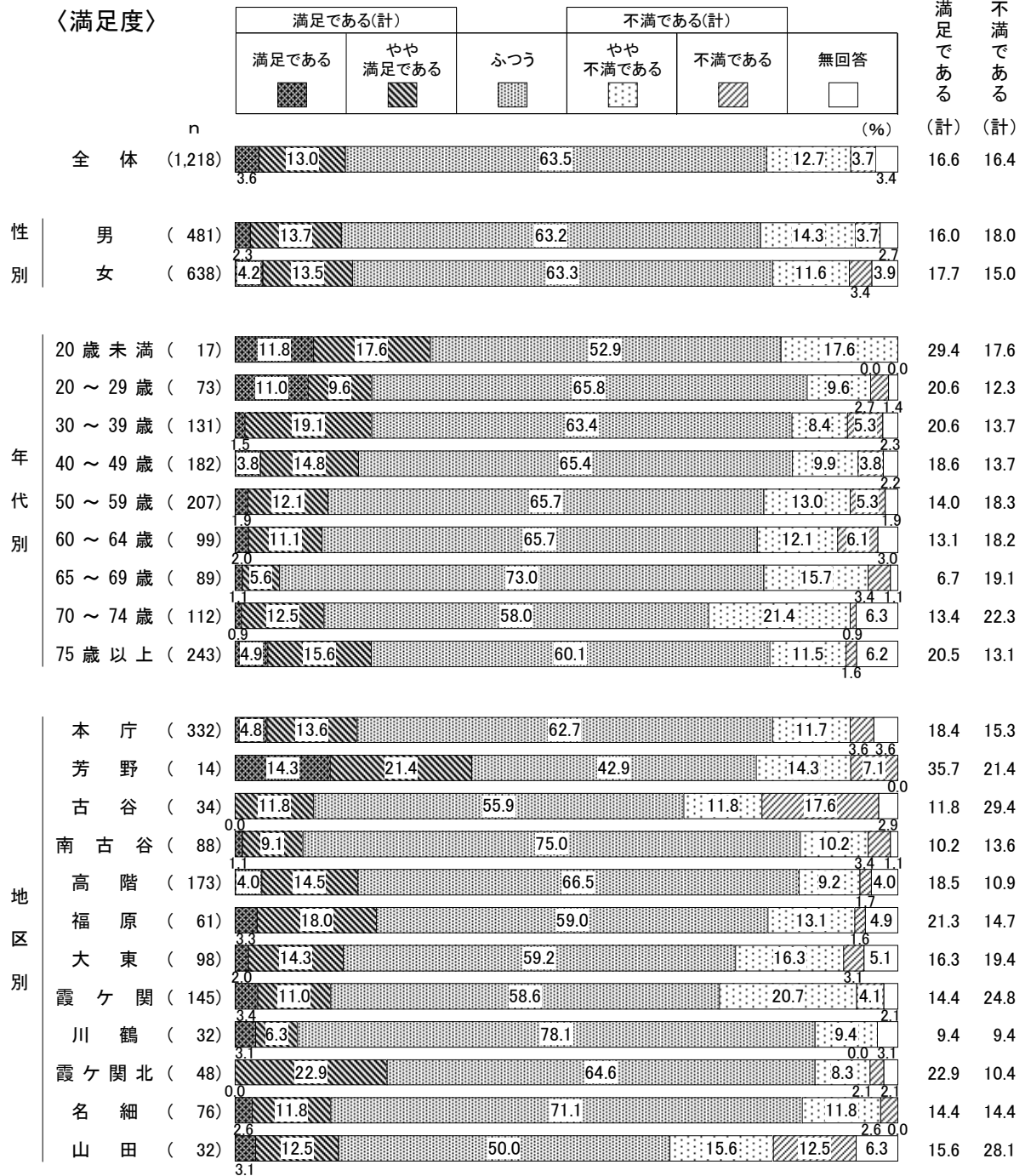
30. 農業の振興

【施策の内容】

地産地消の推進、農産物のブランド化、担い手の育成等により、農業の活性化を図るとともに、農業にふれあう機会の創出に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、69.6%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は68.2%、女性は72.3%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、16.6%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は16.0%、女性は17.7%と女性の方がやや高くなっている。

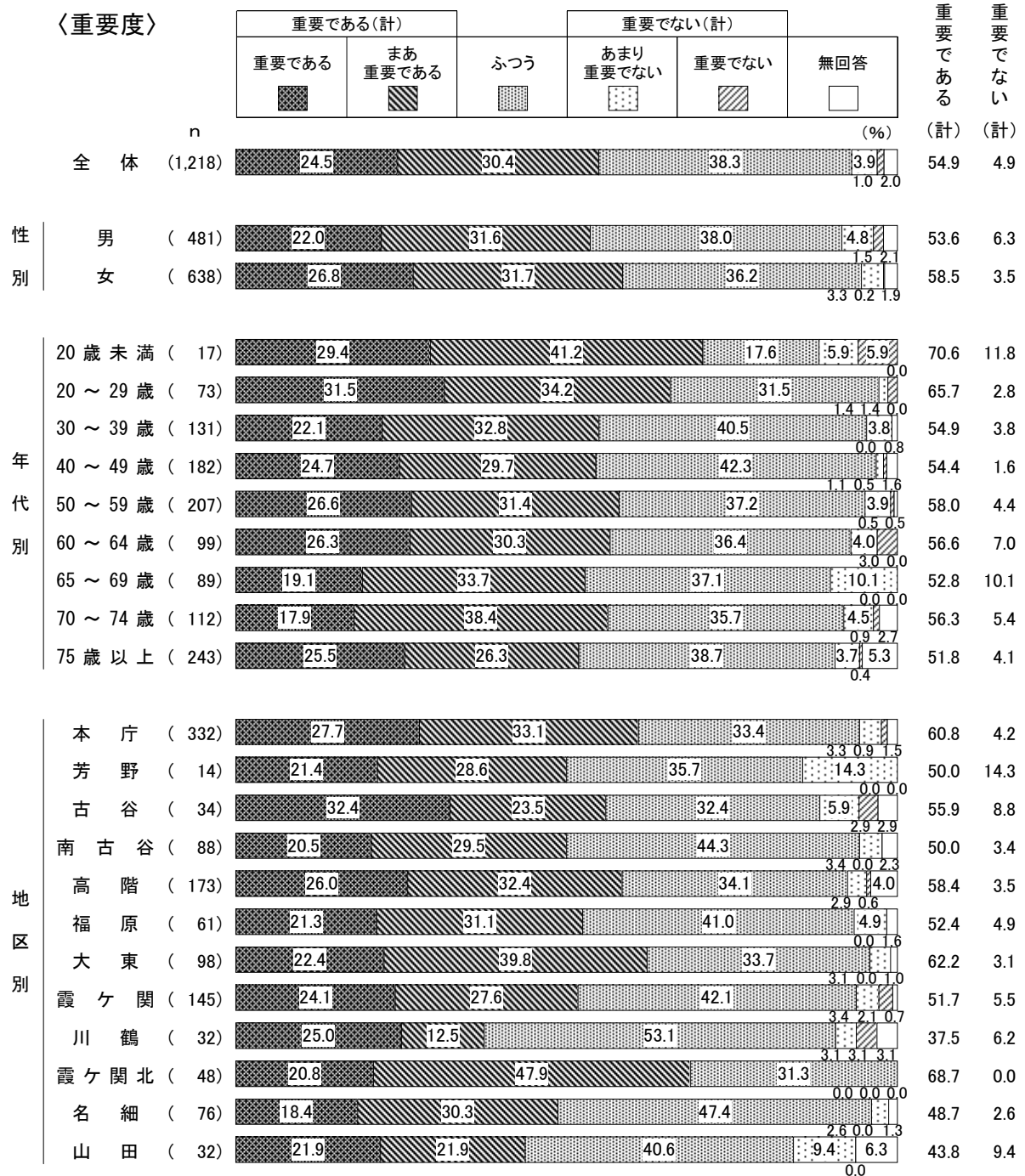
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	65.5%	69.6%	4.1%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	19.2%	16.6%	-2.6%

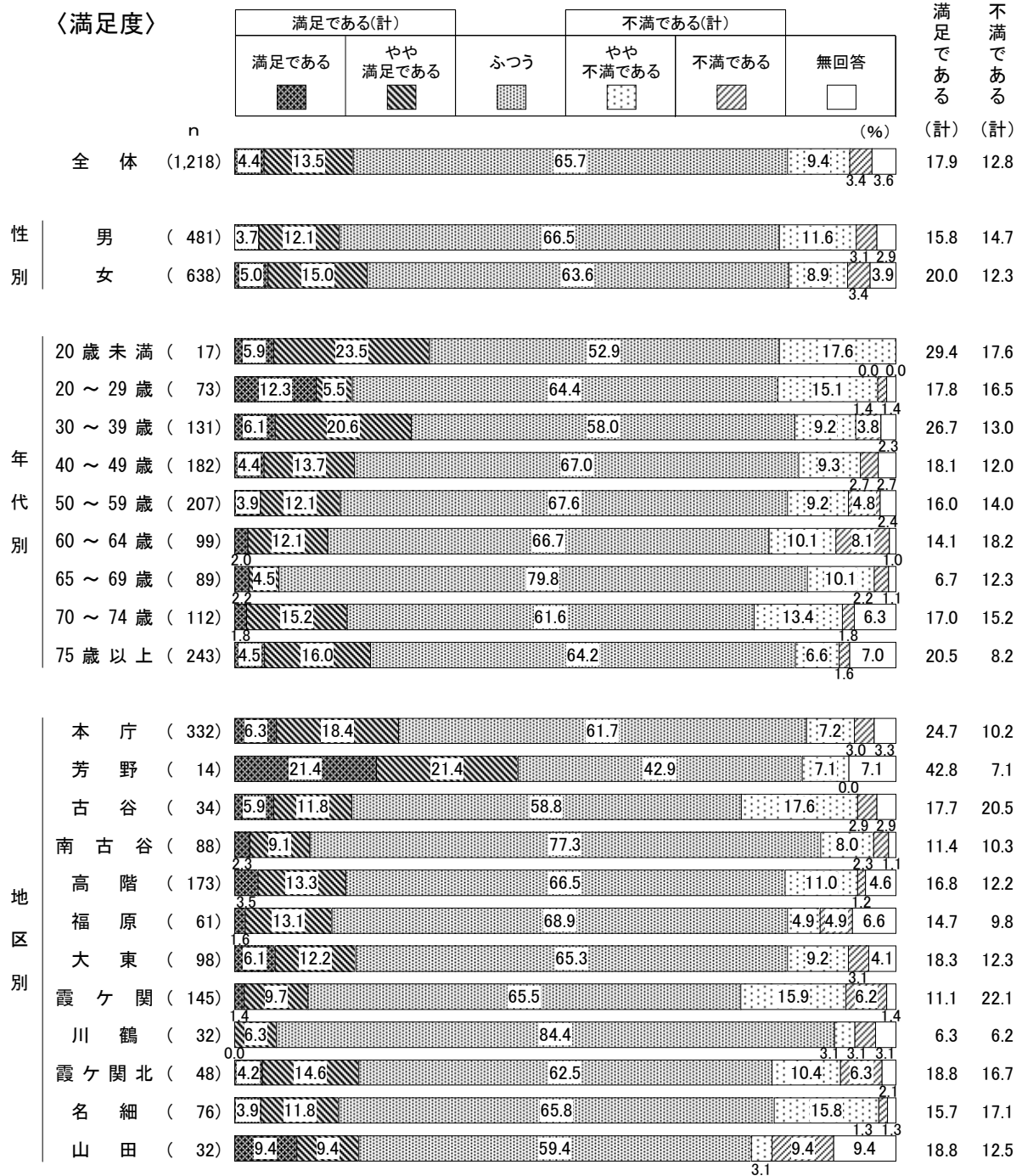
31. 商業の振興

【施策の内容】

商店街をはじめとした商業の発展と中心市街地の活性化を図るため、イベント等によるにぎわいの創出や魅力ある店舗の育成・支援に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、54.9%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は53.6%、女性は58.5%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、17.9%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は15.8%、女性は20.0%と女性の方が高くなっている。

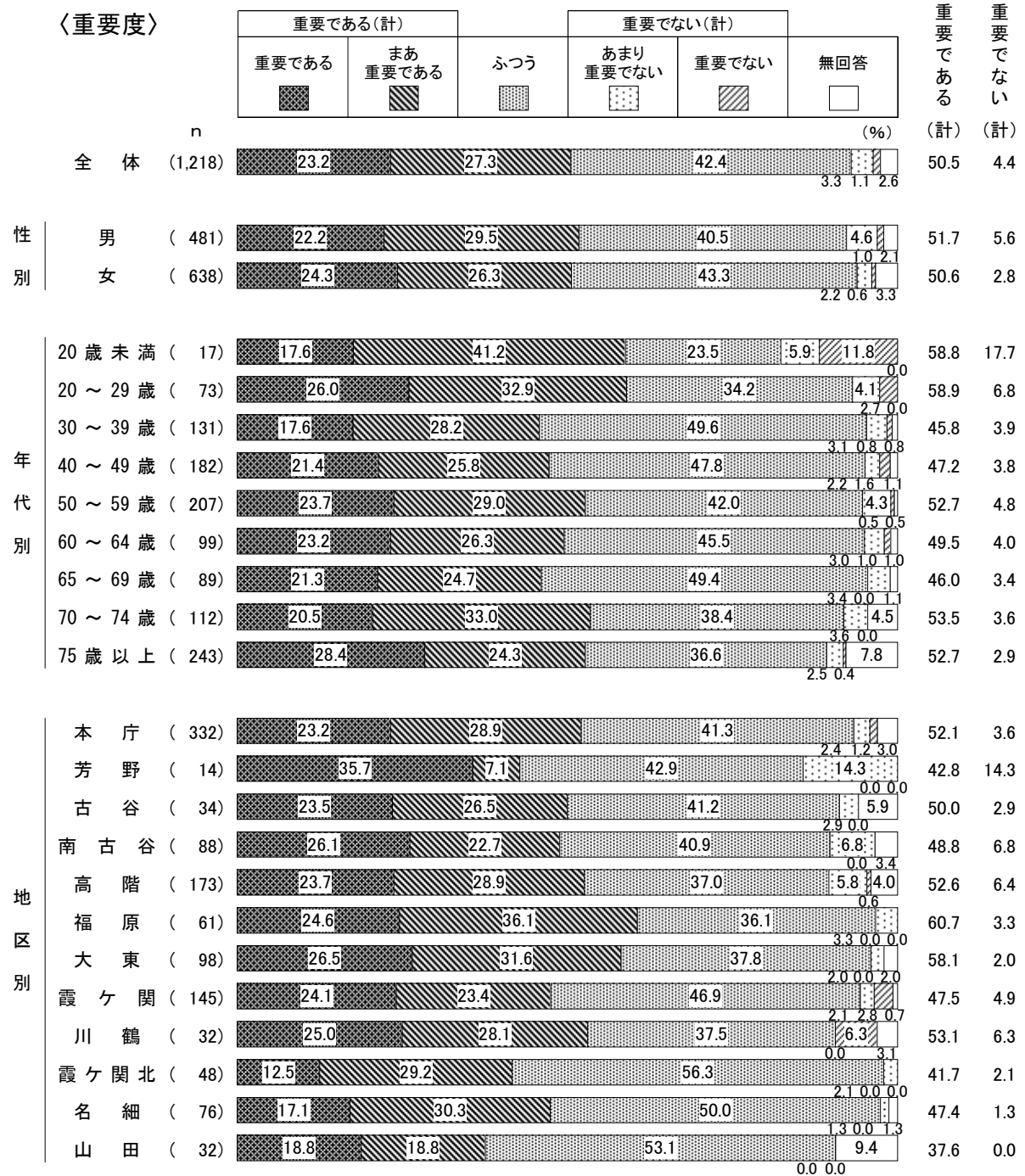
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	56.1%	54.9%	-1.2%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	18.7%	17.9%	-0.8%

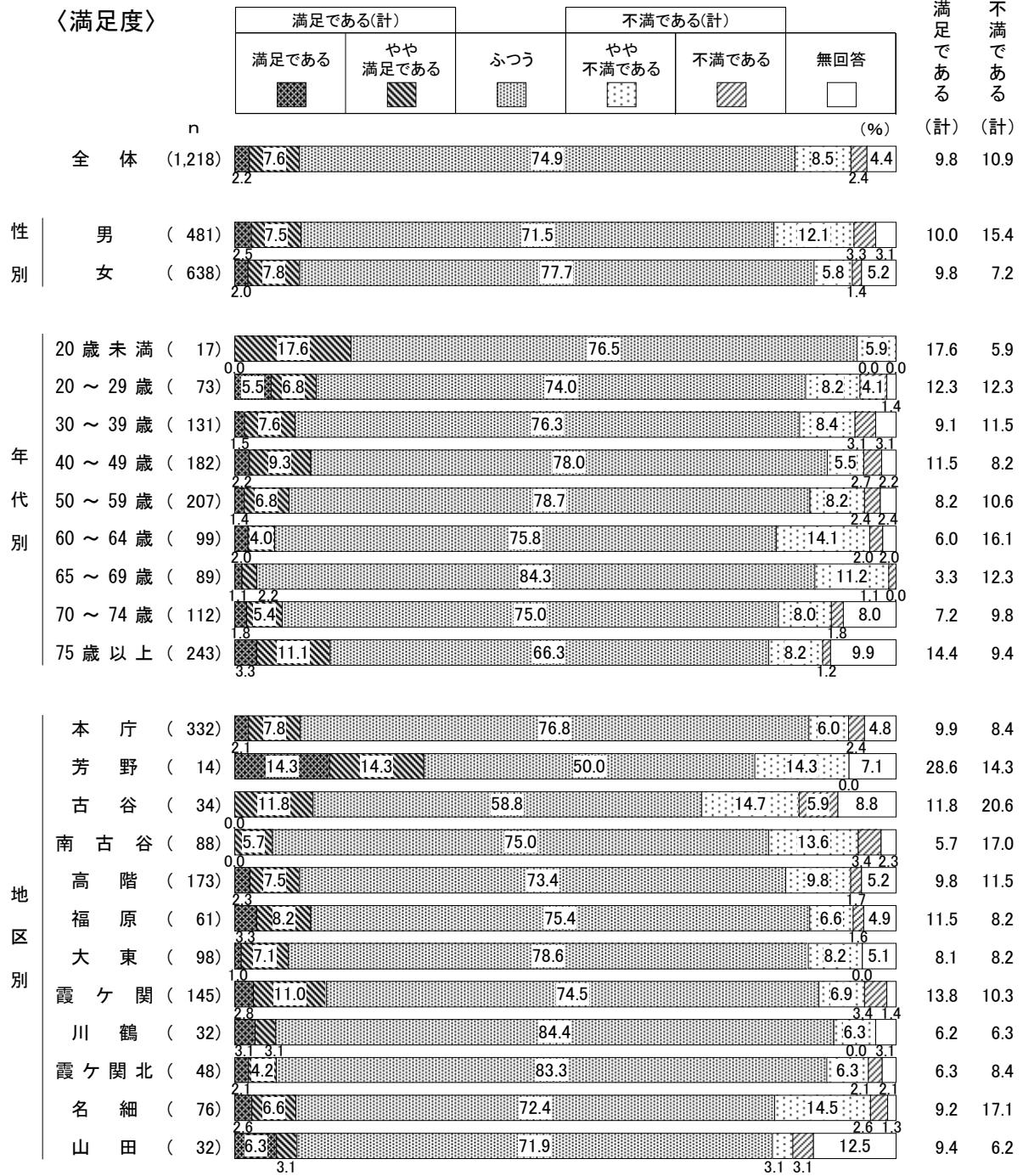
32. 工業の振興

【施策の内容】

ものづくりによるまちの活性化と雇用創出を図るため、工業製品の付加価値の向上や販路拡大への支援及び新たな企業誘致に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、50.5%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は51.7%、女性は50.6%と男性の方がやや高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、9.8%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は10.0%、女性は9.8%とほぼ同じとなっている。

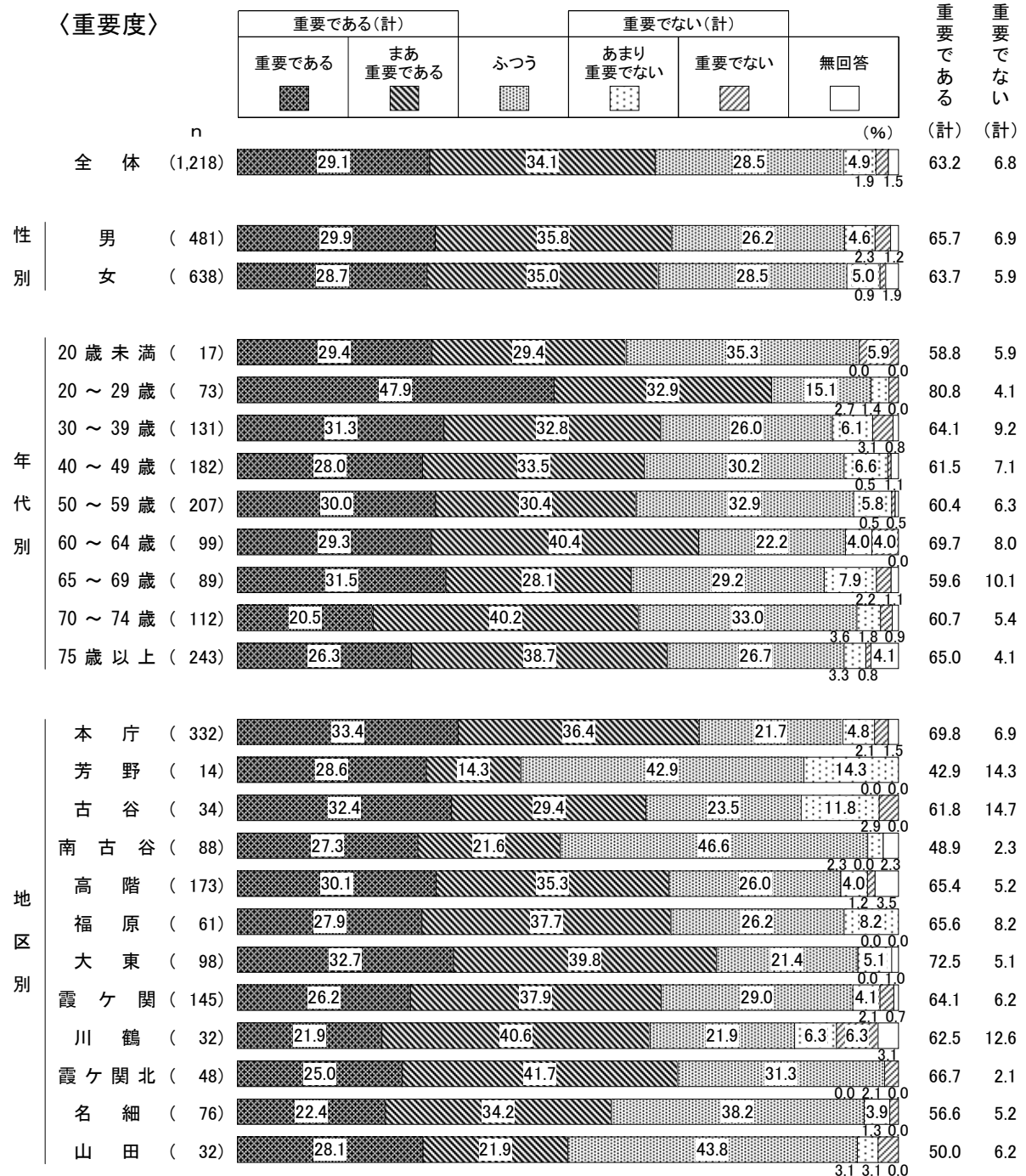
〈前回調査結果との比較 (全体)〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	47.4%	50.5%	3.1%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	9.0%	9.8%	0.8%

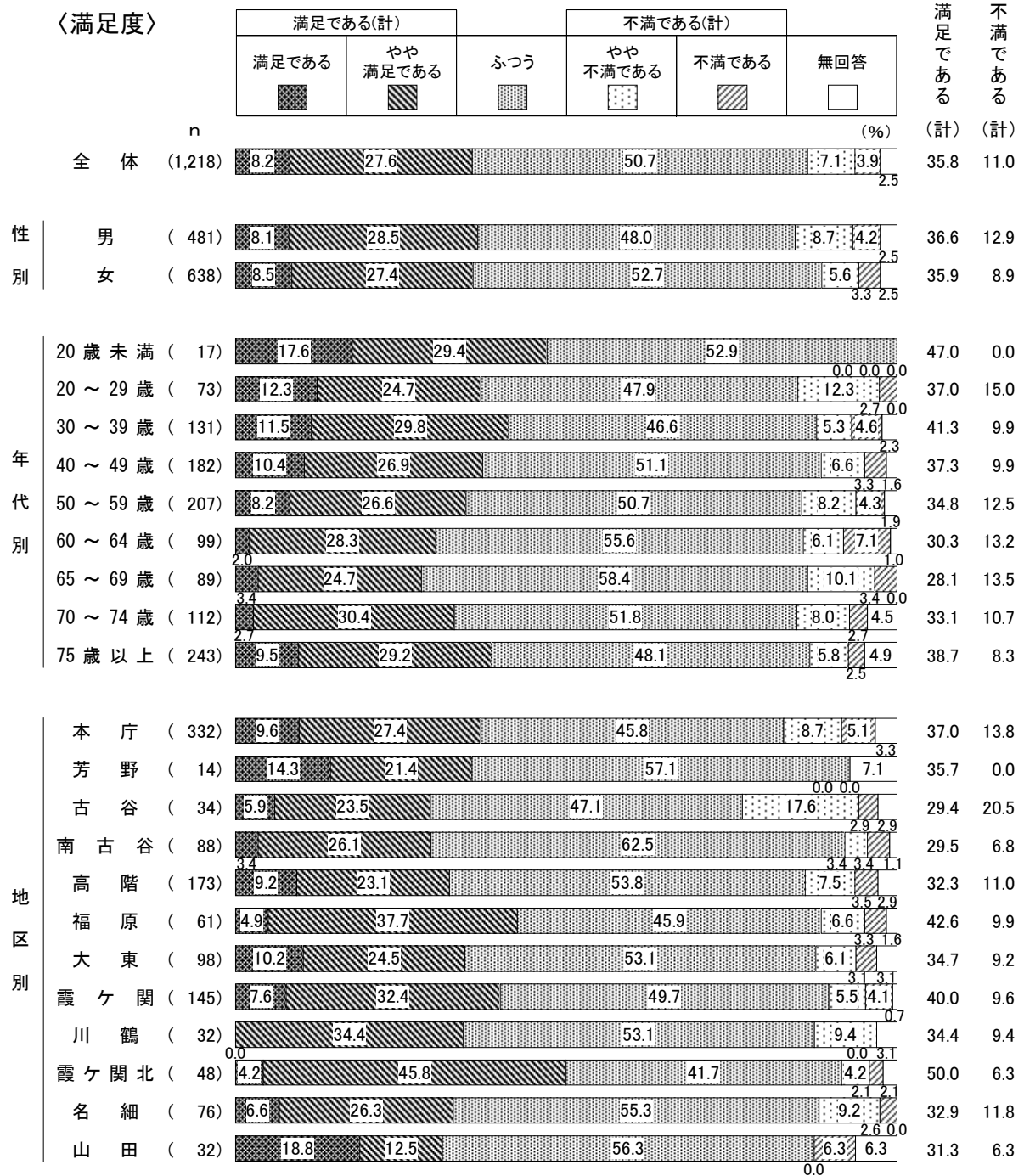
33. 観光の振興

【施策の内容】

新たな観光客やリピーターを確保するため、歴史や文化などの地域特性を生かした観光資源の発掘や観光情報の発信、外国人観光客の誘致等に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、63.2%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は65.7%、女性は63.7%と男性の方がやや高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、35.8%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は36.6%、女性は35.9%とほぼ同じとなっている。

〈前回調査結果との比較（全体）〉

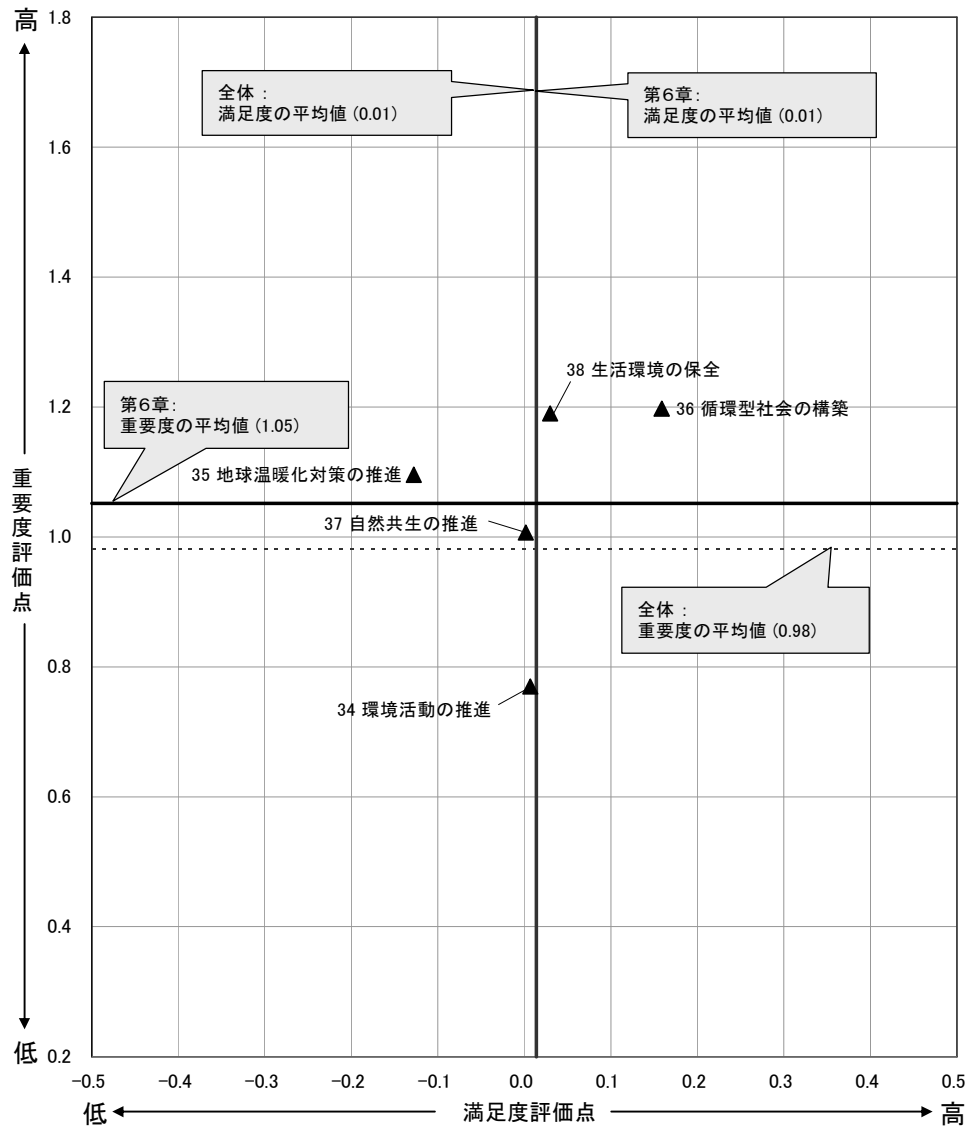
	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	61.6%	63.2%	1.6%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	33.2%	35.8%	2.6%

【第6章】地球環境にやさしい、豊かな自然とともに生きるまち

～環境～

環境の分野については、多くの施策の重要度が全体の平均値（0.98）を上回っており、市民の関心は比較的高い分野となっている。

「36 循環型社会の構築」は、重要度、満足度ともに高くなっている。また、「35 地球温暖化対策の推進」は、市民が重要と考えつつも満足度は環境の分野で最も低い施策となっている。

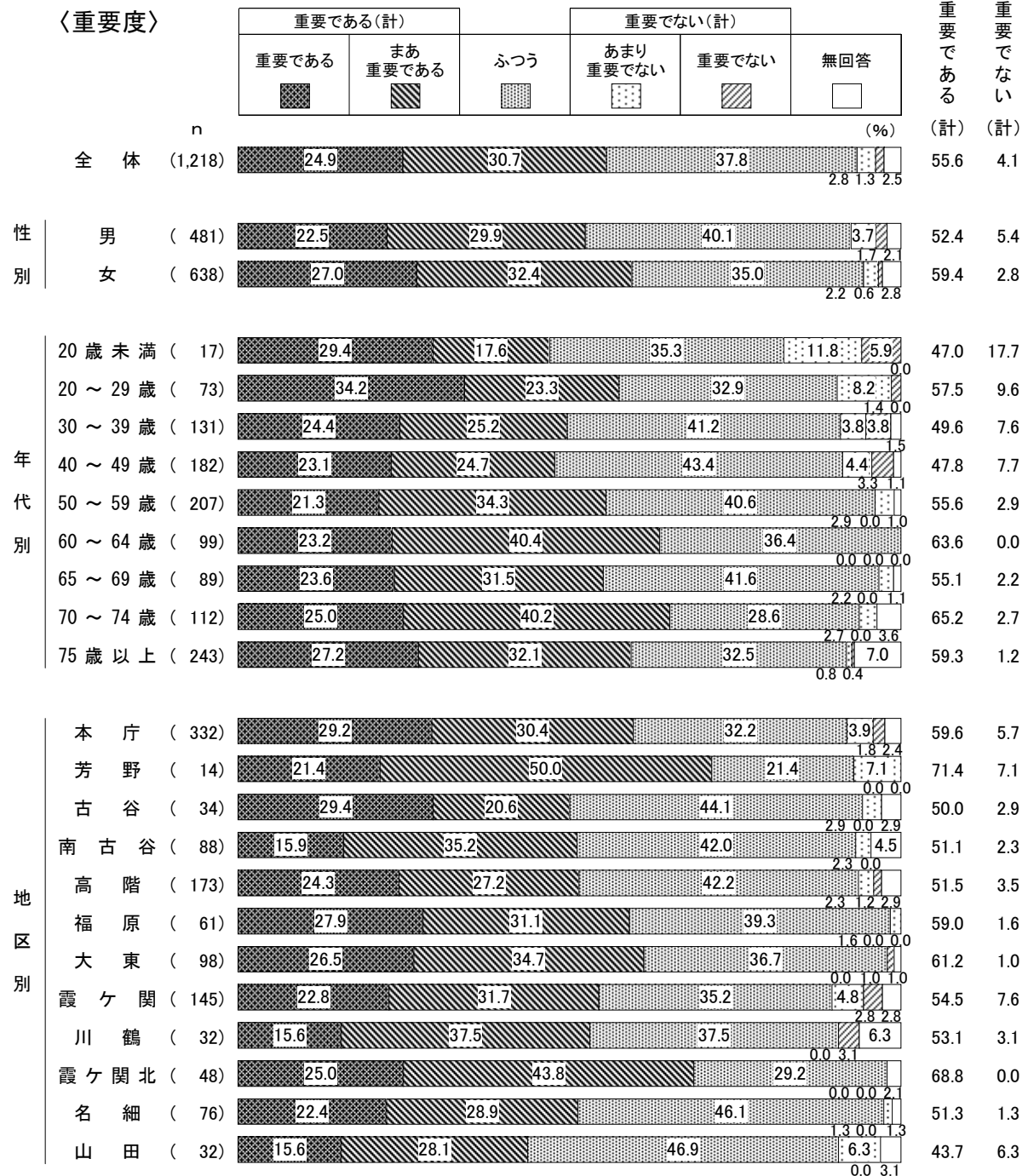


施策	重要度 評価点	満足度 評価点
34 環境活動の推進	0.77	0.01
35 地球温暖化対策の推進	1.10	-0.13
36 循環型社会の構築	1.20	0.16
37 自然共生の推進	1.01	0.00
38 生活環境の保全	1.19	0.03
第6章 平均	1.05	0.01

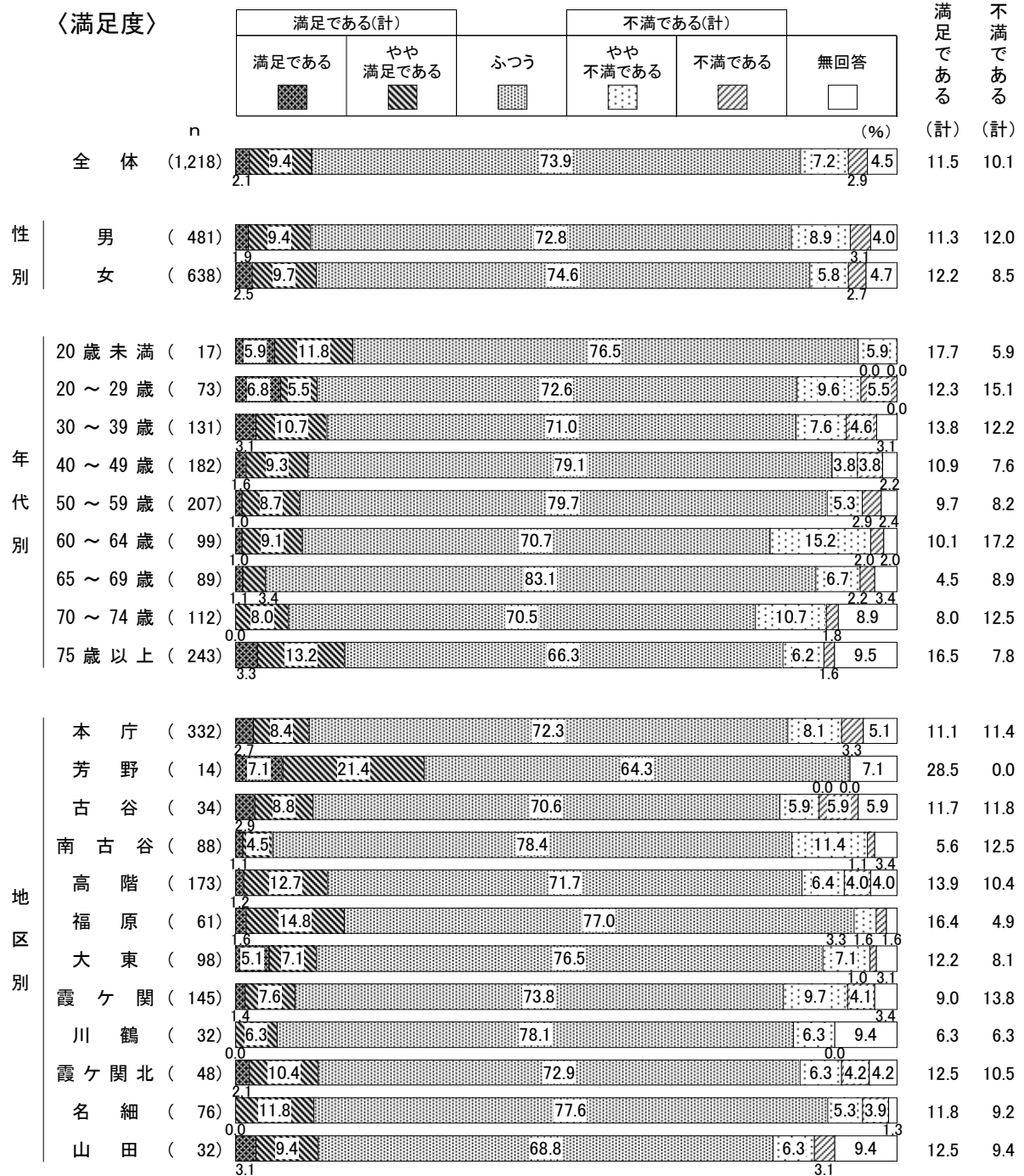
34. 環境活動の推進

【施策の内容】

環境に対する知識と理解を備え、環境保全を進めていくための行動を実践できるような地域づくり・人づくりに取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、55.6%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は52.4%、女性は59.4%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、11.5%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は11.3%、女性は12.2%とほぼ同じとなっている。

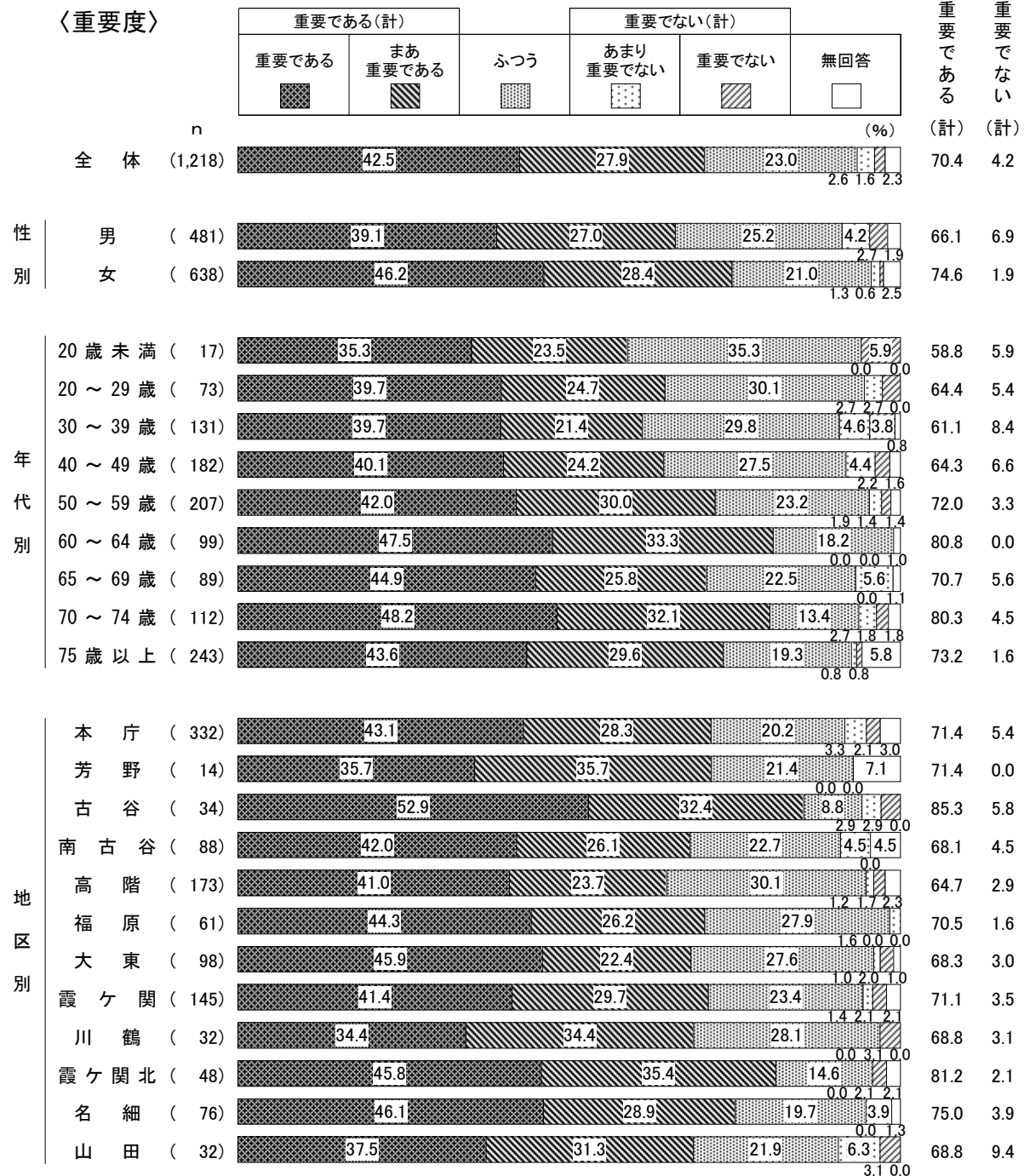
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	52.9%	55.6%	2.7%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	11.3%	11.5%	0.2%

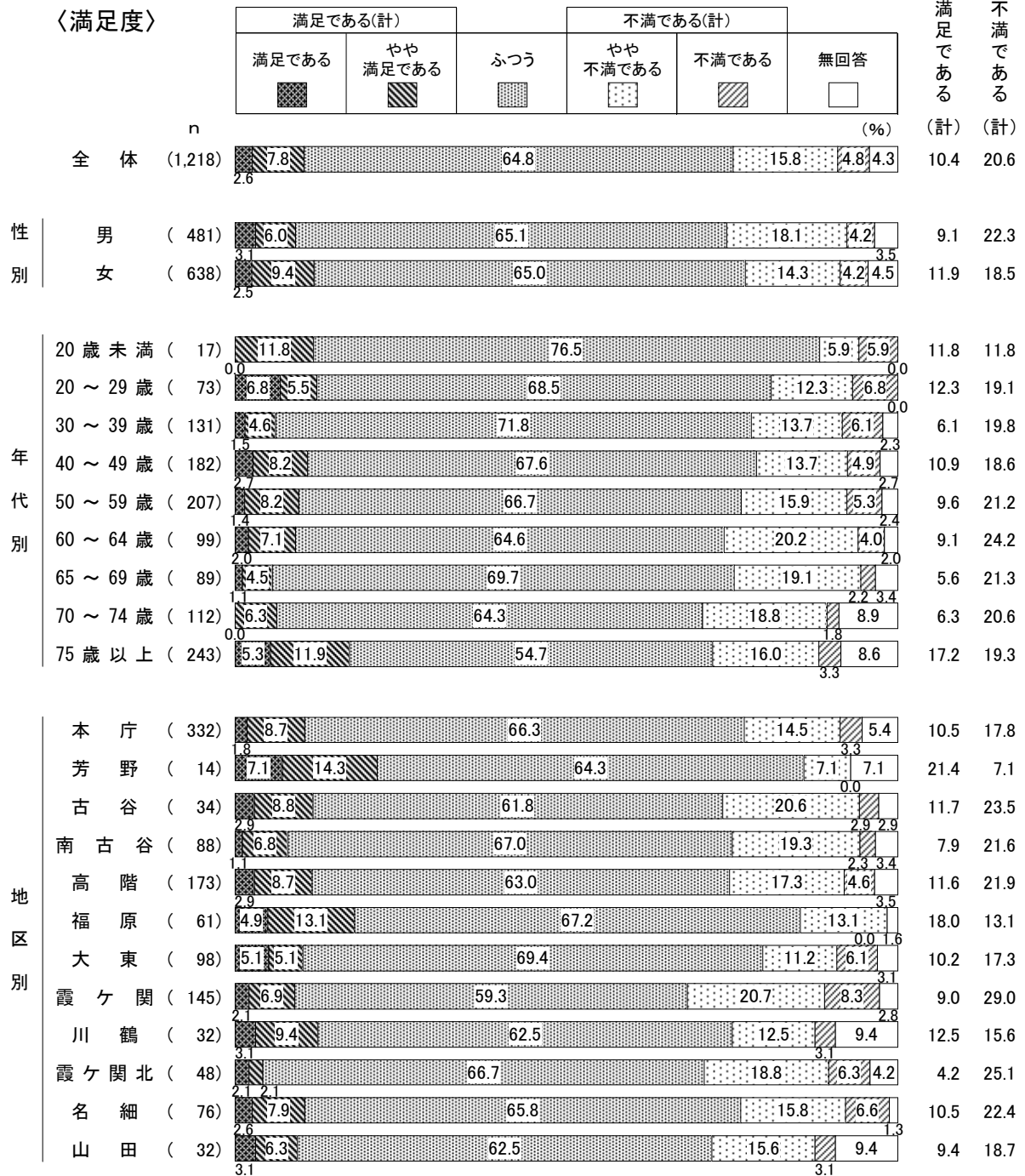
35. 地球温暖化対策の推進

【施策の内容】

市域から排出される温室効果ガスを抑制するため、市民や事業者等に対する啓発等により、省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの導入に取り組みます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、70.4%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は66.1%、女性は74.6%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、10.4%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は9.1%、女性は11.9%と女性の方がやや高くなっている。

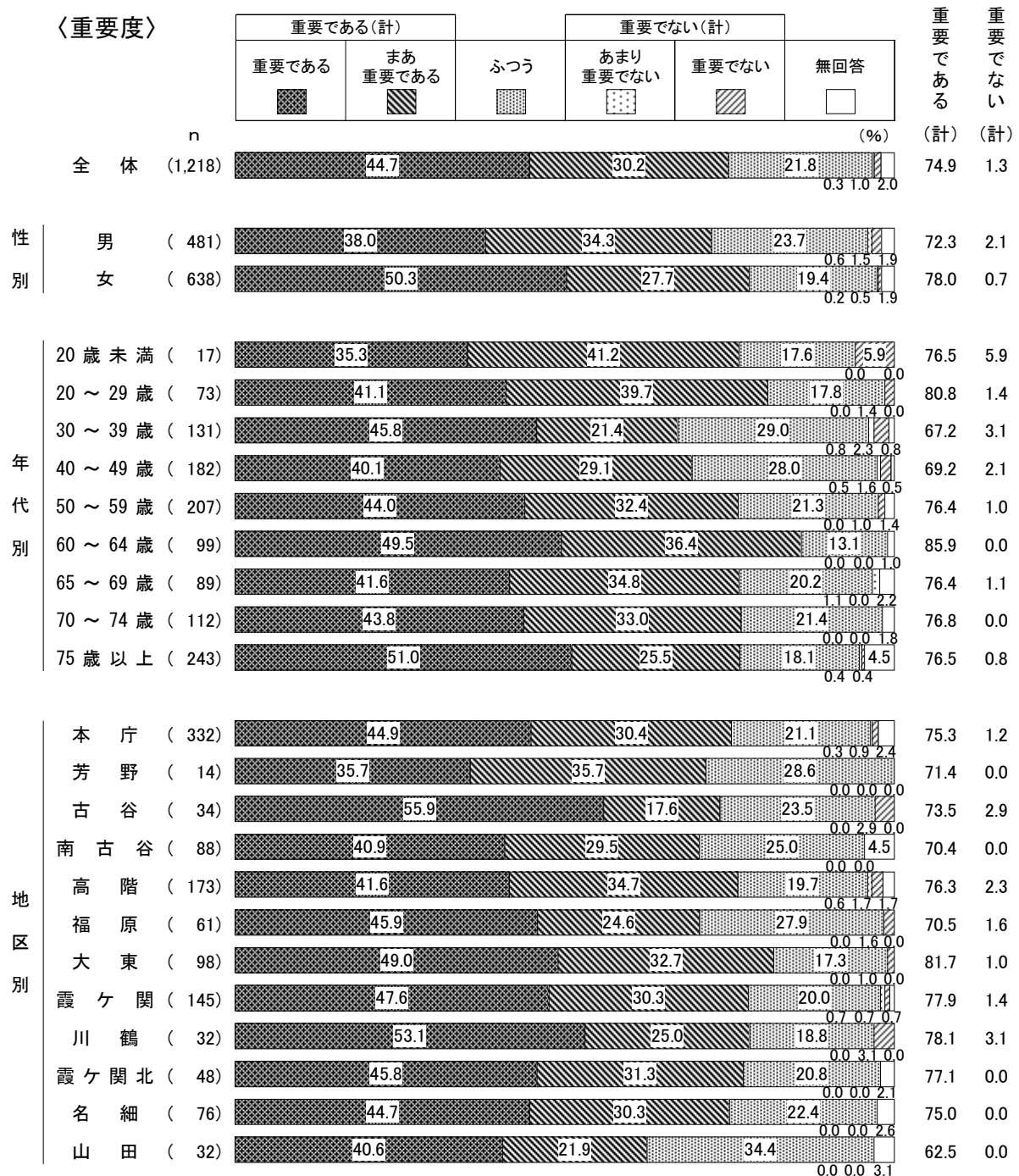
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	69.0%	70.4%	1.4%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	9.7%	10.4%	0.7%

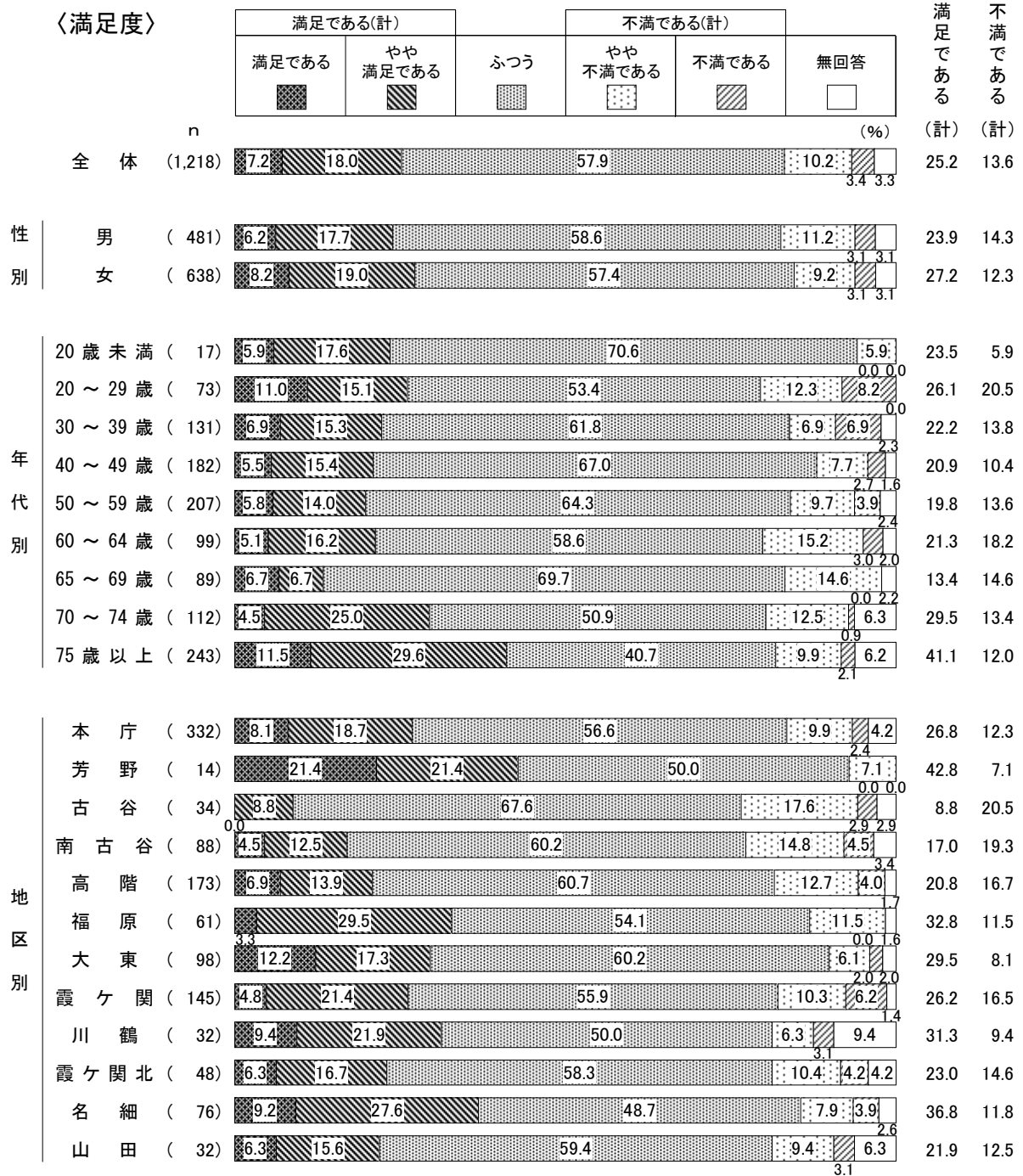
36. 循環型社会の構築

【施策の内容】

資源の循環的な利用を促進し、環境への負荷を減らしたまちづくりに取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、74.9%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は72.3%、女性は78.0%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、25.2%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は23.9%、女性は27.2%と女性の方が高くなっている。

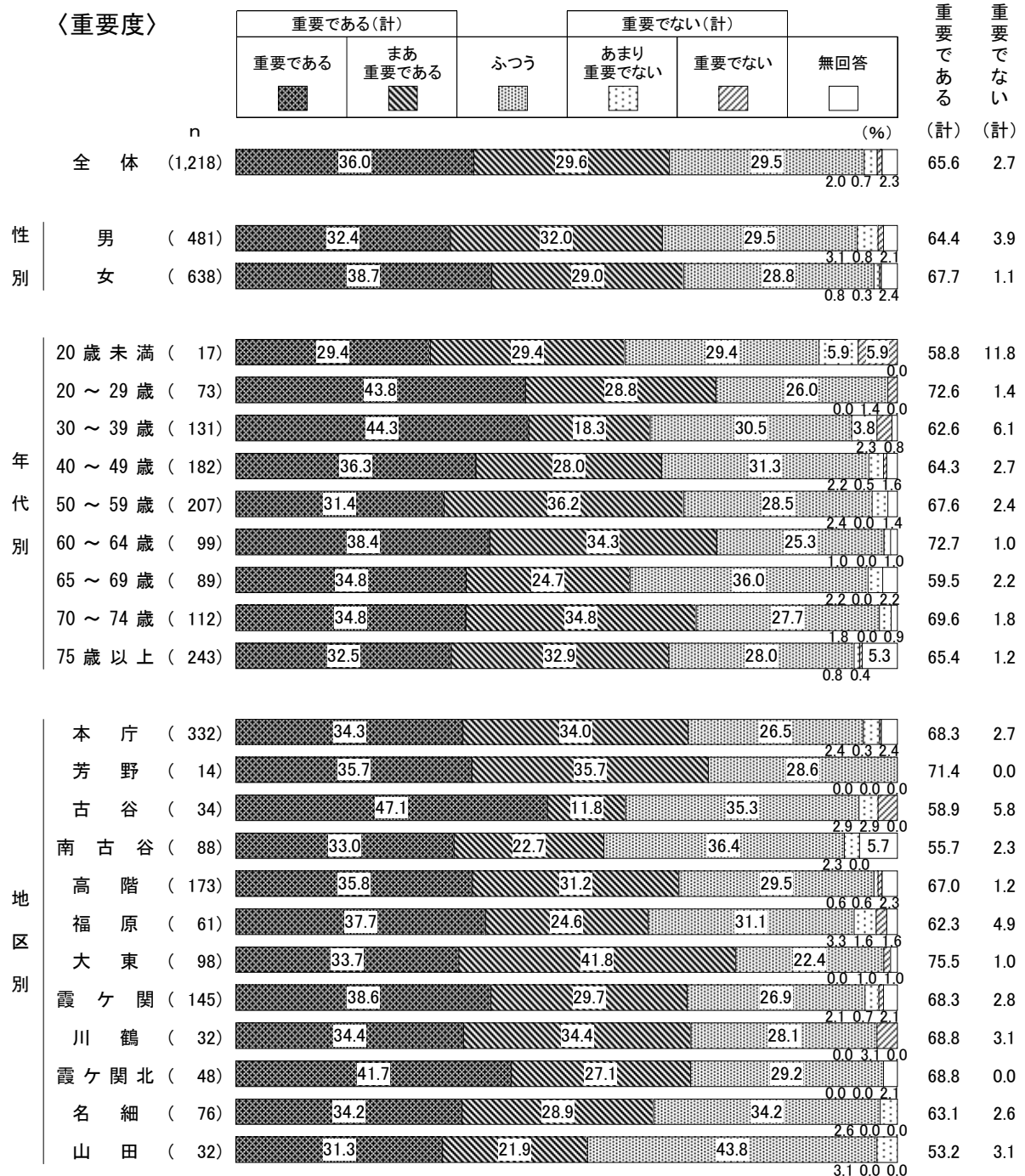
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	75.3%	74.9%	-0.4%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	27.5%	25.2%	-2.3%

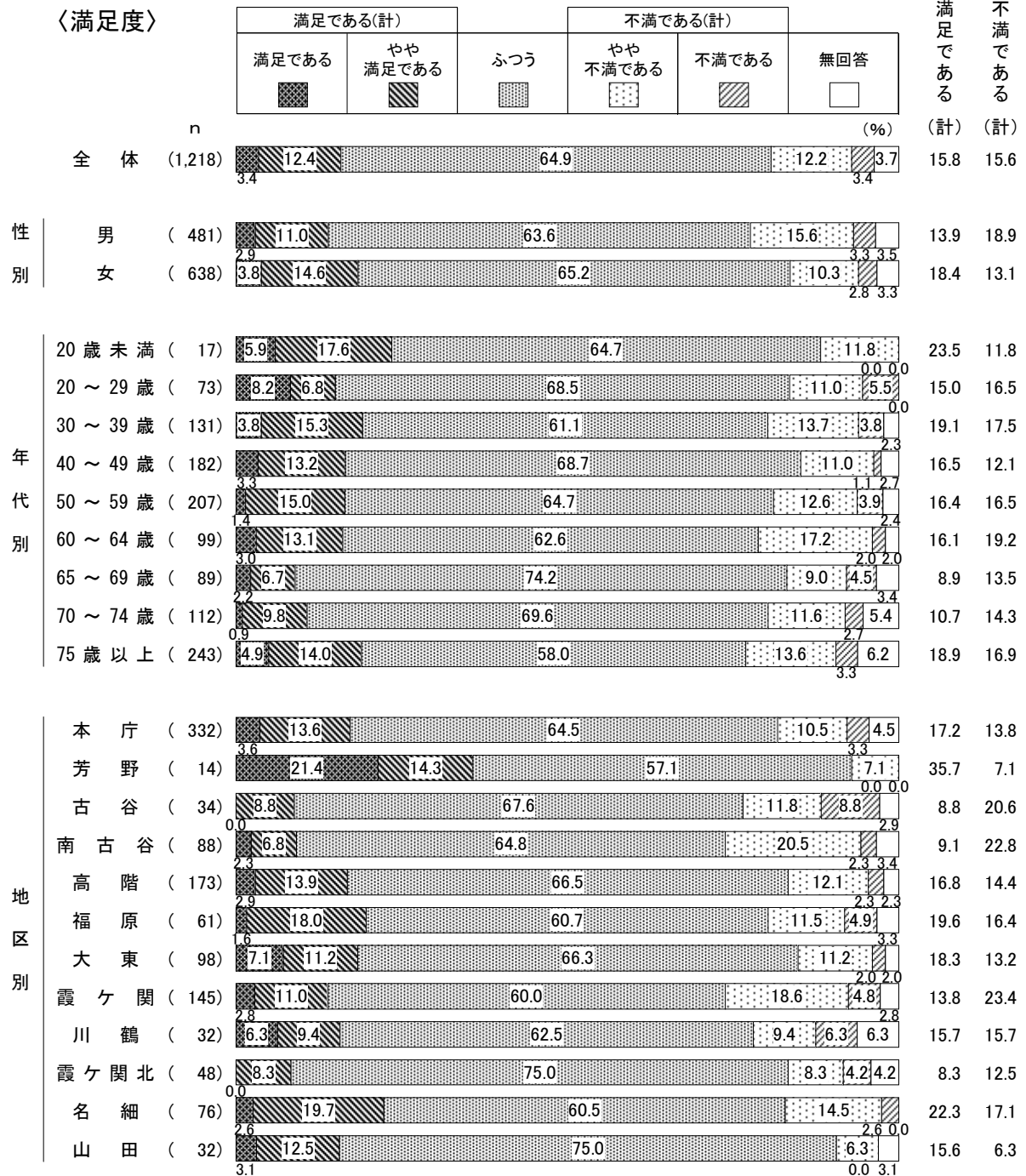
37. 自然共生の推進

【施策の内容】

地域や生活に調和した水と緑の自然環境の保全・創出・活用を図り、自然と人が共生できるまちづくりに取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、65.6%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は64.4%、女性は67.7%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、15.8%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は13.9%、女性は18.4%と女性の方が高くなっている。

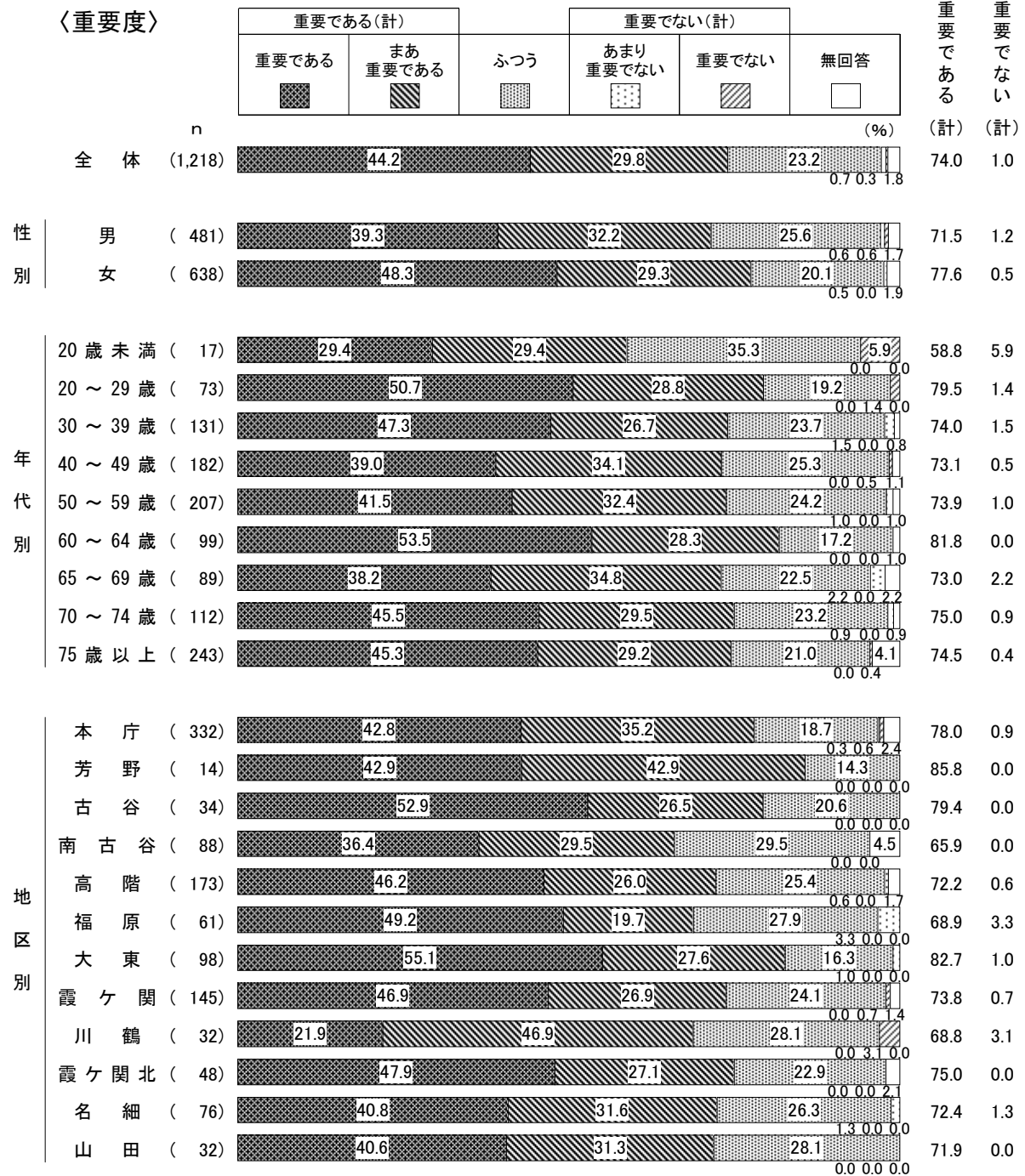
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	67.9%	65.6%	-2.3%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	16.9%	15.8%	-1.1%

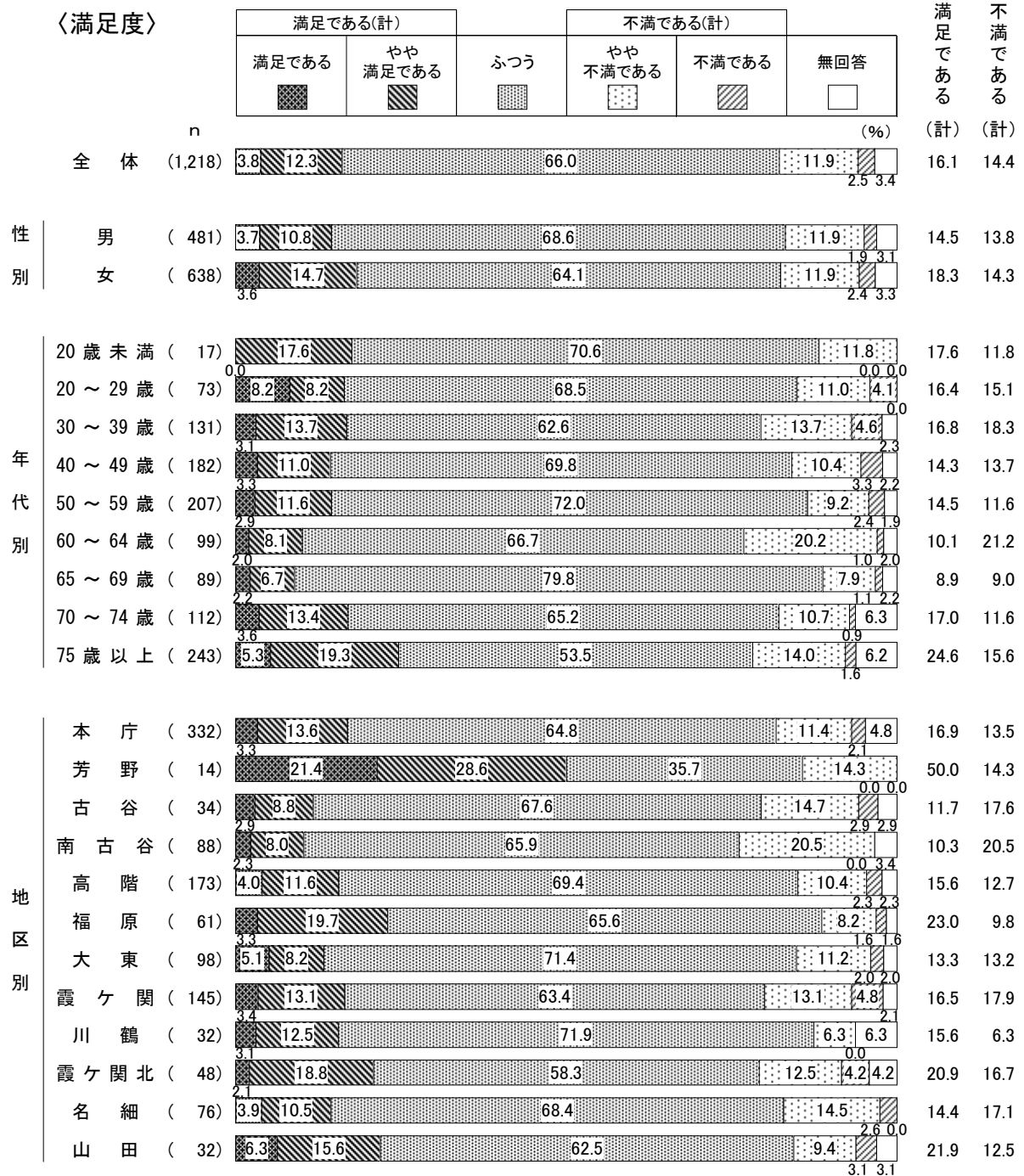
38. 生活環境の保全

【施策の内容】

市民が健康で安心して生活できるよう、汚染状況の監視と発生源への指導及び啓発に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、74.0%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は71.5%、女性は77.6%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、16.1%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は14.5%、女性は18.3%と女性の方が高くなっている。

〈前回調査結果との比較 (全体)〉

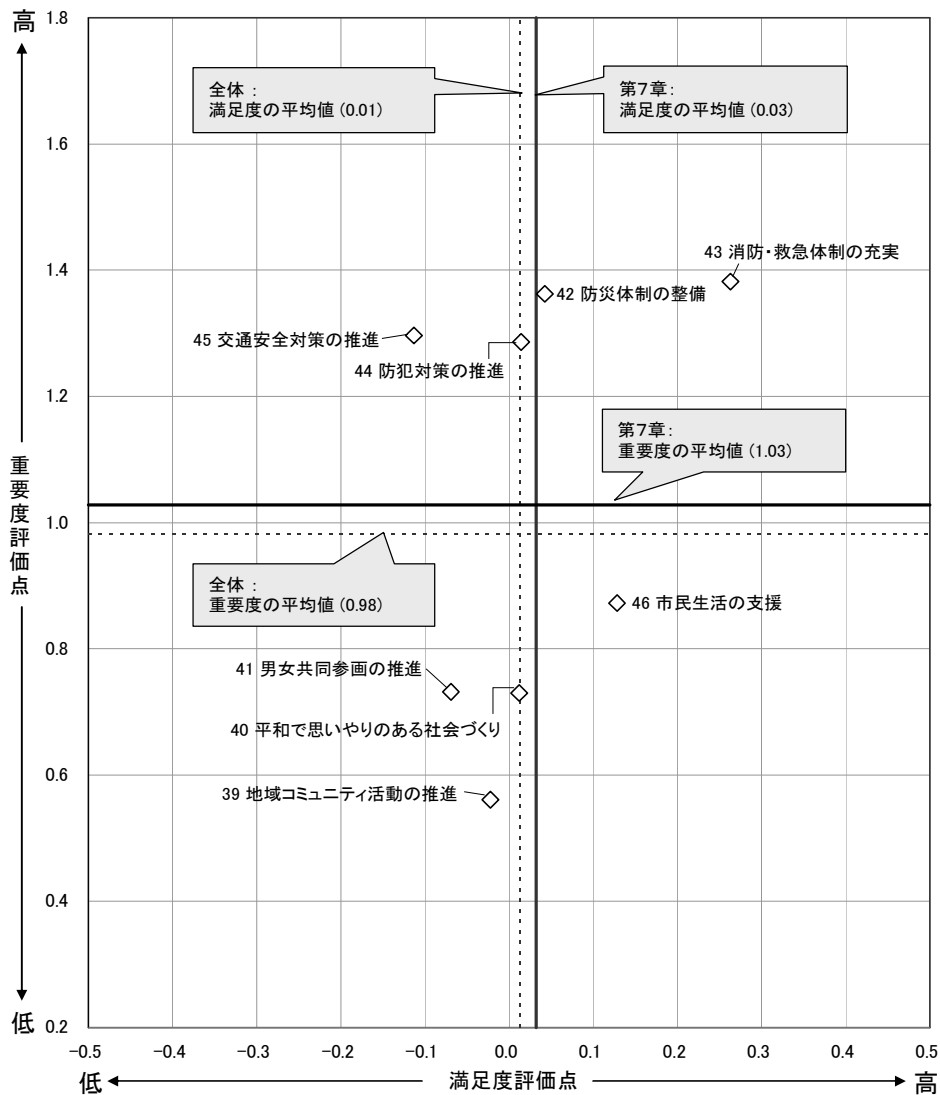
	平成30年	令和5年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	75.2%	74.0%	-1.2%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	15.3%	16.1%	0.8%

【第7章】地域で支え合う、安全で安心なまち

～地域社会・市民生活～

地域社会・市民生活の分野については、消防・防災・防犯・交通安全対策等の施策で重要度が全体の平均値（0.98）を大きく上回っている。満足度は、「43 消防・救急体制の充実」が全体の平均値（0.01）を大きく上回っている。

「43 消防・救急体制の充実」については、重要度が高くかつ満足度も高い施策となっているが、「45 交通安全対策の推進」については、重要度は高い一方で満足度は分野で最も低くなっている。

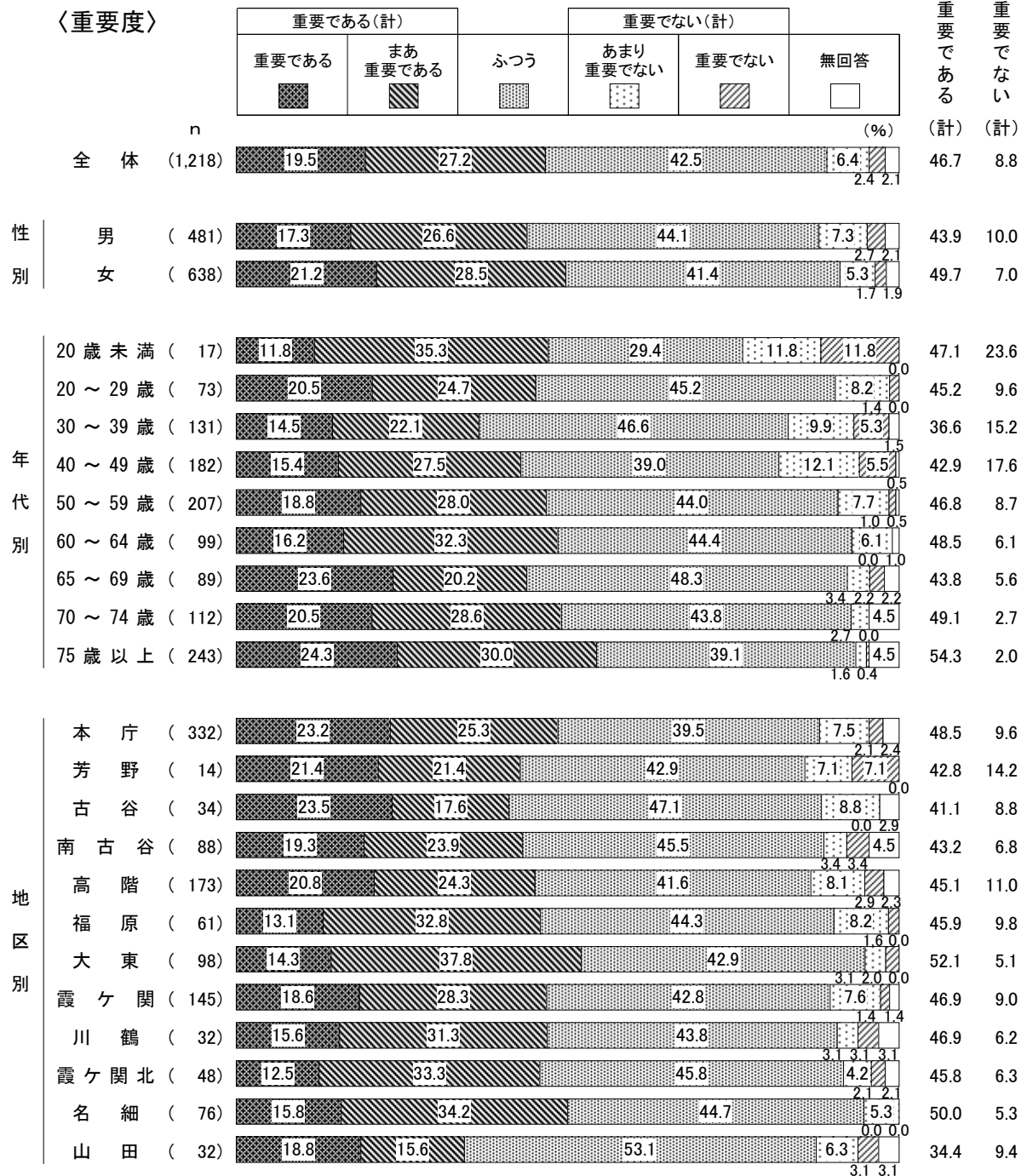


施策	重要度 評価点	満足度 評価点
39 地域コミュニティ活動の推進	0.56	-0.02
40 平和で思いやりのある社会づくり	0.73	0.01
41 男女共同参画の推進	0.73	-0.07
42 防災体制の整備	1.36	0.04
43 消防・救急体制の充実	1.38	0.26
44 防犯対策の推進	1.29	0.01
45 交通安全対策の推進	1.30	-0.11
46 市民生活の支援	0.87	0.13
第7章 平均	1.03	0.03

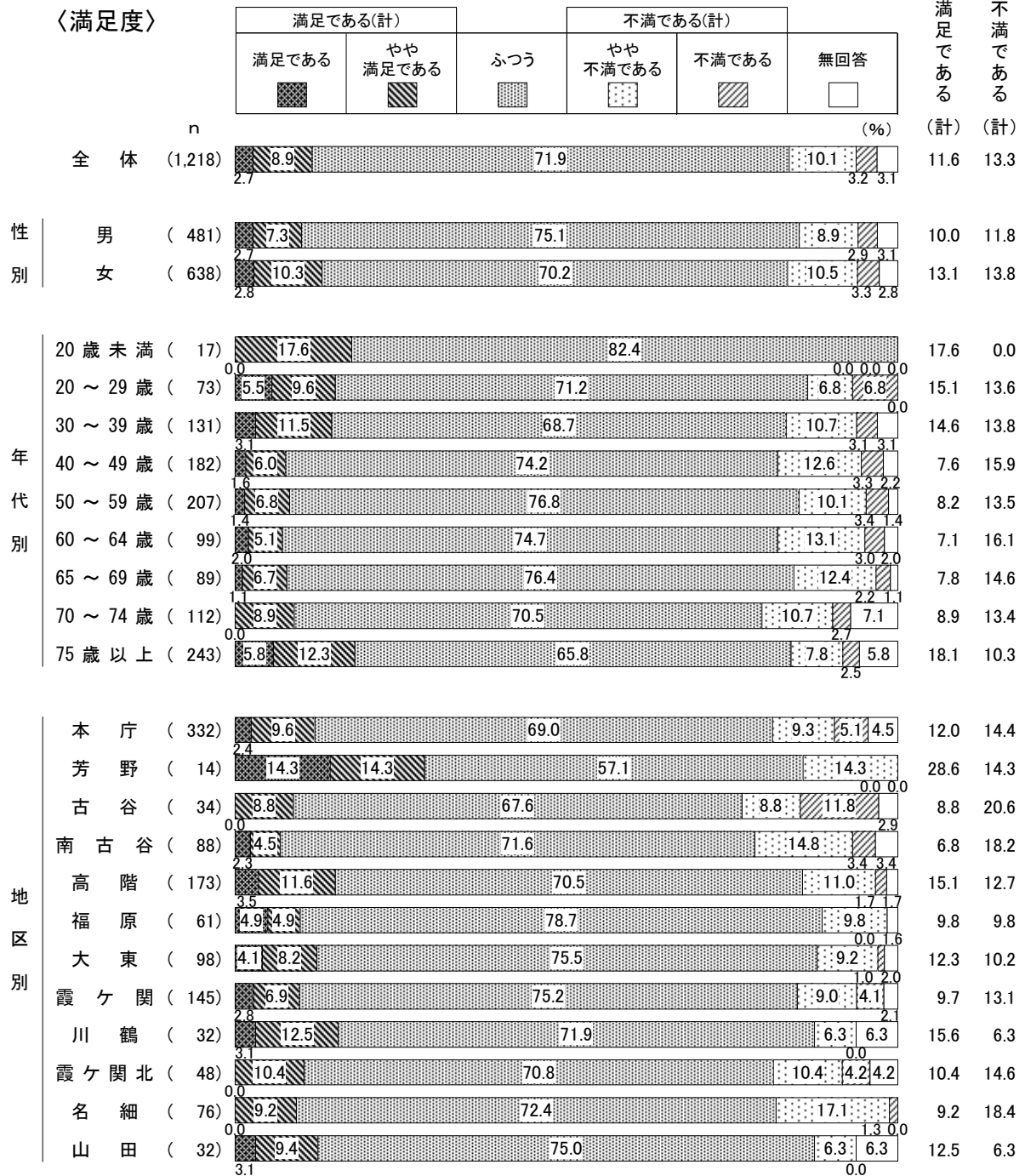
39. 地域コミュニティ活動の推進

【施策の内容】

地域住民などの互いの交流を促すとともに、コミュニティ意識の形成を図り、支え合い助け合いに向けた基盤づくりに取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、46.7%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は43.9%、女性は49.7%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、11.6%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は10.0%、女性は13.1%と女性の方が高くなっている。

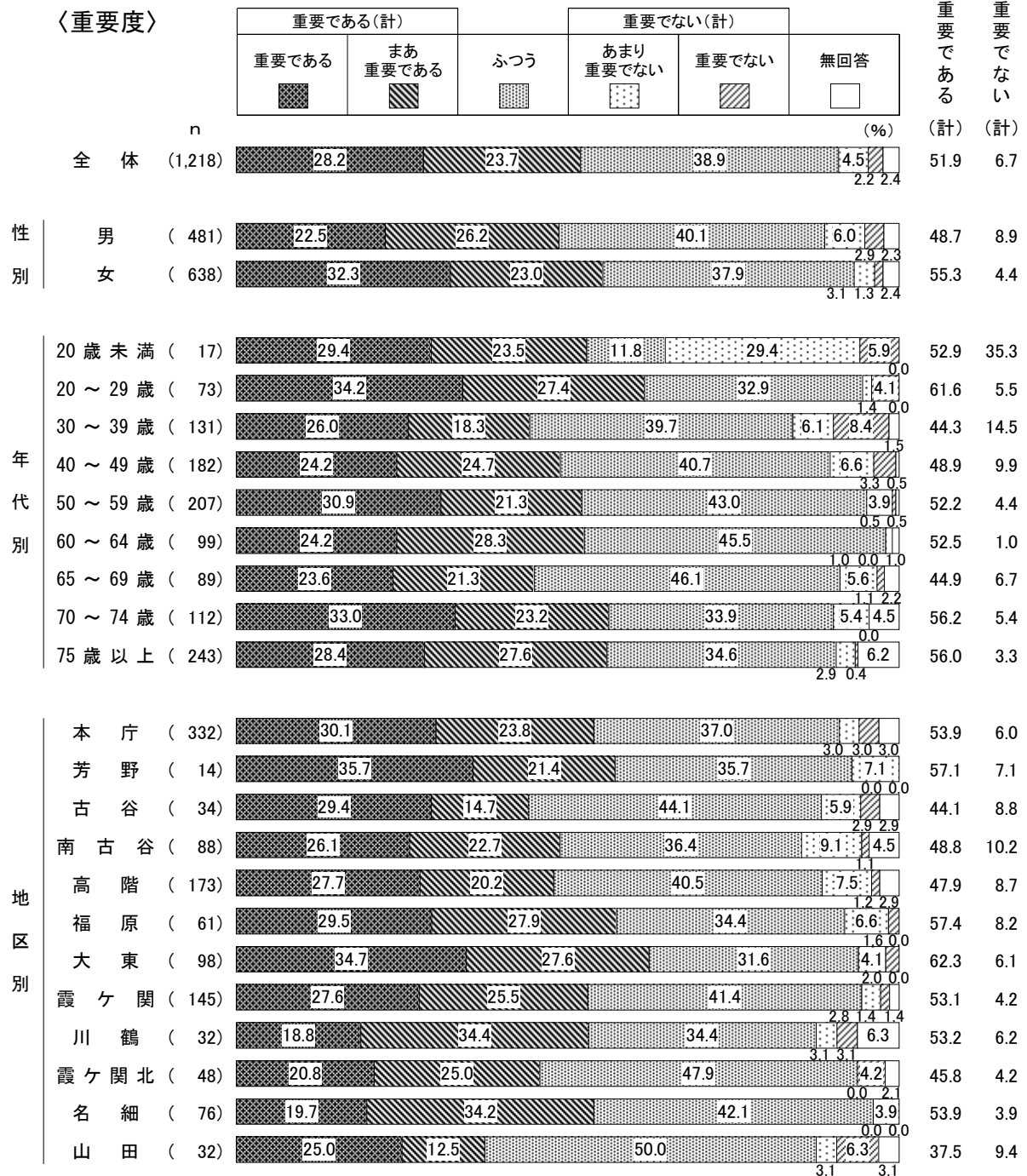
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	43.7%	46.7%	3.0%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	12.3%	11.6%	-0.7%

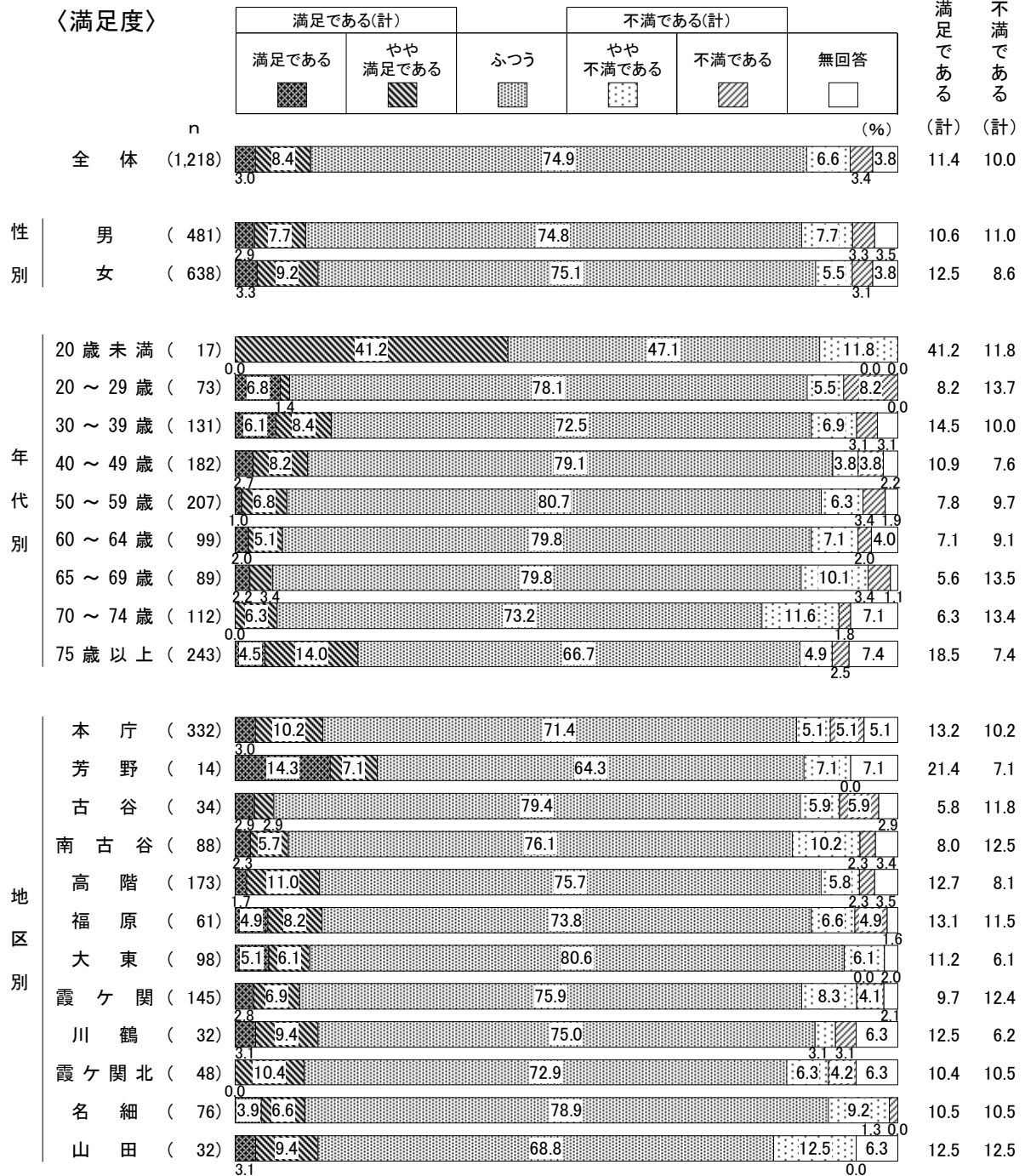
40. 平和で思いやりのある社会づくり

【施策の内容】

平和に対する意識の高揚や差別や偏見がない明るい社会の実現に向けて、市民参加による平和施策や人権教育の充実に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、51.9%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は48.7%、女性は55.3%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、11.4%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は10.6%、女性は12.5%と女性の方がやや高くなっている。

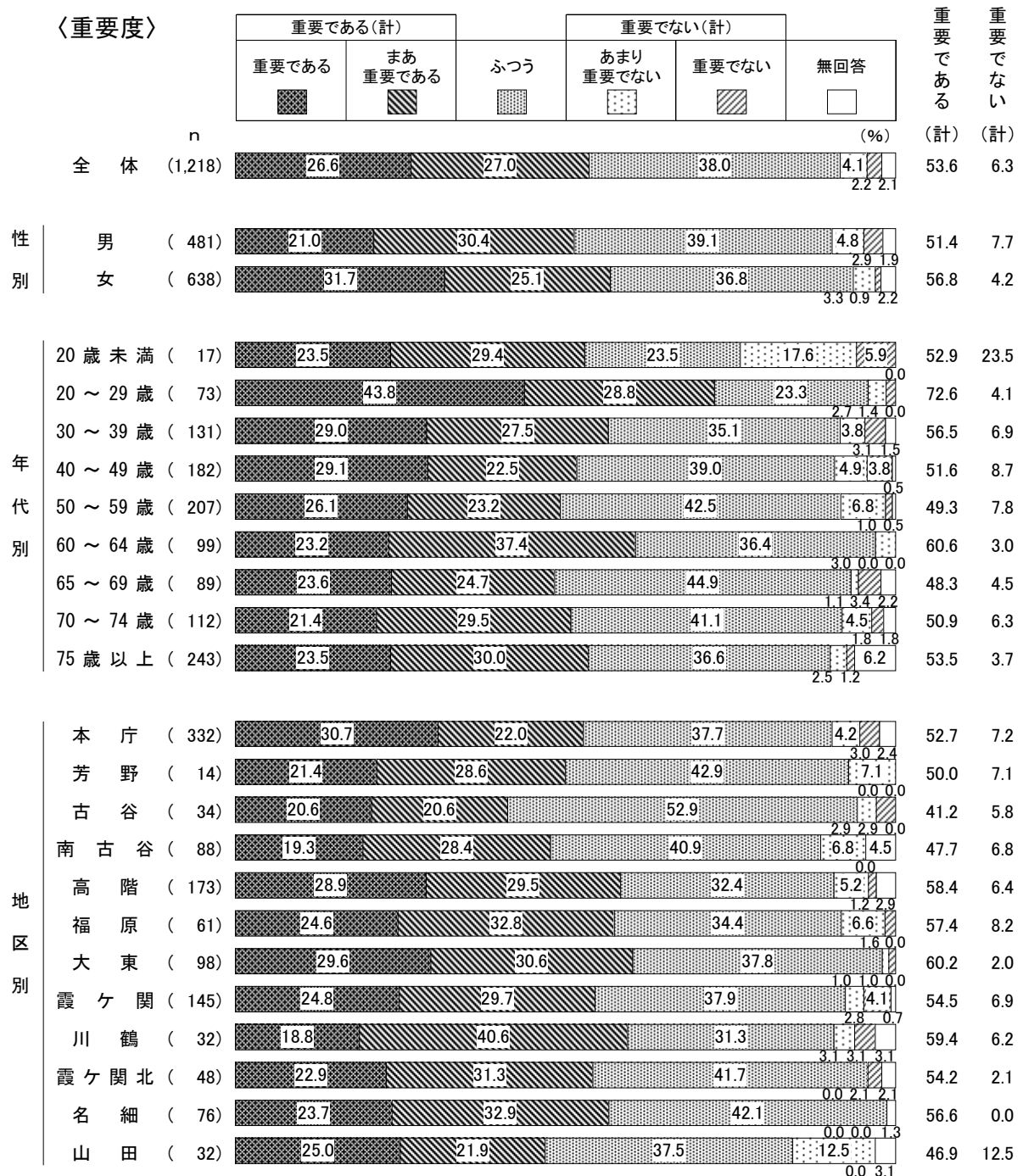
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	49.8%	51.9%	2.1%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	10.7%	11.4%	0.7%

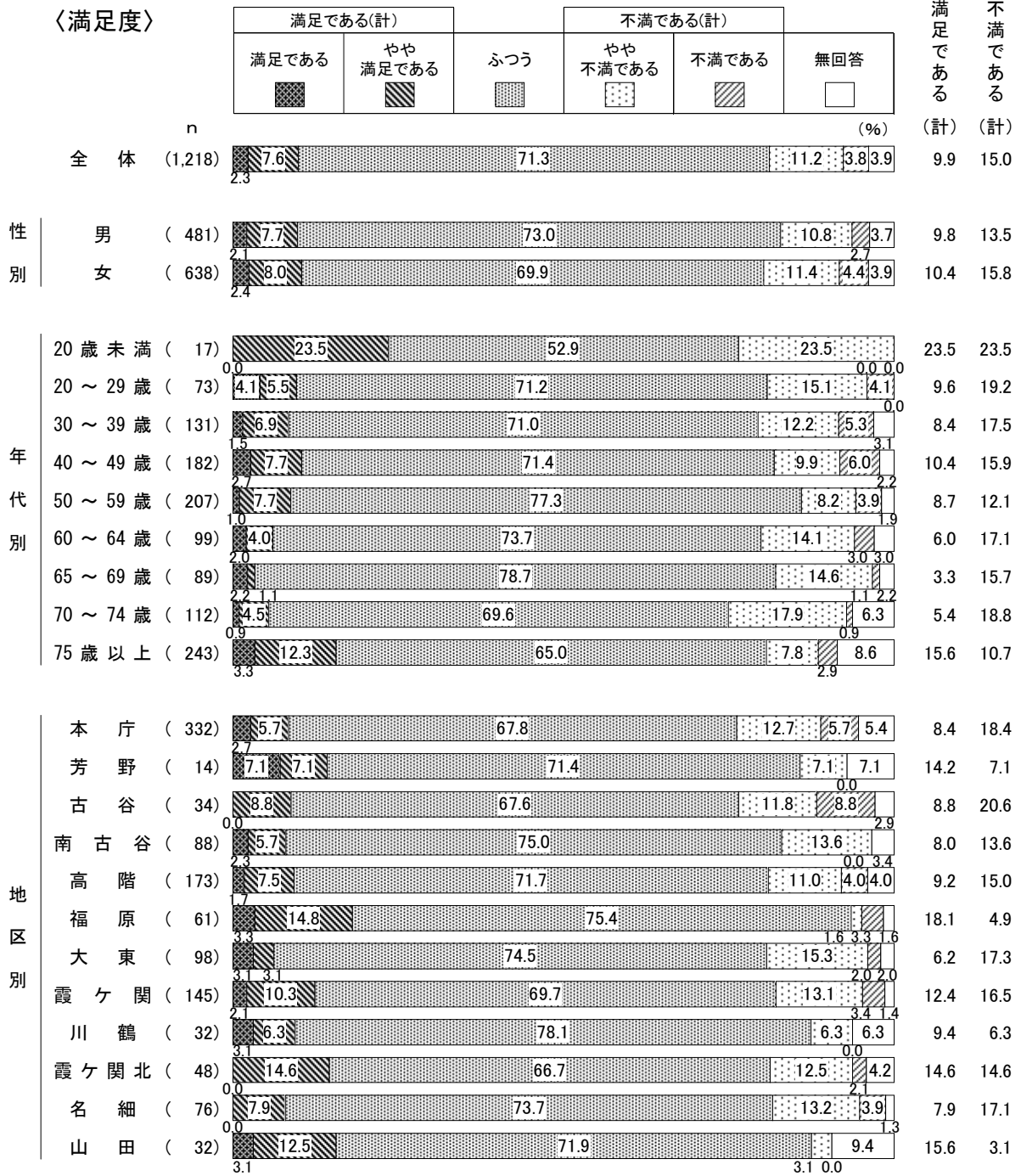
41. 男女共同参画の推進

【施策の内容】

性別に関係なく、自らの意思によってあらゆる分野の活動に参画し、個性と能力が十分に発揮できる社会の実現に向けて、啓発活動や相談体制の充実と政策や方針の決定過程における女性の参画推進に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、53.6%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は51.4%、女性は56.8%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、9.9%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は9.8%、女性は10.4%とほぼ同じとなっている。

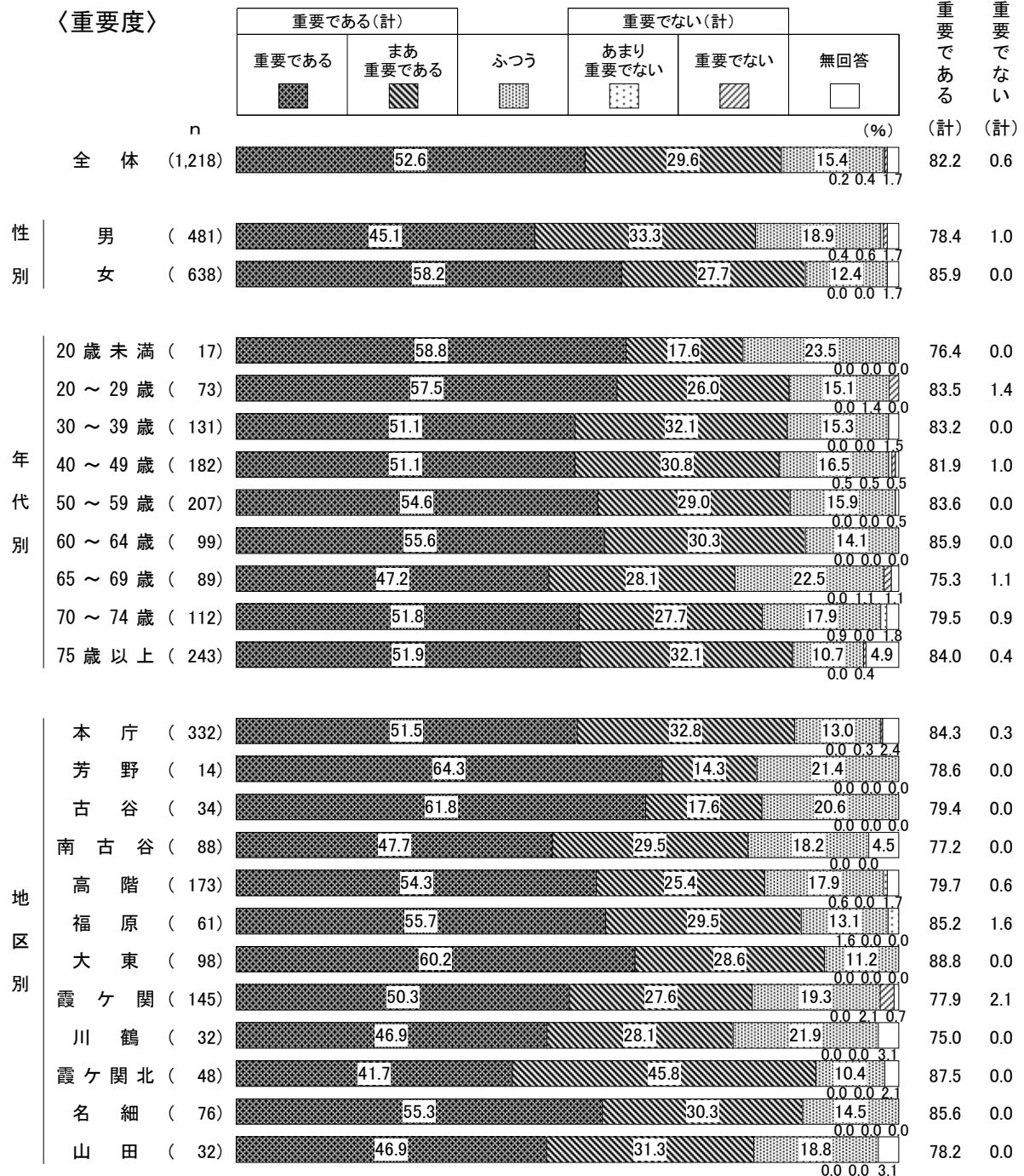
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	47.9%	53.6%	5.7%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	8.5%	9.9%	1.4%

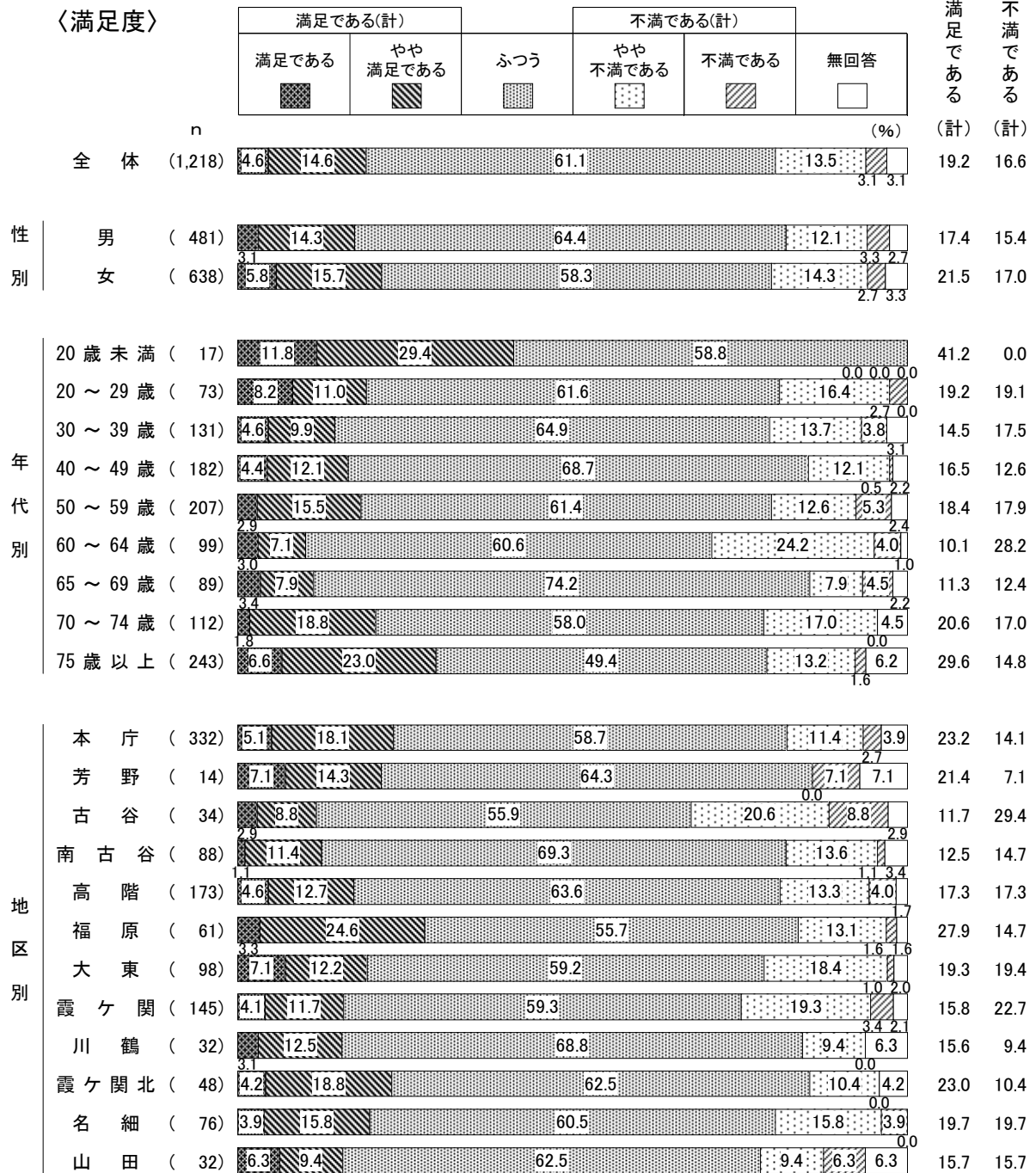
42. 防災体制の整備

【施策の内容】

災害から市民の生命、身体及び財産を守るため、市民や民間事業者等と協働した防災体制の整備による災害に強いまちづくりに取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、82.2%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は78.4%、女性は85.9%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、19.2%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は17.4%、女性は21.5%と女性の方が高くなっている。

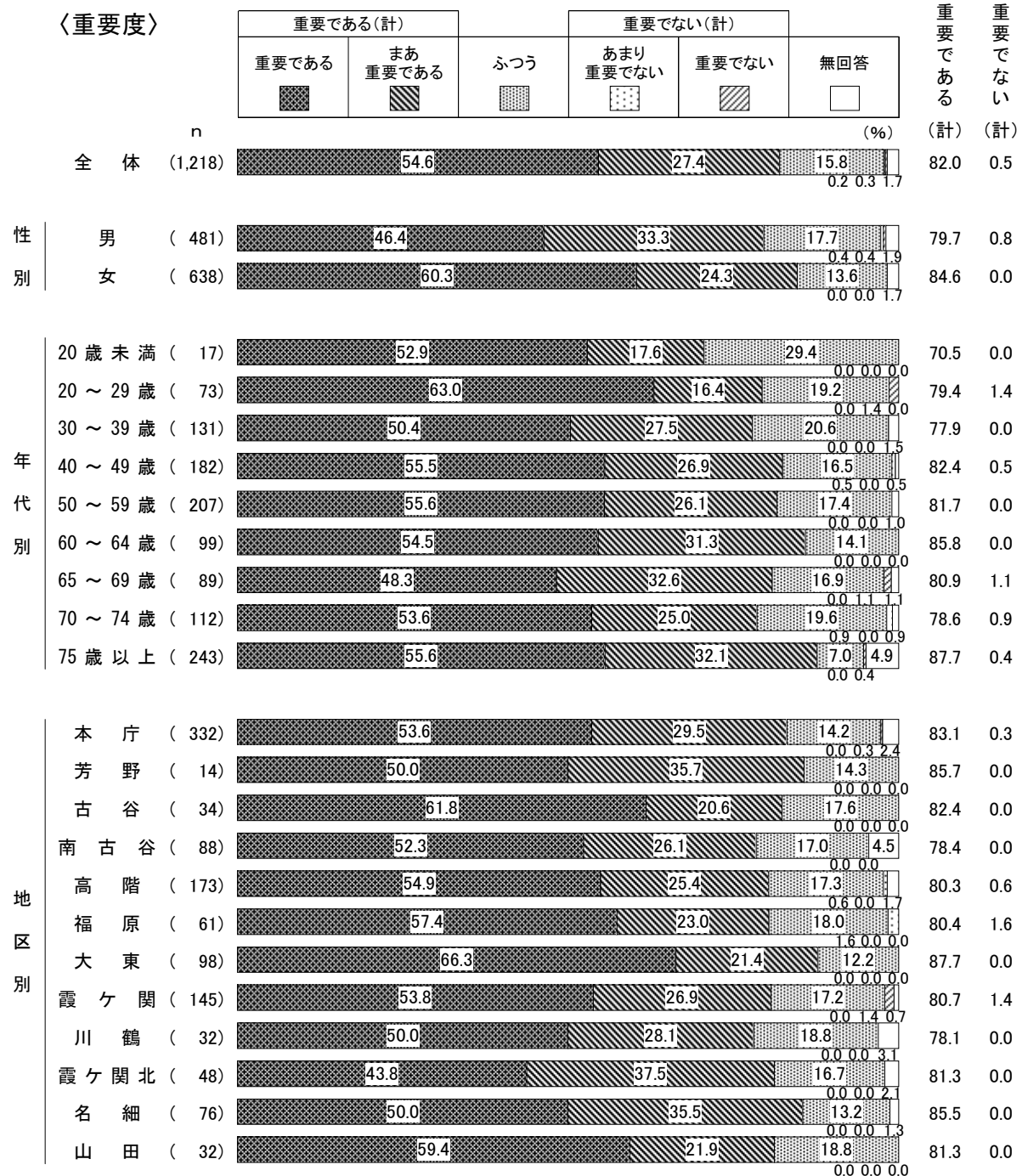
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	79.2%	82.2%	3.0%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	14.4%	19.2%	4.8%

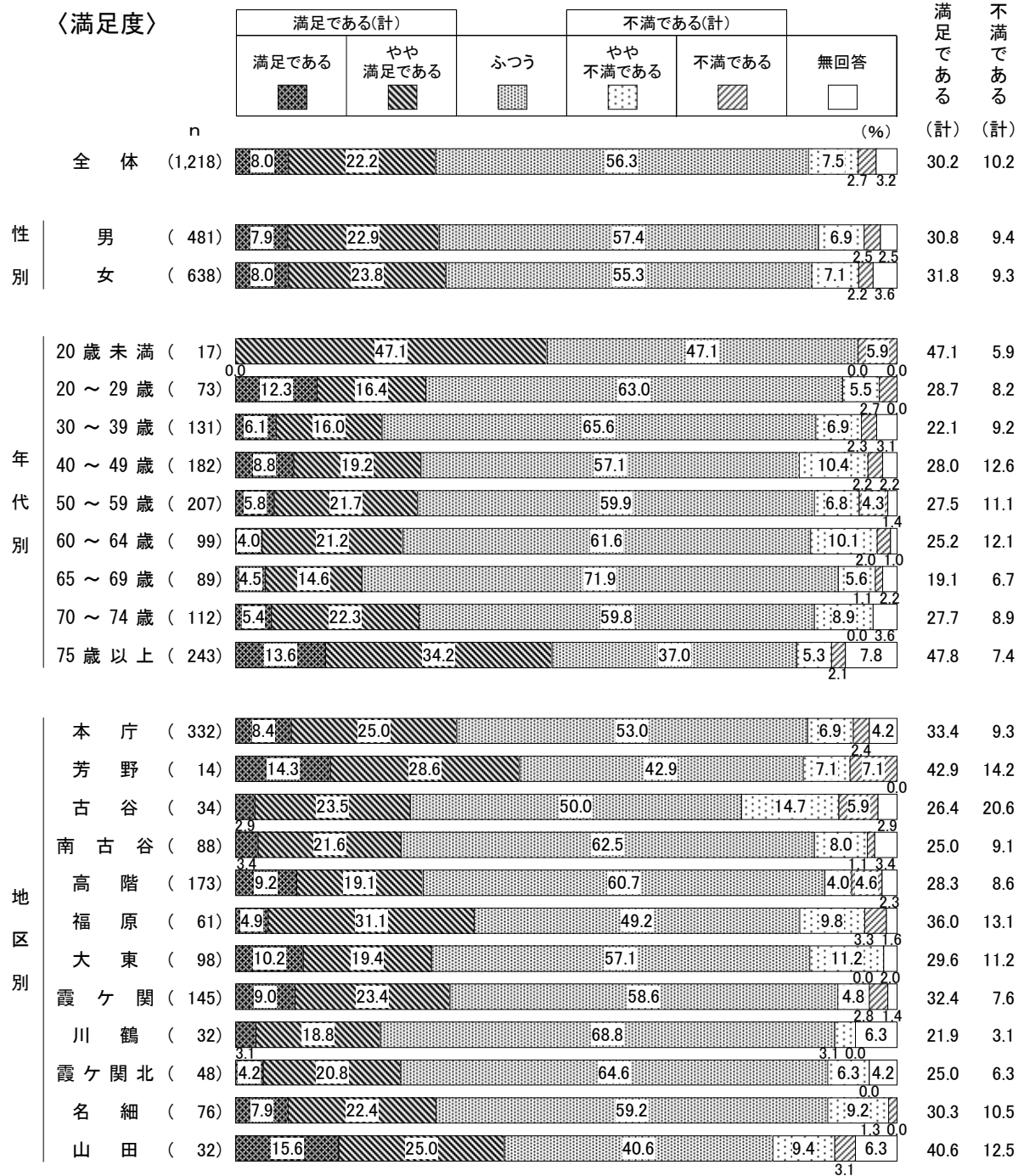
43. 消防・救急体制の充実

【施策の内容】

火災や事件、事故など様々な状況に対応できるよう、消防・救急体制の整備を推進し、安全・安心を実感できるまちづくりに取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、82.0%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は79.7%、女性は84.6%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、30.2%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は30.8%、女性は31.8%と女性の方がやや高くなっている。

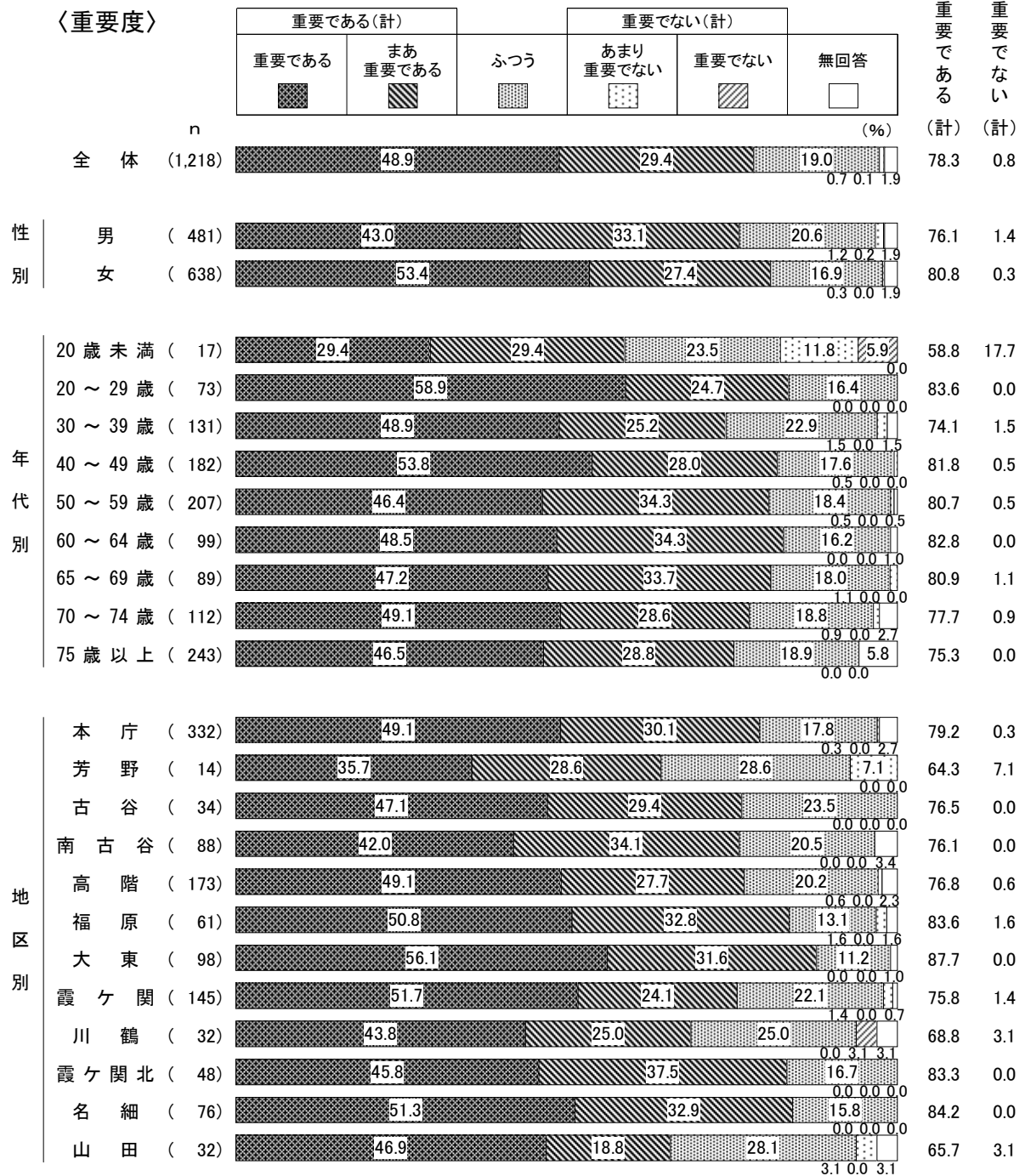
〈前回調査結果との比較 (全体)〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度 (「重要である」と「まあ重要である」の合計)	80.5%	82.0%	1.5%
満足度 (「満足である」と「やや満足である」の合計)	26.3%	30.2%	3.9%

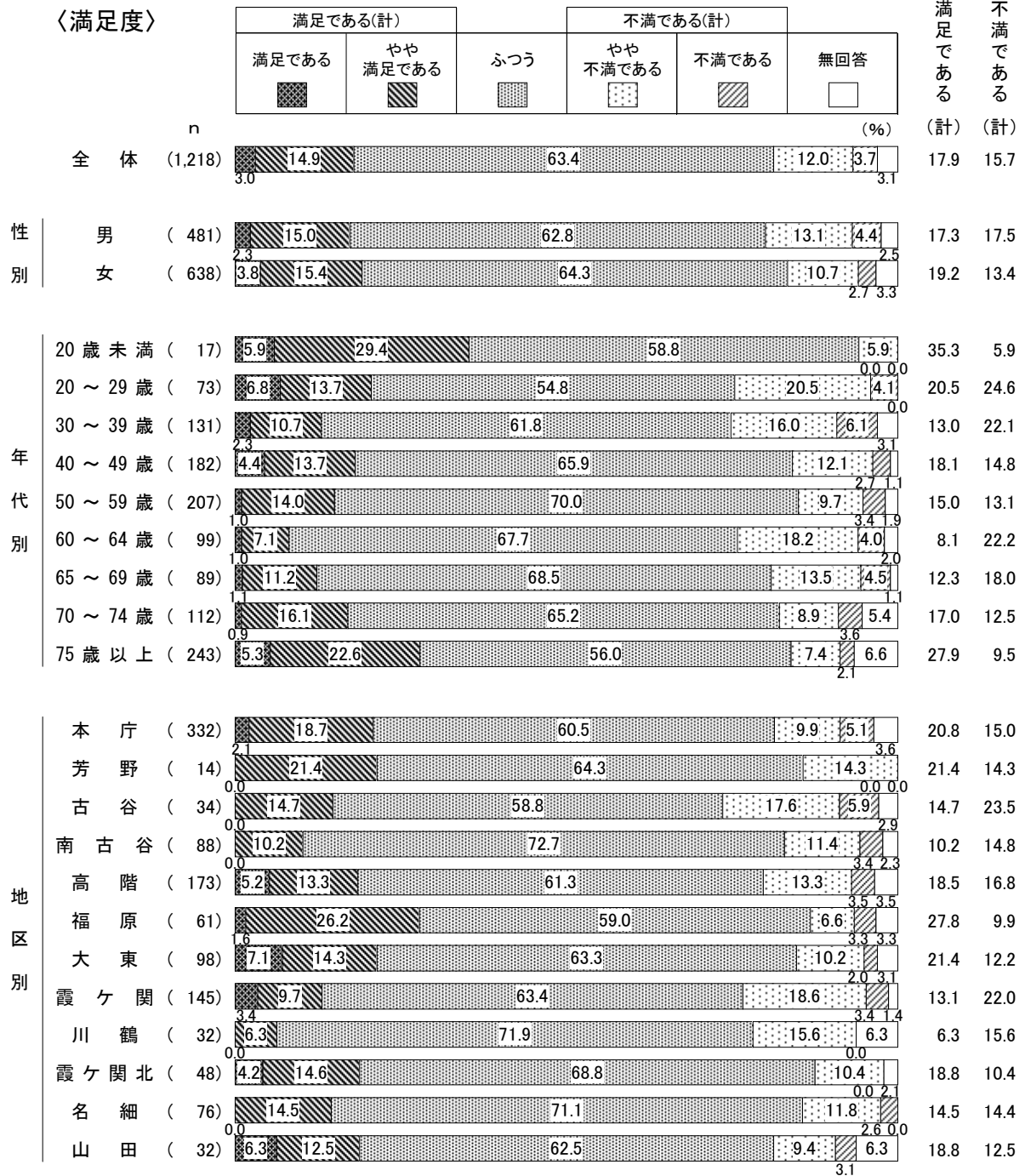
44. 防犯対策の推進

【施策の内容】

市民が安全に安心して暮らせるよう、防犯意識の啓発を図るとともに、自治会や商店街などと連携した防犯のまちづくりに取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、78.3%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は76.1%、女性は80.8%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、17.9%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は17.3%、女性は19.2%と女性の方がやや高くなっている。

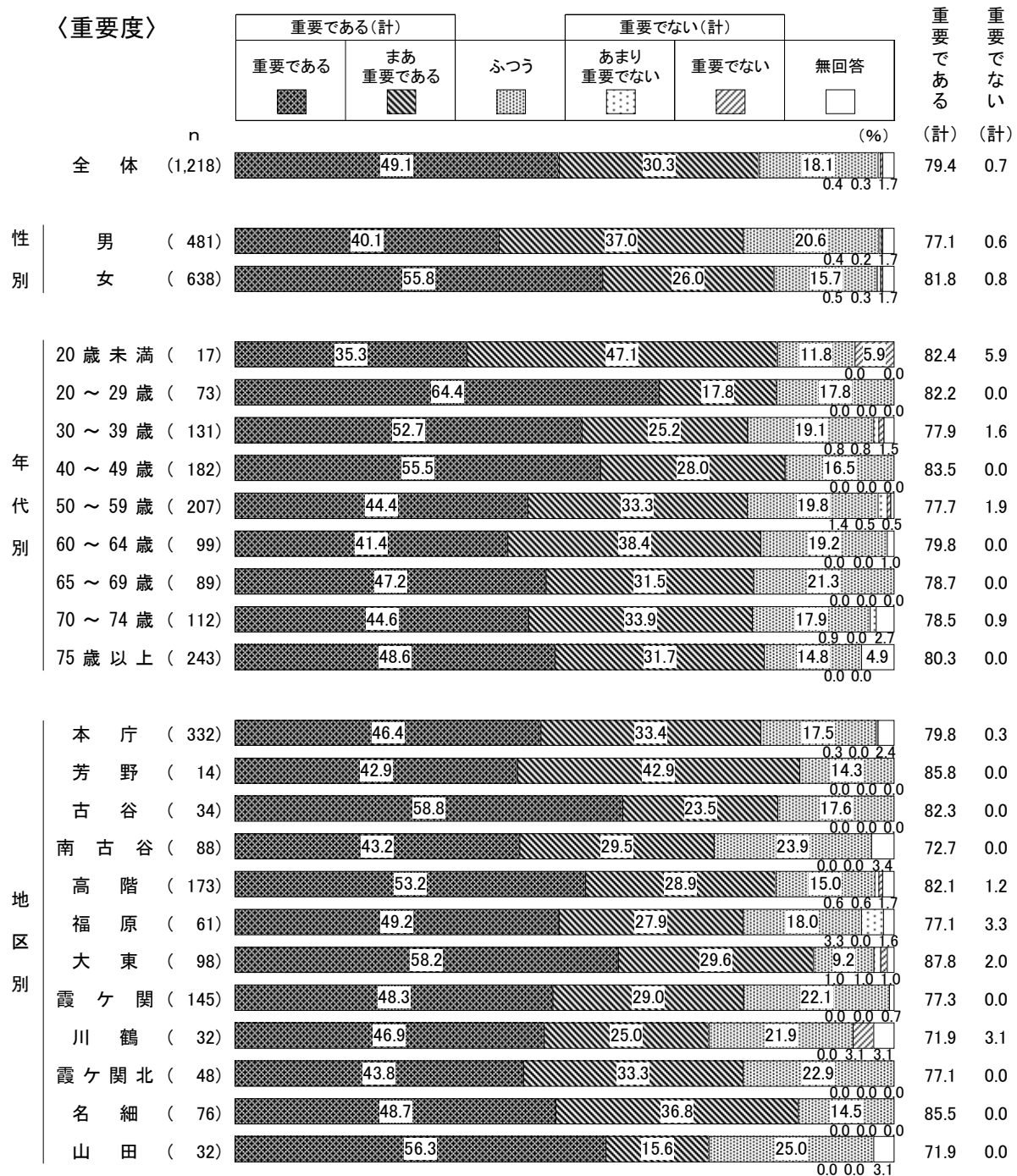
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	78.8%	78.3%	-0.5%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	17.3%	17.9%	0.6%

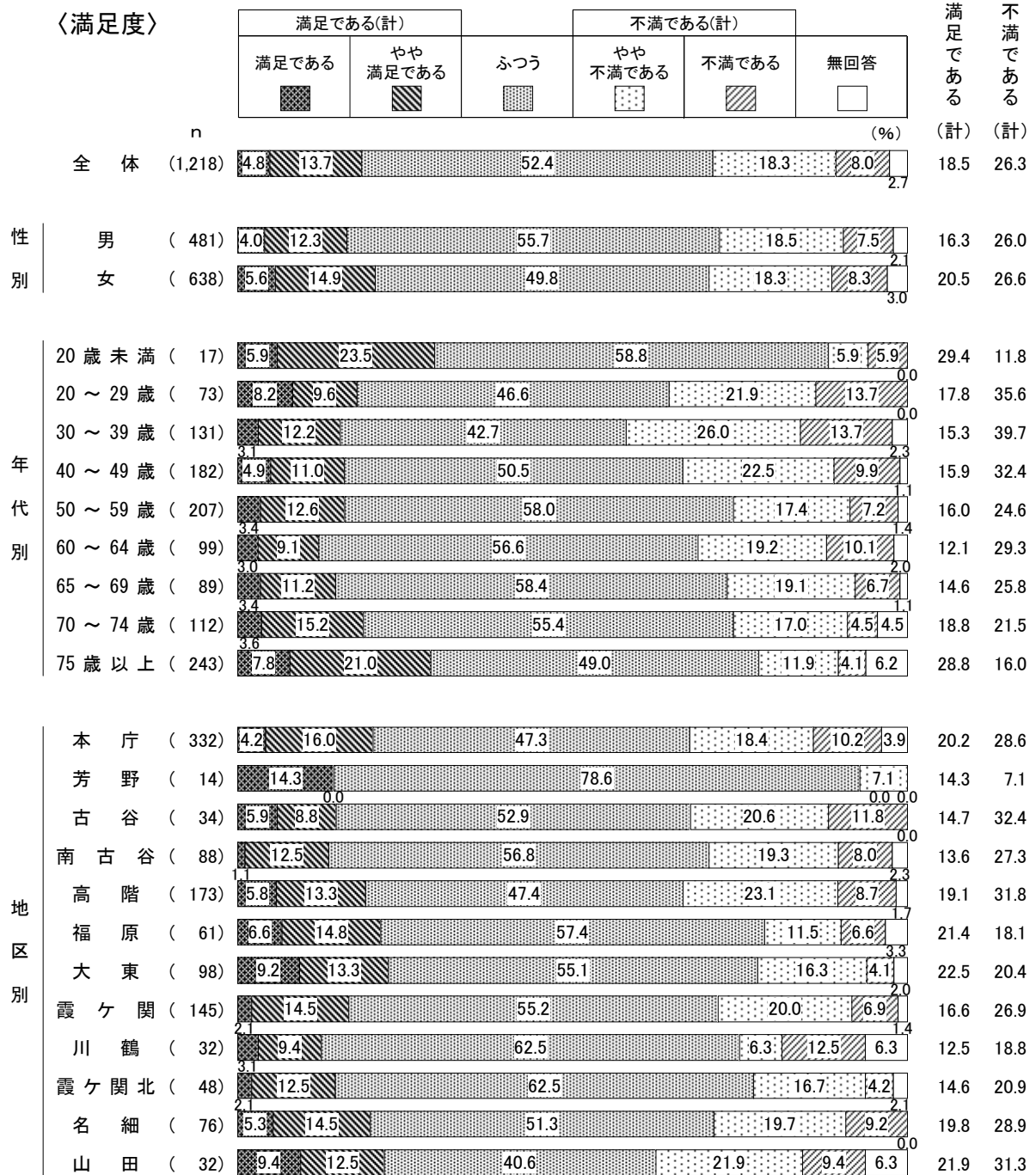
45. 交通安全対策の推進

【施策の内容】

交通事故の減少と安全な交通環境の整備を進めるため、地域や関係機関と連携して交通マナーや安全意識の向上を図るとともに、カーブミラー等の整備や通学路の安全対策に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、79.4%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は77.1%、女性は81.8%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、18.5%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は16.3%、女性は20.5%と女性の方が高くなっている。

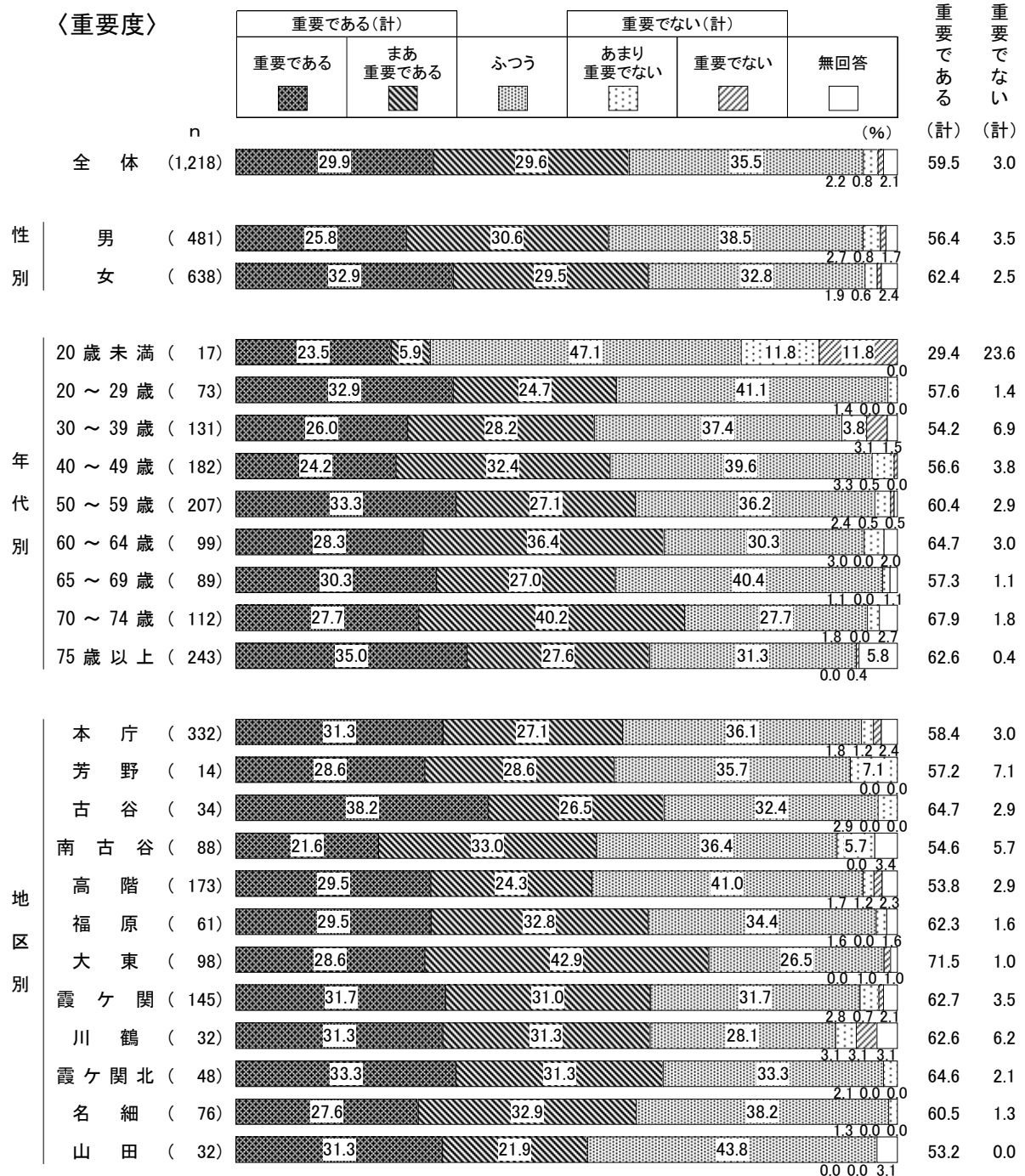
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	65.5%	79.4%	13.9%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	17.2%	18.5%	1.3%

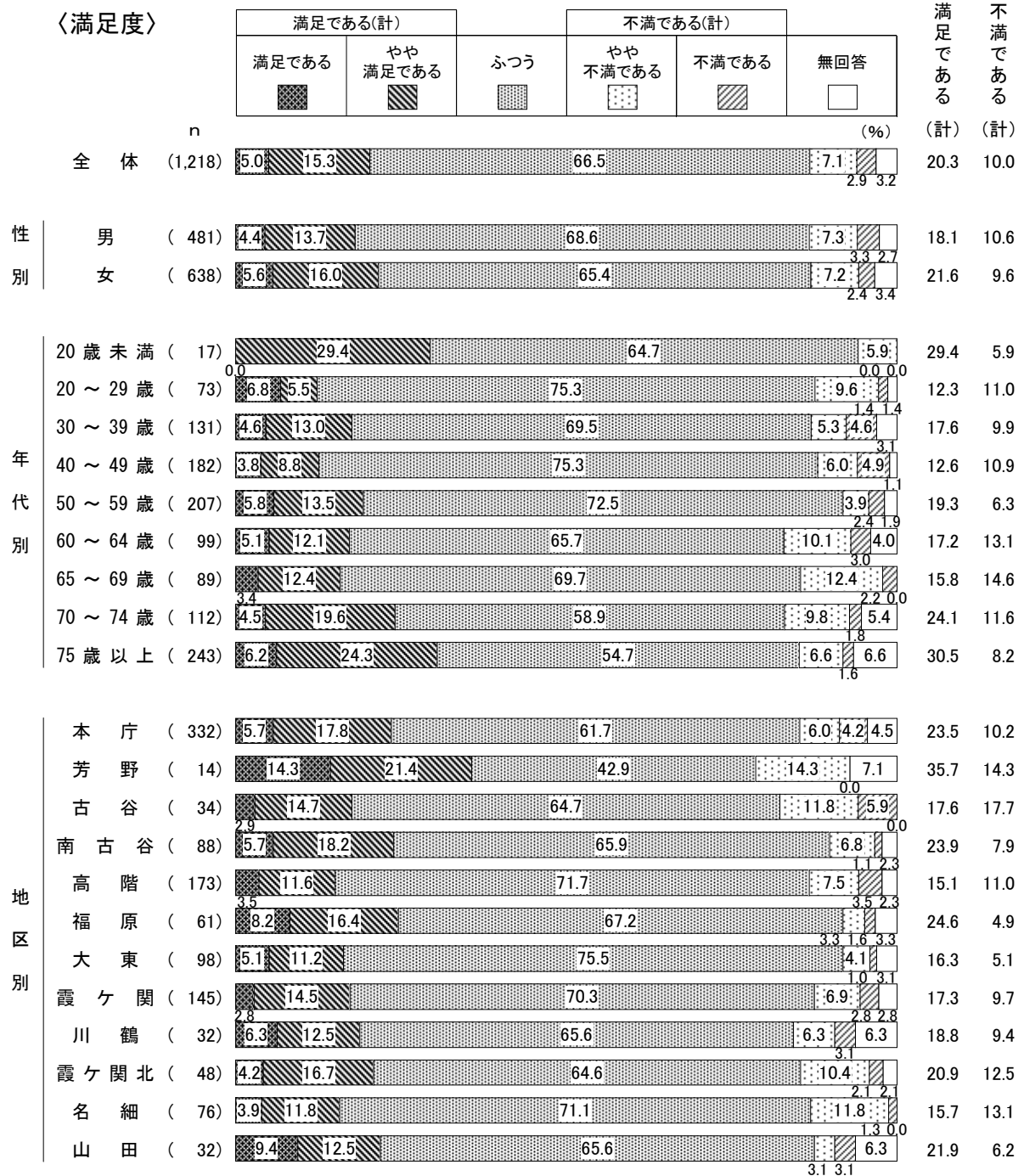
46. 市民生活の支援

【施策の内容】

安全で安心な市民生活のための相談体制の充実と市民ニーズを満たした葬祭事業を実施します。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、59.5%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は56.4%、女性は62.4%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、20.3%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は18.1%、女性は21.6%と女性の方が高くなっている。

〈前回調査結果との比較（全体）〉

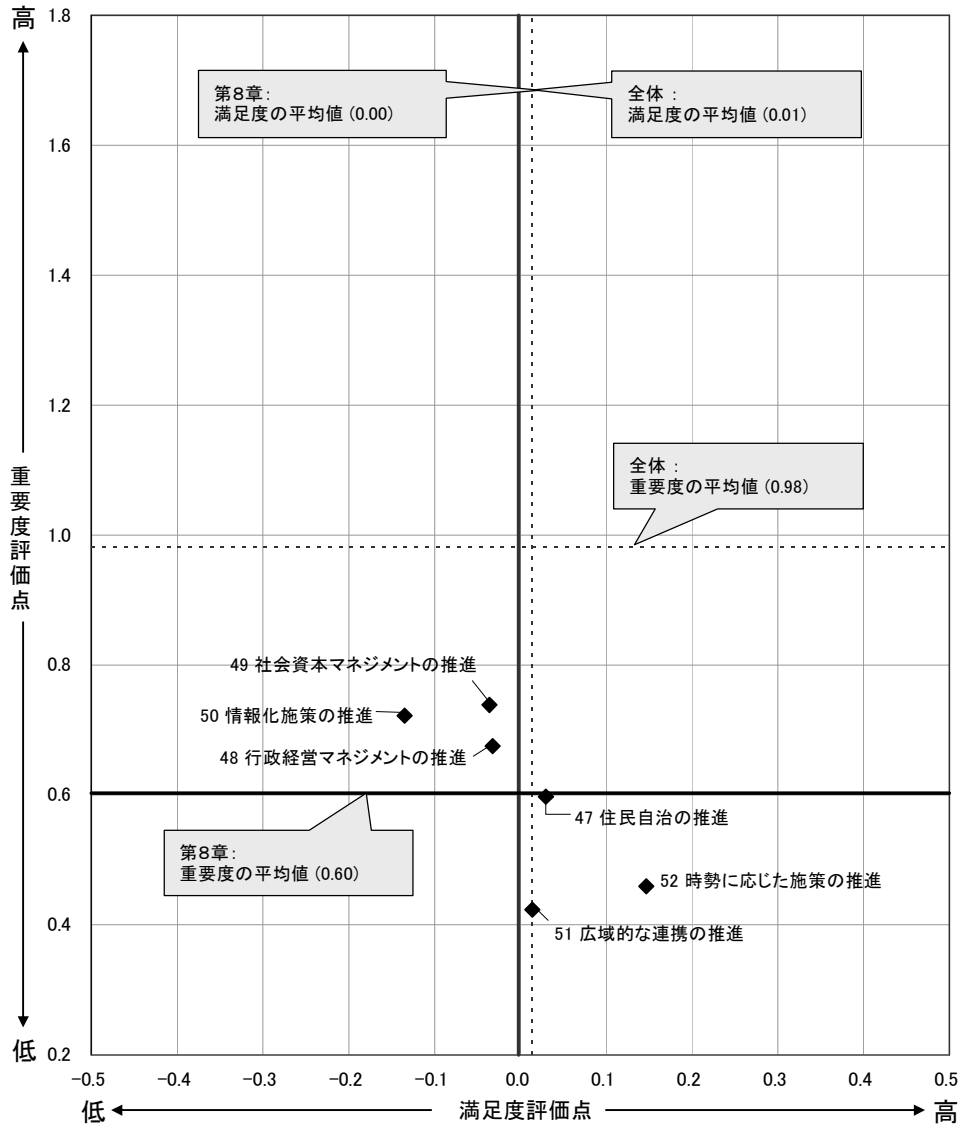
	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	53.4%	59.5%	6.1%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	23.1%	20.3%	-2.8%

【第8章】つながりによるまちづくりと持続可能な行財政運営の推進

～住民自治・行財政運営～

住民自治・行財政運営については、すべての施策において重要度が全体の平均値（0.98）を下回っている。

「50 情報化施策の推進」は、本分野において重要度は高いものの、満足度が最も低い施策となっている。

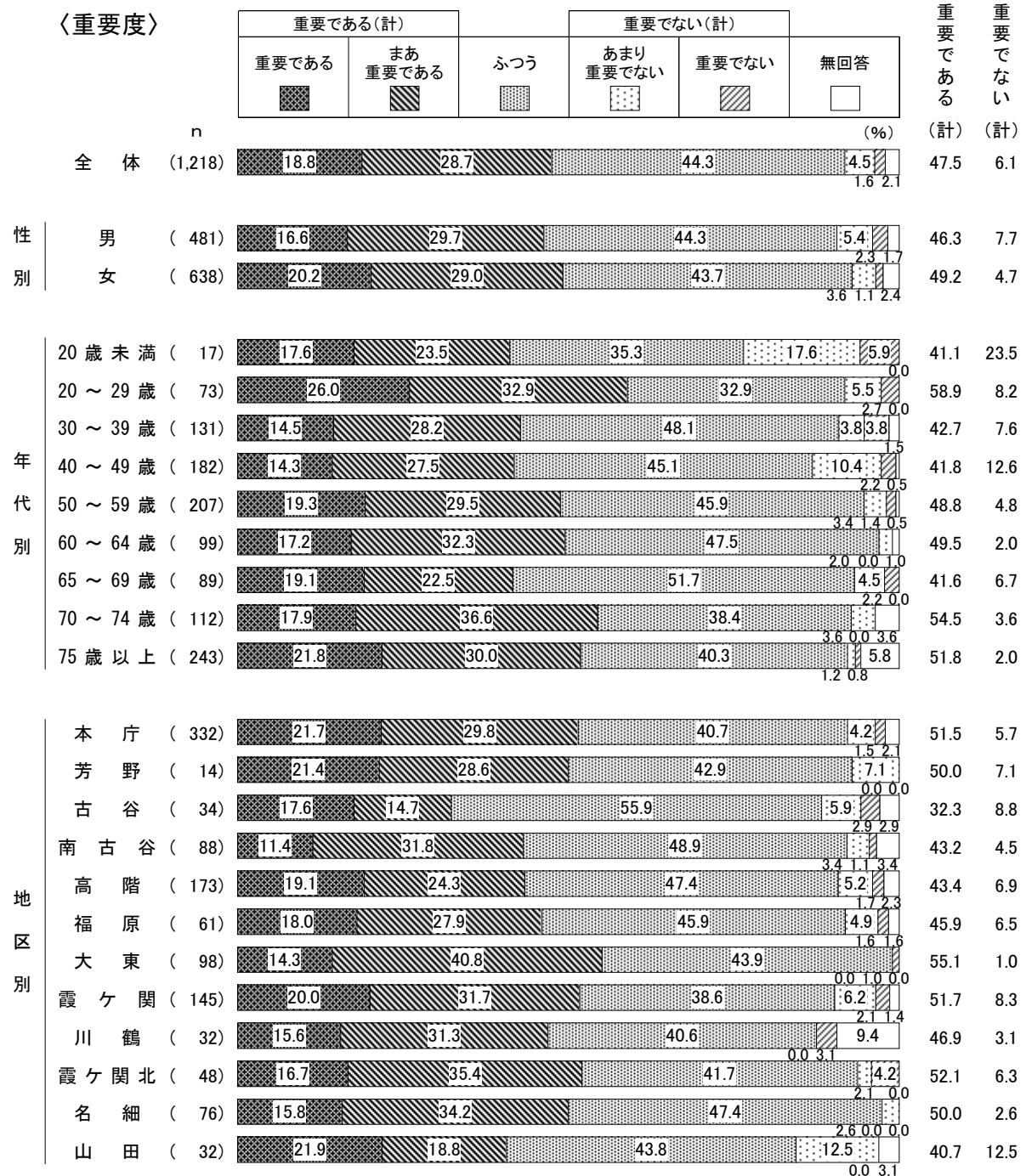


施策	重要度 評価点	満足度 評価点
47 住民自治の推進	0.60	0.03
48 行政経営マネジメントの推進	0.68	-0.03
49 社会資本マネジメントの推進	0.74	-0.04
50 情報化施策の推進	0.72	-0.13
51 広域的な連携の推進	0.42	0.01
52 時勢に応じた施策の推進	0.46	0.15
第8章 平均	0.60	0.00

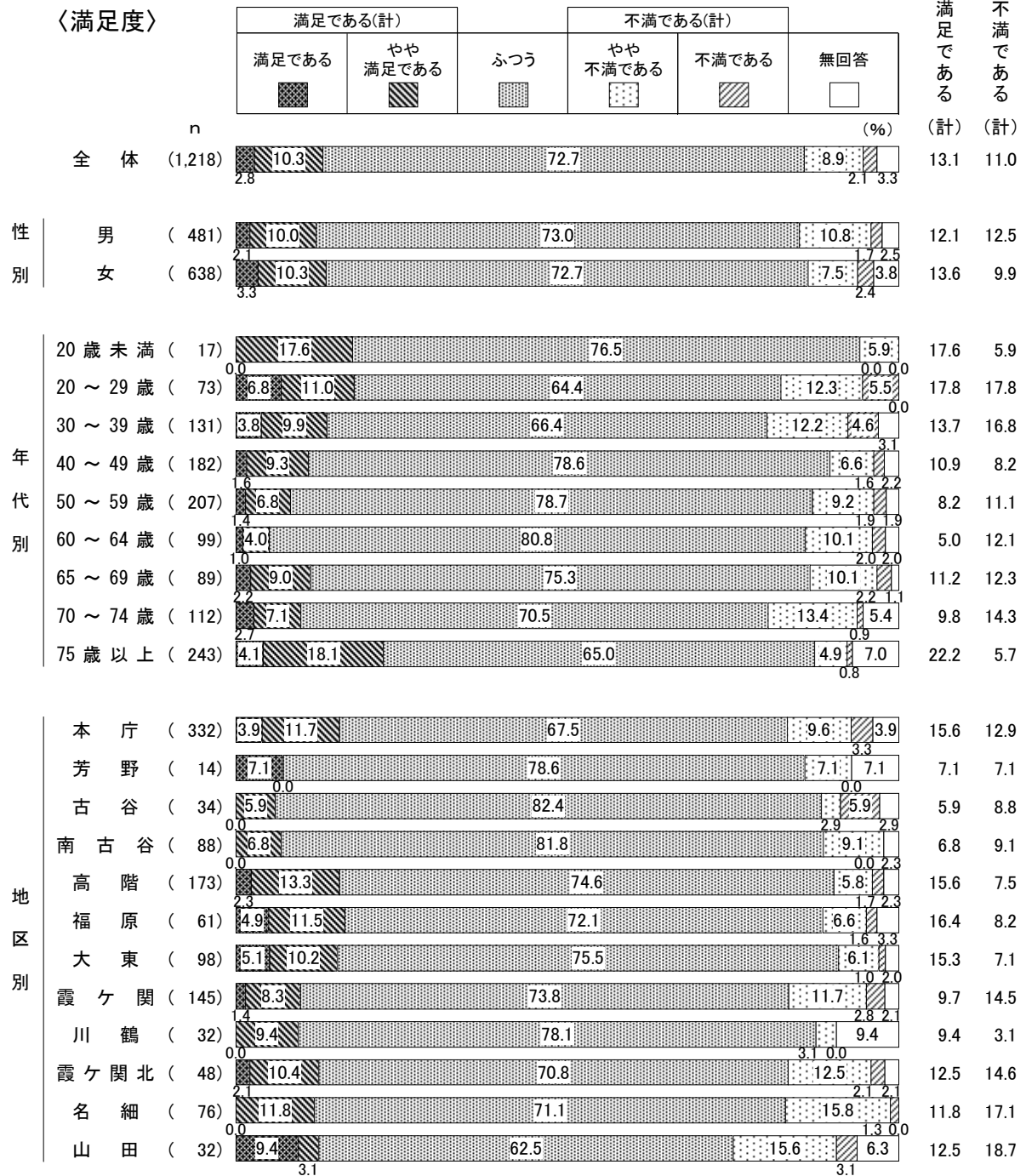
47. 住民自治の推進

【施策の内容】

住みよいまちづくりを目指し、市民自らが市政に参加するしくみづくりや市の情報発信に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、47.5%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は46.3%、女性は49.2%と女性の方がやや高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、13.1%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は12.1%、女性は13.6%と女性の方がやや高くなっている。

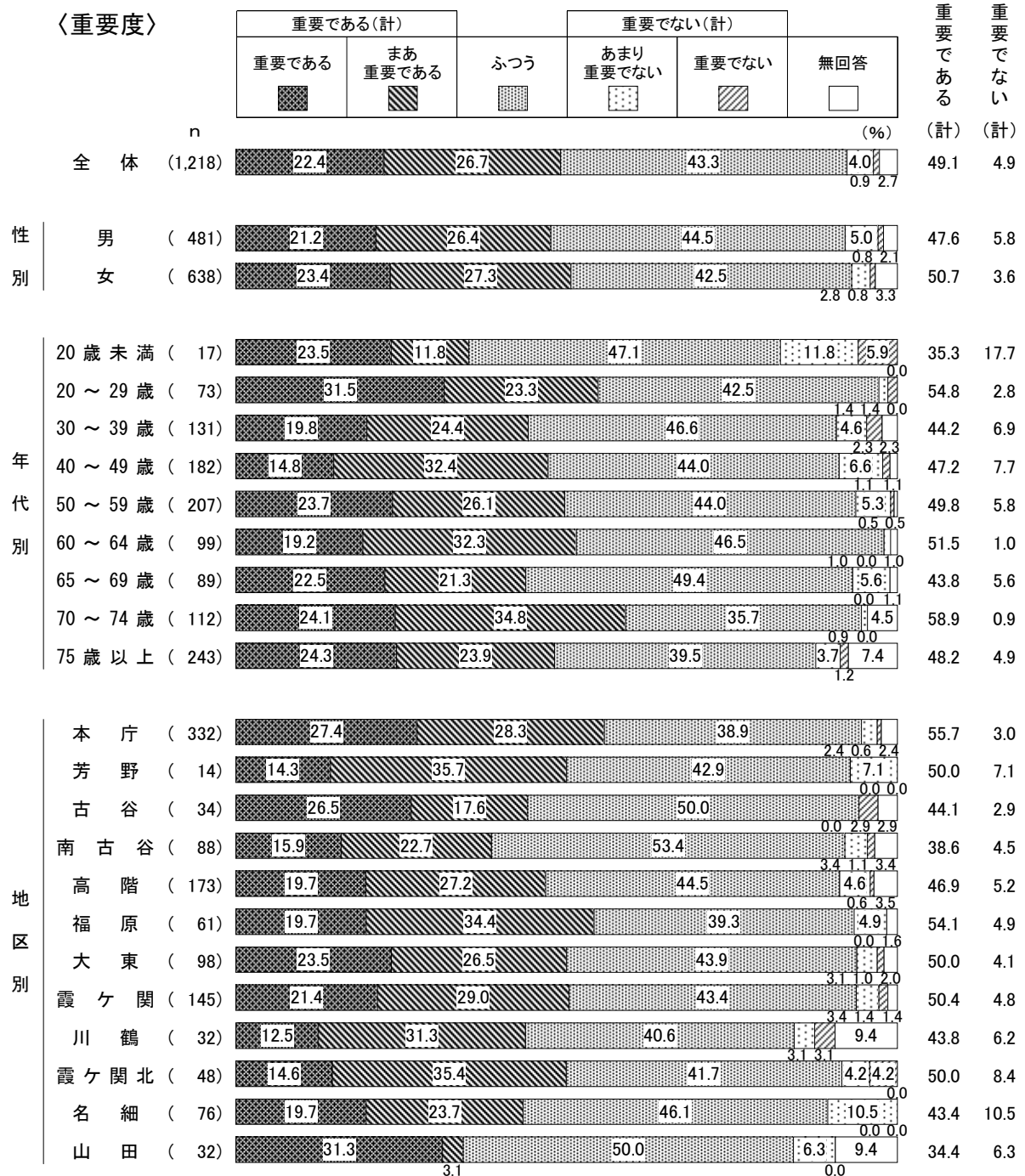
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	44.2%	47.5%	3.3%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	11.8%	13.1%	1.3%

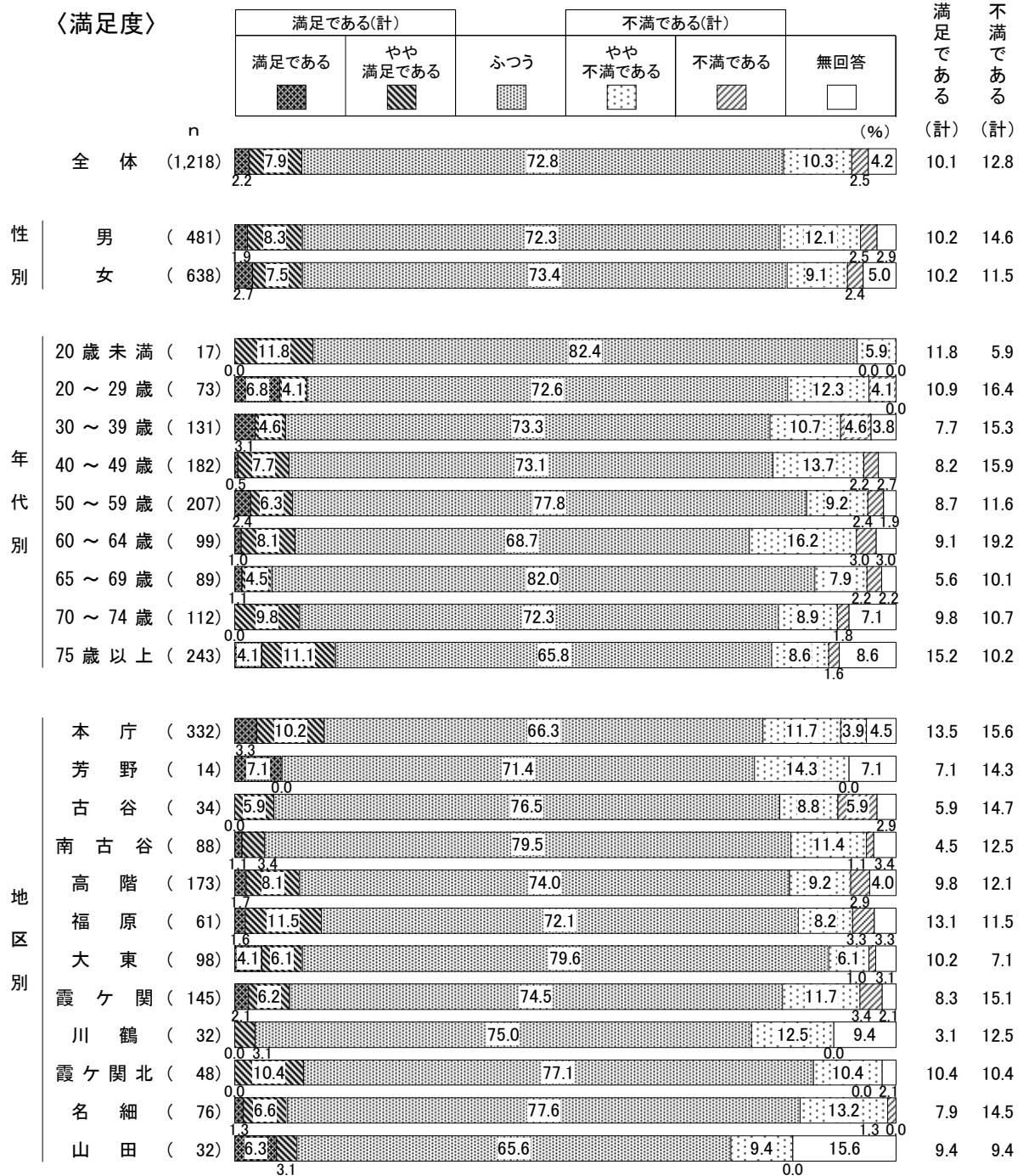
48. 行政経営マネジメントの推進

【施策の内容】

市民ニーズや社会状況の変化を的確に捉えた施策の実施と評価により、将来にわたり持続可能な行政経営や健全な財政運営の確立に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、49.1%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は47.6%、女性は50.7%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、10.1%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は10.2%、女性は10.2%と同じとなっている。

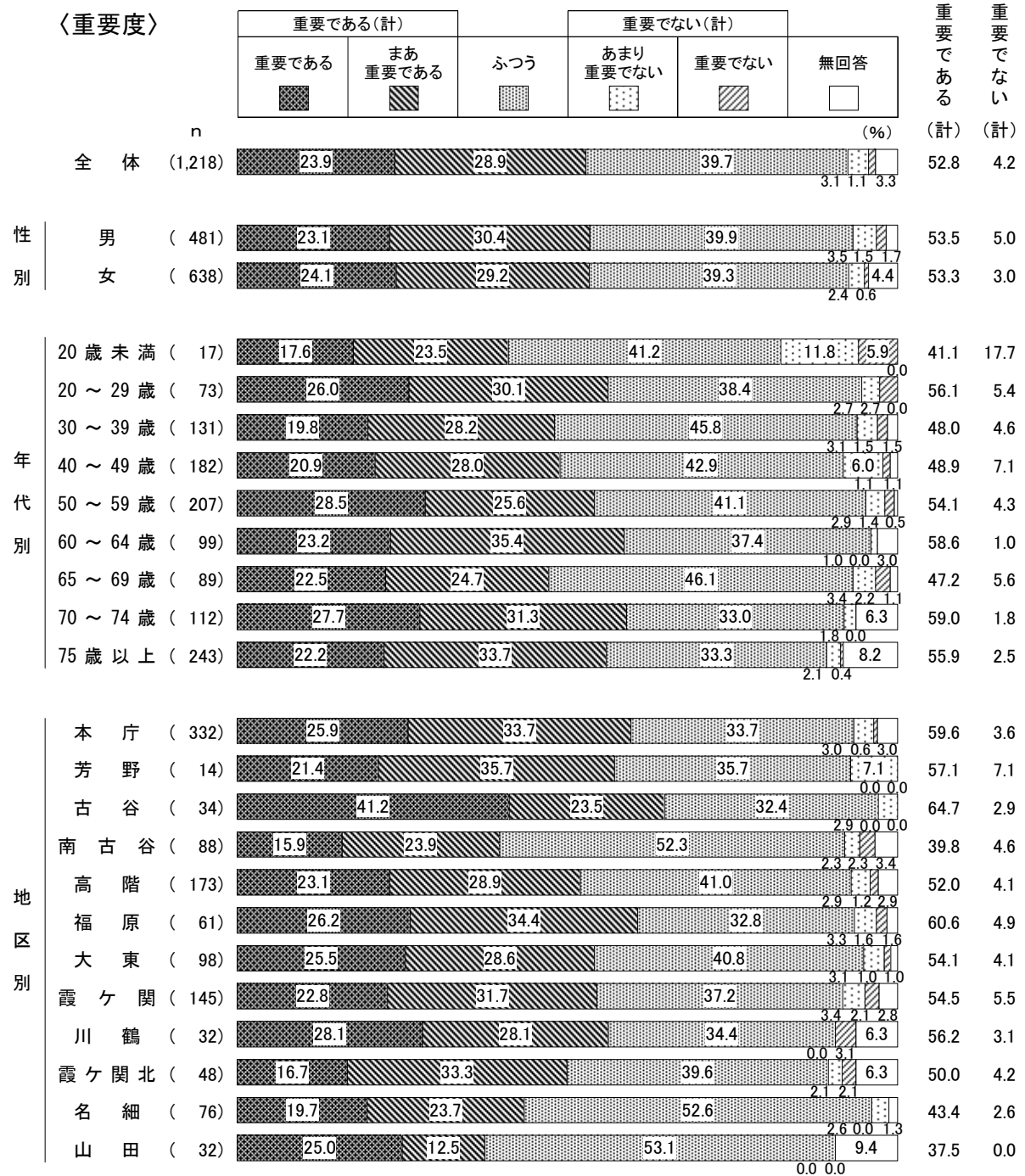
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	52.0%	49.1%	-2.9%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	7.0%	10.1%	3.1%

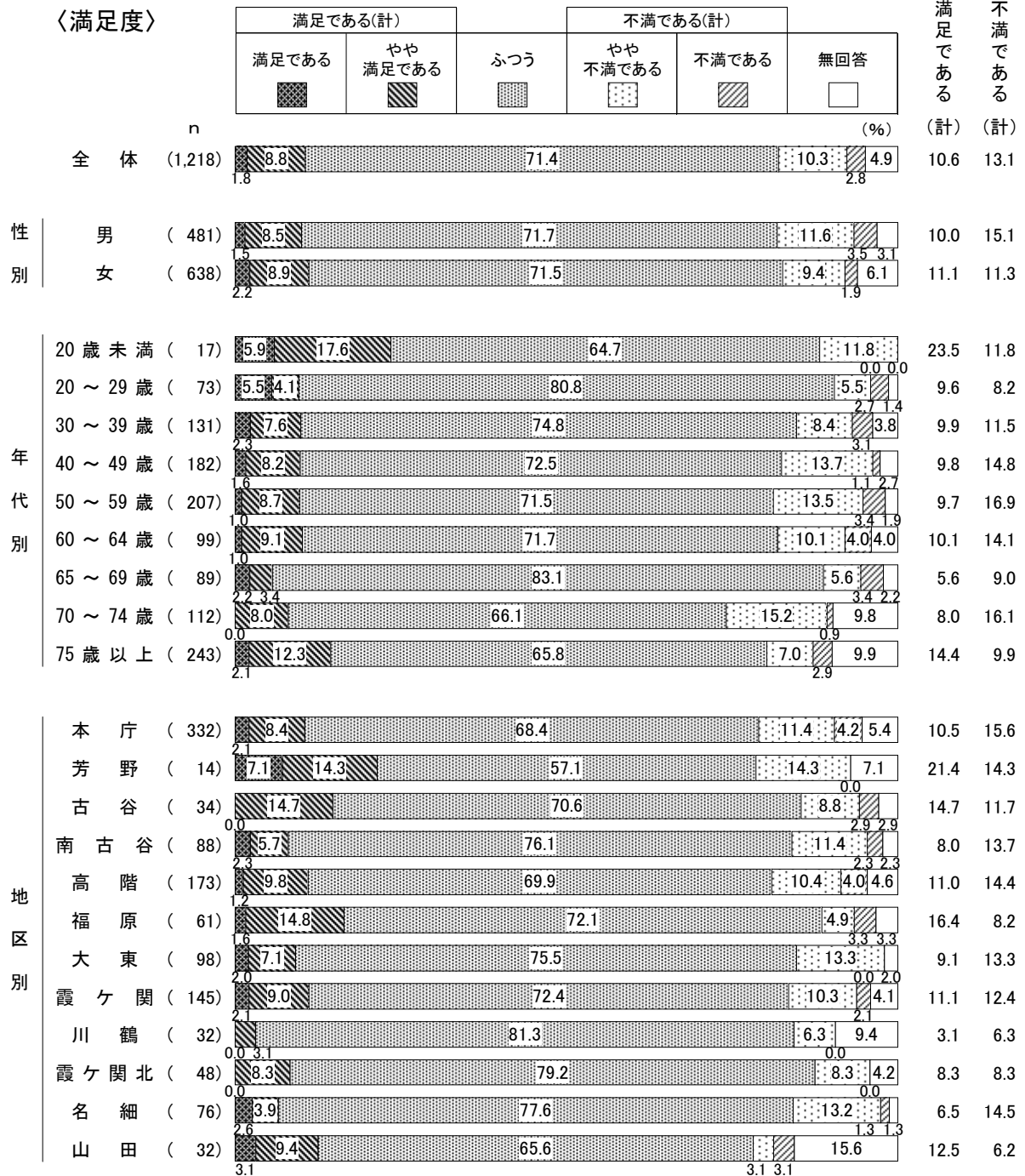
49. 社会資本マネジメントの推進

【施策の内容】

一斉に更新時期を迎える公共施設や公共インフラについて、まちづくりのあり方と需要を踏まえ、更新、統廃合、長寿命化等に向けて取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、52.8%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は53.5%、女性は53.3%とほぼ同じとなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、10.6%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は10.0%、女性は11.1%と女性の方がやや高くなっている。

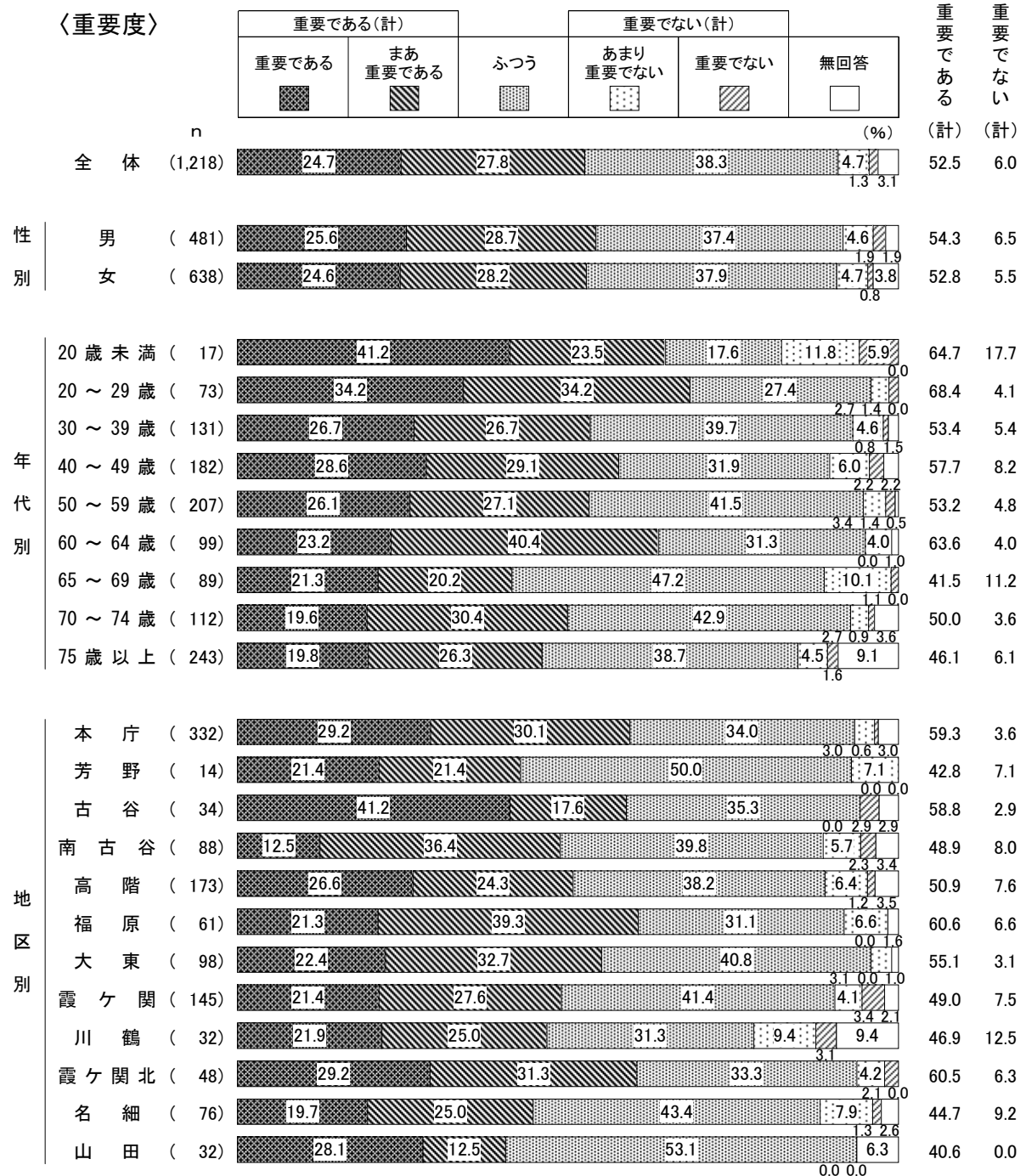
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	48.8%	52.8%	4.0%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	6.9%	10.6%	3.7%

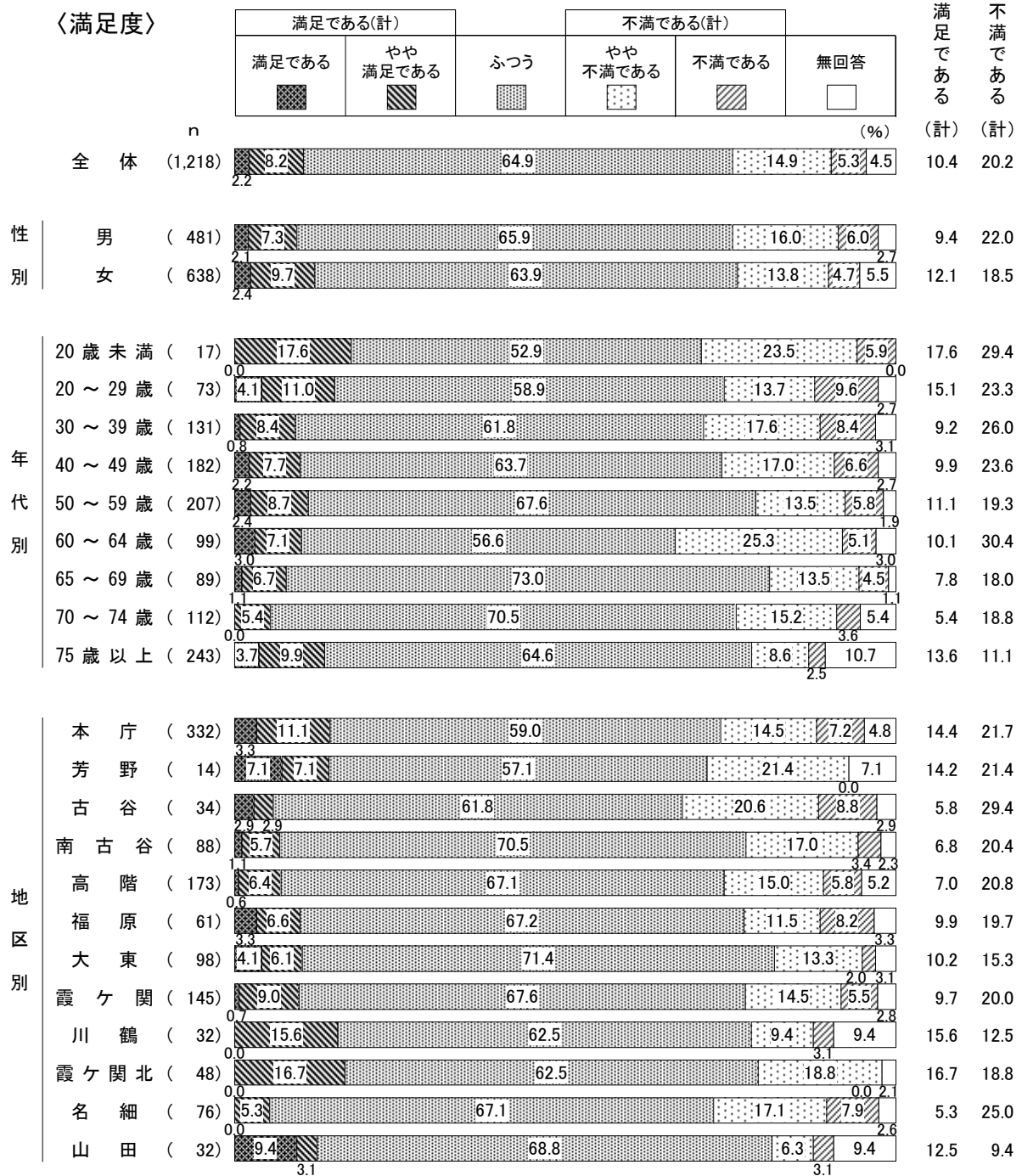
50. 情報化施策の推進

【施策の内容】

手続きのオンライン化による市民の利便性の向上や情報通信技術を活用した効率的・効果的な行財政運営に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、52.5%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は54.3%、女性は52.8%と男性の方がやや高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、10.4%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は9.4%、女性は12.1%と女性の方がやや高くなっている。

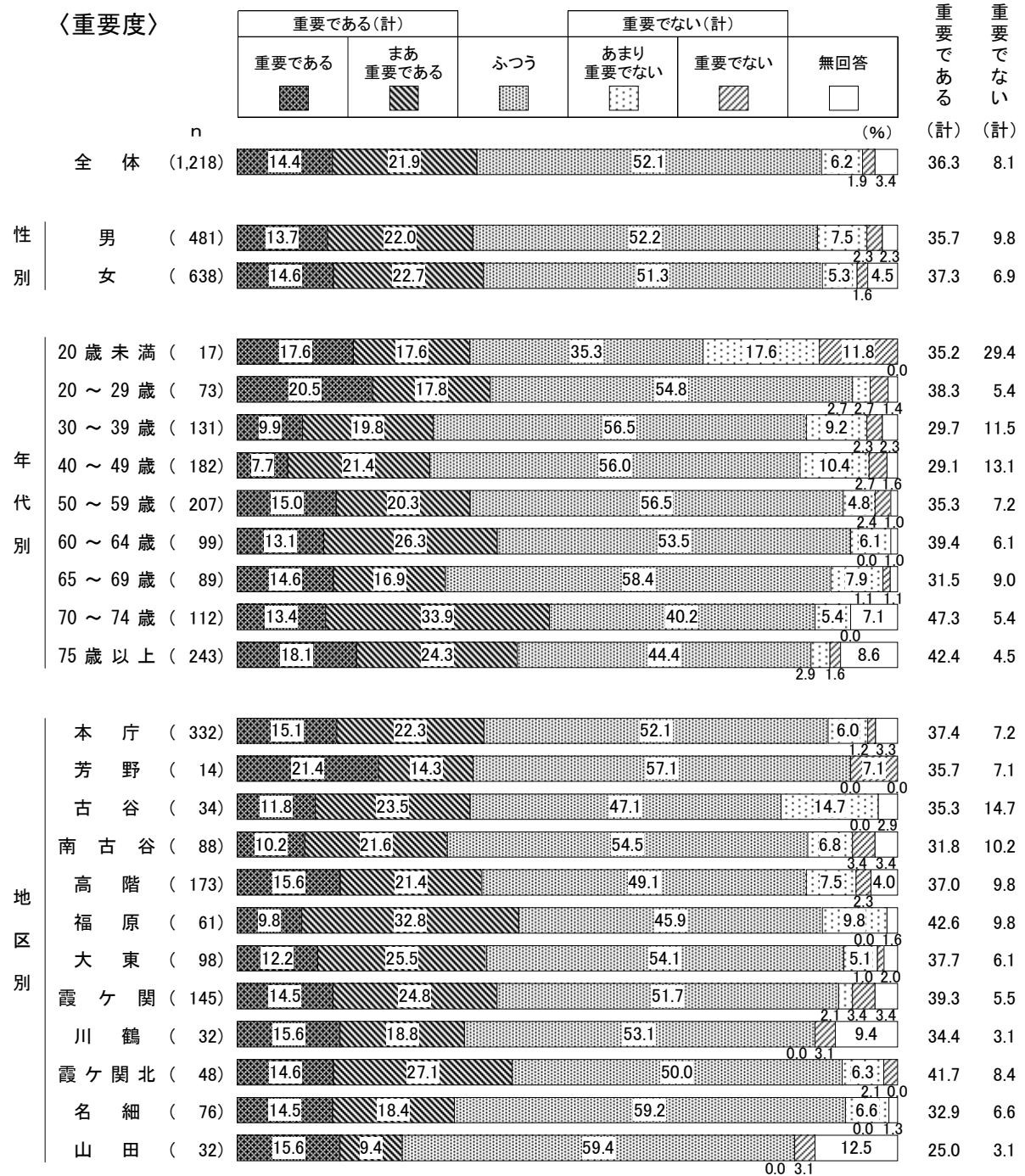
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	43.8%	52.5%	8.7%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	6.6%	10.4%	3.8%

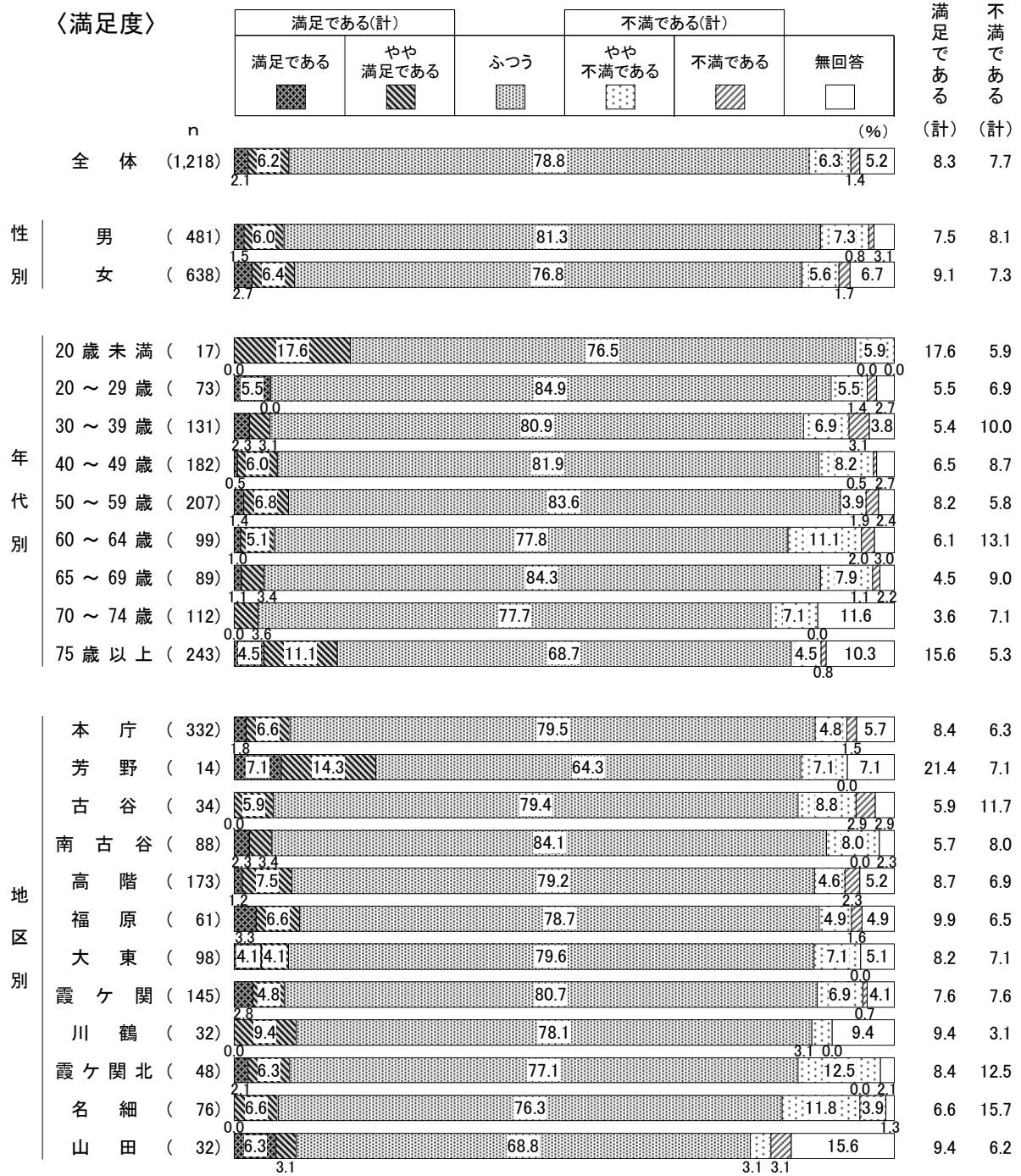
51. 広域的な連携の推進

【施策の内容】

広域的な共通課題に対して、他の自治体と連携して効率的かつ効果的な施策の推進に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、36.3%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は35.7%、女性は37.3%と女性の方がやや高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、8.3%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は7.5%、女性は9.1%と女性の方がやや高くなっている。

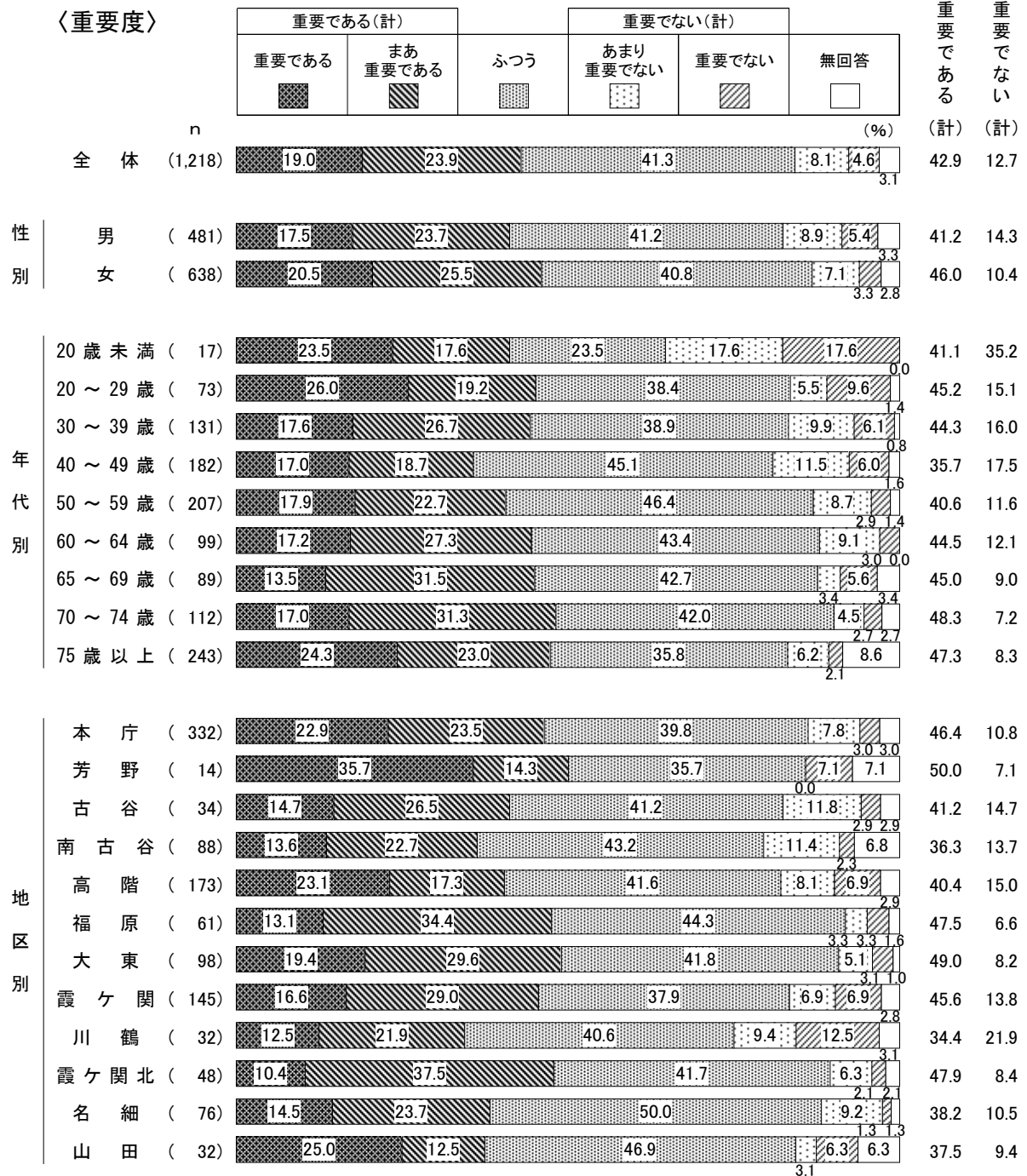
〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	36.6%	36.3%	-0.3%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	7.4%	8.3%	0.9%

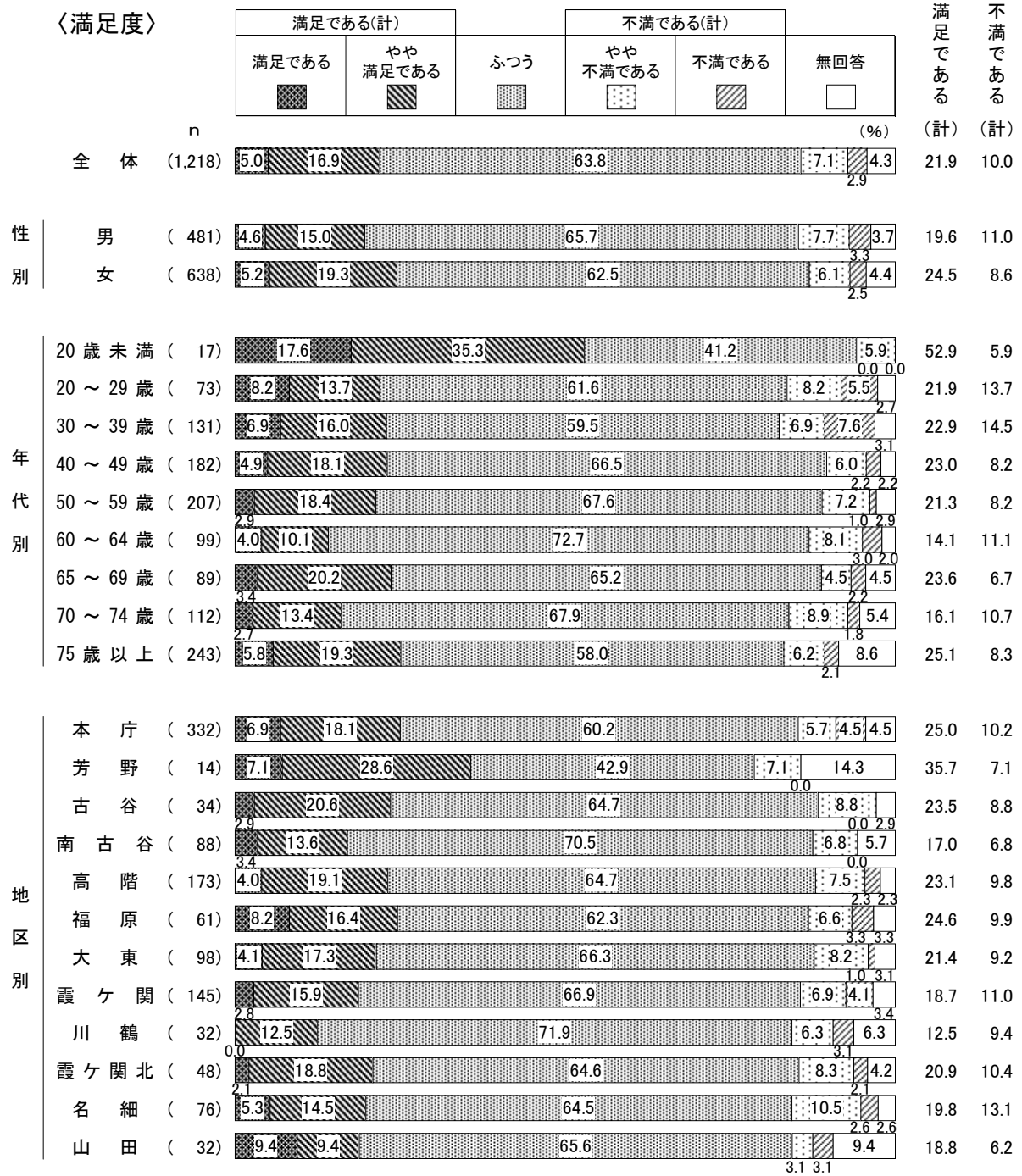
52. 時勢に応じた施策の推進

【施策の内容】

国内外から注目を集める機会を生かし、川越の魅力発信を通じて、地域の活力の維持・向上に取り組んでいます。



- ・全体で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、42.9%となっている。
- ・性別で見ると、「重要である」「まあ重要である」の合計は、男性は41.2%、女性は46.0%と女性の方が高くなっている。



- ・全体で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、21.9%となっている。
- ・性別で見ると、「満足である」「やや満足である」の合計は、男性は19.6%、女性は24.5%と女性の方が高くなっている。

〈前回調査結果との比較（全体）〉

	平成30年	令和5年	増減
重要度（「重要である」と「まあ重要である」の合計）	44.8%	42.9%	-1.9%
満足度（「満足である」と「やや満足である」の合計）	10.9%	21.9%	11.0%

Ⅲ 自由意見

問2では、次の10年に向けて、川越市が優先して解決すべきことや積極的に取り組んだほうがよいと思うことについて自由記述を求めた。

また、問3では、令和17年度末(2036年)の川越市が、どのようなまちになってほしいか、目指すべきまちの姿について自由記述を求めた。本報告書では、その回答から一部を抜粋し掲載している。

なお、基本的には提出された内容をそのまま掲載しているが、個人等を特定できるような表現や個人等の名誉を傷つけるような表現及び本質問とは無関係の内容のものを除くとともに、文意を損なわない範囲で一部表現を修正しているものもある。

Ⅲ 自由意見

1 川越市が優先して解決すべきこと

問2 第四次川越市総合計画では、将来都市像である「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越」を実現するため、8つの分野別の基本目標を定めています。8つの分野ごとに、次の10年に向けて、川越市が優先して解決すべきことや積極的に取り組んだほうがよいと思うことについて、考えや意見をお書きください。

(自由記述)

1 子ども・子育て (401件)

- ・ 給食費無償化。子育て世代・多子世帯の住民税免除など、兵庫県明石市をモデルに子育て支援の充実化をお願いします。(30～39歳、男、霞ヶ関北)
- ・ 0歳児から保育料無料の導入。保育園の入園手続きが全てweb(インターネット)で完結出来るようにする。幼児教育・保育の充実。(30～39歳、男、本庁)
- ・ 公的な保育を守るべき、公立保育園の数を減らすのではなく、親子で歩いていける距離に保育園(公立)を残して欲しい。それだからこそ、市がどのような子どもを育てたいかというビジョンを打ちだせるのではないかと。地域の支援をもれなくできるのではないかと。同様に学童保育の量と質の向上もお願いしたい。(30～39歳、男、高階)
- ・ 子どもが外で遊ぶ場所、安全な場所が少ない。母子とも休憩できるスペースなどがあると負担が軽減されると思います。(30～39歳、女、川鶴)
- ・ 子どもが安全に楽しく(ボールあそびなど)過ごせる公園が増えるといいなと思います。
(30～39歳、女、山田)
- ・ 保育園はだいぶ増えて助かっております。しかし学童保育が小学校附属の運営ではいわゆる小1の壁・小4の壁をのりこえられず離職を考えています。あと30分長くして欲しいです。
(30～39歳、女、山田)
- ・ 市民1人1人が尊重され、どんな生活状況であっても、見捨てられる事がないように、細かなケアをしてほしいです。特に、少子化がどんどん進んでいっているので、結婚・出産・子育てがしやすい、かつ、不安を取り除いてくれるような制度があれば、安心して次のフェーズにどんどん進んでいけるのではないかと、と思います。(40～49歳、女、川鶴)
- ・ 子育てについて、他地域では取り組んでいる事を全く取り組んでいなかったり、遅れて取り組んでいる事が多々あるので、どの計画より率先して行ってほしい。(40～49歳、女、本庁)
- ・ 孫が保育園に通っているが、近所や同居の65歳未満の祖母の負担が大きい。自分の子育ての時と違い体力もないため、もっと預ってもらえるようにして欲しい。(50～59歳、女、本庁)
- ・ 出産したばかりのお母さんが1人で、いっぱいいっぱいにならないよう、気軽に相談できるようになるといいなと思います。(50～59歳、女、高階)
- ・ 児童館が少ない。子育ての為にも増設すべき(60～64歳、男、名細)
- ・ 保育園の充実に取り組んでいただきたい。(60～64歳、男、本庁)
- ・ 安心して子育てできる環境づくり。経済面で子育ては大変だけど得がたい経験ができることの共通理解。子供は国の宝という意識で子育て世代を応援。(60～64歳、男、霞ヶ関)
- ・ 地域住民が多世代で子育てできる環境づくり。住民同士が我が子の孫でなくてもお互い様の子育てに参加できる手本や仕組みづくり。(60～64歳、女、霞ヶ関北)
- ・ 貧困家庭(児童)対策。(65～69歳、男、南古谷)
- ・ 子供食堂を作って母子家庭の支援を充実して欲しい。(70～74歳、男、本庁)

- ・ 教育費の格差が激しく大学まで無償とは言わないが、何らかの手を打つべきでは？（少子化はとまらないと思う。私も今の状態では、産まないかも）（70～74歳、女、芳野）
- ・ シニア層の力を借りて、子どもの見守りや遊びの場の拠点が、沢山の出来たら理想です。（子供食堂的な？）（70～74歳、女、大東）
- ・ 気軽に子どもを預けられる環境があると子育てがしやすいし、相談も気軽にできると思う。（仕事を引退した）おばあちゃんのような存在がいるといい。子どもにとっても、預ける人にとってもプラスになるようなしくみ。（無回答、回答しない、無回答）
- ・ 千葉県流山市のように、子育て世帯を呼びこむ仕掛け作りを行い、活気あるまちづくりに取りくんでもらいたい。（マーケティング課、子育てステーション等）（無回答、無回答、無回答）

2 福祉・保健・医療（286件）

- ・ 高齢化が増々進んでいくため、高齢者の方への居場所作りや、仕事の提供事業が優先されるべきであるのかと思います。（20～29歳、女、本庁）
- ・ 保健師や精神保健福祉士、社会福祉士が各地区に配置され、相談体制がしっかりと作られることを期待する。保健師さんのコロナでの対応には感謝しています。（40～49歳、女、高階）
- ・ お年寄りに健康意識が高い方が多いので、週一体操がみんなと出来るなど、あると良いと思う。（40～49歳、女、霞ヶ関）
- ・ 乳ガン、子宮ガン検診のクーポンはありがたいが、要経過観察となると該当しなくなるのには不満。（40～49歳、女、大東）
- ・ 一次救急、かかりつけ医がうまく見つけられません。（40～49歳、女、本庁）
- ・ 高校を卒業したあと、ほとんどの子が家と作業場の2ヶ所での人生になります（重度障がい者のこと）。大人になるのに世界がとても狭いです。友達と会える場所、いろんな人と関われる場所、親の緊急事態に対応してくれる場所。大人になった障がい者にも、家と作業場の往復だけでなく、居場所を作ってください！！お願いします。（40～49歳、女、大東）
- ・ 風通しよく、高齢者他各々が意見を話し合い相談できる場所・機会の提供。（50～59歳、女、川鶴）
- ・ 健診の充実、早期発見で解決を目指す。（50～59歳、女、本庁）
- ・ 高齢者が増えているので、介護や支援を手厚くしていただき、安心して暮らせるように、取り組んでほしい。（50～59歳、女、本庁）
- ・ 誰でも行ける、話ができる。心や体の不安を気軽に相談できるような憩いの場所があるといい。（50～59歳、女、本庁）
- ・ ごく初期の認知症の人が、楽しく通えるようなデイサービスがない。薬を飲んで進行を遅らせながら、進行するのを待つしかないのか？（50～59歳、女、福原）
- ・ 何しろ手続きの為出向くのが（本庁に）大変、せっかくの健康が損なわれる。不便。（60～64歳、男、霞ヶ関）
- ・ 認知症になっても、心豊かに過ごせる、住民同士支え合える地域にしたい。（65～69歳、女、名細）
- ・ 健康づくり、健康に対する関心、特定健康診査等、またガン及びガン検診への関心を持つことの重要性を周知いただきたい。一人一人が関心を持ち、生活習慣の改善を促進させ、健康寿命を延伸することが医療費の低減を経て、国民健康保険制度の健全な運営につながると思います。（65～69歳、女、本庁）
- ・ 福祉に関して、色々な情報を発信してほしい。（70～74歳、男、本庁）
- ・ 60歳以上の人々が健康で生き生きと暮らせるように、もっと、スポーツ、趣味の集まりが気軽にできる様にして欲しい。（70～74歳、女、霞ヶ関北）
- ・ 退院時から介護保険が使えるような体制づくり。（70～74歳、女、高階）
- ・ 川越市では障害者雇用の場がとても少なく思う。（75歳以上、男、本庁）

- ・ 各種の支援を行うのはいいが、それなりにきめ細かく全体を見て、不公平の無い福祉を行って欲しい。言ってきた人が福祉の恩恵を受けることの無いよう、また、対象者全員が平等に支援を受けられるよう、不公平の無いよう進めて行って欲しい。(75歳以上、男、高階)
- ・ 一人世帯の見回り等を充実して下さい。(75歳以上、女、名細)

3 教育・文化・スポーツ (258件)

- ・ 外国籍市民の方や、姉妹・友好都市との交流が進む取組があったら良いなと思います。
(20～29歳、女、本庁)
- ・ 学校が古く、教材や教具も整っていない。人材にお金をかけていない。もっと市費で雇用できる人を増やして下さい。教育にお金をかけない市は悪い市になっていくと思います。
(30～39歳、男、本庁)
- ・ 図書館の充実。駅近にあると、高齢者・学生ともに利用しやすいと思います。
(30～39歳、女、大東)
- ・ 川越の歴史や文化に触れる機会があることを、もっと市民に宣伝してほしい。
(30～39歳、女、本庁)
- ・ 未来を担う子どもたちへの教育は重要。小・中の公立校は、居住地によって決まるため、市内の中では、平等な教育環境を提供、教師の負担軽減し、様々な可能性を見つけられること。
(40～49歳、女、名細)
- ・ グローバル化に対応する教育の推進。学校施設の整備・充実。(40～49歳、女、大東)
- ・ 各学年に1人ずつ副担任などサポートに入れる教員を配置してほしい。(40～49歳、女、本庁)
- ・ 少子・高齢化と言われている今、子供たちがのびのびと暮らし、学べる環境をどう作っていくか大切だと思う。(50～59歳、男、本庁)
- ・ 生涯学習は高齢者・子供・身障者・主婦は機会を与えられていますが、働くものへの機会は少ないように思います。(50～59歳、女、霞ヶ関)
- ・ 個人主催のイベントが気軽に宣伝(おしらせ)できるシステムがあるといいです。
(50～59歳、女、霞ヶ関)
- ・ 川越市は広いのでスポーツ施設があちこちにあると良いと思います。健康面や市民の皆様の交流にも役立つと思います。(50～59歳、女、霞ヶ関)
- ・ ボランティアで放課後学習教室を行っているが、小2でもずいぶん学力の差が生じている。低学年から確かな学力をつけれるように地域でも取り組みをつづけていきたい。教師の負担の軽減も望む。
(50～59歳、女、芳野)
- ・ 転居して来た人たちにとっては、歴史・文化を知りづらい。子どもたちの学校での取り組みが大人たちに影響を大きく与えていく機会ではないかと思う。(60～64歳、男、本庁)
- ・ 学校で教師の不足が深刻な状況のようです。それを補うために非常勤の先生が増えているのは、教育の質の問題からも先生方の働き方からも、適当とは思えません。正規教師を確保して欲しい。
(60～64歳、女、本庁)
- ・ この分野かどうか分かりませんが、小学校のトイレについて課題があります。市内全校の対策にトイレのリフォームがされていると思いますが、まだ、臭くて和式トイレの数が多い小学校があるかと聞いています。早急に改善をお願いします。(65～69歳、女、本庁)
- ・ 公民館、図書館、博物館等で開催される参加型の講座、市美術展等文化活動の発表の機会の充実による動機づけが、一人一人の豊かな心を持つことにつながると思います。また歴史ある有形、無形の文化財を市民みんなの財産として認識してより周知し、理解してもらう必要があると考えます。
(65～69歳、女、本庁)

- ・ 小学生の郷土文化への実地教育の推進。中学生の市内競技（文化・スポーツ）大会の充実。
(70～74歳、男、本庁)
- ・ 老若男女がいつでもスポーツが出来る場所を作る。(75歳以上、男、霞ヶ関)
- ・ いきがい大学を経て小規模な集まりで月1回歴史を学んでいますが、市としても小さな活動にもアプローチを。(75歳以上、女、本庁)
- ・ 他の市は給食費無料にしている所もあるので、川越もしたほうがよい。18歳まで医療費無料とかも、もっと早く考えてほしかった。何にしても、川越の行動は遅い。(無回答、無回答、無回答)

4 都市基盤・生活基盤 (249件)

- ・ とにかく水害対策をお願いします。(30～39歳、男、本庁)
- ・ 川越駅西口の開発はぜひ推進していただきたい。商業施設、マンションなど。
(30～39歳、男、本庁)
- ・ 川越の中心部だけでなく周辺の地域のインフラ整備も充実させてほしい。車は多いのに歩道が無い道が多い、本下水が通っていないなどある。公園や広場はいつもグランドゴルフをしていて子供達を遊ばせたくても遊ばせられない。もう少し子供が自由にできる場所がほしい。
(30～39歳、女、霞ヶ関)
- ・ インフラのメンテナンスには力を入れてほしい。(40～49歳、男、霞ヶ関)
- ・ 夏に水遊びできる公園を作してほしい。公園の遊具がプラスチックだと静電気がおこるのでプラスチックでないものが良い。遊具が少なく遊べない。ボール遊びや花火ができる公園がほしい。
(40～49歳、女、高階)
- ・ 駅周辺の整備にのみ力を入れていて、交通ネットワークが機能していない。市民が駅へ向かうための手段が限られていて、マイカーがあふれ、道路が渋滞する状態の現状を解決すべき。
(40～49歳、女、高階)
- ・ 生活道路の歩道確保。街中心部は歩道・自転車道がありますが、郊外は歩道が少なく、あぶない。通学路が心配です。(40～49歳、女、山田)
- ・ 通学路の危険箇所の洗い出しと対策。(50～59歳、男、高階)
- ・ 空き家対策は大事。犯罪や美観の面からも。公園も小さなところまで細かい手入れを。
(50～59歳、女、霞ヶ関)
- ・ 観光客増加による、交通網対策。(特に、蔵造りの周辺は、観光客のマナーの悪さから、事故多発の危険性を感じる)(50～59歳、女、本庁)
- ・ 私の住んでいる所は川越の市街から外れていて駅も遠くバス停も距離があります。バスの路線を見直し幅広い路線になるように検討してほしいです。(50～59歳、女、霞ヶ関)
- ・ 北環状線の渋滞対策、川越市駅開発。(60～64歳、男、本庁)
- ・ 慢性的な道路渋滞が生じる所についての道路整備を行う。特に、蔵造り周辺道路については、観光客と、地元生活者との動線をできるだけ、別にする必要があると思う。(60～64歳、男、本庁)
- ・ 住宅と畑が混在する地域の道路の整備、車一台しか通れないような細い道が多く危険。一方通行にする。休耕地を買い取って通路を作る。(60～64歳、女、高階)
- ・ 道路橋等生活基盤において、生活を支える各施策の老朽化は、急速に進むためだろうと懸念しています。(65～69歳、男、大東)
- ・ 市中心部と比較して、周辺部において、道路整備交通体系の整備が遅れているように感じます。買い物ができる店舗が少ない、遠い。交通が不便というところが多い。中心部は、商業施設が多く、居住者が多いことから各種施策の優先度が高いとは考えられますが、周辺部住民の利便性の向上に配慮した施策をお願いします。(65～69歳、女、本庁)
- ・ 道路環境の整備をする。住みやすい、公共交通機関の充実。(70～74歳、女、福原)

- ・ 川越の歴史に調和した景観の町づくりを。大きな建造物は、ふさわしくない場合もある。
(70～74歳、女、本庁)
- ・ 自転車の交通ルール守る様にすべき。道路の拡張。川越シャトルの拡大。(75歳以上、女、古谷)
- ・ 歩道が狭いし、足の悪い人は歩きにくいので、歩道・自転車道と分けられないでしょうか。
(75歳以上、女、高階)

5 産業・観光 (227件)

- ・ 川越市は観光地として有名であり、レトロブームの影響もあり若者の観光客の増加、新しい店の開店が見受けられた。しかし、閉店の時刻が早いと感じる。夕食の時間まで飲食店と共に店が開いていると観光客はより楽しめるのではないかと考える。(20～29歳、女、本庁)
- ・ 観光をきっかけとしたい移住の促進、産業振興、新規産業、イノベーション創出。
(30～39歳、男、古谷)
- ・ 労働環境の改善。正規雇用における労働時間の短縮。特に子育て世代等の部分休業（短時間勤務）の取得のしやすさ。食料の安定供給。地産地消。企業誘致の推進。(30～39歳、回答しない、大東)
- ・ 日帰り客をいかに宿泊客に変えるか。→これが川越は多い。(40～49歳、男、霞ヶ関)
- ・ “小江戸川越”を生かしたシティセールスは様々な発信スタイルを使って引き続き展開してもらいたい。(40～49歳、女、高階)
- ・ 観光客対策をお願いします。市民生活しづらい。(40～49歳、女、本庁)
- ・ 小江戸ばかりに力を入れないで。(40～49歳、女、大東)
- ・ 海外（旅行客、居住者）との交流、おもてなし。音楽、芸術を生（活）かした交流。
(50～59歳、男、南古谷)
- ・ 昼から夜にかけての観光を増やしてほしい。映画やドラマ等のロケ協力。(50～59歳、男、本庁)
- ・ 一番街周辺の整備（難題とは思いますが、観光客が増加すれば車、自転車が通りづらくなります）。
(50～59歳、女、本庁)
- ・ もっと、海外からの観光客がきてくれるよう川越の良さを海外へも積極的に発信してほしい。
(50～59歳、女、大東)
- ・ 蔵のまち（一番街）周辺道路の渋滞解消。パークアンドライドの促進・舟運（赤間川、新河岸川）の観光利用。(60～64歳、男、本庁)
- ・ 農業者の農地保全管理等が高齢化・担い手不足等の問題で年々困難を期する為、補助金制度、助成金制度の更なる仕組み作りを願いたい。(60～64歳、男、霞ヶ関)
- ・ 川越で農業に携わる人たちへの支援は、必須だと思います。農業を続けてくださる人がいて、安心・安全な食が保たれると考えます。学校給食は“地元野菜”がいいですね。(60～64歳、女、川鶴)
- ・ 川越は観光都市です。もっと魅力のある町作りの法制備・環境作りをして、全市民に還元できる様、体制を整える。(70～74歳、男、本庁)
- ・ 人も地域資源の中核として活かす政策が必要。(70～74歳、男、本庁)
- ・ 観光事業として一番街の車輛の多さ。事故がおきたらいつも心配です。車輛がなくなる事は無いのですか。(70～74歳、女、本庁)
- ・ 川越市の農業が継続できるよう、市が施策をつくり実践するとともに、国・県への働きかけを行うこと。(75歳以上、男、古谷)
- ・ 川越市内の特徴ある企業（観光面も含めて、技術面でも収益面でも）が有ると思うので、市の広報でそういう企業の紹介欄を設けて広くアピール、特に若者たちへ、していったらどうか。
(75歳以上、男、高階)

- ・ 観光都市として、観光客が増加しつづけているが、車道に人があふれる、ごみが目立つ等、市民生活に影響がでている。オーバーツーリズム問題も大都市で目立っており、その点の取り組みもお願いしたい。(無回答、無回答、無回答)

6 環境 (212件)

- ・ 環境問題について、啓発活動を充実させ、一人一人の意識をあげることも重要であると考えます。(20~29歳、女、本庁)
- ・ 中心街は緑が少なすぎる。木陰を増やし、憩いの場を増やすことで、防災にも役立つと思う。(30~39歳、男、高階)
- ・ 温暖化をおさえるために、CO₂排出量を何%に削除すべき。それをやるには、どうするか。具体的に一人一人ができることなどをポスターや学校・保育園で教育する。市がいつまでに何をとりくんでいるか、市報コーナーを作って示していくのはどうか。そこに市民がやれることも盛り込めばみな目の目にふれる(緑が多いのはよい)。(30~39歳、女、南古谷)
- ・ 再生エネへの補助金などの支援を増やして、後押ししてほしい。(40~49歳、男、本庁)
- ・ 外来生物の駆除。生態系を守る条例。(40~49歳、男、高階)
- ・ 農業・自然に関係した参加型イベントをふやしてほしい。(40~49歳、女、本庁)
- ・ 川・沼の保全。(50~59歳、男、古谷)
- ・ 太陽光発電+バッテリー→公用車用に使う…ですか？水素ステーションの可能性もいれて欲しい。田畑の宅地化、市民の森伐採が多い…なんで？(50~59歳、男、霞ヶ関)
- ・ 歴史や観光には力を入れているが、普段の生活では公園や、ベンチなど一時休憩したり、木や花を見て季節を感じたり出きる身近な場所をつくってほしいと思います。高齢者でも安全に散歩ができたらし、その仲間達とお話しできたりしたら健康にも良く孤立することなく楽しく過ごせるのではないかと日頃思っています。(50~59歳、女、本庁)
- ・ 舗道のゴミ、段差等の改善。伊佐沼のはす(カメの駆除)。(50~59歳、女、本庁)
- ・ 横浜の中心で生まれ育った私にとって、この環境はむしろ新しさも感じる。不便、田舎…というイメージではなく計画的な環境作りにとり組むべき。(50~59歳、女、芳野)
- ・ 自然環境が少なくなっているように感じる。大事な土地の活用の仕方を考えてほしい。木を切って、住宅地にすることも多い。(60~64歳、女、本庁)
- ・ 環境にやさしい街を作るためにはどうしたらいいのか、身近でできる工夫を具体的に知らせていく。(60~64歳、女、霞ヶ関北)
- ・ 目標値の達成状況を踏まえ施策推進を行なってほしいと思います。特に環境等に取り組み、負荷の少ない環境型地域社会をつくるために具体的取組の推進を進めて下さい。(65~69歳、男、大東)
- ・ 資源に対する考え方を、やさしく説明してある資料・教材の配布を希望する。(65~69歳、女、本庁)
- ・ 緑を大切にしてほしい。(木を安易に切らないでほしい。)(75歳以上、男、霞ヶ関北)
- ・ ゴミの分別をしっかりと行い、町の美化に努めて、花壇を多く設置して、花のある町づくりを要望します。(75歳以上、男、本庁)
- ・ 伊佐沼は市民にとっても近隣の人々にとっても大事な沼、市は沼の整備に金を使うべき。(75歳以上、男、古谷)
- ・ 地球温暖化、自然破壊から生じる生活環境インフラ設備の破壊・劣化から地域社会を守るには、行政と市民の一体化した対応が必要。(75歳以上、男、霞ヶ関北)
- ・ エコな生活の推進。再生エネルギーを積極的にとり入れる。(75歳以上、男、本庁)

7 地域社会・市民生活 (207件)

- ・ 若い世代の自治会参加が進むと良いと思います。(20～29歳、女、本庁)
- ・ 各地域でいろいろな特長ある取り組みをしていて素晴らしいと思う。ただ、どうしても一部の人たちでなく、もっと広く周知し、より多くの人たちで支え合えるとみんなが安心して暮らせると思う(一部のボランティアや役員に任務が背負わされすぎている気もする)。(20～29歳、女、南古谷)
- ・ 不審情報のSNS発信の充実。セキュリティカメラ、設置エリアの増設。(30～39歳、男、本庁)
- ・ 子供の安全を守るため、パトロールの強化。(30～39歳、男、高階)
- ・ 地域での支え合いは必要だが町内会役員等が負担になることもあると思う。うまい方法を考えてほしい。(40～49歳、男、本庁)
- ・ 地域性もあるが、それぞれの人間性が大きい。自分さえよければよいという地域では成立しない。特に経済的に苦境にある時代にむずかしい課題。関わりたくない人がいるのも考慮してほしい。
(40～49歳、女、南古谷)
- ・ 地域差があるのだと思うが、高齢化が進んでいる地域は、地域活動がほとんどなくなってきている。シルバー人材を活用するなどして、登下校の見守りをPTA以外にも協力してもらいたい。
(40～49歳、女、高階)
- ・ 防犯推進体制の設備・充実。危機管理の強化、充実(避難場所)。(40～49歳、女、高階)
- ・ 民生委員の高齢化、なり手不足。制度の継続の為に対策が必要。(50～59歳、男、古谷)
- ・ 自治会の活性化。(50～59歳、男、本庁)
- ・ 児童への交通ルール、マナー向上の強化(時に自転車運転)。(50～59歳、男、高階)
- ・ 大規模災害がおきた直後は、行政は末端まですぐに手が届かない。万が一のこの何日間を少しでも、共助が円滑になるように。地域社会のつながりが必要という啓蒙を強くしてほしい。
(50～59歳、女、福原)
- ・ 最近外国人の居住者がとてもふえたように感じます。地域の中で「住民」として認知されているのかわかりません。正規に入国し労働しているのなら、地域のなかで何らかのアプローチをし、住民として、受け入れるべきでは。(60～64歳、女、本庁)
- ・ 空き家対策。空き家の調査はされているのでしょうか？具体的な対策は、あるのでしょうか？
(65～69歳、女、名細)
- ・ 高齢化に伴い、自治会活動が負担になり、先々不安であり、地域で支え合うことができなくなる。高齢家庭の防犯対策支援(留守番電話、防犯カメラなど)。自転車専用道路の整備。
(70～74歳、男、本庁)
- ・ 平和で思いやりのある、どんな個性でも認めあえる多様性を受けいれる地域づくり。
(70～74歳、女、本庁)
- ・ 葬祭場の整備が関わられているが、墓の問題について、個人にだけ委ねるのではなく、市としてのこれからの対応を考えてほしい。死後どう扱われるのかは、高齢者等の安心に欠かせない。市民霊園等をどうしていくのか？(70～74歳、女、名細)
- ・ 自転車の安全運転のアピールに力を注いでもらいたい。歩道とかスクランブル交差点での自転車走行はひどい状態にある。巡回でもいいからパトロール員を配置するよう検討を願う。
(75歳以上、男、高階)
- ・ 地域防災の初動態勢の確立。(75歳以上、男、本庁)
- ・ 地域での住民同士の助け合いと共に、土・日・祭日・年末年始での緊急時に対応してくれるきめ細かいサービスを希望します(児童虐待時等)。(75歳以上、女、霞ヶ関)

8 住民自治・行財政運営（153件）

- ・ 町内会の役員の必要性はあるのか再度考えて頂きたい（親が役員の仕事についていつも頭を抱えている）。（20～29歳、女、高階）
- ・ SNSなど地域ネットワークを住宅に広める。地域アプリなどを作り、商業施設や近所の店で使えるようにする。ポイントをためられるなど。（30～39歳、男、高階）
- ・ 財政的に増えた・減ったの報告だけでなく、それは何が要因か、推測し対策を考える。そのプロセスも公開し、みんなが考えてとりくむ。市政を支えているのはどの分野か、観光なのか、何なのか。支えている世帯や年齢層が何をよいと思ひ、どう変えて欲しいか把握に努めないと、さいたま市や川口市など、都会で都内に出やすい所に、人は出ていくと思います。私もさいたま市、夫は都内に働きに出ていますので、ここに留まる理由は土地と家があること、親の家が近いことくらいで、川越市に特別魅力があるからではありません。住みやすさ・防犯・安全・安心・心の健全さを保てる・気分転換ができる・車が無くても利便性がある（かわまるは、ちょっと使いづらい）など、都会には無い魅力を強化していくべき。（30～39歳、女、南古谷）
- ・ 手続きの利便性向上に加え、個人情報保護の観点で見た安全性の維持・向上にも引き続き取り組んでいただきたいです。（30～39歳、女、無回答）
- ・ 自治会は若い世代の家庭には負担になる。市でできることは市でやってほしい。なくなってもいいと思う。（40～49歳、女、霞ヶ関）
- ・ 今までの、住民自治のような取り組みができておらず、一部の人達の負担になっているケースも見聞きする。こちらも行事や業務内容の変革をし、その取り組みがなくならないよう工夫・配慮していくことを望む。（40～49歳、女、大東）
- ・ 記念行事は通過点に過ぎないので、日常的にできる具体案を望みます。ふるさと納税で流れてしまっている税収をどう回収するかなど、これだけ流れている、これに使いたいから、地元におさめて…等。（40～49歳、女、高階）
- ・ ボランティア活動も含めて、住民主体の自治活動にシフトしていくしかないと思います。
(50～59歳、男、霞ヶ関)
- ・ 高齢化及び転入者の自治会未加入により、自治会運営が困難になっている。市からの積極的な介入が必要と思う。（50～59歳、男、古谷）
- ・ 本当に必要ならば増税もやむを得ないと考えます。何が必要なのか、何かムダなのか、考え抜いて実行して下さい。（50～59歳、男、高階）
- ・ 情報の共有化。デジタルデバインド解消やそのための高齢者の支援・フォロー体制。
(50～59歳、女、川鶴)
- ・ 財政的に広域行政の実施が必要では。（50～59歳、女、名細）
- ・ 地域コミュニティーの弱さを感じる。それ自体不要と感じる（むしろ負担に感じる）人も増えていると思うので、つながりの形の見直しが必要ではないかと思う。（50～59歳、女、名細）
- ・ ICT活用による自治会運営の見直し。（60～64歳、男、本庁）
- ・ 高齢化に伴い、自治会加入の負担が大きい。必要な内容に抑えるべき（ゴミ収集場の清掃等）。加入者と未加入者の不公平の解消を願います。（65～69歳、男、本庁）
- ・ 市の施策の広報、各種お知らせ等を広報川越や配信メール・ホームページ・SNSで発信されているが、知りたい情報がさがしにくい・読みにくい。必要なタイミングで情報が得られないというもどかしさがある。より効果的な情報発信を検討してほしい。「コエドカラー」に期待します。休業・廃業状態の公共施設・解体跡地利用について処理加速化の検討をお願いします（例：旧市民会館）。
(65～69歳、女、本庁)
- ・ 自治体の行政には、他の町から来た者にはなかなか入れないのが現状です…。
(70～74歳、男、大東)

- ・ 自治会の在り方、運営、存在意義等、根本的に考え直した方が良いと思います。10年、20年、30年…毎年同じことを繰り返していますが、時代に合わなくなっているものもあると思います。
(70～74歳、女、大東)
- ・ 地域経済・住民参加の恵まれた自治活動が推進されておりますが、今話題となっているA I（人口知能）を活用した、経済・生活行動への対応が今後必然なこととなるものと思われまますので、その対応に留意する必要があります。(75歳以上、男、高階)
- ・ I C T利用の利便性が重要と思います…が高齢者には、オンラインよりも先ずは丁寧な説明を望みます。携帯にはどうか慣れましたが、役所の手続きには四苦八苦です。勝手ですみません。
(75歳以上、女、高階)

2 目指すべきまちの姿

問3 川越市では、令和8年度から令和17年度までの10年間を期間とする「第五次川越市総合計画」の策定に向けた取り組みを進めています。令和17年度末（2036年）の川越市が、どのようなまちになってほしいか、目指すべきまちの姿について、考えや意見をお書きください。（自由記述）

1 子ども・子育て（68件）

- ・ 子育てしやすい環境になってほしいです。医療費補助の他、予防接種費の補助、公立学校で購入する物品の貸し出しや補助等があると良いです。子供一人にかかるお金の事を考えると、更に産み育てるのを難しく感じてしまいます。川越市は大きいですが、近隣の市に比べ、補助が少なく思います。（30～39歳、男、名細）
- ・ 今の子供たちがこのまちで生まれ育ってよかった。ここで子供を育てていきたいと思えるようなまちになってほしい。まちが広いので、少しずつでも良いので端から端まできちんと市民の声を聞いてほしい。小さな事でも耳を傾けてくれる市だったら、ずっとこの街にいたいと思えると思うし、もっともっと活気があふれると思う。今よりももっと魅力的なまちになっていたら嬉しい。（30～39歳、女、霞ヶ関）
- ・ 子どもに優しい街づくり。子どもといけるお店、レジャー施設のおすすめを分かりやすく提示。魅力的な公園、子育て世代をつなぐイベント、保育支援、地域の人とのつながりが増えるイベント。世代問わず参加したいと思えるような魅力あるイベントがあるとよい。（30～39歳、女、高階）
- ・ 子育て世帯が引き続き安心して住み続けたいと思うまちになってほしい。0歳～18歳まで、どの年代であっても支援に差が出ないように、子育て中や子育て経験のある人達の意見を積極的にとり込み、時代にあったニーズに柔軟に応える努力を怠らないでほしい。結婚・妊娠・出産までのサポートはもちろん重要だが、そのあとは1人で、もしくは夫婦だけで孤独に悩みながら子育てしている世帯が沢山いる。金銭的なサポートにとどまらず、地域ぐるみで安心して育てていける環境となることを願う。（30～39歳、女、本庁）
- ・ 今後、ますます高齢化が進むなか、若い夫婦が子供を産み、子育てしやすい街になってほしい。歴史のある街なので昔から住んでいる人も多いと思いますが、子育て支援の充実をはかり、子育て世帯にとって魅力のある街になってほしいです。（30～39歳、女、霞ヶ関）
- ・ “子育てが楽しい”と思えるまち、子どもたちが“川越に住んでいることが誇り”と思えるまち。様々なメディアで川越の特集をよく見ますが、市内の子どもたちは、どう感じているのでしょうか。子育てをするママパパはどう感じているか、たくさん声を聞いてほしいです。（30～39歳、女、本庁）
- ・ 子ども達が夢を持てる市にしてほしい。困っている市民が川越市は自分達を見捨てない、と思えるような市になってほしい。（40～49歳、男、高階）
- ・ 子育て環境の充実。もっともっと支援がないと子どもを育てる人が減ってしまうのでは。（40～49歳、女、高階）
- ・ 歴史と文化を保ち、川越市に移住したいと思える街作りをしてほしい。そのためにはやはり、子育てに力を入れていることが大切。そして、今川越に住んでいる人が、そのまま川越に住み続けたいと思い、その子どもも、川越で子育てしたいと思えるようにしてほしい。（40～49歳、女、福原）
- ・ 子供達のがのびのび成長できるまちが一番望ましい。子供達の声は騒音ではない。活力になる。（75歳以上、女、大東）

2 福祉・保健・医療（58件）

- ・ 高齢化は、この先避けられない時代になっていく。自分もあと10年で60歳。会社も定年の時期を迎えることになるので高齢者が住みやすい社会・街づくりを目指してもらいたいと思う。また、救急医療体制の充実を望みます。夏場は救急搬送の殺到で救急車の不在。救急隊の長時間労働等の問題もあるので体制強化をお願いしたいと思う。（40～49歳、男、高階）
- ・ 人・健康・福祉の充実、より良い未来に向けて、輝く！！川越市民！！（40～49歳、女、大東）
- ・ 高齢化に向けた対策は大事だが現役世代が疲弊して自殺者や心身の病に苦しむ人が増えている。子どもや外人、高齢者への支援のみならず、現役世代が住み続けたいと思う町づくりを！
(40～49歳、女、南古谷)
- ・ 知的障がいのある娘（17歳）を育てています。心のバリアフリーなんて言葉を何度も聞き、見てきましたが、まだまだ高い壁のようなモノがあると感じています。健常者に比べて人数が少ないことも理由かと思いますが、社会の中に溶けこめる、そんな時代がきてほしいです。大変なことだと思いますが、義務教育の頃から一緒に学ぶ（同じ学校に通う）、そうなってほしいです。ほとんど接したことがないから付き合い方がわからず距離ができてしまうと思います。特別なケアが必要な子もいるけどそれもその子の個性。受け入れられる環境と心のバリアフリーを願っています。
(40～49歳、女、大東)
- ・ 老若男女が安心して暮らせる町であって欲しい。新しい設備では高齢者が利用できるように段差を少なくしたり、エレベーターがあったり、困ったときに周りが助けてあげられる環境が整っていると良いと思います。テクノロジーを取り入れて利便性が高まると利用できずに取り残されてしまう人との分断が広がらないように配慮があると良いです。（40～49歳、女、大東）
- ・ 公平な医療サービスを受けられる。高齢者の労働力の活用とデイサービス等、福祉の充実。
(50～59歳、男、古谷)
- ・ 身体・認知機能が低下しても、施設に入らざるを得ない現状を、地域全体で支え合い、長く住み慣れた自分の自宅（グループホームでなく）で、出来るだけ長く生活出来る様に。高齢者が自分の子ども達に負担をかけずに、通院や買物が出来、自立した生活が出来る様になった川越でいつまでも笑って生活して行きたいです。（50～59歳、女、福原）
- ・ 川越は老人が他の市より多いと感じます。独居老人を孤立させないネットワークが必要です。空き家を活用してグループホームを作るなど住人同士のつながりが重要だと感じます。（50～59歳、回答しない、本庁）
- ・ 一人ひとりが健康で安心して暮らせる町になってほしいです。（60～64歳、女、大東）
- ・ 更に高齢者が増えるので、安心して老後の生活ができるよう、医療施設・訪問医療の充実を望みます。（70～74歳、男、本庁）

3 教育・文化・スポーツ（32件）

- ・ 個人が重視される現代だからこそ、市として子育てや教育などの支援をし、川越市に恩返ししたいと思える社会人へと育ててほしい。（20～29歳、男、大東）
- ・ 未来の担い手である子どもたちが将来も住みたいと思えるような、観光・医療・交通・教育が充実した町になってほしいと考えています。特に、川越の強みである観光を子どもたちの身近な教育にからめ、金融、公衆衛生、英語等言語学に強い人財育成が可能な町となることを望みます。
(20～29歳、女、南古谷)
- ・ とにかく教育にもっとお金を使いましょう。教員の働きやすさ、子ども達の教育環境、すべてお金がないだけで犠牲になっているのは子ども達です。子どもを大切にできない川越市に住みたいと思いません。小・中学校を卒業するまでは別の市町村に行きたいと心から思っています。色々大変なのはわかりますが、まずは子ども達にお金を使って下さい。また。部活動の地域移行はいつになるのですか？専門的に指導を受けられる環境を、早く整えて下さい。（30～39歳、男、本庁）

- ・ 文化財などを守り、新しいものを取り入れるまちになってほしいと思います。また、川越で暮らす人が少しでも安心して暮らせるようなまちにしてほしいとも思います。(30～39歳、女、霞ヶ関)
- ・ 市民（特に小・中高生）の英語力を県内1位にして、外国人観光客が過ごしやすい、また来たい街にする。(30～39歳、女、霞ヶ関北)
- ・ どんどん高齢化になっていく中、ずっと守ってきたこと大切にしてきたことを繋いでいくこと。若い人達が、その歴史を繋いでいきたいようなまちにしていくこと。若い人達がどんどん活躍できるようなまちにしていくこと。市民が誇れる川越になってほしいです。(50～59歳、女、高階)
- ・ 文化・伝統が大切に継承されている街。(50～59歳、女、本庁)
- ・ 市民講座や市民農園の取り組みは素晴らしい。子どもが楽しめて、大人が子どもたちに知識や経験を伝えられる活気のある街になって欲しい。(60～64歳、男、霞ヶ関)
- ・ 川越の歴史を大切に、そして未来を見すえたまちづくり。子どもには明るい未来を、高齢者には優しさを。(60～64歳、男、福原)
- ・ 100歳以上の超高齢者が元気に地域の人達とスポーツを通じて楽しんでいる姿を想像します。スポーツは何でも自分に合ったもの、ゴルフ・グラウンドゴルフ・卓球・ボーリング・水泳など、身体を動かすことに積極的で、腰が曲らないよう、正しい姿勢を保てるように、心がける。スポーツを楽しめる施設（公民館）の使用料も無料化して欲しい。医者や薬に出来るだけ頼らない生きがいのある町にして欲しい。(75歳以上、男、福原)

4 都市基盤・生活基盤（112件）

- ・ どの場所でも治安が良く、住んでいる人も、観光に来た人も笑顔であふれる明るいまちになってほしい。(20～29歳、女、本庁)
- ・ 歴史的な古く良き街は残しつつ、若い人がたくさん遊びにきてくれるような活気のある町にしたいと思います。本川越と川越市駅までがつながって、表だけではなく、裏側もおしゃれなお店だったり、若い人が、事業をはじめやすいような環境をつくって、若い人がそこに遊びにくるような、「古き良い街」と「新しい街」2つの顔を持つような街づくりを目指して欲しいです。
(30～39歳、男、本庁)
- ・ 子供が健やかに暮らせる街は、その家族にとって住みやすい街であるという事につながると思います。例えば、公園の充実、道路の整備、歩道の拡大、街灯の設置、電柱の地中化、など進めてほしいです。そして、歴史や自然の豊かさを大切に、景観の美しいまちになってほしいです。キャラクターのときもちゃんとはあらゆるところで見かけますので、市民全員にとって親しみやすく、とてもよいと思います。(30～39歳、女、高階)
- ・ 都心からも近く、しかも、歴史のある街、川越。都市計画の中で、田畑や森林も大事であると思います。開発をどんどん進めるのではなく、住居とのバランスのとれた街にぜひして頂きたいと思っています。よろしくお願いします。(50～59歳、男、本庁)
- ・ 景観を損なう電線の地中化。渋滞の緩和が見込める踏切の高架。子どもやお年寄りが少しでも安心して歩けるよう歩道の確保、またはグリーンラインの設置。流山市のように若い世代が永住するような街づくり。「この街でいい」と思うような妥協するのではなく「この街がいい」と思わせる街づくりを続けてほしいです。(50～59歳、男、山田)
- ・ 高齢者が多いなか、車の運転も危なく、市内循環バスを利用するにも本数が少ない。待っている停留所もベンチすらないところが多い。2036年には子供も高齢者も安心して行きたいところに行けるようになってほしい。(50～59歳、女、本庁)

- ・ 川越に住みはじめて2年になります。率直な意見です。車で生活する人が多いからか、街灯がとてもし少ないと感じる。特に冬の夕方は真っ暗です。学生の人たちの自転車もあるのでもっと明るくしてもらいたい。道の雑草も自分の身長以上に育っていて、歩いたりするにもとても歩きにくい道が多い。もっとこまめに刈ってほしい。南古谷改札はどうなっているのでしょうか。ユニクスもあるし利用者は多いので、早く北口を充実させて住みやすくしてもらいたい。(50～59歳、女、南古谷)
- ・ スマートシティを目指し、デジタル技術・データを活用して市の課題を解決し、市民の幸福度を高めるまちづくり。エネルギーの自給自足、移動の多様化、地域コミュニティーの活性化、オンラインで仕事ができる環境、自然・文化に触れる環境、地域とつながる環境づくり。
(65～69歳、男、古谷)
- ・ 10年後でも住みやすい街になってほしいです。私は、もうじき後期高齢者になります。主人は車に乗ってますし、夫婦とも自転車に乗れ、今の所は不自由していませんが、これから先、主人も免許証の返納の時期が来ると思います。返納後の外出や買物等に不便なく生活できるような街になると、いいと思います。(70～74歳、女、高階)
- ・ 川越市に住んで50年以上。3回住居を買い換えまして、現在は本庁管内に住んでいます。利便性や環境に満足してますが、古きよき歴史のまちを大切に、これからも子供からお年寄りまで楽しい住みやすいまちに、誰にでもやさしいまちになって欲しいと思います。(75歳以上、女、本庁)

5 産業・観光 (77件)

- ・ 中心部だけでなく、川越市全体として住みやすい街になることが望みです。観光地として盛り上げるのも川越市の活性化につながるので重要だと思いますが、まずは今住んでいる人々の暮らしやすさを第一に考える必要があると思います。(20～29歳、女、霞ヶ関)
- ・ 誰もが安心して暮らせる、市民にやさしい街。蔵造り通りのメイン道路は、観光客が多くなってきたためか、いつ事故がおきてもおかしくない感じ。早急にどうにかした方がいい。早い段階で観光客のマナーも徹底し、より良い観光の街になるよう願います。(30～39歳、男、高階)
- ・ 街に雇用を生み、川越市内でお金を回せる取り組み。(30～39歳、男、高階)
- ・ 現在は観光業が主となっていますが、今後もずっと続くと楽観視はできないと思っています。川越市内に住み、観光業に関わりのない生活をしている人々の中で経済を回していけるようになってほしいと思います。(30～39歳、女、大東)
- ・ 人を呼びこみ、街を元気あふれるものにする。魅力ある川越を目指してがんばってほしい。
(40～49歳、女、本庁)
- ・ 古きを訪ねる観光地の面と、住人にとって国際的で、安全・安心、新しい技術で未来につながる事業創設や誘致を目指してほしい。(50～59歳、男、本庁)
- ・ 川越は観光地なので観光客がたくさん来るのはありがたいことですが、オーバーツーリズムの問題に対する対策は今から必要だと思います。「歴史と文化」「豊かな心」が市の目標なら、ぜひ日本人らしい礼儀正しさ、列に並ぶ、治安が良い、清潔、マナーを守る等が感じられるまちであってほしいです。(50～59歳、女、本庁)
- ・ せっかく小江戸が人気で集客力があるのだからそれを生かして、日帰りじゃなく泊ってもらって、もっとお金を落としてもらえる街づくりをするべき。ホテルの誘致など取り組んで、市でお金を稼ぐ努力をして欲しい。(50～59歳、女、大東)
- ・ 観光に重点をおくのはやめてほしい。観光の街ではなく、人々が川越で暮らし、大切にしたいという思いを育てる街になってほしい。(65～69歳、女、名細)

- ・ 《川越の観光促進について》観光客を単にふやすための政策（宿泊・交通・景観などの充実だけでなく、その土地（川越）の昔のよき伝統を引き継ぎ、生き生きと暮らしている人こそが観光の魅力の中心です。海外旅行に行っても感じるのは、以前訪れた場所＝街並や景観は観光地らしく整備されても、肝心のそこに住んでいる人の活きた生活感情が失われては、旅行の真の面白さ・感激はありません。観光地といえども、その土地ならではの人間味があってこそ観光です。結局、観光地といえども、“人間が求めるのは人間である。”といえる気がします。川越が、いつまでも魅力ある観光地になることを願います。（70～74歳、男、古谷）

6 環境（26件）

- ・ ゴミの分別や町の綺麗さを心がけて、どこを歩いてもゴミがないようにする。観光客の方にも呼びかけて、全員で町を綺麗にしていけたらいいと思う。（20～29歳、女、本庁）
- ・ 自然も今のまま、あるいはさらに多く残してほしいです。（30～39歳、女、山田）
- ・ 緑のある公園など、木を増やしてほしい。田んぼや畑が減って生き物を見る機会が減ったので、子供たちが自然を学べるような環境が必要だと感じる。（40～49歳、女、本庁）
- ・ 駅前、マンションばかりなので、緑のある和めるスペースが欲しい。（40～49歳、女、本庁）
- ・ 緑あふれる空気のきれいな街になってほしい。（40～49歳、女、本庁）
- ・ 空き家対策をしっかりと、空き家を活用する方法を作してほしい。近隣に人の住んでいない家が多いというのは不安だ。（65～69歳、女、名細）
- ・ 自然豊かで明るいまち、川越。（65～69歳、女、福原）
- ・ 道路の整備。川越市所有の空き地に花を植えたり緑化をし、市民が過ごしやすく、楽しい生活が出来ますように。（70～74歳、女、高階）
- ・ 温暖化等による、自然災害に強い町づくり。農業や、身近な緑の保持。（70～74歳、女、本庁）
- ・ 現在ある森や林がこれ以上減少しないよう願います。氷川神社脇を流れる新河岸川の流れが悪く、ゴミが溜まっているのが気になります。（75歳以上、女、大東）

7 地域社会・市民生活（93件）

- ・ もう少し夜中の川越の治安をよくした方がいい。川越市民もそうじゃない人も「住みたい」って思える町。（20歳未満、女、古谷）
- ・ 年齢に関わらず、やりたいことや夢を叶えられるまちであってほしい。私の夫は開業することを目標にしていますが、現状では地方の移住制度や開業の補助金を使った方が、ハードルが下がるよねという話をしています。川越市は観光業が中心なイメージもあるし、“地方移住”という立地でもないと思うので、それはどちらも一長一短なんだと思います。ただ、川越に生まれて川越に住んでいる人たちが、ずっと住みつづけられたらそれ以上良いことはないのになと思います。だから、叶えてほしいとか、補助金をつくってほしいとかいうことではなく、ここに住む人が、ここで夢を叶えられるようなまちであってほしいです。夫だけでなく、子どもたちも、高齢者も、全ての人の夢が叶うまちでありますように。（20～29歳、女、霞ヶ関北）
- ・ 若者と高齢者、外国人、全ての川越に住む人々がいきいきと協力し合える街になっているとステキだなと思います。どうしても外からくると個になってしまうので、昔の田舎のような協力しあえる状態というのは大事だなと感じることがあります。（20～29歳、女、霞ヶ関）

- ・ 「安心して暮らせるまち」が理想であるとする。高齢化やコロナ禍や災害の経験からいかに日常が大切かを知った。より良いまちづくりも大事だが、予期せぬ出来事が起きても対策や対応の早さという最低限の生活を維持するためのシステムの方が市民全体の必要なものとなる。また、最低限の生活が約束されることで経済が活発になり、より良い方向へも進んでいく。生活困窮者への支援、防災、医療制度など、市民に安心をもたらすものや全市民に平等に価値があるものを提供していくことが重要であり目指すべきものであるとする。(20～29歳、女、本庁)
- ・ 川越市は歴史や観光の素晴らしさを十分に活かし、市民以外の方にも多く認知いただいていると思うので、これからはLGBTQや国籍などに関わらず住みやすいまちになってほしいと思います。パートナーシップ宣誓制度は素晴らしい取り組みだと思えますが、川越市にこのような制度があるという認知度は低いと思います。年齢・性別・既婚・未婚・子供あり・なしなど関係なく、全ての人に優しく住みやすい川越市になってほしいです。また、その為のイベントや制度が充実した市であってほしいと思います。(30～39歳、女、本庁)
- ・ 人々があたたかく、穏やかに、昔も今も大切に未来を創造し続けるまち。(40～49歳、女、福原)
- ・ 河川が多い地域なので、災害に強い安全な街づくりをお願いします。(50～59歳、女、霞ヶ関北)
- ・ 最も重要なのは、人と人とのつながりだと思う。もっと近所で密になれるような機会があるといい。困った事や相談事かけられる電話をもっと皆が知っているようになってほしい。高齢で体が悪く暇にしている人を生かす仕事(内職など)や、人の役に立っていると考える事を作ってほしい。集まれる場所、(予防の為に、体操教室へ参加など)作業所・仕事場でもいい。常にそこにいれば誰かいるという場所を作ってほしい。シェアハウスのように世代をこえて助け合う、または、老人同士同じアパートやマンションに控えて役割を作る。お互い安否確認をする。1人にならない工夫。元気な老人が人の手を必要とする老人をみる。(50～59歳、女、南古谷)
- ・ 感覚的にだが、観光都市としての川越はずいぶんと整備され、完成形に近づきつつあると思うが、この地に住んでいる住民が暮らしやすく、幸せを感じる都市を目指してほしいと思う。例えば高齢者・障害を持った人・子ども達、全ての垣根を取り払った交流ができる、優しい街になったら、と願います。(60～64歳、女、霞ヶ関北)
- ・ 近頃、アパートや建築現場で外国人の姿をよく見かけます。県内でも外国人の犯罪が報じられることがあります。そういうことに追い込まれないよう相談窓口などあったらと思います。(外国人にも住みやすい川越に！)(70～74歳、女、本庁)

8 住民自治・行財政運営 (46件)

- ・ 小さな行政。公的施設の統廃合。(30～39歳、男、山田)
- ・ 新しい施策の取り入れが、周辺の市より遅いと感じます。規模や財政的な問題も多く、迅速な対応が難しいとは思いますが、川越市民で良かったと思えるまちになってほしいです。何事にも保守的で遅いというイメージの払拭を。(40～49歳、女、大東)
- ・ 少子高齢化・人手不足によりインフラ整備が重要と考えます。デジタル化や老朽設備・交通改善で便利に効率的に生活が便利であり続けることが重要。(40～49歳、回答しない、無回答)
- ・ 全てのサービスがオンラインで完結する町。より安全な町。(50～59歳、男、福原)
- ・ 市役所に行かなければ出来ない手続きが手軽に簡単に出来るように取り組んでほしいです。10年後の川越が住み良い街になるよう税金を使って下さい。(50～59歳、女、霞ヶ関)
- ・ インターネットでの行政手続きが進んでいても、必ず、不自由な人・弱者がとりのこされないような配慮がされている街。(50～59歳、女、本庁)
- ・ 目立つことはなくても、SDGsにしっかりコミットできるまち。(60～64歳、男、本庁)

- ・ 少子・高齢化による、税収入が減っていく中で、ふるさと納税を通じた地域の認知拡大や寄付金の増加がさらに必要となってくると思います。“お役所的”な考え方を見直し、独自色を打ち出したブランディング戦略を策定していただきたい。(60～64歳、男、霞ヶ関)
- ・ 情報公開をすすめる。市民参加型にするには担当課は手間や面倒があると思いますが、自治の仕事の理解にもつながり、市民自治を養成し、町は自分たちで作るものという意識を育てることになります。施設の見学会や、地域住人との意見交換会などからはじめてほしい。市民は行政サービスを受けるだけの人ではない、「できるところは自分たちでやる自治」を、「自治会だけではないテーマ別の自治」を目指していかないと高齢化と人材不足に対応できない。(60～64歳、女、本庁)
- ・ 川越の各資源を市民みんなで共有し、一部の人だけがその資源の利益または行政サービスを受することなく、それぞれの立場の人が同じ川越市民として共存できるよう、調和のとれた施策の立案、業務の取組みが必要と思います。今、いくつかのパターンにおいて、不公平感を持たれることが懸念されると考えます。例えば、川越に長く居住する人と市外から転入して間もない人、転入して間もない人に、行政サービスの内容、地域の状況が把握しづらい。(65～69歳、女、本庁)

その他 (67件)

- ・ 私は生まれてから今まで川越市に住んでおり、とても大好きな街です。住みやすいということもありますが（川の災害や自然災害が少ない地域ではあります）。観光地という要素があるのも誇りに思っており、可能なら住み続けたいと思っております。第三次総合計画にある「みんなで作る」というところ、第四次総合計画にある「だれもが住み続けたいまち」ということを重点的に目指してほしいと感じております。皆で川越市に興味を持てるような一員となれるようなイベント等があれば良いと思いますが、老若男女が参加できるものは難しいかと思えます。自分達がつくっていた街なら住み続けたいと思えるような気がします。実際住んでいる人達は川越市のことを知らない人が多いと思いますので歴史的な部分も含めて知る機会が増えたらいいなと思います。すでに行っているものも多いかと思えますが申し訳ありません。(30～39歳、女、高階)
- ・ 選挙投票率全国No.1のまち（自分の国、市、県の将来について真剣に考える市民である）。
(50～59歳、男、南古谷)
- ・ 市民一人一人が市政を自覚するまち。自分が10年間行政にどう関わったか、という事が具現化するのが、17年度末の川越の姿なのだと思います。(50～59歳、女、福原)
- ・ すべての項目が重要である事はわかりますが、実際に行われているのか、結果がでているのか全くわかりません。目に見える、実感出来る、取り組みを進めて欲しいと思います。(50～59歳、女、本庁)
- ・ 施策や主な取り組み項目が多すぎると思います。市は何を重点としてやりたいのか…記述体系から第1章が最重点と推察しますが…。政治的・議会的配慮があるかも知れませんが、施策を精査して、市民が実感・体感できるようなものがあればと思慮します。重点を形成し予算をつぎ込み成果が現れるようにしてほしいと思います。(60～64歳、男、大東)
- ・ 第四次総合計画の具体的な目標を掲げて1つ1つ達成していかないと、計画がなんの為・誰のためのものか机上の空論となってしまうそうですね。五次の前に第四次の具体的な目標、抽象的でなく、川越だからこそという方向から目標を掲げ達成していくことが次につながると考えています。京都、奈良をはじめ、日本の歴史ある街はとかく閉鎖的でよそものを受け入れない慣習を感じますので、だからこそ人が動く街と同じような街作りをしてもよい結果を選べないと思います。「人がつながり、魅力があふれだれもが住み続けたいまち川越」をめざすならそのことをしっかり考えて街にあった具体的な目標がそれを達成するための政策や計画が必要と考えます。(65～69歳、男、山田)
- ・ 全てがもっと発展する様、自治体行政共々、頑張ってください。安心しておだやかに暮せるまちになれるよう各自努力して行きたいですね。よろしく願いいたします。(75歳以上、女、本庁)

IV 使用した調査票

川越市市民満足度調査 《調査票》

～ご協力のお願～

日頃より、市政の発展のために深いご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

川越市では、まちづくりを進める指針となります『第四次川越市総合計画』に基づき、「子ども・子育て」「福祉・保健・医療」「教育・文化・スポーツ」「都市基盤・生活基盤」「産業・観光」「環境」「地域社会・市民生活」「住民自治・行財政運営」の各分野の施策に取り組んでおります。

本調査は、これらの分野について、皆様がどのくらい満足していらっしゃるのか、また、重要と感じていらっしゃるのかをお聞かせいただき、次期計画である『第五次川越市総合計画』の策定と今後の市政運営の基礎資料として活用させていただくもので、市内にお住まいの18歳以上の方を対象に、3,000人を無作為に選んでお願いしております。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力お願い申し上げます。

川越市長 川合善明

ご記入にあたってのお願い

- ◇ 調査票には、あて名のご本人がご記入ください。
- ◇ 濃いえんぴつ、黒ボールペンまたは万年筆でご記入ください。
- ◇ お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。○は（ ）
の中に指定した個数まで付けてください。

提出方法

- ◇ ご記入いただいた調査票は、同封の茶色の返信用封筒（切手不要）に入れ、**10月6日（金）**までにポストに投函してください。

【本調査に関するお問い合わせ先】

〒350-8601 川越市元町1丁目3番地1 川越市役所 総合政策部 政策企画課

Tel : 049-224-5503 (直通) Fax : 049-225-2895

メール : seisakukikaku@city.kawagoe.lg.jp

問1 次のページから掲げている52の施策は、現在川越市が『第四次川越市総合計画』に基づき進めている取り組みです。あなたは、これらの取り組みがどのくらい重要だと思いますか（重要度）。また、現在その取り組みの結果に満足していますか（満足度）。
 次の1～52の施策ごとに、あてはまるものを1つずつ選んで番号に○印をつけてください。（○は重要度、満足度ともにそれぞれ1つ）

『第四次川越市総合計画』とは・・・

第四次川越市総合計画は、平成28年度以降の本市のまちづくりを進める指針となるもので、目指すべき都市像を描き、その実現に向けた目標や必要な方策を定めるものです。

計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の三層で構成されており、今回の調査は、このうち基本計画に位置付けられた52の市の取り組み（施策）を対象としています。

なお、計画及び施策の詳しい内容については、市役所本庁舎4階政策企画課、市民センター、図書館で計画書をご覧になることができるほか、下記の川越市ホームページでもご覧いただけます。

○川越市ホームページ 第四次川越市総合計画（後期基本計画）

https://www.city.kawagoe.saitama.jp/shisei/seisakushisaku/sogokeikaku/gikisogokeikakukouki/kokikeikaku_download.html



<記入例> 左側の各施策に対するお考えを右側から選んでご記入ください。

【章】 (分野別の基本目標)

施 策	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
1 ○○○○○の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○○○○に組み込んでいます。			○				○			
○・・・の充実										
○・・・の充実										

あてはまるものの番号に○印をつけてください。

【第1章】子どもが健やかに成長でき、子育ての楽しさを感じられるまち
～子ども・子育て～

施 策 ----- 施策の内容 ----- 主な取り組み	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
1 少子化対策の推進										
少子化の傾向に歯止めをかけられるよう、結婚に対する取組支援、妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談や支援などに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○総合的な少子化対策の推進 ○結婚に対する取組支援 ○妊娠期からの切れ目ない支援 ○多子世帯への支援 ○若者や子育て世代へのしごと支援										
2 児童福祉の推進										
子どもが地域で健やかに成長できるよう、地域や社会全体で子育てを支える環境の整備に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○子育て家庭への支援体制の充実 ○地域の支援体制の充実 ○児童虐待の防止に関する取組の推進 ○子どもの貧困対策に関する取組の推進 ○ひとり親家庭等自立支援 ○障害児施策の充実										
3 幼児期の教育・保育と学童保育の充実										
仕事をする親を支援するとともに、幼児教育・保育の充実、学童保育室等の充実など安心して子育てができる環境整備に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○幼児教育・保育の充実 ○学童保育室及び民間放課後児童クラブの充実										
4 青少年健全育成の推進										
社会性を身に付けた自立した青少年を育てられるよう、家庭、地域、学校、警察などの関係機関が連携し、青少年の健全育成に地域ぐるみで取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○社会参加の促進 ○命を尊ぶ意識の醸成 ○非行防止活動の推進及び青少年相談の普及 ○青少年施設の充実										

【第2章】 住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち
 ～福祉・保健・医療～

施 策	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
施策の内容 主な取り組み										
5 高齢者福祉の推進 高齢者が生きがいを感じながら、住み慣れた地域で健康で安心して暮らせるまちの実現に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○地域包括ケアシステムの構築 ○生きがいづくりの充実 ○介護予防・生活支援の推進 ○権利擁護・認知症支援施策の推進 ○介護サービスの充実 ○居住環境の整備・充実										
6 障害者福祉の推進 自立と共生の考えのもと、障害のある方が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、総合的な福祉サービスの充実や社会参加の支援等に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○差別解消及び権利擁護の推進 ○保健・医療サービスの充実 ○地域生活支援及び生涯にわたる学習機会の充実 ○雇用・就労の促進 ○社会参加の拡充 ○住みよい福祉のまちづくり ○福祉サービスの充実										
7 地域福祉の推進 誰もが社会から孤立することなく、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるよう、市民や地域の組織等と協力して、支え合い・助け合いの地域社会の構築に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○地域福祉の意識づくり ○地域福祉を担う人材の育成 ○ふれあい・支え合い・助け合いのしくみの構築 ○地域のネットワークの充実 ○安心して生活できる地域づくり										
8 社会保障の適正運営 すべての市民が安定的に社会保障制度を利用できるよう、適正かつ効果的な制度の運営に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○国民健康保険制度の健全な運営 ○後期高齢者医療制度の円滑な運用 ○国民年金制度の啓発 ○介護保険制度の健全な運営 ○生活保護制度の適正な運営 ○生活困窮者自立支援制度の適正な運営										

【第2章】住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち

～福祉・保健・医療～

施 策	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
施策の内容										
主な取り組み										
9 健康づくりの推進										
子どもから高齢者まで、生涯を通じた健康の保持・増進が図られるよう、保健サービスの充実、健康づくりの支援に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○健康づくりの支援 ○特定健康診査等の実施 ○がん検診等の実施と受診勧奨										
10 保健衛生・医療体制の充実										
市民の健康や食の安全・安心が確保されるとともに、適切な医療提供体制の確保が図られるよう、保健衛生・医療体制の充実に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○精神保健対策の推進 ○感染症予防対策の推進 ○地域医療体制の整備・充実 ○食の安全・衛生的な住環境の確保										

【第3章】歴史と文化を感じながら学びあい、豊かな心を育むまち
～教育・文化・スポーツ～

施 策 ----- 施策の内容 ----- 主な取り組み	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
11 生涯学習活動の推進										
市民一人ひとりが生涯を通じて学習することができ、その成果を生かすことができる社会となるよう、学習環境の整備や多様な学習機会の充実に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○生涯学習を推進する体制の充実 ○家庭や地域の教育力向上 ○ライフステージ、社会変化等に応じた学習機会の充実 ○身近な学習施設の整備・運営 ○市立図書館の充実 ○市立博物館等の充実										
12 生きる力を育む教育の推進										
児童生徒の知・徳・体のバランスの取れた生きる力を育む、充実した教育に向けて取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○確かな学力の育成 ○学校課題に応じた学校支援の推進 ○校種間連携の推進 ○生徒指導の推進 ○進路指導・キャリア教育の充実 ○特別支援教育の充実 ○グローバル化に対応する教育の推進 ○情報教育の推進 ○体力向上と保健・安全教育の推進										
13 教育環境の整備・充実										
安全・安心で豊かな教育環境づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○教職員の資質向上 ○校内の業務改善の推進 ○学校施設の整備・充実 ○小学校・中学校の適正規模・適正配置と通学区域の弾力化 ○学校給食の充実 ○市立川越高等学校の改革・充実 ○教育センターの整備・充実 ○地域に開かれた特色ある学校づくりの推進										
14 文化芸術活動の充実										
心豊かな生活を実現するとともに、まちに魅力と活力が創出されるよう、市民の文化芸術活動の支援や文化芸術に触れる機会づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○文化芸術の振興 ○文化芸術に触れる機会づくり ○文化芸術活動への支援 ○市立美術館の充実										

【第3章】歴史と文化を感じながら学びあい、豊かな心を育むまち

～教育・文化・スポーツ～

施 策	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
施策の内容										
主な取り組み										
15 文化財の保存・活用										
歴史・文化・伝統等の理解を深めるとともにまちの魅力が生まれるよう、文化財の保護及び文化財の価値を活かした活用に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○文化財の保存と活用 ○無形民俗文化財の保存と後継者の育成 ○重要伝統的建造物群保存地区の保存整備事業の充実 ○河越館跡の整備・活用										
16 多文化共生と国際交流・協力の推進										
誰もが異なる文化を理解し、相互に尊重し助け合いながら共に生活することができるよう、多くの市民に国際交流・協力の機会を提供することに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○外国籍市民への支援の充実 ○国際感覚に優れた市民の育成 ○外国籍市民にも暮らしやすいまちづくり ○姉妹・友好都市交流の充実										
17 生涯スポーツの推進										
生涯にわたり心身ともに健康で豊かな生活を実現できるよう、スポーツ大会の充実と地域のだれもが日常的にスポーツに親しむことができる環境整備に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○総合型地域スポーツクラブの設置・育成 ○スポーツ大会やスポーツ教室等の充実 ○スポーツ指導者等の養成・活用 ○スポーツ施設等の整備・充実										

【第4章】安全で快適な基盤を備え、歴史や自然と調和した魅力あるまち
～都市基盤・生活基盤～

施 策 ----- 施策の内容 ----- 主な取り組み	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
18 協働による計画的なまちづくりの推進										
計画的な土地利用のもと、持続可能な都市構造の構築を目指し、市民、民間団体、事業者等との協働により、魅力と活力のあるまちづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○計画的なまちづくりの推進 ○新たな拠点の整備 ○地区整備の推進										
19 市街地整備の推進										
中心市街地に位置する三駅周辺の整備を推進し、都市機能や都市基盤の充実を図るとともに、各鉄道駅周辺は、地域の特性に合った生活拠点の整備に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○三駅連携強化の推進 ○南古谷駅周辺地区整備の推進 ○川越駅西口周辺地区整備の推進 ○新河岸駅周辺地区整備の推進 ○鉄道駅周辺地区整備の推進 ○交差点改良事業の推進										
20 景観まちづくりの推進										
川越の歴史、文化を生かした良好な都市景観の保全及び創造と、魅力あふれる快適な都市の実現に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○歴史的景観の形成 ○都市デザインの推進 ○屋外広告物の適正化 ○歴史的地区環境整備街路事業の推進										
21 道路交通体系の整備										
計画的な道路整備により、道路ネットワークの拡充を図るとともに、歩行者や車両の円滑な移動と安全で快適な道路環境の維持に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○都市計画道路や広域幹線道路の整備 ○幹線道路や生活道路の整備 ○安全で快適な道路環境の維持 ○橋りょうの安全性の確保										
22 交通ネットワークの充実										
道路や鉄道、バス等の円滑な交通ネットワークの充実を図るとともに、市民や来街者の利便性の向上に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○交通円滑化方策の推進 ○地域公共交通網の充実 ○鉄道輸送の利便性の向上										

【第5章】地域資源をいかした、にぎわいと活力にあふれるまち
～産業・観光～

施 策 ----- 施策の内容 ----- 主な取り組み	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
28 産業間の連携と中小企業支援										
農業・商業・工業・観光産業の発展のため、産業間の連携や中小企業への支援に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○産業間連携の推進と地域経済の振興 ○中小企業への支援の充実 ○創業支援の充実										
29 就労の支援と労働環境の改善										
様々な求職者に対応した就労支援や安心して働ける労働環境の改善に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○就労の支援 ○労働環境の改善 ○勤労者福祉制度の充実・促進 ○川越でのしごと支援										
30 農業の振興										
地産地消の推進、農産物のブランド化、担い手の育成等により、農業の活性化を図るとともに、農業にふれあう機会の創出に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○食料の安定供給の確保 ○農産物のブランド化の推進 ○多様な担い手の育成・確保の推進 ○農地の有効活用 ○農業とのふれあいの推進										
31 商業の振興										
商店街をはじめとした商業の発展と中心市街地の活性化を図るため、イベント等によるにぎわいの創出や魅力ある店舗の育成・支援に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○商店街への支援 ○中心市街地の活性化 ○商業の発展と商業団体等への支援										
32 工業の振興										
ものづくりによるまちの活性化と雇用創出を図るため、工業製品の付加価値の向上や販路拡大への支援及び新たな企業誘致に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○企業・工業団体等への支援 ○企業誘致の推進										

【第5章】地域資源をいかした、にぎわいと活力にあふれるまち

～産業・観光～

施 策	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
施策の内容										
主な取り組み										
33 観光の振興										
新たな観光客やリピーターを確保するため、歴史や文化などの地域特性を生かした観光資源の発掘や観光情報の発信、外国人観光客の誘致等に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
<input type="checkbox"/> 戦略的な観光事業の推進 <input type="checkbox"/> 外国人観光客の誘致 <input type="checkbox"/> 観光環境の整備 <input type="checkbox"/> 広域観光の推進 <input type="checkbox"/> 市民参加型観光の推進										

【第6章】地球環境にやさしい、豊かな自然とともに生きるまち

～環境～

施 策 ----- 施策の内容 ----- 主な取り組み	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
34 環境活動の推進										
環境に対する知識と理解を備え、環境保全を進めていくための行動を 実践できるような地域づくり・人づくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○環境教育・環境学習の推進 ○環境活動団体等への支援 ○環境活動を実践する人材の育成・支援										
35 地球温暖化対策の推進										
市域から排出される温室効果ガスを抑制するため、市民や事業者等 に対する啓発等により、省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの導 入に取り組めます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○環境マネジメントシステムの推進 ○省エネルギーの推進 ○再生可能エネルギー等の導入促進 ○その他の地球温暖化対策の推進										
36 循環型社会の構築										
資源の循環的な利用を促進し、環境への負荷を減らしたまちづくりに 取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○ごみの発生・排出抑制、分別の徹底 ○循環利用の推進 ○一般廃棄物の適正処理 ○産業廃棄物の適正処理										
37 自然共生の推進										
地域や生活に調和した水と緑の自然環境の保全・創出・活用を図り、 自然と人が共生できるまちづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○樹林地の保全と活用 ○緑の創出 ○水辺環境の保全 ○生物多様性の保全										
38 生活環境の保全										
市民が健康で安心して生活できるよう、汚染状況の監視と発生源への 指導及び啓発に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○大気環境対策 ○水・土壌環境対策 ○騒音・振動・悪臭対策 ○化学物質等の環境リスク対策の推進										

【第7章】地域で支え合う、安全で安心なまち
～地域社会・市民生活～

施 策 ----- 施策の内容 ----- 主な取り組み	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
39 地域コミュニティ活動の推進										
地域住民などの互いの交流を促すとともに、コミュニティ意識の形成を図り、支え合い助け合いに向けた基盤づくりに取り組んでいます。										
○地域コミュニティ意識の形成 ○地域会議における地域コミュニティ活動の支援 ○自治会における地域コミュニティ活動の支援 ○NPO法人の活動の支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
40 平和で思いやりのある社会づくり										
平和に対する意識の高揚や差別や偏見がない明るい社会の実現に向けて、市民参加による平和施策や人権教育の充実に取り組んでいます。										
○平和意識の高揚 ○人権施策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
41 男女共同参画の推進										
性別に関係なく、自らの意思によってあらゆる分野の活動に参画し、個性と能力が十分に発揮できる社会の実現に向けて、啓発活動や相談体制の充実と政策や方針の決定過程における女性の参画推進に取り組んでいます。										
○人権の尊重と男女共同参画への意識づくり ○ワーク・ライフ・バランスの促進 ○あらゆる分野への男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
42 防災体制の整備										
災害から市民の生命、身体及び財産を守るため、市民や民間事業者等と協働した防災体制の整備による災害に強いまちづくりに取り組んでいます。										
○地域防災計画の推進 ○災害応急体制の充実 ○防災意識の普及・高揚 ○危機管理体制の強化・充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
43 消防・救急体制の充実										
火災や事件、事故など様々な状況に対応できるよう、消防・救急体制の整備を推進し、安全・安心を実感できるまちづくりに取り組んでいます。										
○初動消防力の強化 ○救急体制の整備 ○火災予防対策の推進 ○消防施設や設備の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【第7章】地域で支え合う、安全で安心なまち
～地域社会・市民生活～

施 策 ----- 施策の内容 ----- 主な取り組み	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
44 防犯対策の推進										
市民が安全に安心して暮らせるよう、防犯意識の啓発を図るとともに、自治会や商店街などと連携した防犯のまちづくりに取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○防犯推進体制の整備・充実 ○安全な地域コミュニティの推進 ○規範意識の高揚と防犯教育の推進 ○安全な都市環境の創出 ○犯罪被害者支援の推進										
45 交通安全対策の推進										
交通事故の減少と安全な交通環境の整備を進めるため、地域や関係機関と連携して交通マナーや安全意識の向上を図るとともに、カーブミラー等の整備や通学路の安全対策に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○交通安全意識の啓発 ○交通安全施設の整備 ○通学路安全対策の推進 ○自転車利用者への意識啓発と自転車の利用環境の整備										
46 市民生活の支援										
安全で安心な市民生活のための相談体制の充実と市民ニーズを満たした葬祭事業を実施します。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○市民相談の充実 ○消費生活支援体制の充実 ○葬祭事業の充実										

【第8章】つながりによるまちづくりと持続可能な行財政運営の推進

～住民自治・行財政運営～

施 策 ----- 施策の内容 ----- 主な取り組み	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
47 住民自治の推進										
住みよいまちづくりを目指し、市民自らが市政に参加するしくみづくりや市の情報発信に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○市民参加のしくみづくり ○地域内分権の推進 ○多様な主体との協働・ネットワークの充実 ○地方分権の推進 ○市政情報の発信 ○広聴制度の充実										
48 行政経営マネジメントの推進										
市民ニーズや社会状況の変化を的確に捉えた施策の実施と評価により、将来にわたり持続可能な行政経営や健全な財政運営の確立に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○成果を重視したマネジメントサイクルの推進 ○計画的な財政運営と財源の確保 ○行政改革の推進 ○人材の育成・活用 ○行政サービスの向上										
49 社会資本マネジメントの推進										
一斉に更新時期を迎える公共施設や公共インフラについて、まちづくりのあり方と需要を踏まえ、更新、統廃合、長寿命化等に向けて取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○効率的な社会資本整備の推進 ○公共施設の適正配置 ○情報の一元化と利活用										
50 情報化施策の推進										
手続きのオンライン化による市民の利便性の向上や情報通信技術を活用した効率的・効果的な行財政運営に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○ICT 利活用による利便性の向上 ○政策決定の効率化 ○情報通信基盤の適正化										
51 広域的な連携の推進										
広域的な共通課題に対して、他の自治体と連携して効率的かつ効果的な施策の推進に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○関係自治体との連携の推進 ○レインボー協議会の各種事業の推進 ○中核市及び業務核都市間の連携										

【第8章】つながりによるまちづくりと持続可能な行財政運営の推進

～住民自治・行財政運営～

施 策	施策の重要度					施策の満足度				
	重要である	まあ重要である	ふつう	あまり重要でない	重要でない	満足である	やや満足である	ふつう	やや不満である	不満である
施策の内容										
主な取り組み										
52 時勢に応じた施策の推進										
国内外から注目を集める機会を生かし、川越の魅力発信を通じて、地域の活力の維持・向上に取り組んでいます。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
○市制施行 100 周年に向けた取組 ○シティセールスの推進 ○シビックプライドの醸成 ○東京 2020 オリンピックに向けた取組										

問2 第四次川越市総合計画では、将来都市像である「人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越」を実現するため、8つの分野別の基本目標を定めています。8つの分野ごとに、次の10年に向けて、川越市が優先して解決すべきことや積極的に取り組んだほうがよいと思うことについて、考えや意見をお書きください。(自由記述)

分野	記入欄 (自由記述)
基本目標	
1 子ども・子育て	
子どもが健やかに成長でき、子育ての楽しさを感じられるまち	
2 福祉・保健・医療	
住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまち	
3 教育・文化・スポーツ	
歴史と文化を感じながら学びあい、豊かな心を育むまち	
4 都市基盤・生活基盤	
安全で快適な基盤を備え、歴史や自然と調和した魅力あるまち	
5 産業・観光	
地域資源をいかした、にぎわいと活力にあふれるまち	
6 環境	
地球環境にやさしい、豊かな自然とともに生きるまち	
7 地域社会・市民生活	
地域で支え合う、安全で安心なまち	
8 住民自治・行財政運営	
つながりによるまちづくりと持続可能な行財政運営の推進	

- 問3 川越市では、令和8年度から令和17年度までの10年間を期間とする「第五次川越市総合計画」の策定に向けた取り組みを進めています。令和17年度末(2036年)の川越市が、どのようなまちになってほしいか、目指すべきまちの姿について、考えや意見をお書きください。
(自由記述)

記入欄 (自由記述)

《参考》これまでの川越市総合計画で定めた将来都市像は下記の通りです。

- ・第四次川越市総合計画(平成28年度～令和7年度)
人がつながり、魅力があふれ、だれもが住み続けたいまち 川越
- ・第三次川越市総合計画(平成18年度～平成27年度)
ひと、まち、未来、みんなでつくる いきいき川越
- ・第二次川越市総合計画(平成8年度～平成17年度)
自然と歴史を生かし、市民がいきいきと、新しい暮らしを創造するまち
- ・川越市総合計画(昭和58年度～平成7年度)
明るく未来をつくる緑豊かな国際性のある文化都市



将来都市像：本市の目指すべき姿、10年後の川越市が表現された姿

川越市市民満足度調査 報告書

令和6年2月発行

調査主体 川越市役所 総合政策部 政策企画課
〒350-8601 川越市元町1丁目3番地1
電話 049-224-8811 (代表)

調査実施 株式会社エスピー研
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3丁目11番20号
電話 03-3239-0071 (代表)